

令和6年度  
高知県子どもの生活実態調査

高 知 県

## 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的.....	1
2 調査の実施概要.....	1
3 本書を読む留意点.....	1
<b>第2章 調査の結果</b> .....	<b>3</b>
<b>1 保護者の状況</b> .....	<b>3</b>
住んでいる地域.....	3
お子さんとあなた（回答者）の関係.....	3
お子さんと生計を同一にしているご家族.....	4
日本語以外の言語の使用頻度.....	6
小学校入学前に通ったことのある保育・教育機関等.....	6
お子さんの今後の教育.....	7
学校行事、ボランティア等の参加頻度.....	12
過去1か月の間のお子さんの様子.....	14
お子さんのここ半年くらいの行動.....	21
お子さんの両親の婚姻状況.....	36
養育費の取り決め状況.....	37
お子さんの両親の就業状況.....	38
お子さんの家庭の経済状況.....	42
幸福度.....	50
子どもとのかかわり方（保護者が子どもとどのような時間を過ごしているか）.....	51
相談相手・相談機関.....	54
情報源や支援の利用状況.....	65
家庭でのインターネット回線の有無.....	79
行政への要望.....	79
<b>2 子どもの状況</b> .....	<b>80</b>
住んでいる地域.....	80
子どもの所有物の状況.....	81
将来の夢.....	85
進学のこと.....	87
友だちのこと.....	89
ふだんの学校生活のこと.....	91
学校や勉強のこと.....	112
幸福度.....	120
悩みごとや困っていること.....	128
ヤングケアラーの認知度.....	130
<b>第3章 参考資料</b> .....	<b>131</b>
調査票.....	131

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

「高知県子どもの生活実態調査」は、子どもと家庭の生活実態をお聞きし、子ども家庭支援にかかる施策を推進していくうえでの基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2 調査の実施概要

- (1) 調査対象者：高知県内在住の小学5年生の児童及び保護者 1,200 世帯  
 高知県内在住の中学2年生の生徒及び保護者 1,200 世帯  
 高知県内在住の高校2年生の生徒及び保護者 1,200 世帯
- (2) 調査方法：調査対象世帯に県（委託先）から調査票を配布し、県への郵送又はオンライン回答により回収
- (3) 調査期間：令和6年6月24日（月）～令和6年7月22日（月）  
 回答締め切り後の提出分については令和6年8月16日（金）までに回収したものを集計に含めています。

### (4) 配布・回収数（率）

	配布数	回収数	回収率	内：郵送回答		内：WEB回答	
				回収数	回収率	回収数	回収率
小学5年生の児童	1,200	475	39.6%	347	73.1%	128	26.9%
小学5年生の保護者	1,200	503	41.9%	350	69.6%	153	30.4%
中学2年生の生徒	1,200	444	37.0%	286	64.4%	158	35.6%
中学2年生の保護者	1,200	463	38.6%	291	62.9%	172	37.1%
高校2年生の生徒	1,200	393	32.8%	199	50.6%	194	49.4%
高校2年生の保護者	1,200	413	34.4%	223	54.0%	190	46.0%

## 3 本書を読む留意点

- (1) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

## ◎生活困難の定義について

本調査では、子どもの貧困状態を家庭の経済的な困窮だけでなく、家庭環境全体で把握することとし、

- ① 低所得(等価世帯所得が135.6万円未満)
- ② 生活必需品の非所有(生活に必要なと思われる物品や5万円以上の貯金がない等)
- ③ 支払困難経験(過去1年間に経済的理由でライフラインの支払ができなかったこと)

のいずれか1つでも該当する世帯を「生活困難」にある状態と定義しました。

※今回の調査における「生活必需品の非所有」の項目については、前回調査「平成28年度子どもの生活実態調査」と一部異なるため、「生活困難世帯」の割合については、前回と比較できるものではありません。

### 【要素①低所得(等価世帯所得が135.6万円未満)】※保護者のみ

等価世帯所得(※1)が厚生労働省「令和5年国民生活基礎調査」から算出される基準(※2)未満の世帯(※3)と定義

- (※1) 世帯所得(公的年金など社会保障給付金を含めた世帯所得)を世帯人数の平方根で割って調整した所得(今回調査回答をもとに抽出)
- (※2) 厚生労働省「令和5年国民生活基礎調査」(所得は令和4年値)の世帯所得の中央値(405万円)を平均世帯人数(2.23人)の平方根で除した値の50%である135.6万円
- (※3) 低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や、可処分所得ではなく当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」にて公表されている「子どもの貧困率」(11.5%)と比較できるものではない。

### 【要素②生活必需品の非所有】※保護者のみ

生活必需品の非所有は、生活に必要なと思われる物品、いざという時に対処できるだけの貯金(5万円以上)等がない状況である場合に該当するとした。

- (1) 洗濯機 (2) 炊飯器 (3) 掃除機 (4) 暖房機器 (5) 冷房機器 (6) 電子レンジ  
(7) 電話(固定電話・携帯電話を含む) (8) インターネットにつながるパソコン (9) 世帯専用のお風呂  
(10) 世帯人数分のベッドまたは布団 (11) カーテン (12) 自動車 (13) 急な出費のための貯金(5万円以上)

↑上記項目いずれか一つでも選択した場合、「生活困難世帯」とする

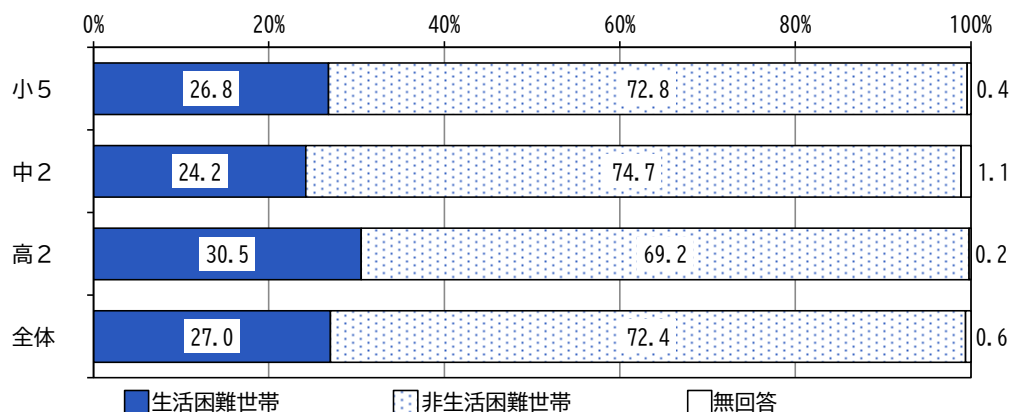
### 【要素③支払困難経験】※保護者のみ

支払困難経験は、水や電気、公的な健康保険など、生活に必要なもの(ライフライン)について、過去1年間に経済的理由のために支払ができなかった経験がある場合に該当するとした。

- (1) 学校の修学旅行や課外授業への参加費 (2) 学校での教材費 (3) 学校の給食費  
(4) 家賃 (5) 住宅ローン (6) 電気代 (7) ガス代 (8) 水道代 (9) 電話代(固定電話・携帯電話を含む)  
(10) 公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料 (11) 通勤や通学に使うバスや電車の料金  
(12) 食料 (13) 子どもに必要な洋服やかばん

↑上記項目いずれか一つでも選択した場合、「生活困難世帯」とする

上記①から③のいずれかに該当する割合は、全体で約27.0%となっています。



## 第2章 調査の結果

### 1 保護者の状況

#### ○住んでいる地域

住んでいる地域について○をつけてください。(いずれか1つに○)

住んでいる地域について、保健所圏域別の回答数は、次のとおりとなっています。

図 住んでいる地域

保健所圏域別回答数(人)

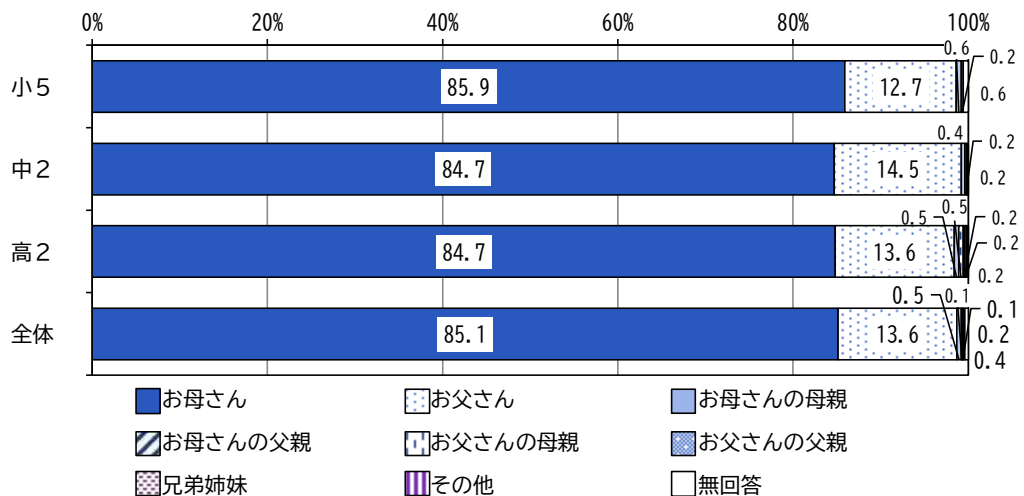
	全体	小5	中2	高2
安芸	73	28	27	18
中央東	227	83	79	65
高知市	703	247	235	221
中央西	153	51	53	49
須崎	83	35	28	20
幡多	138	57	41	40
無回答	2	2	0	0
計	1,379	503	463	413

#### ○お子さんとあなた(回答者)の関係

お子さんとあなた(回答者)との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続柄で、お答えください。(あてはまる番号1つに○)

お子さんと回答者の関係については、すべての学年で「お母さん」の割合が8割以上と最も多く、小学5年生が85.9%、中学2年生が84.7%、高校2年生が84.7%となっています。

図 お子さんと回答者の関係



## ○お子さんと生計を同一にしているご家族

お子さんと生計を同一にしているご家族の方は、どなたですか。それぞれの人数と合計の人数を教えてください。単身赴任しているご家族も含めてください。(あてはまる番号すべてに○)

家族構成について、ふたり親世帯では、「両親と同一生計」の割合は、全体で92.3%、小学5年生で91.7%、中学2年生で94.1%、高校2年生で91.2%となっています。

図 家族構成【全体、学年別、世帯状況別】

### 【家族構成】

			(1)	(2)	(3)	(4)		
			調査数	両親と同一生計	母子世帯	父子世帯	両親以外と同一生計	無回答
全 体			1,379	1,104	158	60	20	37
			100.0	80.1	11.5	4.4	1.5	2.7
全体	世帯状況別	ふたり親世帯	1,189	1,098	29	47	4	11
			100.0	92.3	2.4	4.0	0.3	0.9
		ひとり親世帯	178	1	125	11	15	26
			100.0	0.6	70.2	6.2	8.4	14.6
		ひとり親世帯 (母子世帯のみ)	151	-	124	1	6	20
			100.0	-	82.1	0.7	4.0	13.2
		ひとり親世帯 (父子世帯のみ)	17	1	-	10	2	4
	100.0	5.9	-	58.8	11.8	23.5		
小5	世帯状況別	ふたり親世帯	445	408	11	19	2	5
			100.0	91.7	2.5	4.3	0.4	1.1
		ひとり親世帯	53	-	35	4	5	9
			100.0	-	66.0	7.5	9.4	17.0
		ひとり親世帯 (母子世帯のみ)	45	-	35	-	2	8
			100.0	-	77.8	-	4.4	17.8
		ひとり親世帯 (父子世帯のみ)	5	-	-	4	1	-
	100.0	-	-	80.0	20.0	-		
中2	世帯状況別	ふたり親世帯	405	381	5	16	1	2
			100.0	94.1	1.2	4.0	0.2	0.5
		ひとり親世帯	54	-	37	5	4	8
			100.0	-	68.5	9.3	7.4	14.8
		ひとり親世帯 (母子世帯のみ)	44	-	37	-	1	6
			100.0	-	84.1	-	2.3	13.6
		ひとり親世帯 (父子世帯のみ)	8	-	-	5	1	2
	100.0	-	-	62.5	12.5	25.0		
高2	世帯状況別	ふたり親世帯	339	309	13	12	1	4
			100.0	91.2	3.8	3.5	0.3	1.2
		ひとり親世帯	71	1	53	2	6	9
			100.0	1.4	74.6	2.8	8.5	12.7
		ひとり親世帯 (母子世帯のみ)	62	-	52	1	3	6
			100.0	-	83.9	1.6	4.8	9.7
		ひとり親世帯 (父子世帯のみ)	4	1	-	1	-	2
	100.0	25.0	-	25.0	-	50.0		

### 【世帯状況の定義】

「婚姻状況」と「回答者との関係」より判別。

【問10 両親の婚姻状況】 「ふたり親世帯」：(1)結婚している（再婚や事実婚を含む）に回答している

「ひとり親世帯」：(2)離婚、(3)死別、(4)未婚・非婚に回答している

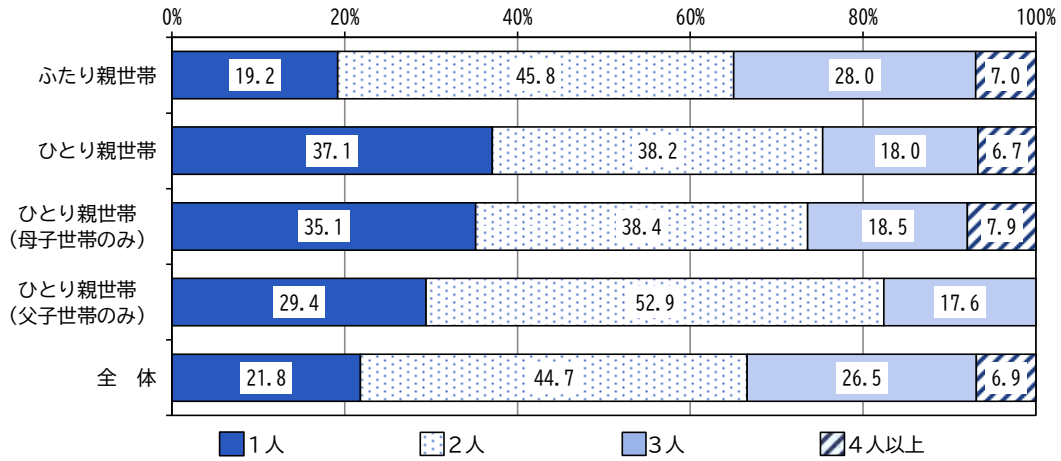
【問2 お子さんと回答者との関係】 「ひとり親世帯：母子世帯のみ」：(1)お母さんに回答している

「ひとり親世帯：父子世帯のみ」：(2)お父さんに回答している

子どもの人数について、「2人」と回答した割合が44.7%と最も多くなっています。また、世帯状況別にみると、いずれの世帯も「2人」と回答した割合が最も多くなっています。

図 子どもの人数【全体、世帯状況別】

【子どもの人数】



子どもの人数について、小学5年生では、ふたり親世帯が「2人」44.5%、ひとり親世帯「1人」43.4%となっており、そのうち、母子世帯のみが44.4%、父子世帯のみが20.0%となっています。

表 子どもの人数【学年別、世帯状況別】

【子どもの人数】

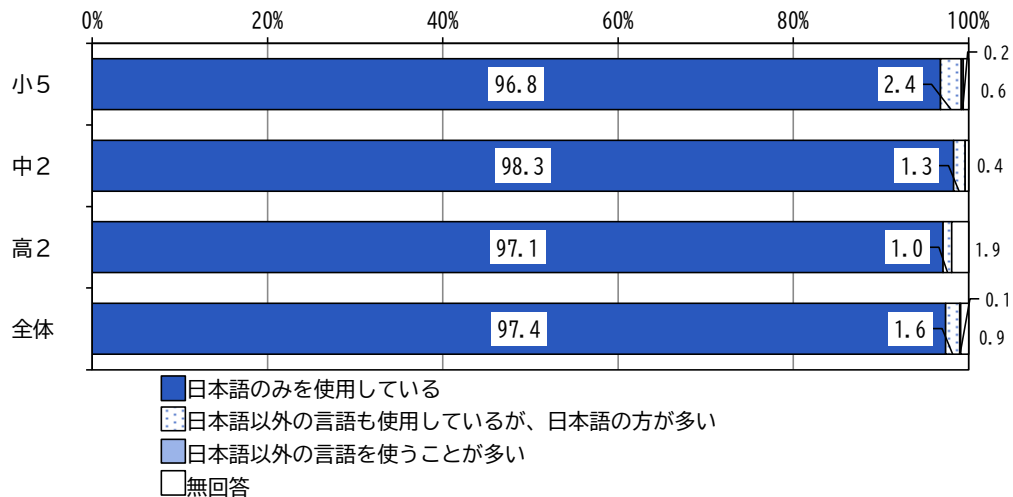
【表の見方】 比率(%) 網掛け=				調 査 数	(1) 1 人	(2) 2 人	(3) 3 人	(4) 4 人 以 上
世 帯 状 況	小 5	ふたり親世帯		445	18.0	44.5	30.8	6.7
		ひとり親世帯		53	43.4	35.8	15.1	5.7
		母子世帯のみ		45	44.4	35.6	13.3	6.7
		父子世帯のみ		5	20.0	60.0	20.0	-
	中 2	ふたり親世帯		405	17.5	45.7	27.9	8.9
		ひとり親世帯		54	27.8	40.7	22.2	9.3
		母子世帯のみ		44	22.7	40.9	25.0	11.4
		父子世帯のみ		8	37.5	50.0	12.5	-
	高 2	ふたり親世帯		339	22.7	47.8	24.5	5.0
		ひとり親世帯		71	39.4	38.0	16.9	5.6
		母子世帯のみ		62	37.1	38.7	17.7	6.5
		父子世帯のみ		4	25.0	50.0	25.0	-

## ○日本語以外の言語の使用頻度

ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまる番号1つに○)

ご家庭での日本語以外の言語の使用頻度について、「日本語のみを使用している」の割合は全体で97.4%、小学5年生が96.8%、中学2年生が98.3%、高校2年生が97.1%となっています。

図 日本語以外の言語の使用頻度

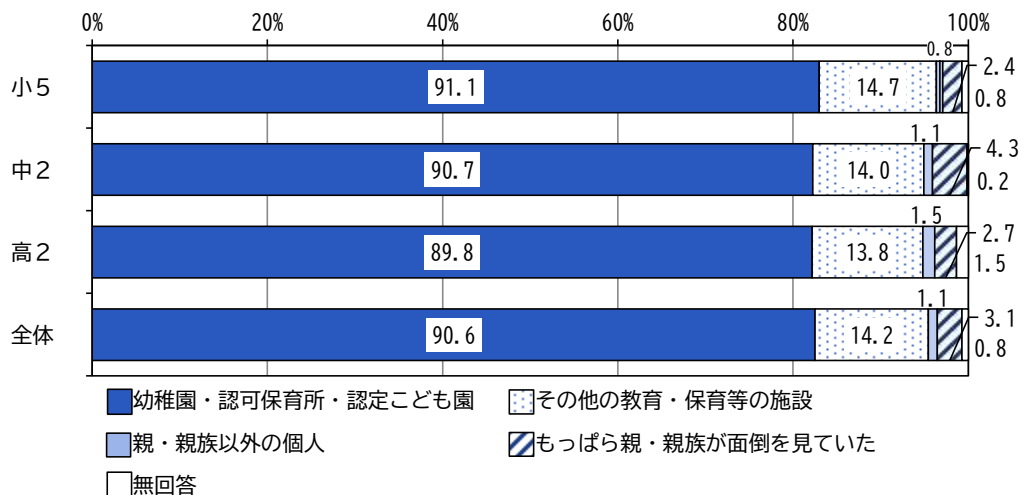


## ○小学校入学前に通ったことのある保育・教育機関等

お子さんが小学校入学前に通ったことのある保育・教育機関等をすべてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

お子さんが小学校入学前に通ったことのある保育・教育機関等について、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が、全体で90.6%、小学5年生が91.1%、中学2年生が90.7%、高校2年生が89.8%となっています。

図 小学校入学前に通ったことのある保育・教育機関等

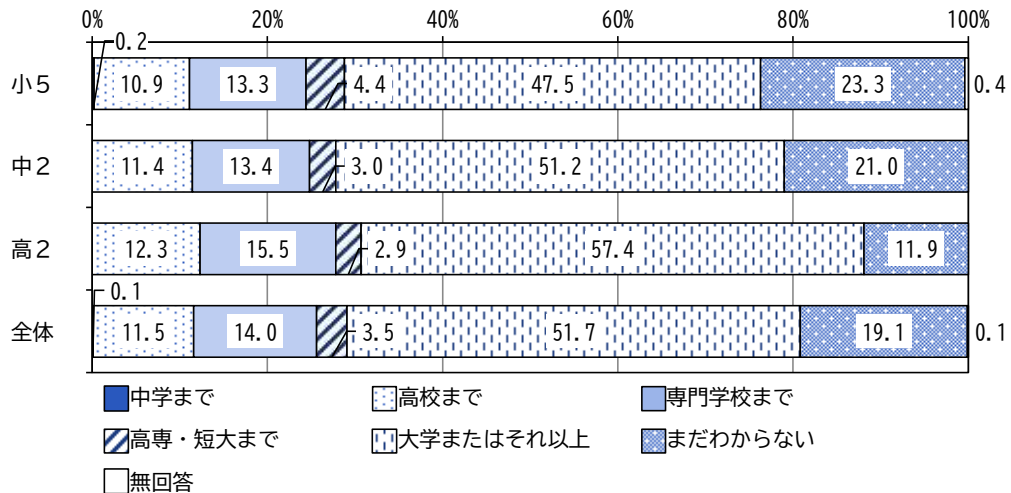


## ○お子さんの今後の教育

(1)お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)

お子さんの進学段階について、「大学またはそれ以上」の割合が、全体で51.7%となっており、学年別にみると小学5年生が47.5%、中学2年生が51.2%、高校2年生が57.4%と学年が上がるにつれ、多くなっています。

図 お子さんの進学段階



お子さんの進学段階について、学年別、生活困難状況別にみると、小学5年生、中学2年生の生活困難世帯を除くすべての世帯で、「大学またはそれ以上」の割合が最も多くなっています。

表 お子さんの進学段階【学年別、生活困難状況別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調査数	(1) 中学 まで	(2) 高校 まで	(3) 専 門 学 校 ま で	(4) 高 専 ・ 短 大 ま で	(5) そ れ 学 以 上 は	(6) ま だ わ か ら な い	無 回 答
生活 困 難 状 況	全 体	生活困難	373	0.3	22.0	20.6	3.2	27.9	25.7	0.3
		非生活困難	998	-	7.7	11.6	3.6	60.5	16.4	0.1
	小 5	生活困難	135	0.7	21.5	23.0	5.2	18.5	30.4	0.7
		非生活困難	366	-	7.1	9.8	4.1	58.2	20.5	0.3
	中 2	生活困難	112	-	25.0	15.2	1.8	26.8	31.3	-
		非生活困難	346	-	7.2	13.0	3.5	58.7	17.6	-
	高 2	生活困難	126	-	19.8	23.0	2.4	38.9	15.9	-
		非生活困難	286	-	9.1	12.2	3.1	65.7	9.8	-

お子さんの進学段階について、親の最終学歴別にみると、【母親】、【父親】ともに「大学またはそれ以上」と回答した方が多く、【母親】の『大学院卒』で82.8%、【父親】の『大学院卒』で80.0%と最も多くなっています。

表 お子さんの進学段階【全体、親の最終学歴別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
			調査 数	中 学 ま で	高 校 ま で	専 門 学 校 ま で	高 専 ・ 短 大 ま で	そ 大 学 以 上 は	ま だ わ か ら な い	無 回 答
			1位							
			2位							
最終学歴 【全体】	母親	中学卒	8	-	25.0	37.5	-	12.5	25.0	-
		高校中退	40	2.5	32.5	12.5	5.0	25.0	20.0	2.5
		高校卒	321	-	25.9	16.5	2.2	33.0	22.4	-
		専門学校卒	334	-	8.1	23.7	2.7	41.3	24.3	-
		高専・短大卒	303	-	5.0	9.2	5.9	61.4	18.5	-
		大学中退	13	-	-	30.8	-	53.8	15.4	-
		大学卒	309	-	4.2	6.1	3.6	73.8	12.0	0.3
		大学院卒	29	-	3.4	6.9	3.4	82.8	3.4	-
		わからない	3	-	-	-	-	33.3	66.7	-
		その他	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-
	父親	中学卒	42	-	28.6	21.4	2.4	19.0	28.6	-
		高校中退	50	2.0	18.0	24.0	4.0	28.0	24.0	-
		高校卒	421	-	17.3	17.3	4.5	38.7	21.6	0.5
		専門学校卒	211	-	8.5	18.0	4.7	42.7	26.1	-
		高専・短大卒	73	-	6.8	12.3	-	63.0	17.8	-
		大学中退	32	-	12.5	21.9	-	53.1	12.5	-
		大学卒	385	-	4.4	5.7	3.1	74.8	11.9	-
		大学院卒	60	-	3.3	1.7	1.7	80.0	13.3	-
		わからない	12	-	8.3	33.3	-	25.0	33.3	-
		その他	6	-	-	50.0	-	50.0	-	-

お子さんの進学段階について、小学5年生の親の最終学歴別にみると、【母親】、【父親】ともに「大学またはそれ以上」と回答した方が多く、【母親】の『大学院卒』で91.7%、【父親】の『大学院卒』で84.6%と最も多くなっています。

表 お子さんの進学段階【小学5年生、親の最終学歴別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
			調査 数	中 学 ま で	高 校 ま で	専 門 学 校 ま で	高 専 ・ 短 大 ま で	そ 大 学 以 上 は	ま だ わ か ら な い	無 回 答
			1位							
			2位							
最終学歴 【小5】	母親	中学卒	1	-	-	100.0	-	-	-	-
		高校中退	17	5.9	35.3	-	5.9	29.4	17.6	5.9
		高校卒	108	-	31.5	12.0	2.8	27.8	25.9	-
		専門学校卒	134	-	6.7	23.9	3.7	32.8	32.8	-
		高専・短大卒	89	-	1.1	11.2	6.7	57.3	23.6	-
		大学中退	8	-	-	25.0	-	50.0	25.0	-
		大学卒	131	-	2.3	6.9	5.3	70.2	14.5	0.8
		大学院卒	12	-	8.3	-	-	91.7	-	-
		わからない	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	父親	中学卒	14	-	35.7	7.1	7.1	14.3	35.7	-
		高校中退	21	4.8	19.0	19.0	4.8	19.0	33.3	-
		高校卒	145	-	19.3	18.6	6.9	25.5	28.3	1.4
		専門学校卒	79	-	2.5	12.7	3.8	51.9	29.1	-
		高専・短大卒	24	-	4.2	20.8	-	50.0	25.0	-
		大学中退	9	-	11.1	33.3	-	33.3	22.2	-
		大学卒	145	-	2.8	5.5	3.4	73.1	15.2	-
		大学院卒	26	-	7.7	-	-	84.6	7.7	-
		わからない	5	-	20.0	40.0	-	-	40.0	-
		その他	1	-	-	-	-	100.0	-	-

お子さんの進学段階について、中学2年生の親の最終学歴別にみると、【母親】の『大学卒』では「大学またはそれ以上」74.8%、【父親】の『大学院卒』では「大学またはそれ以上」73.9%となっています。

表 お子さんの進学段階【中学2年生、親の最終学歴別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調査数	(1) 中学まで	(2) 高校まで	(3) 専門学校まで	(4) 高専・短大まで	(5) それ以上または	(6) まだわからない	無回答
最終学歴 【中2】	母親	中学卒	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-
		高校中退	10	-	30.0	10.0	10.0	20.0	30.0	-
		高校卒	100	-	25.0	21.0	2.0	25.0	27.0	-
		専門学校卒	110	-	8.2	20.0	1.8	48.2	21.8	-
		高専・短大卒	110	-	6.4	7.3	5.5	58.2	22.7	-
		大学中退	1	-	-	-	-	100.0	-	-
		大学卒	111	-	4.5	6.3	1.8	74.8	12.6	-
		大学院卒	10	-	-	20.0	10.0	60.0	10.0	-
		わからない	2	-	-	-	-	-	100.0	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	父親	中学卒	12	-	25.0	33.3	-	16.7	25.0	-
		高校中退	13	-	15.4	30.8	-	30.8	23.1	-
		高校卒	135	-	15.6	17.0	3.7	41.5	22.2	-
		専門学校卒	80	-	10.0	17.5	3.8	38.8	30.0	-
		高専・短大卒	27	-	14.8	11.1	-	55.6	18.5	-
		大学中退	12	-	16.7	33.3	-	41.7	8.3	-
		大学卒	130	-	5.4	4.6	3.8	73.1	13.1	-
		大学院卒	23	-	-	4.3	4.3	73.9	17.4	-
		わからない	3	-	-	-	-	66.7	33.3	-
		その他	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-

お子さんの進学段階について、高校2年生の親の最終学歴別にみると、【母親】の『大学卒』では「大学またはそれ以上」79.1%、【父親】の『高専・短大卒』では「大学またはそれ以上」86.4%となっています。

表 お子さんの進学段階【高校2年生、親の最終学歴別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調査数	(1) 中学まで	(2) 高校まで	(3) 専門学校まで	(4) 高専・短大まで	(5) それ以上または	(6) まだわからない	無回答
最終学歴 【高2】	母親	中学卒	5	-	20.0	20.0	-	20.0	40.0	-
		高校中退	13	-	30.8	30.8	-	23.1	15.4	-
		高校卒	113	-	21.2	16.8	1.8	45.1	15.0	-
		専門学校卒	90	-	10.0	27.8	2.2	45.6	14.4	-
		高専・短大卒	104	-	6.7	9.6	5.8	68.3	9.6	-
		大学中退	4	-	-	50.0	-	50.0	-	-
		大学卒	67	-	7.5	4.5	3.0	79.1	6.0	-
		大学院卒	7	-	-	-	-	100.0	-	-
		わからない	1	-	-	-	-	100.0	-	-
		その他	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-
	父親	中学卒	16	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-
		高校中退	16	-	18.8	25.0	6.3	37.5	12.5	-
		高校卒	141	-	17.0	16.3	2.8	49.6	14.2	-
		専門学校卒	52	-	15.4	26.9	7.7	34.6	15.4	-
		高専・短大卒	22	-	-	4.5	-	86.4	9.1	-
		大学中退	11	-	9.1	-	-	81.8	9.1	-
		大学卒	110	-	5.5	7.3	1.8	79.1	6.4	-
		大学院卒	11	-	-	-	-	81.8	18.2	-
		わからない	4	-	-	50.0	-	25.0	25.0	-
		その他	3	-	-	66.7	-	33.3	-	-

学年別、子どもの人数別にみると、「大学またはそれ以上」と回答した方の割合が多くなっています。小学5年生では、子どもの人数が4人以上の世帯で「まだわからない」と回答した割合が36.4%、高校生2年生では子どもの人数が4人以上の世帯で「専門学校まで」と回答した割合が33.3%と最も多くなっています。

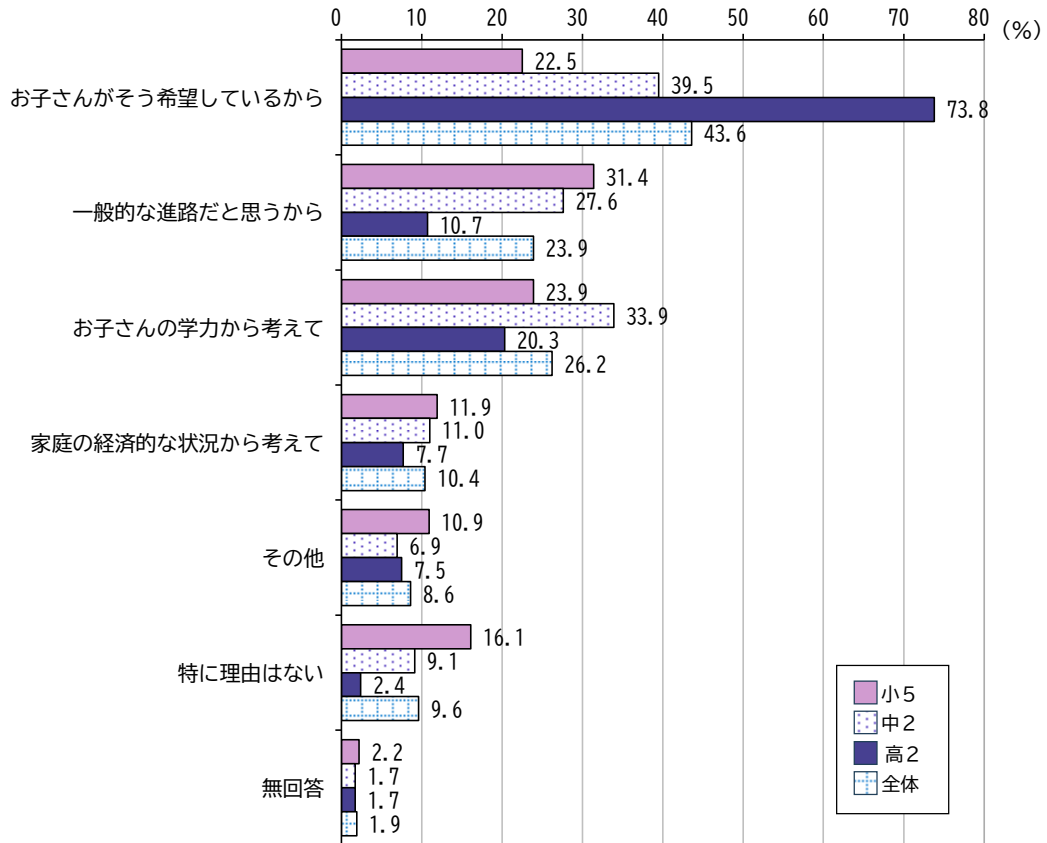
表 お子さんの進学段階【学年別、子どもの人数別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調査数	(1) 中学まで	(2) 高校まで	(3) 専門学校まで	(4) 高専・短大まで	(5) それ以上または	(6) まだわからない	無回答
子どもの人数	全体	1人	301	0.3	13.6	15.0	3.7	51.8	15.0	0.7
		2人	617	-	10.0	11.5	2.3	57.4	18.8	-
		3人	366	-	10.4	15.6	4.9	47.8	21.3	-
		4人以上	95	-	18.9	21.1	5.3	29.5	25.3	-
	小5	1人	105	1.0	12.4	16.2	5.7	45.7	17.1	1.9
		2人	219	-	9.6	10.0	3.2	52.5	24.7	-
		3人	146	-	11.6	16.4	4.1	45.2	22.6	-
		4人以上	33	-	12.1	12.1	9.1	30.3	36.4	-
	中2	1人	89	-	11.2	13.5	2.2	53.9	19.1	-
		2人	208	-	10.1	10.6	1.9	59.1	18.3	-
		3人	125	-	10.4	15.2	4.8	43.2	26.4	-
		4人以上	41	-	22.0	22.0	4.9	29.3	22.0	-
	高2	1人	107	-	16.8	15.0	2.8	56.1	9.3	-
		2人	190	-	10.5	14.2	1.6	61.1	12.6	-
		3人	95	-	8.4	14.7	6.3	57.9	12.6	-
		4人以上	21	-	23.8	33.3	-	28.6	14.3	-

(2) (1)で答えたように考えるのはなぜですか。(1～5については、あてはまる番号すべてに○)

進学段階をそのように考える理由について、小学5年生では「一般的な進路だと思うから」(31.4%)、中学2年生、高校2年生では「お子さんがそう希望しているから」がそれぞれ39.5%、73.8%と最も多くなっています。

図 進学段階の理由



進学段階をそのように考える理由について、学年別、生活困難状況別にみると、小学5年生の『非生活困難世帯』では「一般的な進路だから」と回答した割合が34.2%と最も多くなっています。また、中学2年生の『生活困難』では「お子さんの学力から考えて」と回答した割合が38.4%と最も多くなっています。

表 進学段階の理由【学年別、生活困難状況別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調査数	(1) お子さんが希望しているから	(2) 一般的な進路だと思うから	(3) お子さんの学力から考えて	(4) 家庭の経済的な状況から考えて	(5) その他	(6) 特に理由はない	無回答
生活困難状況	全体	生活困難	373	36.5	14.7	26.8	20.9	8.6	11.3	3.2
		非生活困難	998	46.5	27.3	26.1	6.5	8.4	9.0	1.4
	小5	生活困難	135	18.5	23.7	24.4	23.7	8.1	19.3	4.4
		非生活困難	366	24.0	34.2	23.8	7.7	11.7	15.0	1.4
	中2	生活困難	112	28.6	13.4	38.4	25.0	8.9	11.6	1.8
		非生活困難	346	43.4	32.1	32.7	6.6	6.4	8.1	1.7
	高2	生活困難	126	62.7	6.3	19.0	14.3	8.7	2.4	3.2
		非生活困難	286	79.0	12.6	21.0	4.9	6.6	2.4	1.0

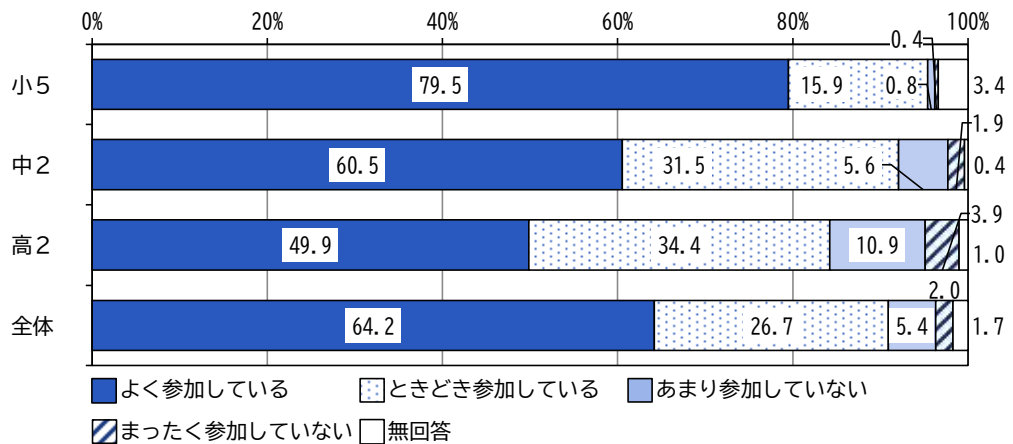
## ○学校行事、ボランティア等の参加頻度

あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a,b それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

### (a)授業参観や運動会などの学校行事への参加

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、「よく参加している」、「ときどき参加している」と回答した割合は、全体で90.9%となっており、学年別にみると、小学5年生が95.4%、中学2年生が92.0%、高校2年生が84.3%と学年が上がるにつれ、割合が低くなっています。

図 授業参観や運動会などの学校行事への参加



授業参観や運動会などの学校行事への参加について、学年別、生活困難状況別にみると、すべての世帯で「よく参加している」と「ときどき参加している」と回答した割合が8割を超えています。

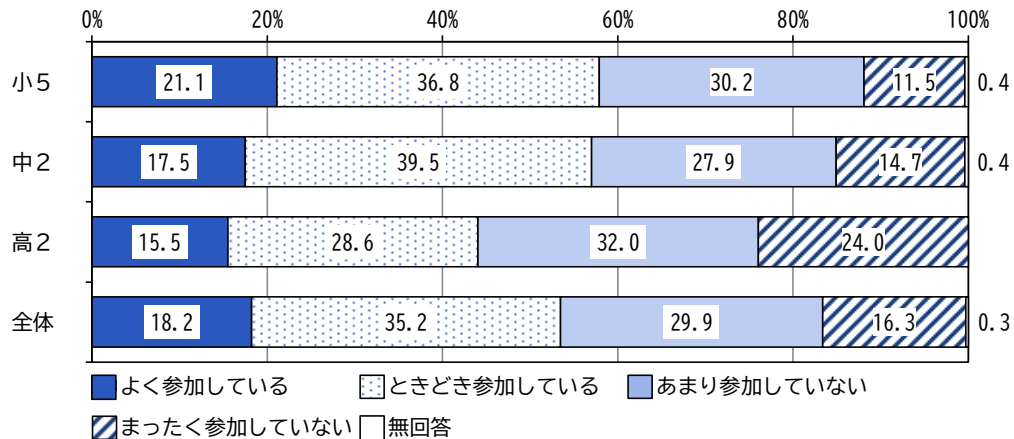
表 授業参観や運動会などの学校行事への参加【学年別、生活困難状況別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調 査 数	(1) る よ く 参 加 し て い	(2) て と き ど き 参 加 し	(3) い あ ま り 参 加 し て	(4) て ま っ た く 参 加 し	無 回 答
生 活 困 難 状 況	全 体	生活困難	373	60.1	28.7	6.2	4.3	0.8
		非生活困難	998	65.7	26.0	5.2	1.1	2.0
	小 5	生活困難	135	76.3	20.7	0.7	0.7	1.5
		非生活困難	366	80.6	14.2	0.8	0.3	4.1
	中 2	生活困難	112	57.1	29.5	8.0	5.4	-
		非生活困難	346	61.3	32.4	4.9	0.9	0.6
	高 2	生活困難	126	45.2	36.5	10.3	7.1	0.8
		非生活困難	286	52.1	33.2	11.2	2.4	1.0

(b) P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、「よく参加している」、「ときどき参加している」と回答した割合は、全体で53.4%となっており、学年別にみると小学5年生が57.9%、中学2年生が57.0%、高校2年生が44.1%と学年が上がるにつれ、割合が低くなっています。

図 P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加



P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、学年別、生活困難状況別にみると、高校2年生の生活困難世帯では「まったく参加していない」と回答した割合が最も高く、33.3%となっています。

表 P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加【学年別、生活困難状況別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調 査 数	(1) る よ く 参 加 し て い	(2) て と い き る ど き 参 加 し	(3) い あ ま り 参 加 し て	(4) て ま い っ た く 参 加 し	無 回 答
1位								
2位								
生 活 困 難 状 況	全 体	生活困難	373	15.5	32.2	30.3	21.7	0.3
		非生活困難	998	19.3	36.4	29.8	14.2	0.3
	小 5	生活困難	135	22.2	31.9	31.9	13.3	0.7
		非生活困難	366	20.8	38.5	29.5	10.9	0.3
	中 2	生活困難	112	11.6	41.1	28.6	18.8	-
		非生活困難	346	19.7	39.0	27.7	13.0	0.6
	高 2	生活困難	126	11.9	24.6	30.2	33.3	-
		非生活困難	286	17.1	30.4	32.5	19.9	-

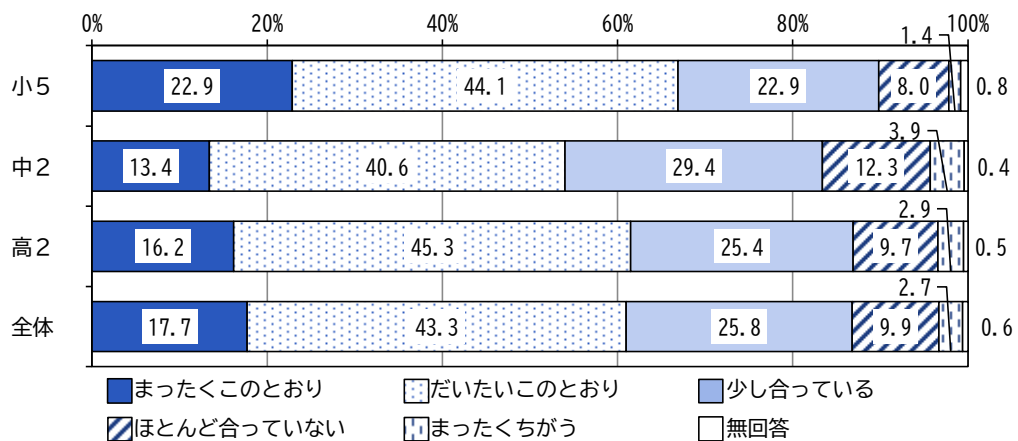
## ○過去1か月の間のお子さんの様子

過去1か月の間のお子さんの様子について、それぞれの項目で最も近いと思うものを選んでください。  
(それぞれあてはまる番号1つに○)

### (1)将来について、明るい面を言うことができる

『将来について、明るい面を言うことができる』について、「まったくこのとおり」、「だいたいこのとおり」、「少し合っている」と回答した割合は、小学5年生が89.9%、中学2年生が83.4%、高校2年生が86.9%となっています。

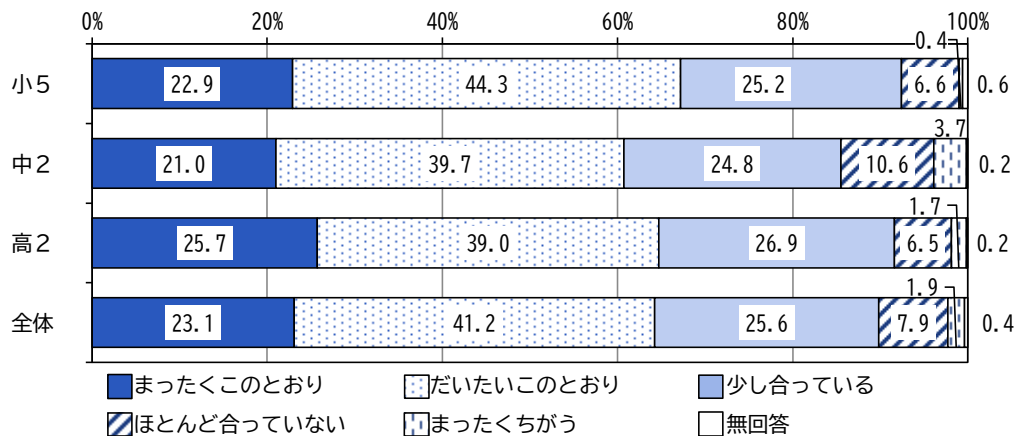
図 将来について、明るい面を言うことができる



### (2)自分のベストを尽くそうとする

『自分のベストを尽くそうとする』について、「まったくこのとおり」、「だいたいこのとおり」、「少し合っている」と回答した割合は、小学5年生が92.4%、中学2年生が85.5%、高校2年生が91.6%となっています。

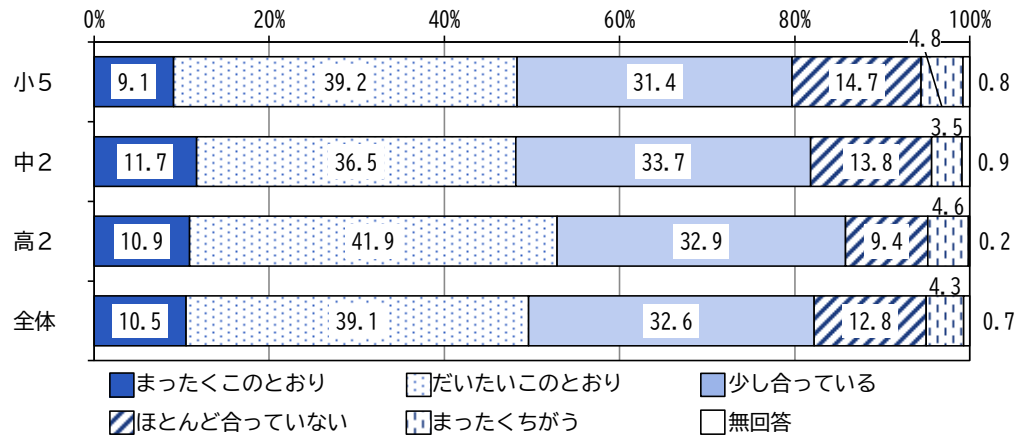
図 自分のベストを尽くそうとする



### (3)馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる

『馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる』について、「まったくこのとおり」、「だいたいこのとおり」、「少し合っている」と回答した割合は、すべての学年で約8割を占めています。

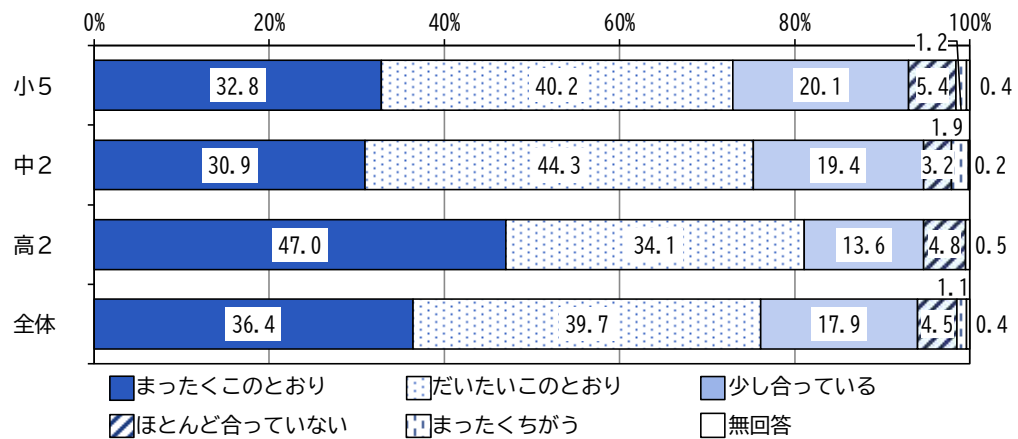
図 馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる



### (4)他人にきちんと挨拶することができる

『他人にきちんと挨拶することができる』について、「まったくこのとおり」、「だいたいこのとおり」、「少し合っている」と回答した割合は、すべての学年で9割を超えています。

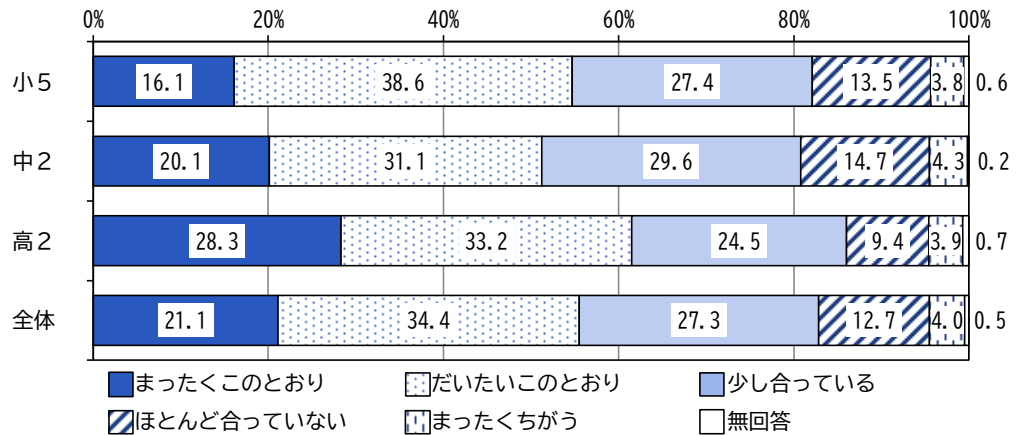
図 他人にきちんと挨拶することができる



### (5)大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる

『大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる』について、「まったくこのとおり」、「だいたいこのとおり」、「少し合っている」と回答した割合は、すべての学年で8割を超えており、高校2年生は86.0%と最も多くなっています。

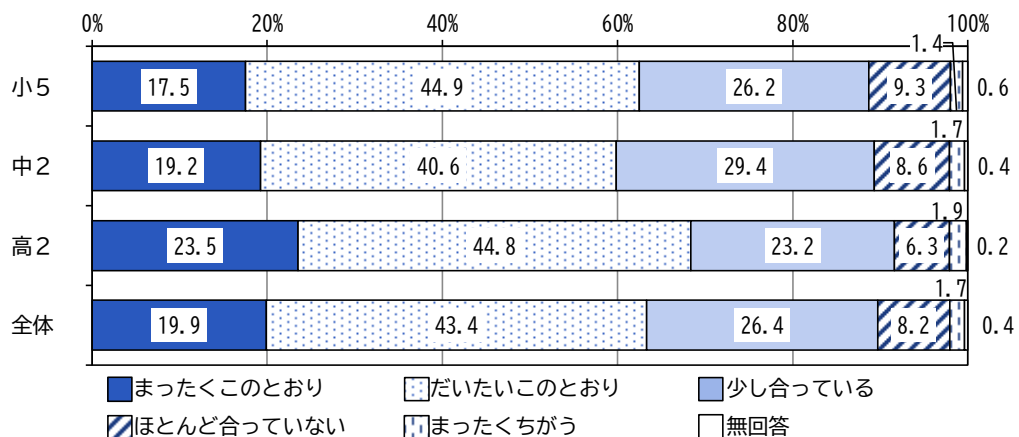
図 大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる



### (6)必要な時には適切にアドバイスを求めることができる

『必要な時には適切にアドバイスを求めることができる』について、「まったくこのとおり」、「だいたいこのとおり」、「少し合っている」と回答した割合は、すべての学年で約9割を占めており、高校2年生では91.5%となっています。

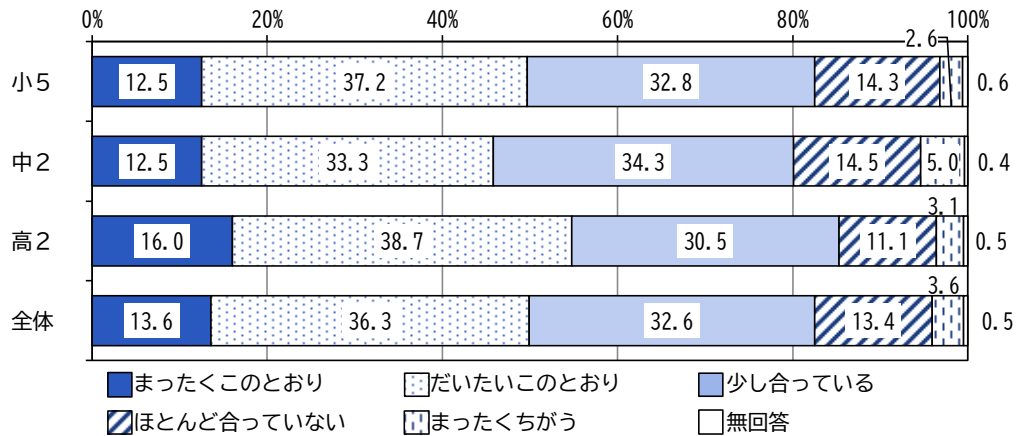
図 必要な時には適切にアドバイスを求めることができる



### (7)将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる

『将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる』について、「まったくこのとおり」、「だいたいこのとおり」、「少し合っている」と回答した割合は、小学5年生が82.5%、中学2年生が80.1%、高校2年生が85.2%となっています。

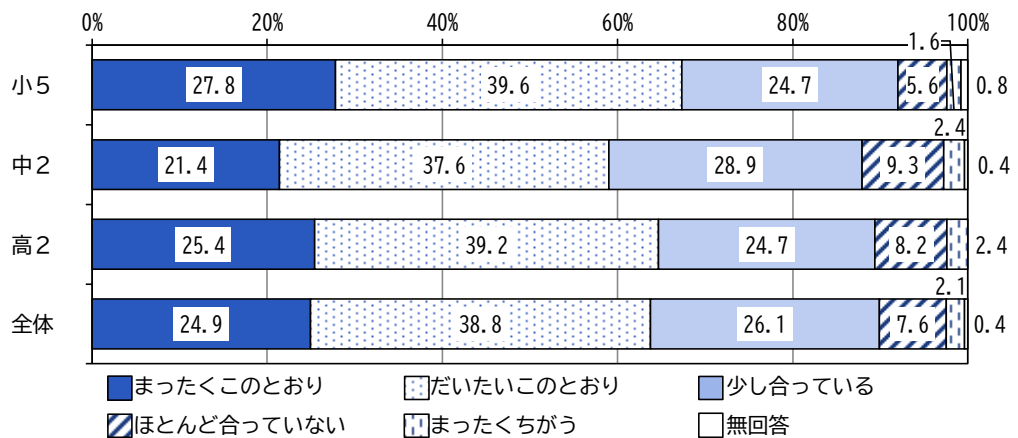
図 将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる



### (8)自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる

『自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる』について、「まったくこのとおり」、「だいたいこのとおり」、「少し合っている」と回答した割合は、すべての学年で8割を超えています。

図 自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる



### ◆レジリエンス（逆行を乗り越える力）

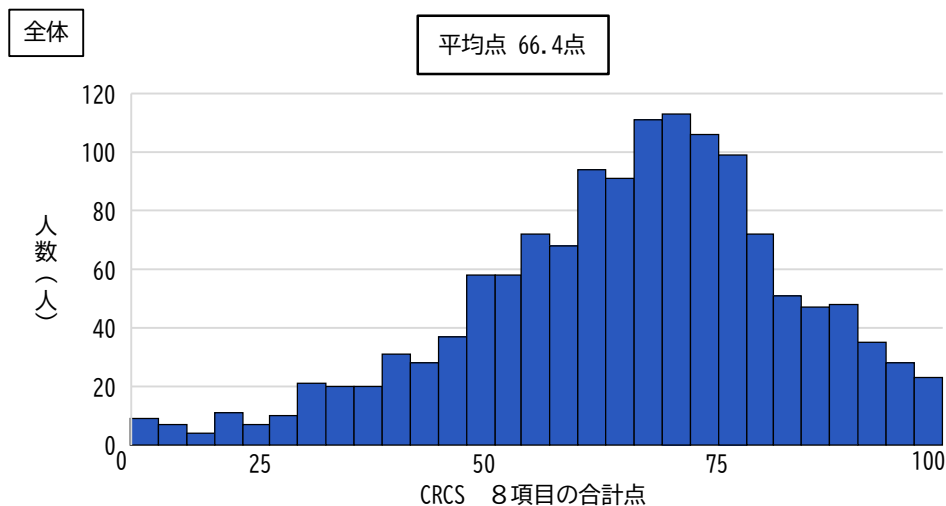
※小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者を対象に、「Children's Resilient Coping Scase(CRCS)」の上記(1)～(8)の8項目を用いて、各項目の回答を0～4点(各項目について、「まったくこのとおり」4点、「だいたいこのとおり」3点、「少し合っている」2点、「ほとんど合っていない」1点、「まったくちがう」0点とする)に換算。なお、合計点を100点満点に換算するため、 $[(\text{合計点} - 8) * 100 / 32]$ の計算を行っている。

高得点ほどレジリエンス(逆境を乗り越える力)が高い。

#### 【項目】

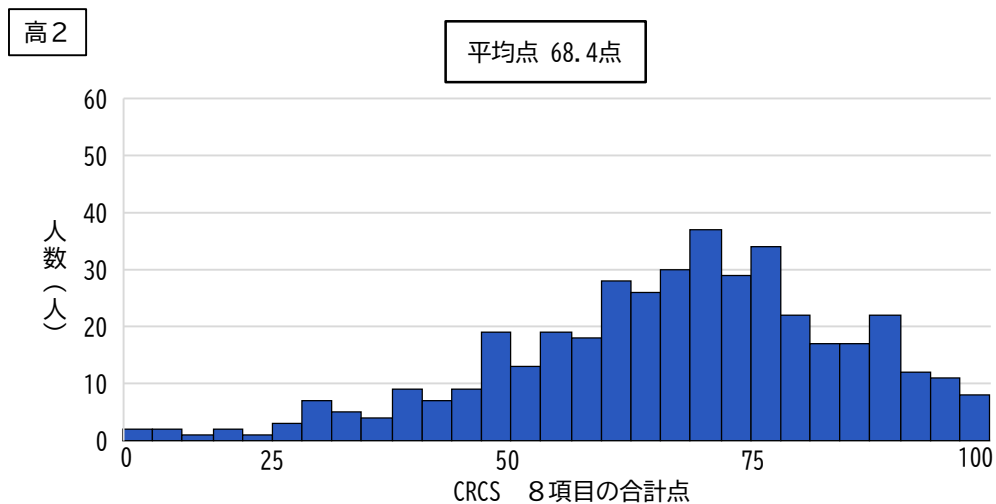
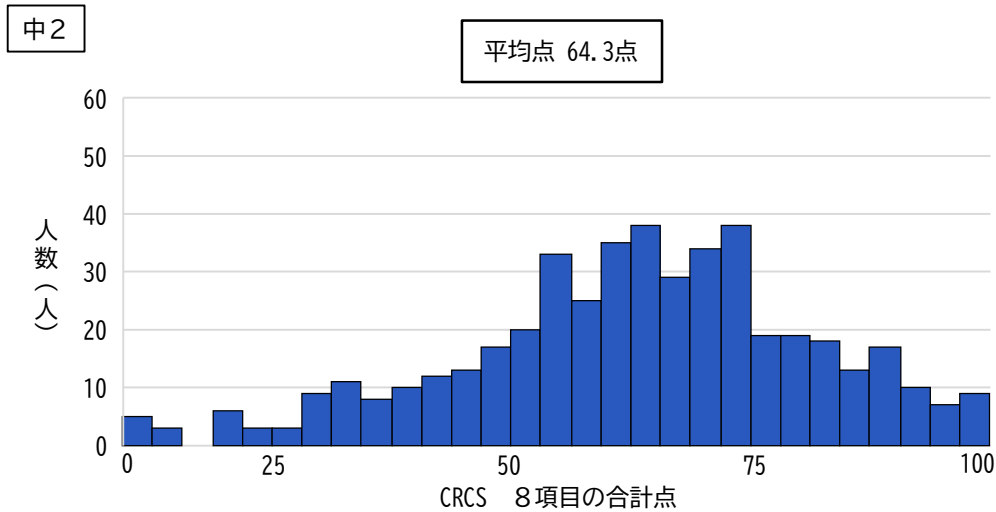
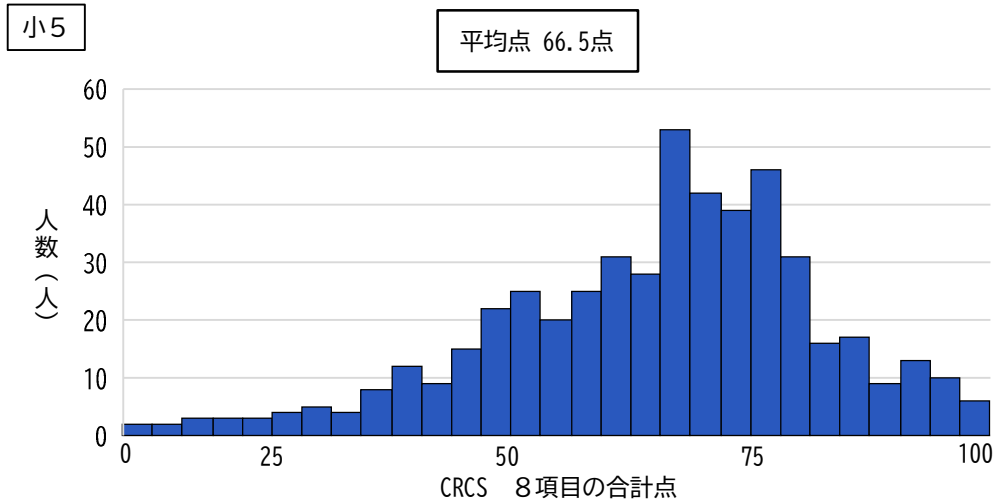
- ・将来について明るい面を言うことができる
- ・自分のベストを尽くそうとする
- ・馬鹿にされたり、悪口を言われてもうまく対処することができる
- ・大人が指示なくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる
- ・必要な時には適切にアドバイスを求めることができる
- ・将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる
- ・自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる

全体の平均点は、66.4点となっています。



### 【学年別】

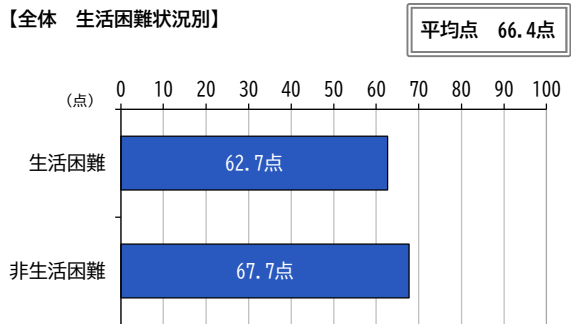
平均点は、小学5年生が66.5点、中学2年生が64.3点、高校2年生が68.4点となっており、高校2年生のレジリエンスの平均点が最も高くなっています。



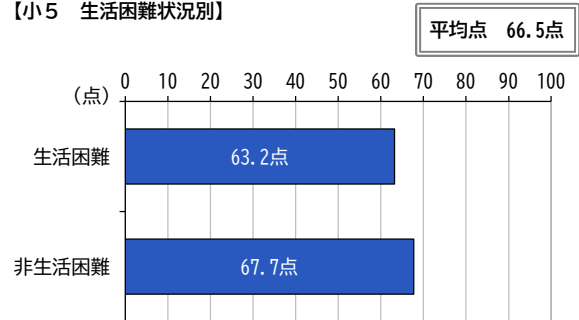
### 【生活困難状況別】

小学5年生の生活困難状況別の平均点は、生活困難 63.2 点、非生活困難 67.7 点、中学2年生は、生活困難 57.8 点、非生活困難 66.4 点、高校2年生は、生活困難 66.4 点、非生活困難 69.5 点となっています。

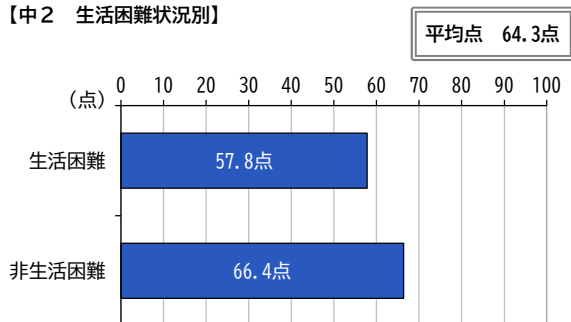
【全体 生活困難状況別】



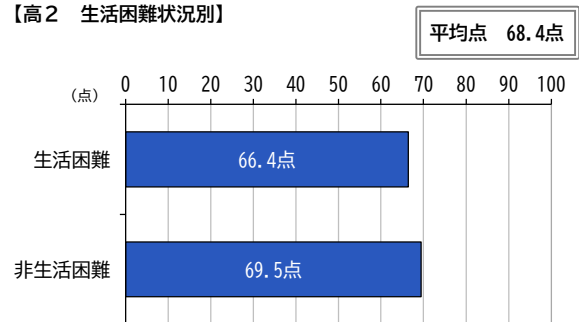
【小5 生活困難状況別】



【中2 生活困難状況別】



【高2 生活困難状況別】



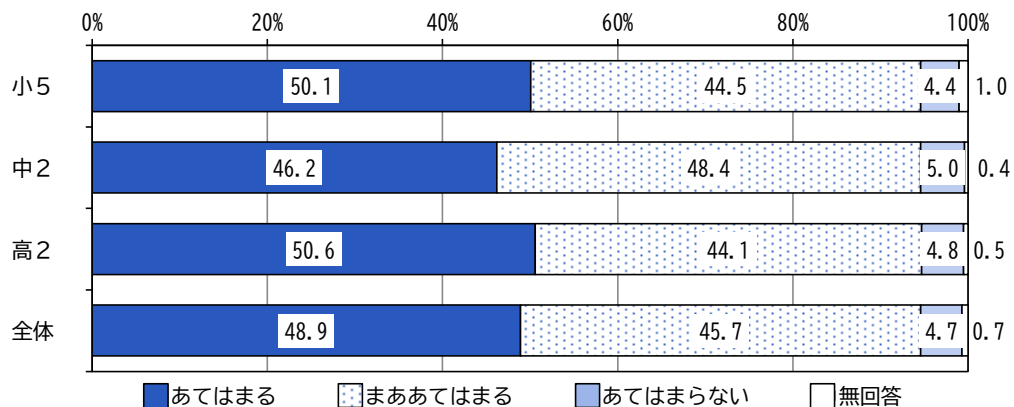
## ○お子さんのここ半年くらいの行動

あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について、それぞれの項目で最も近いと思うものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○) 答えに自信がなくても、すべての質問に教えてください。

### (1)他人の気持ちをよく気づかう

『他人の気持ちをよく気づかう』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合は、すべての学年で約9割を占めており、小学5年生が94.6%、中学2年生が94.6%、高校2年生が94.7%となっています。

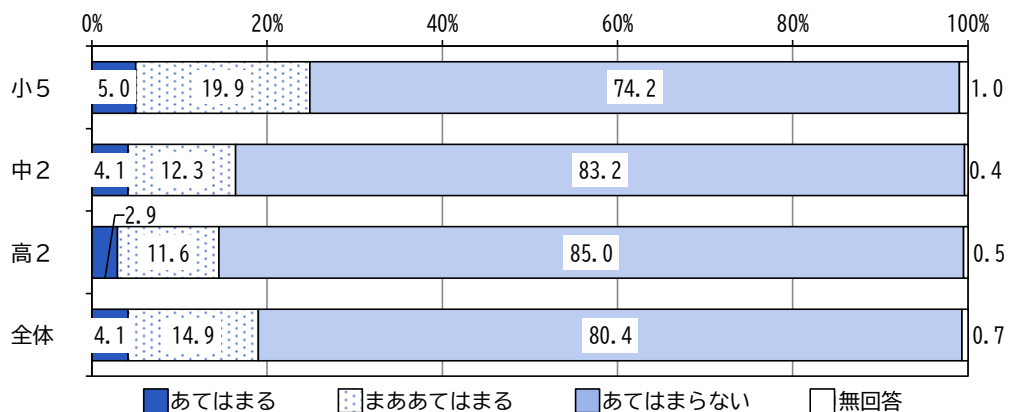
図 他人の気持ちをよく気づかう



### (2)おちつきがなく、長い間じっとしてられない

『おちつきがなく、長い間じっとしてられない』について、「あてはまらない」と回答した割合が7割以上と最も多くなっています。一方で、小学5年生では「あてはまる」、「まああてはまる」の割合が24.9%と他の学年より多くなっています。

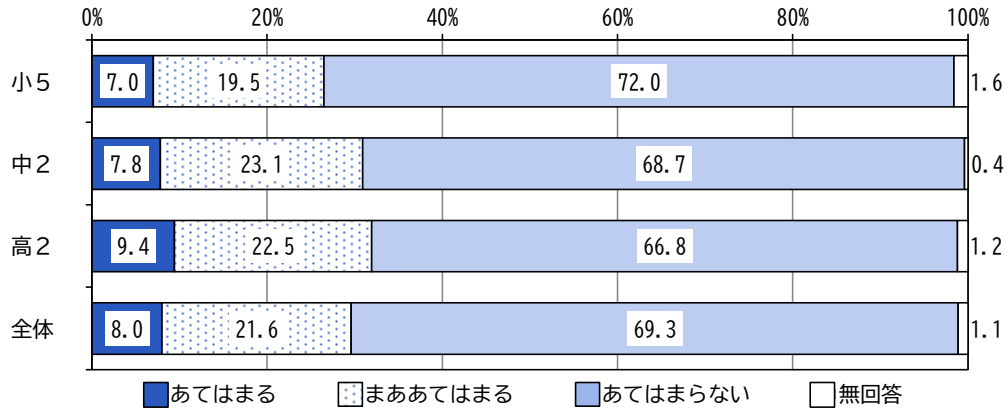
図 おちつきがなく、長い間じっとしてられない



### (3)頭が痛い、おなかが痛い、きもちが悪いなどと、よく訴える

『頭が痛い、おなかが痛い、きもちが悪いなどと、よく訴える』について、「あてはまらない」と回答した割合が、すべての学年で約7割と最も多くなっています。

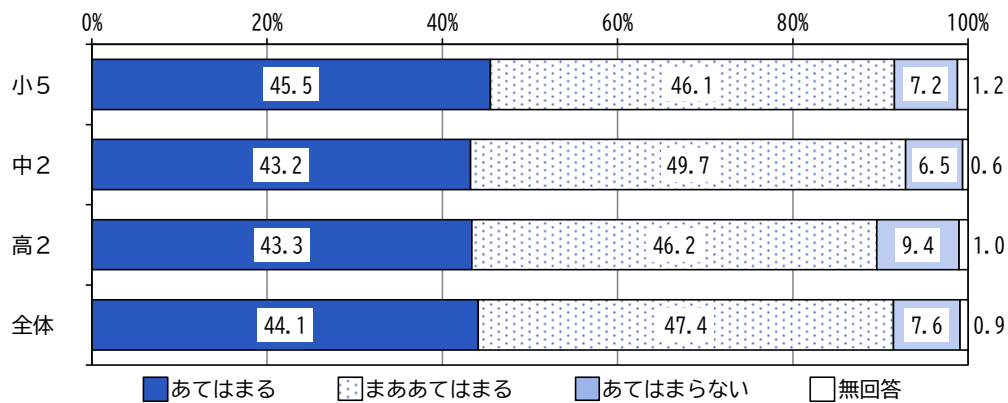
図 頭が痛い、おなかが痛い、きもちが悪いなどと、よく訴える



### (4)他の子どもたちと、よく分け合う（お菓子等）

『他の子どもたちと、よく分け合う（お菓子等）』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、すべての学年で約9割となっています。

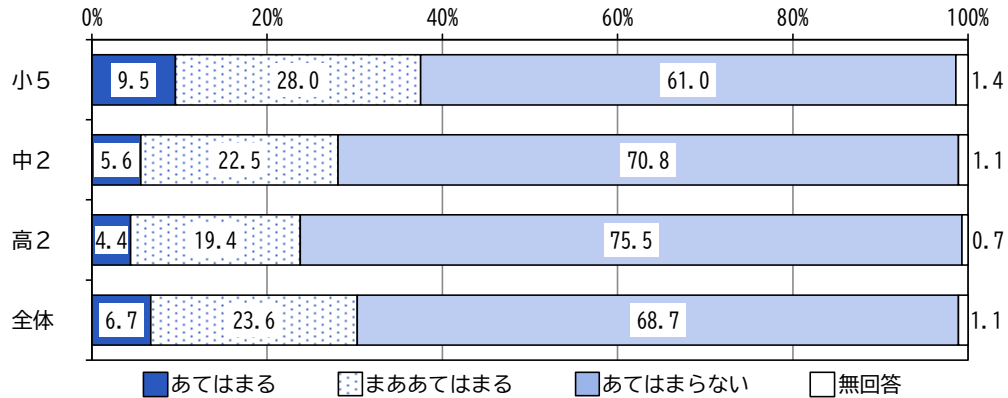
図 他の子どもたちと、よく分け合う（お菓子等）



### (5) カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある

『カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合は、小学5年生が37.5%、中学2年生が28.1%、高校2年生が23.8%となっており、学年が上がるにつれ、減少しています。

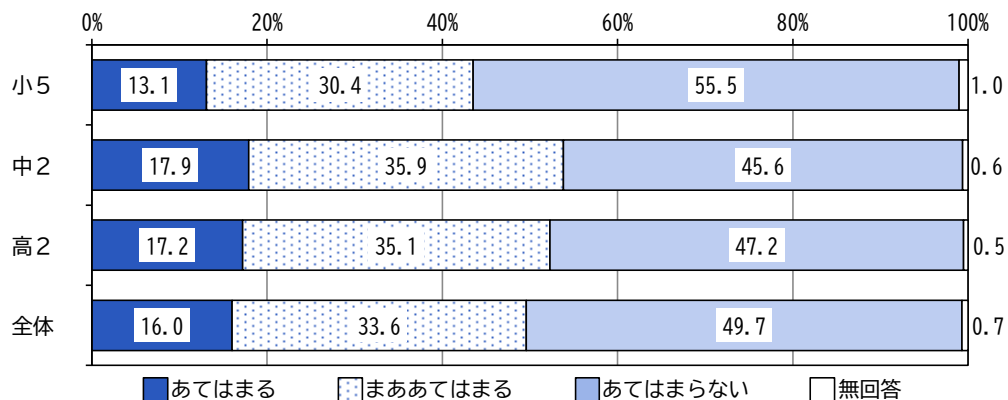
図 カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある



### (6) 一人でのいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い

『一人でのいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合は、小学5年生が43.5%、中学2年生が53.8%、高校2年生が52.3%となっています。

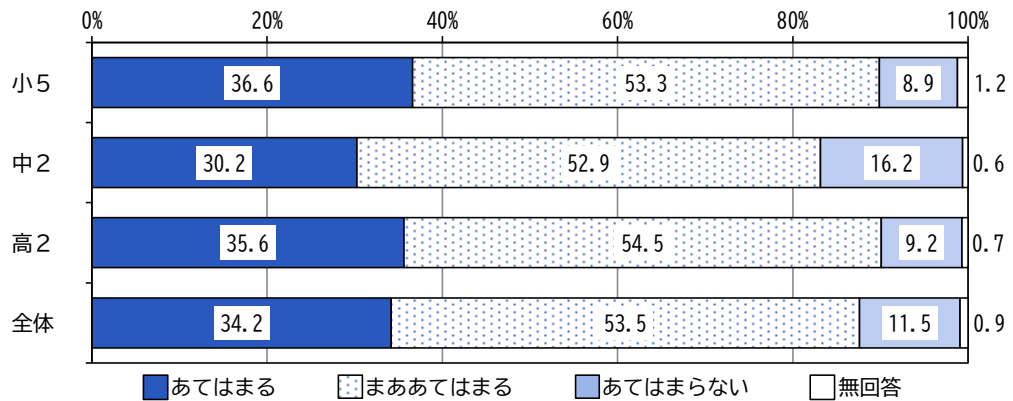
図 一人でのいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い



### (7)素直で、だいたい大人のいうことをよく聞く

『素直で、だいたい大人のいうことをよく聞く』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合がすべての学年で8割を超えています。一方で、「あてはまらない」と回答した割合が中学2年生で16.2%と他の学年より多くなっています。

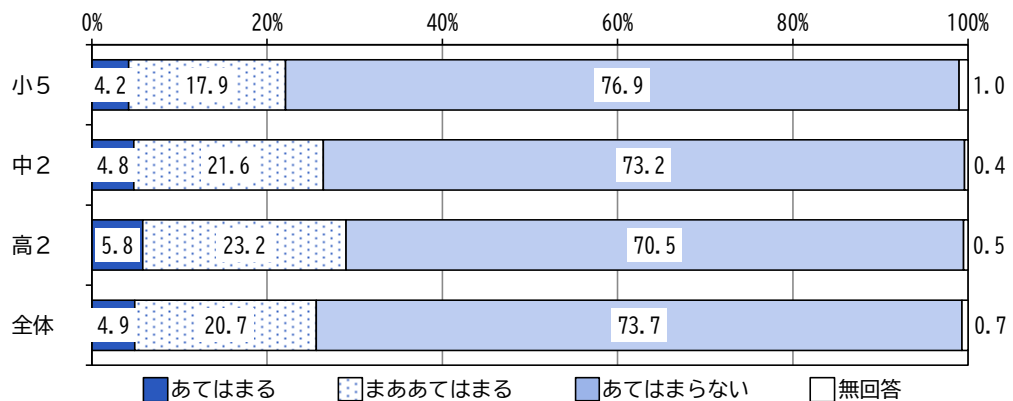
図 素直で、だいたい大人のいうことをよく聞く



### (8)心配ごとが多く、いつも不安なようだ

『心配ごとが多く、いつも不安なようだ』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合は、小学5年生が22.1%、中学2年生が26.4%、高校2年生が29.0%となっており、学年が上がるにつれ、増加しています。

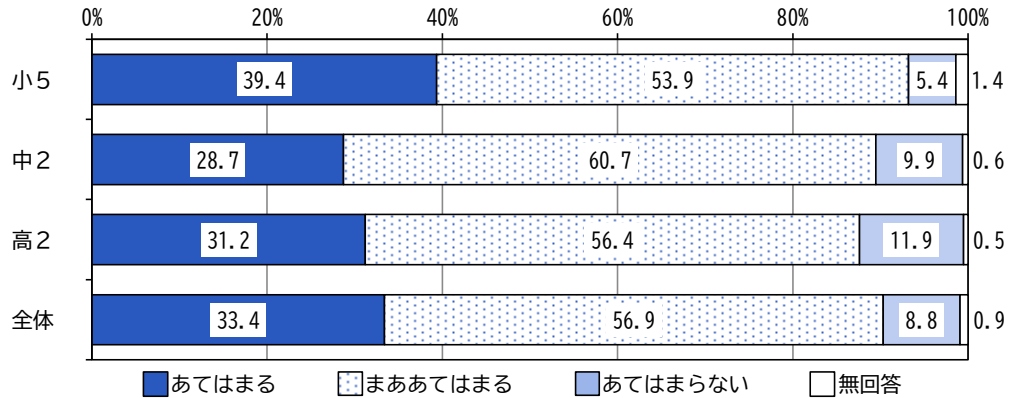
図 心配ごとが多く、いつも不安なようだ



(9)誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける

『誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合がすべての学年で8割を超えています。

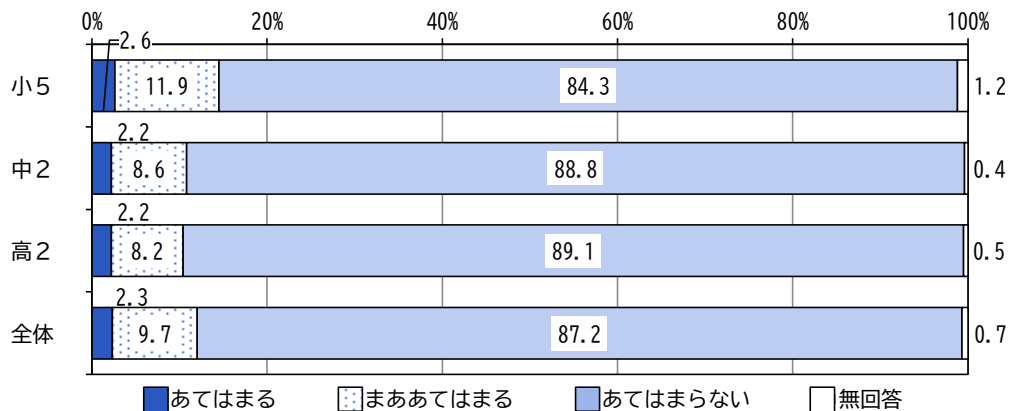
図 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける



(10)いつもそわそわしたり、もじもじしている

『いつもそわそわしたり、もじもじしている』について、「あてはまらない」と回答した割合がすべての学年で8割を超えており、高校2年生が89.1%と多くなっています。

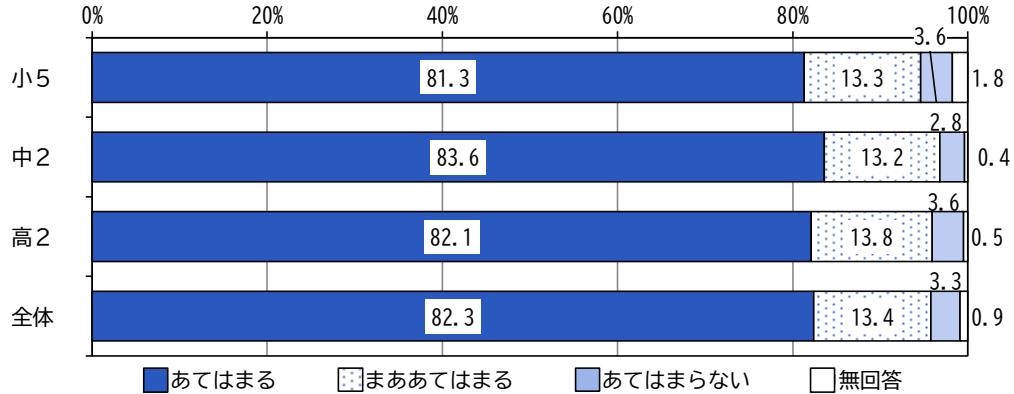
図 いつもそわそわしたり、もじもじしている



### (11) 仲のよい友だちが少なくとも一人はいる

『仲のよい友だちが少なくとも一人はいる』について、「あてはまる」と回答した割合は、小学5年生が81.3%、中学2年生が83.6%、高校2年生が82.1%と最も多くなっています。

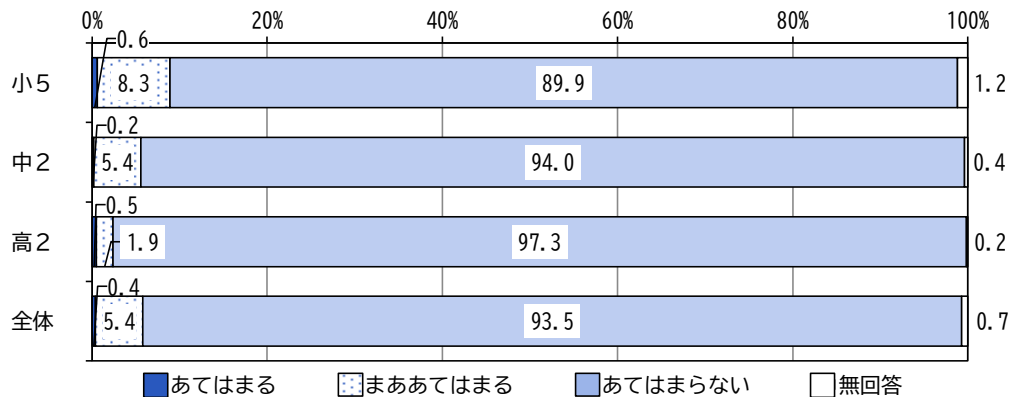
図 仲のよい友だちが少なくとも一人はいる



### (12) よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする

『よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生で8.9%、中学2年生で5.6%、高校2年生で2.4%となっており、学年が上がるにつれ、減少しています。

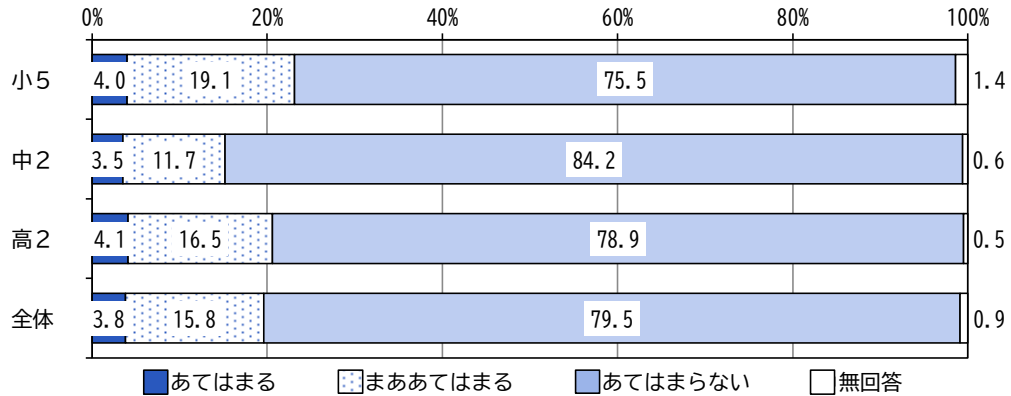
図 よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする



### (13)おちこんでしずんでいたたり、涙ぐんでいたたりすることがよくある

『おちこんでしずんでいたたり、涙ぐんでいたたりすることがよくある』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生で23.1%、中学2年生で15.2%、高校2年生で20.6%となっています。

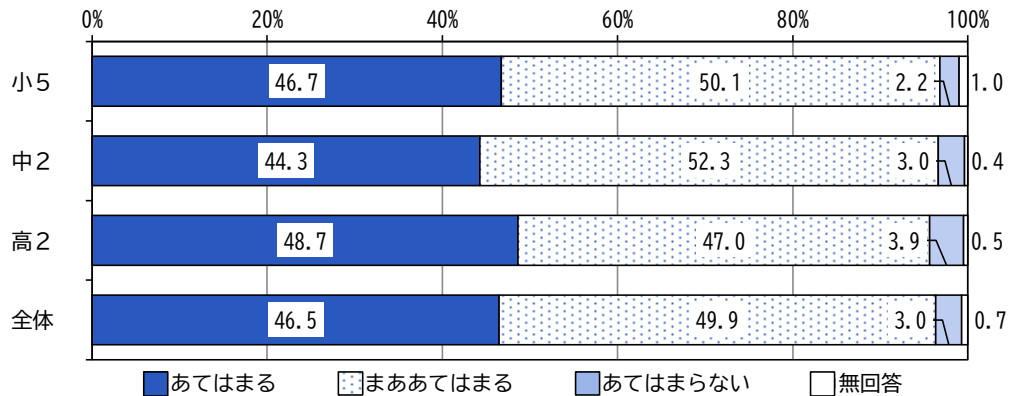
図 おちこんでしずんでいたたり、涙ぐんでいたたりすることがよくある



### (14)他の子どもたちから、だいたいはおかれています

『他の子どもたちから、だいたいはおかれています』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合がすべての学年で9割以上となっています。

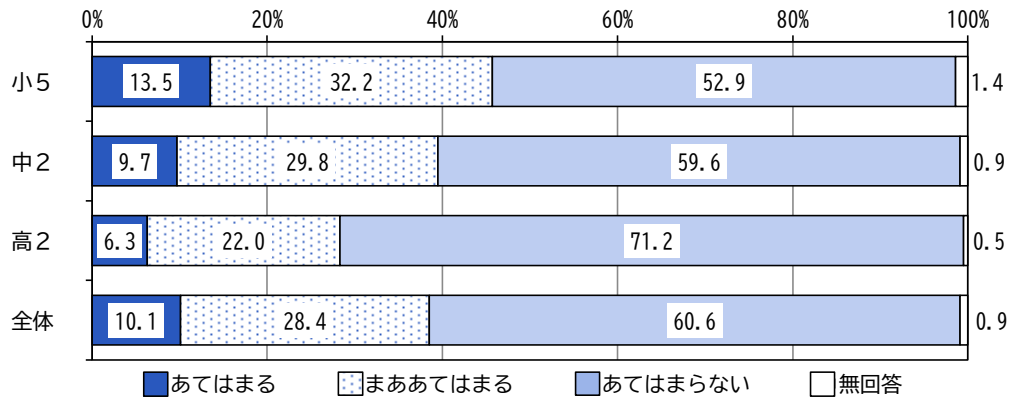
図 他の子どもたちから、だいたいはおかれています



### (15)すぐに気が散りやすく、注意を集中できない

『すぐに気が散りやすく、注意を集中できない』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生で45.7%、中学2年生で39.5%、高校2年生で28.3%となっており、学年が上がるにつれ、減少しています。

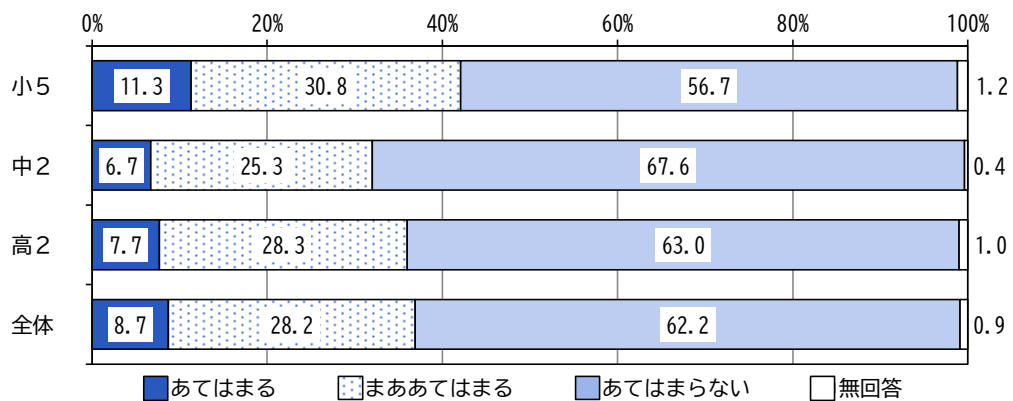
図 すぐに気が散りやすく、注意を集中できない



### (16)目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす

『目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす』について「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生で42.1%、中学2年生で32.0%、高校2年生で36.0%となっています。

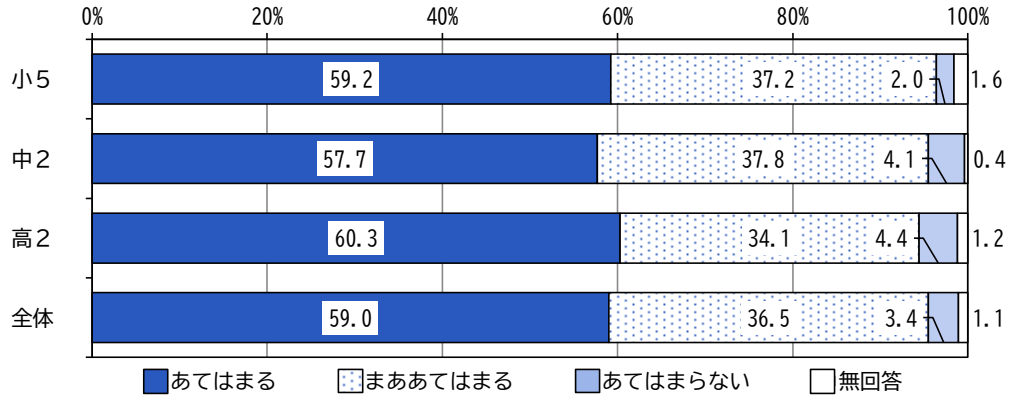
図 目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす



### (17)年下の子どもたちに対してやさしい

『年下の子どもたちに対してやさしい』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、すべての学年で9割を超えており、小学5年生では96.4%と多くなっています。

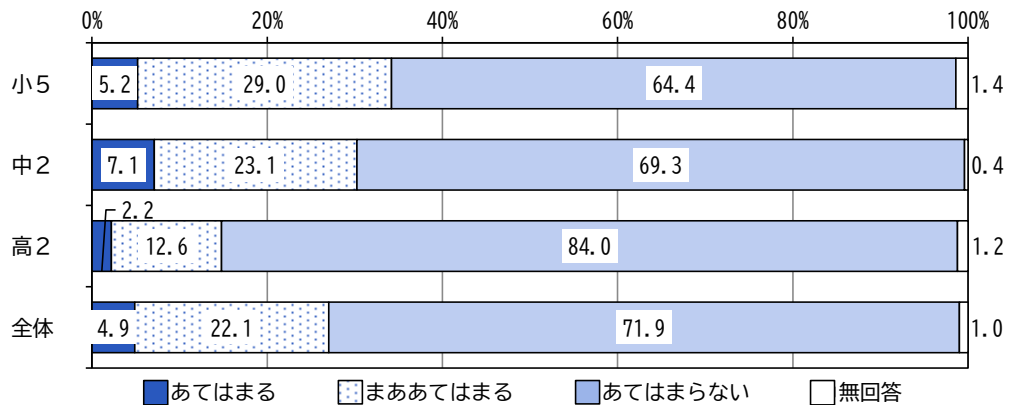
図 年下の子どもたちに対してやさしい



### (18)よく嘘をついたり、ごまかしたりする

『よく嘘をついたり、ごまかしたりする』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生では34.2%、中学2年生では30.2%、高校2年生では14.8%と学年が上がるにつれ、減少しています。

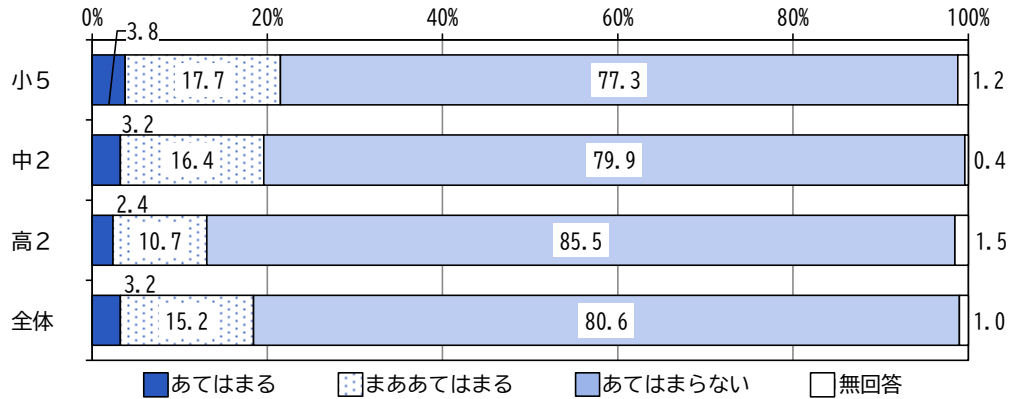
図 よく嘘をついたり、ごまかしたりする



### (19)他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする

『他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする』について、「あてはまらない」と回答した割合がすべての学年で7割を超えています。

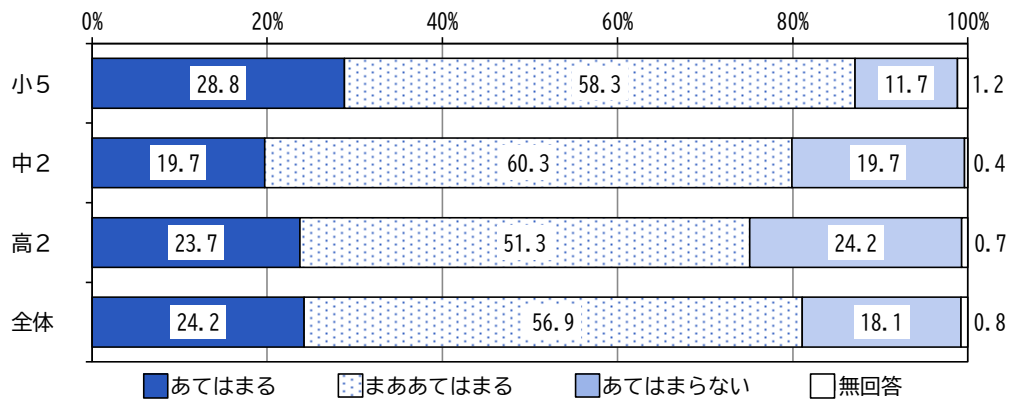
図 他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする



### (20)自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたち等）

『自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたち等）』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生では87.1%、中学2年生では80.0%、高校2年生では75.0%となっており、学年が上がるにつれ、減少しています。

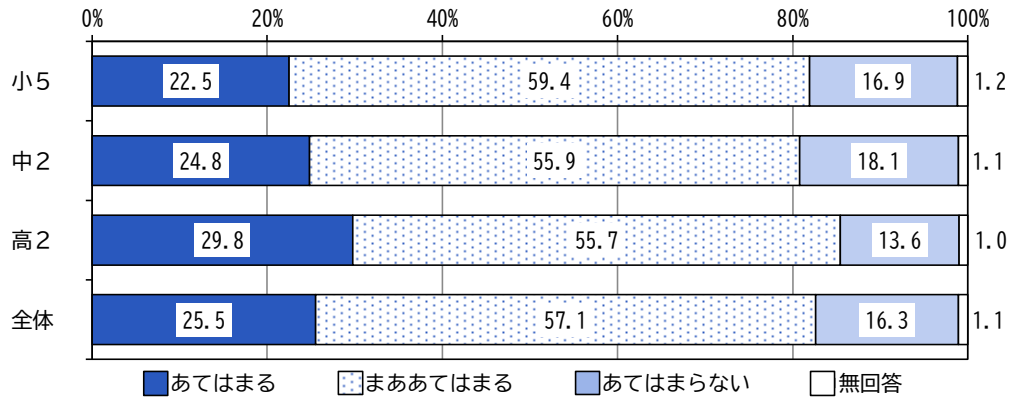
図 自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたち等）



### (21)よく考えてから行動することができる

『よく考えてから行動することができる』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生では81.9%、中学2年生では80.7%、高校2年生では85.5%となっています。

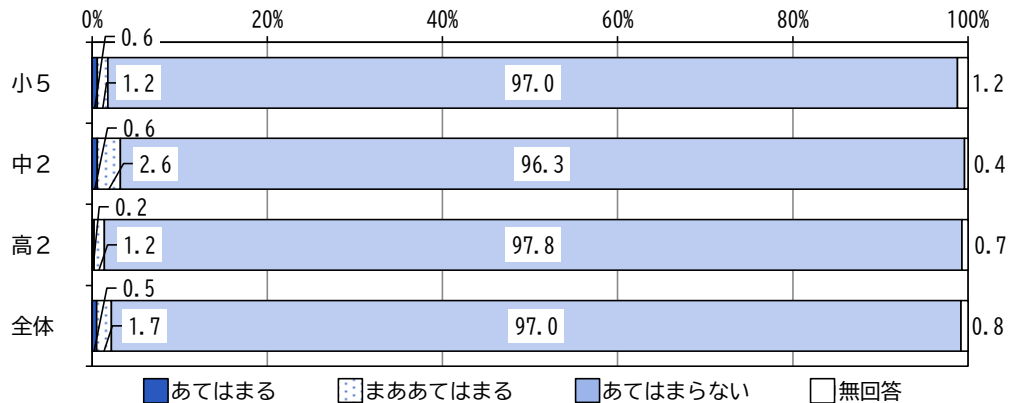
図 よく考えてから行動することができる



### (22)家や学校、その他から物を盗んだりする

『家や学校、その他から物を盗んだりする』について、「あてはまらない」と回答した割合がすべての学年で9割を超えています。

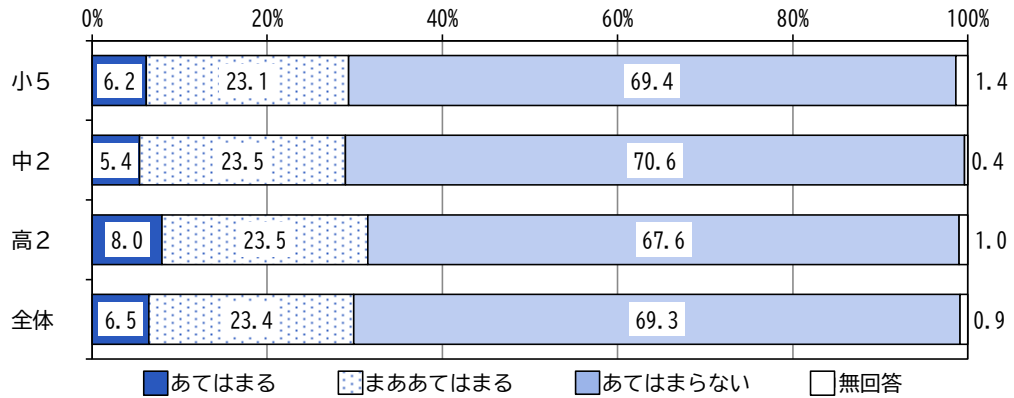
図 家や学校、その他から物を盗んだりする



### (23)他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ

『他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生では29.3%、中学2年生では28.9%、高校2年生では31.5%となっています。

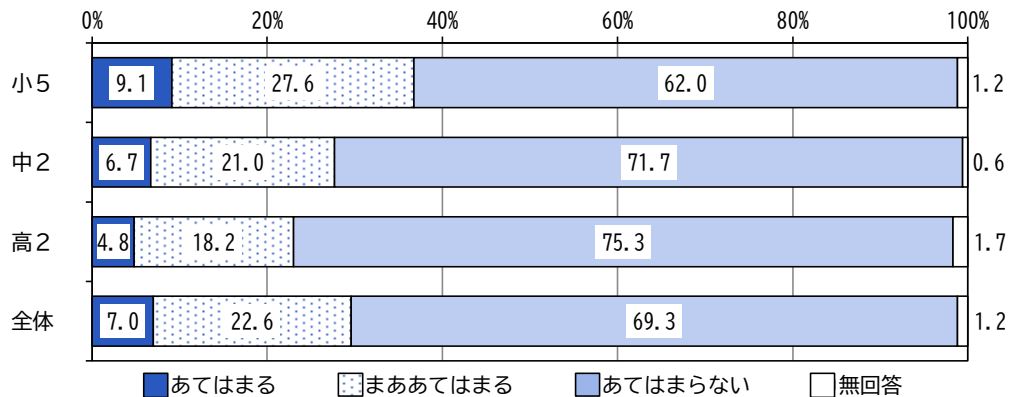
図 他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ



### (24)こわがりで、すぐにおびえたりする

『こわがりで、すぐにおびえたりする』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、小学5年生では36.7%、中学2年生では27.7%、高校2年生では23.0%となっています。

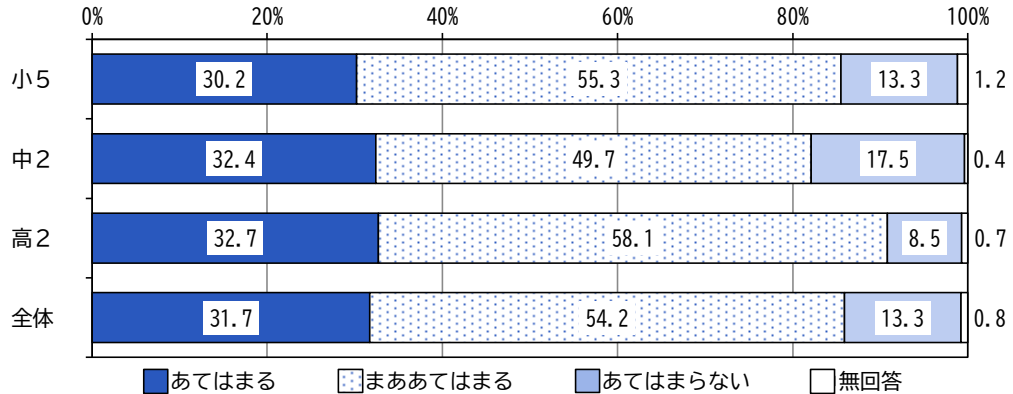
図 こわがりで、すぐにおびえたりする



## (25)ものごとを最後までやりとげ、集中力もある

『ものごとを最後までやりとげ、集中力もある』について、「あてはまる」、「まああてはまる」と回答した割合が、すべての学年で8割を超えており、高校2年生は90.8%となっています。

図 ものごとを最後までやりとげ、集中力もある



### ◆問題行動

※小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者を対象に、「子どもの強さと困難さアンケート(SDQ)」、上記(1)～(25)の25項目のうち、『行為・多動・情緒・仲間関係』に関する20項目を用いて、各項目の回答を0～2点(各項目について、「あてはまらない」0点、「まああてはまる」1点、「あてはまる」2点とする。40点満点)に換算する。

高得点ほど問題行動が多い。

#### 【項目】

- ・おちつきがなく、長い間じっとしてられない
- ・頭が痛い、おなかが痛い、きもちが悪いなどと、よく訴える
- ・カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある
- ・一人でのびのびが好きで、一人で遊ぶことが多い
- ・素直で、だいたい大人のいうことをよく聞く
- ・心配ごとが多く、いつも不安なようだ
- ・いつもそわそわしたり、もじもじしている
- ・仲のよい友だちが少なくとも一人はいる
- ・よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする
- ・おちこんでしずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがある
- ・他の子ともたちから、だいたい好かれているようだ
- ・すぐに気が散りやすく、注意を集中できない
- ・目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす
- ・よく嘘をついたり、ごまかしたりする
- ・他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする
- ・よく考えてから行動することができる
- ・家や学校、その他から物を盗んだりする
- ・他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ
- ・こわがりで、すぐにおびえたりする
- ・ものごとを最後までやりとげ、集中力もある

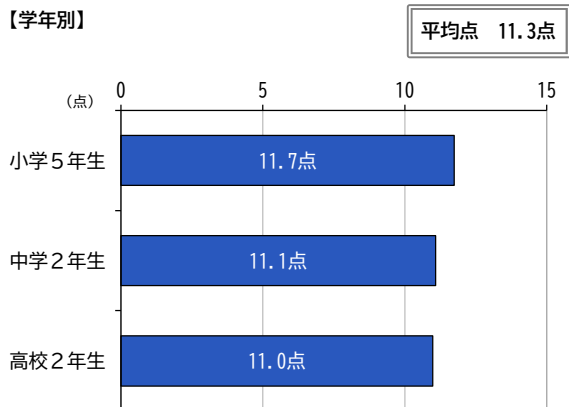
### 【学年別】

学年別の平均点は、小学5年生が11.7点、中学2年生が11.1点、高校2年生が11.0点となっており、小学5年生の問題行動の平均点が最も高くなっています。

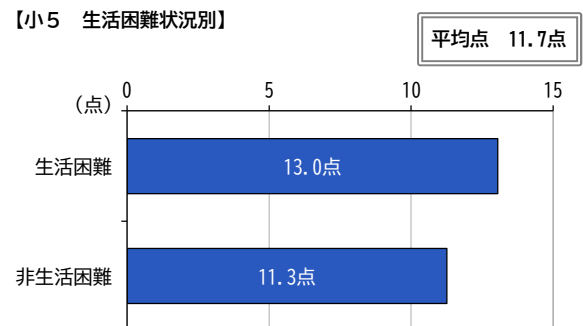
### 【生活困難状況別】

生活困難状況別の平均点は、すべての学年で非生活困難の点数より、生活困難の点数の方が高くなっています。

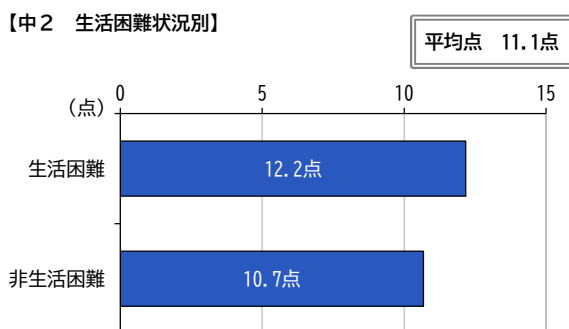
【学年別】



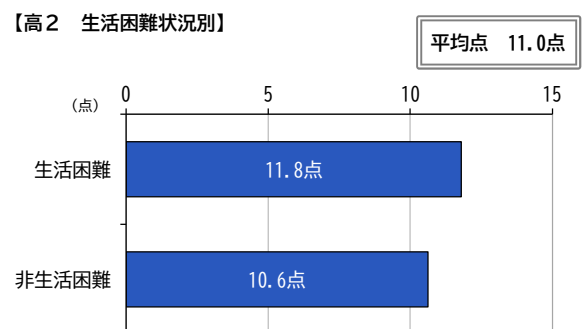
【小5 生活困難状況別】



【中2 生活困難状況別】



【高2 生活困難状況別】



## ◆向社会性

※小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者を対象に、「子どもの強さと困難さアンケート(SDQ)」、上記(1)～(25)の25項目のうち、向社会性に関する5項目を用いて、各項目の回答を0～2点に換算(10点満点)。

高得点ほど向社会性が高い。

### 【項目】

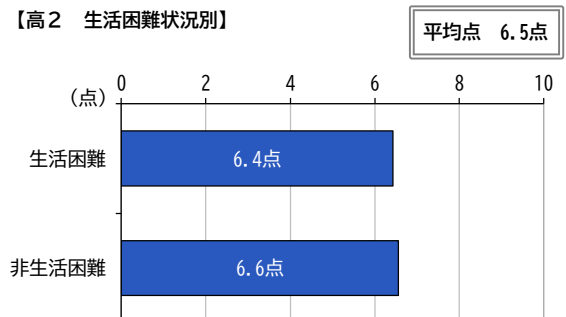
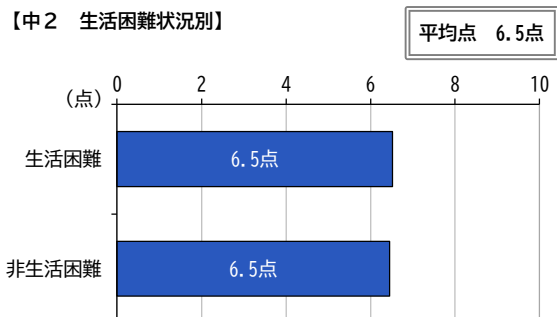
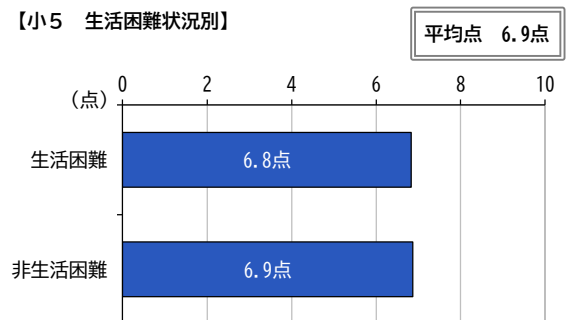
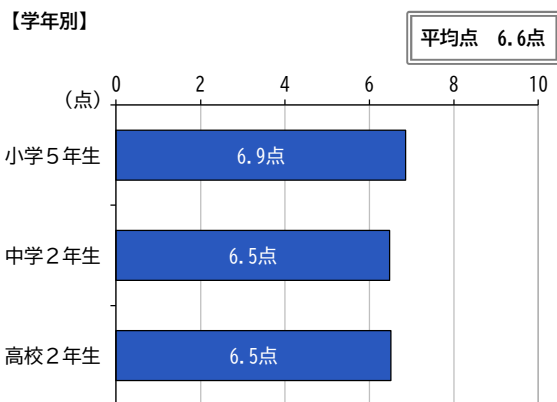
- ・他人の気持ちをよく気づかう
- ・他の子どもたちと、よく分け合う(お菓子等)
- ・誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける
- ・年下の子どもたちに対してやさしい
- ・自分からすすんでよく他人を手伝う(親・先生・子どもたち等)

### 【学年別】

学年別の平均点は、小学5年生が6.9点、中学2年生が6.5点、高校2年生が6.5点となっており、小学5年生の向社会性の平均点が最も高くなっています。

### 【生活困難状況別】

生活困難状況別の平均点は、大きな差はみられませんが、すべての学年で生活困難の点数より、非生活困難の点数が高くなっています。

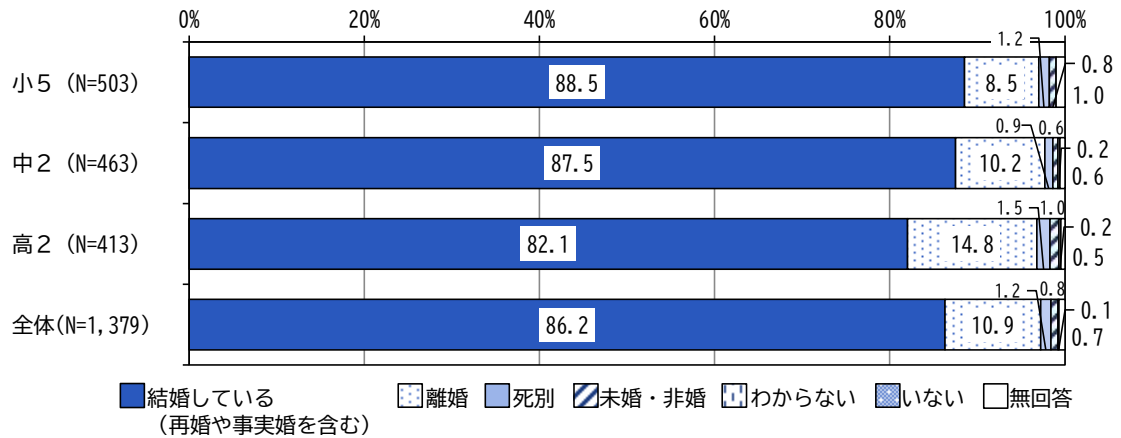


## ○お子さんの両親の婚姻状況

お子さんのお母さん、お父さんの現在の婚姻状況をおたずねします。(あてはまる番号1つに○)

お子さんの両親の婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」と回答した割合がすべての学年で8割を超えています。

図 両親の婚姻状況

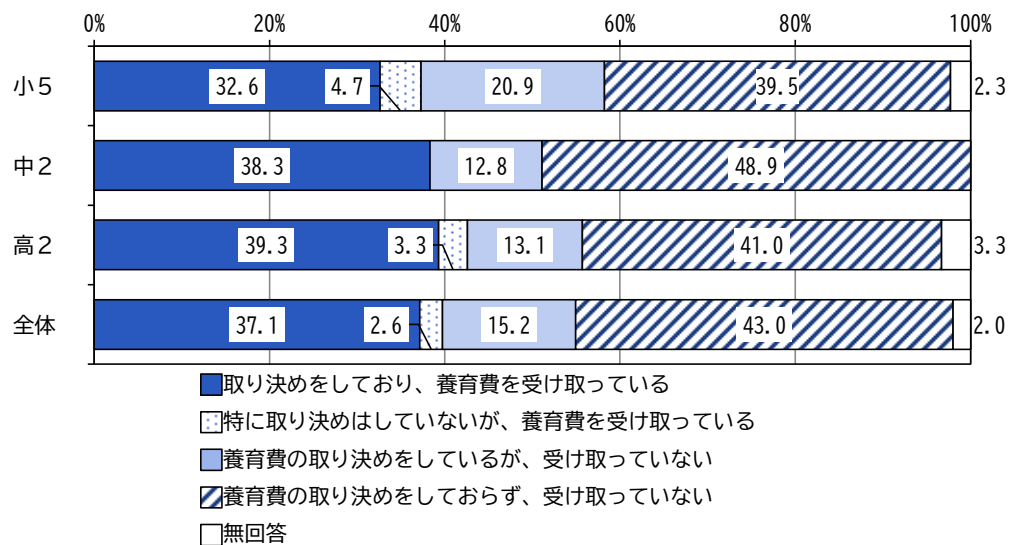


## ○養育費の取り決め状況

前の質問で「2.離婚」を選んだ場合、離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか。(あてはまる番号1つに○)

養育費の取り決め状況について、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」と回答した割合が、小学5年生では32.6%、中学2年生では38.3%、高校2年生では39.3%となっており、一方で「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合が、小学5年生では39.5%、中学2年生では48.9%、高校2年生では41.0%とすべての学年で最も多くなっています。

図 養育費の取り決め状況



養育費の取り決め状況について、学年別、生活困難状況別にみると、『生活困難』の世帯では、すべての学年で「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合が最も多くなっています。また、小学5年生の『非生活困難』の世帯では、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」と回答した割合が、36.8%と最も多くなっています。

表 養育費の取り決め状況【学年別、生活困難状況別】

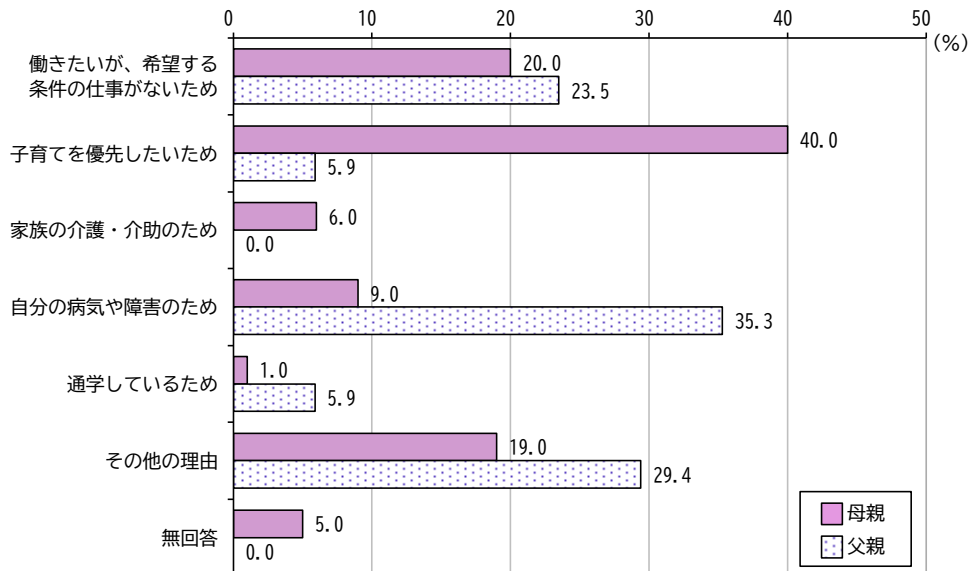
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調査 数	(1)	(2)	(3)	(4)	無 回 答
				受お取 けりり 取、決 つ養め て育を い費し るをて	取養し つ育て に費い 取をな る受い 決がめ 、は	いがめ な、を 育い受 し費 けての 取い取 つるり て決	いずめ な、を 育い受 し費 けての 取お取 つらり て決	
生活 困 難 状 況	全 体	生活困難	90	37.8	1.1	13.3	47.8	-
		非生活困難	61	36.1	4.9	18.0	36.1	4.9
	小 5	生活困難	24	29.2	4.2	20.8	45.8	-
		非生活困難	19	36.8	5.3	21.1	31.6	5.3
	中 2	生活困難	28	39.3	-	7.1	53.6	-
		非生活困難	19	36.8	-	21.1	42.1	-
	高 2	生活困難	38	42.1	-	13.2	44.7	-
		非生活困難	23	34.8	8.7	13.0	34.8	8.7



(2)前の質問で「5.働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

働いていない理由について、【母親】では「子育てを優先したいため」(40.0%)、【父親】では「自分の病気や障害のため」(35.3%)が最も多くなっています。

図 働いていない理由



働いていない理由について、生活困難状況別にみると、【母親】では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」と回答した割合は、『生活困難』が35.5%、『非生活困難』が13.0%、「子育てを優先したいため」と回答した割合は、『生活困難』が19.4%、『非生活困難』が49.3%となっています。

【父親】では「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」と回答した割合は、『生活困難』が33.3%、『非生活困難』が12.5%、「自分の病気や障害のため」と回答した割合は、『生活困難』が33.3%、『非生活困難』が37.5%となっています。

表 働いていない理由【学年別、生活困難状況別】

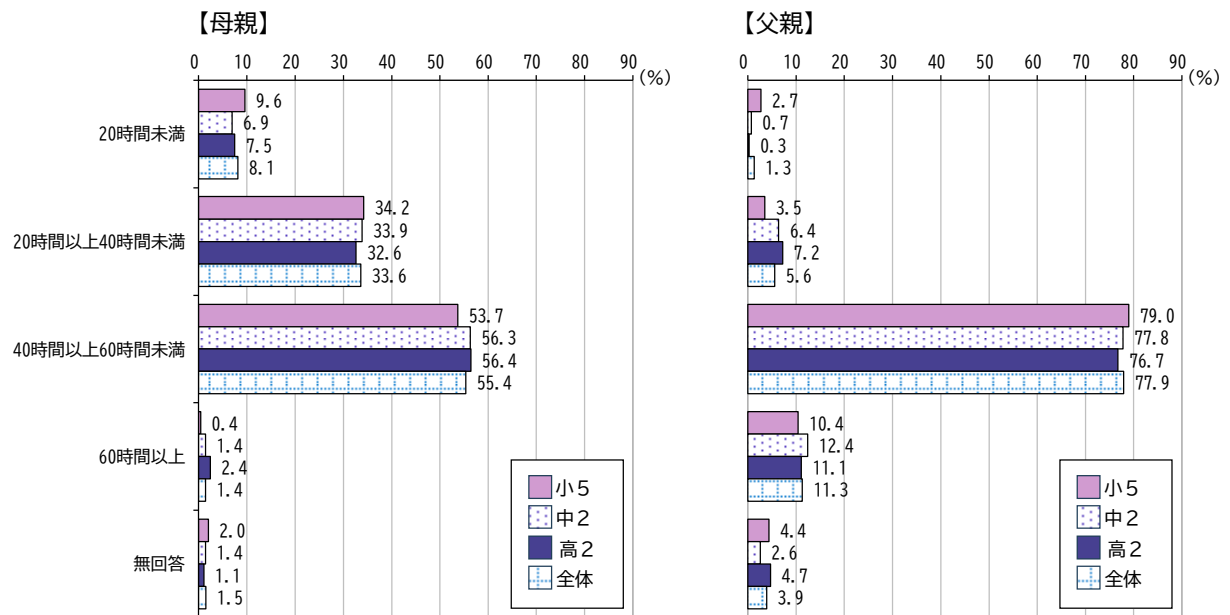
		【母親】								【父親】							
		調査数	(1) 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	(2) 子育てを優先したいため	(3) 家族の介護・介助のため	(4) 自分の病気や障害のため	(5) 通学しているため	(6) その他の理由	無回答	調査数	(1) 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	(2) 子育てを優先したいため	(3) 家族の介護・介助のため	(4) 自分の病気や障害のため	(5) 通学しているため	(6) その他の理由	無回答
生活困難状況	全体	31	35.5	19.4	6.5	12.9	-	19.4	6.5	9	33.3	-	-	33.3	11.1	22.2	-
	非生活困難	69	13.0	49.3	5.8	7.2	1.4	18.8	4.3	8	12.5	12.5	-	37.5	-	37.5	-
	小5	10	40.0	10.0	-	10.0	-	20.0	20.0	3	33.3	-	-	66.7	-	-	-
	非生活困難	28	10.7	67.9	7.1	-	-	14.3	-	4	25.0	-	-	50.0	-	25.0	-
	中2	6	16.7	33.3	-	16.7	-	33.3	-	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-
	非生活困難	26	15.4	38.5	3.8	7.7	3.8	26.9	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	高2	15	40.0	20.0	13.3	13.3	-	13.3	-	3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-
	非生活困難	15	13.3	33.3	6.7	20.0	-	13.3	13.3	4	-	25.0	-	25.0	-	50.0	-

(3)お子さんのお母さん、お父さんは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。(カッコの中に数字で教えてください)※複数のお仕事をもっている場合は合算してください。

1週間の平均就業時間について、【母親】では「40時間以上60時間未満」と回答した割合は、全体で55.4%、小学5年生で53.7%、中学2年生で56.3%、高校2年生で56.4%となっています。

【父親】では「40時間以上60時間未満」と回答した割合は、全体で77.9%、小学5年生が79.0%、中学2年生が77.8%、高校2年生が76.7%となっています。

図 1週間の平均就業時間

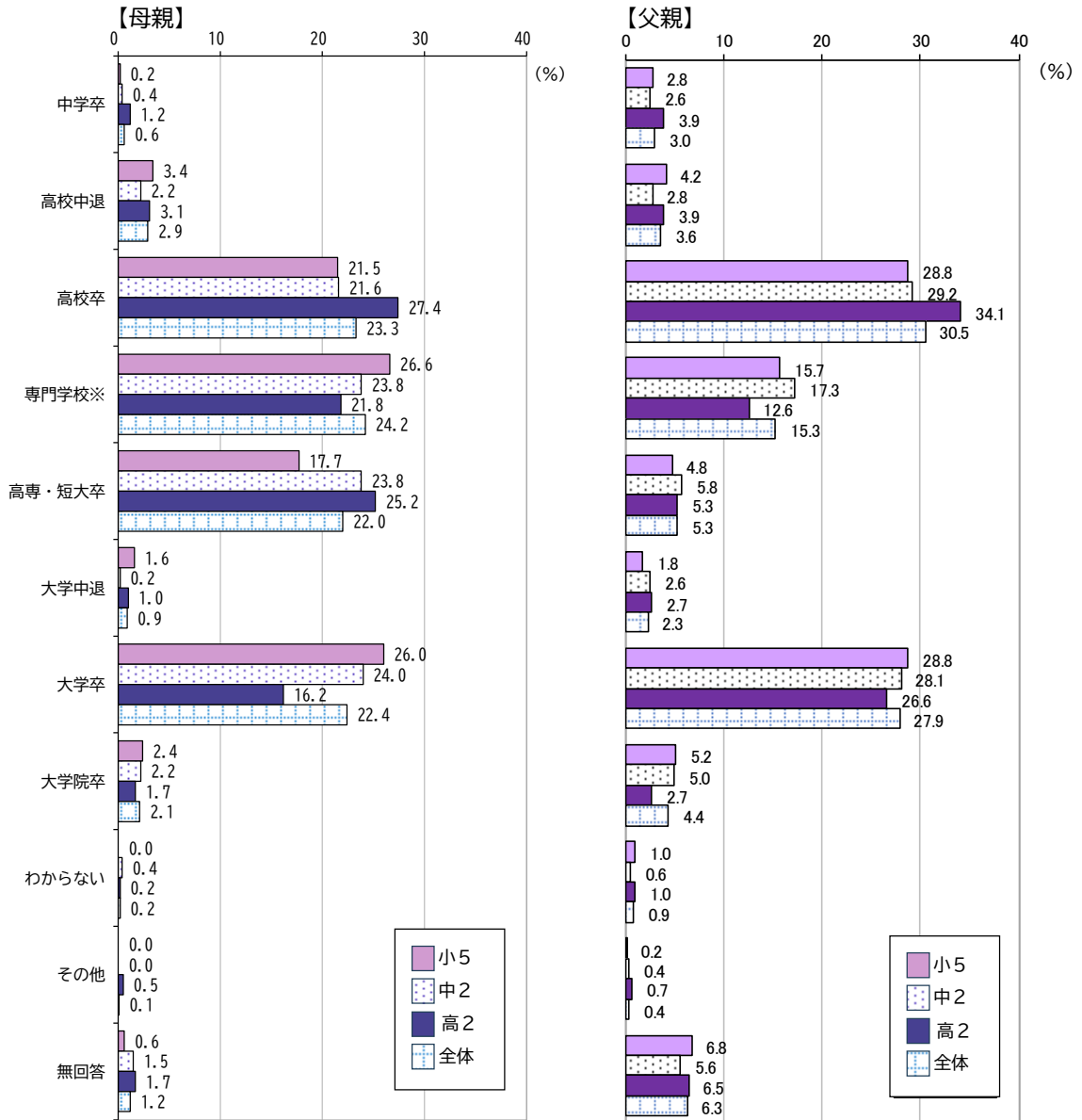


(4)お子さんのお母さん、お父さんが最後に通った(または在学中の)学校について、お答えください。  
(それぞれあてはまる番号1つに○)

最終学歴について、【母親】では、小学5年生で「専門学校卒」(26.6%)、中学2年生で「大学卒」(24.0%)、高校2年生で「高校卒」(27.4%)がそれぞれ最も多くなっています。

【父親】では、小学5年生で「高校卒」、「大学卒」(ともに28.8%)、中学2年生、高校2年生で「高校卒」がそれぞれ29.2%、34.1%と最も多くなっています。

図 最終学歴

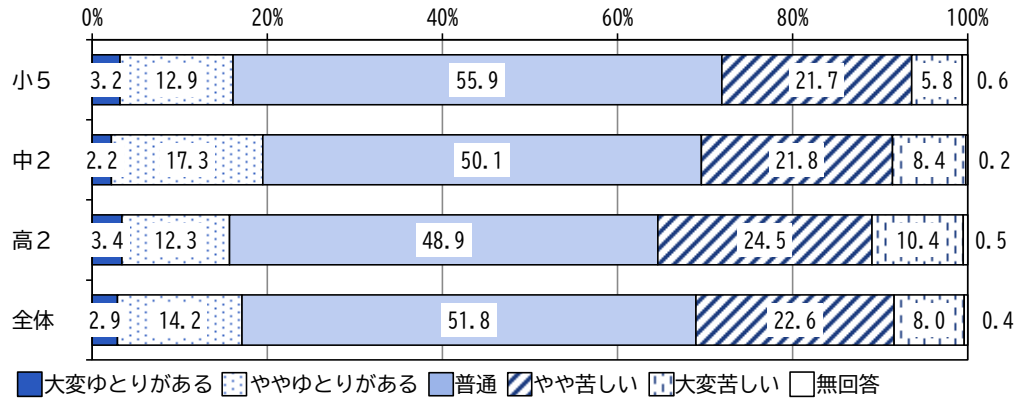


## ○お子さんの家庭の経済状況

(1)現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

現在の暮らしの状況について、「やや苦しい」と「大変苦しい」と回答した割合は、全体で30.6%、小学5年生で27.5%、中学2年生で30.2%、高校2年生で34.9%と学年が上がるにつれ増加しています。

図 現在の暮らしの状況



現在の暮らしの状況について、学年別、生活困難状況別にみると、「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた【苦しい】と回答した割合は、『生活困難』が71.1%、『非生活困難』が15.6%となっており、『生活困難』では7割を超えています。また、小学5年生では、『生活困難』が68.1%、『非生活困難』が12.6%、中学2年生では『生活困難』が73.2%、『非生活困難』が16.5%、高校2年生では『生活困難』が72.2%、『非生活困難』が18.5%となっています。

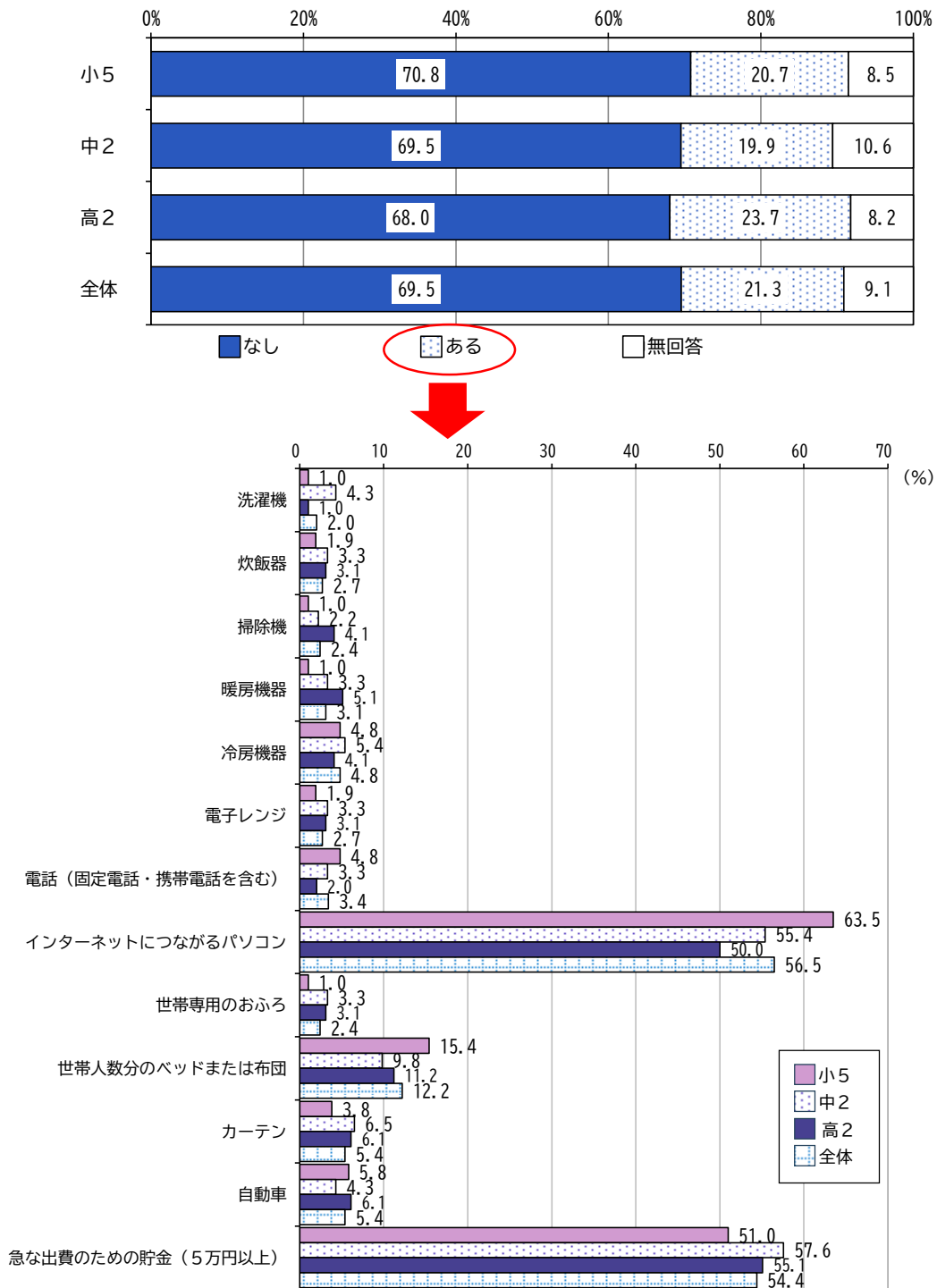
表 現在の暮らしの状況【学年別、生活困難状況別】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			調査数	(1) 大変 ゆとり が	(2) やや ゆとり が	(3) 普通	(4) やや 苦しい	(5) 大変 苦しい	無 回 答
1位									
2位									
生活 困 難 状 況	全 体	生活困難	373	0.8	3.5	23.9	47.5	23.6	0.8
		非生活困難	998	3.7	18.2	62.2	13.3	2.3	0.2
	小 5	生活困難	135	0.7	5.9	25.2	49.6	18.5	-
		非生活困難	366	4.1	15.6	67.2	11.5	1.1	0.5
	中 2	生活困難	112	0.9	2.7	22.3	46.4	26.8	0.9
		非生活困難	346	2.6	22.0	59.0	13.9	2.6	-
高 2	生活困難	126	0.8	1.6	23.8	46.0	26.2	1.6	-
	非生活困難	286	4.5	17.1	59.8	15.0	3.5	-	-

(2)次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

生活必需品の所有状況について、経済的な理由によって生活必需品を所有していないと回答した割合は、全体で21.3%となっています。また、世帯にないものは「インターネットにつながるパソコン」が全体で56.5%、小学5年生で63.5%、中学2年生で55.4%、高校2年生で50.0%、「急な出費のための貯金（5万円以上）」が全体で54.4%、小学5年生で51.0%、中学2年生で57.6%、高校2年生で55.1%となっています。

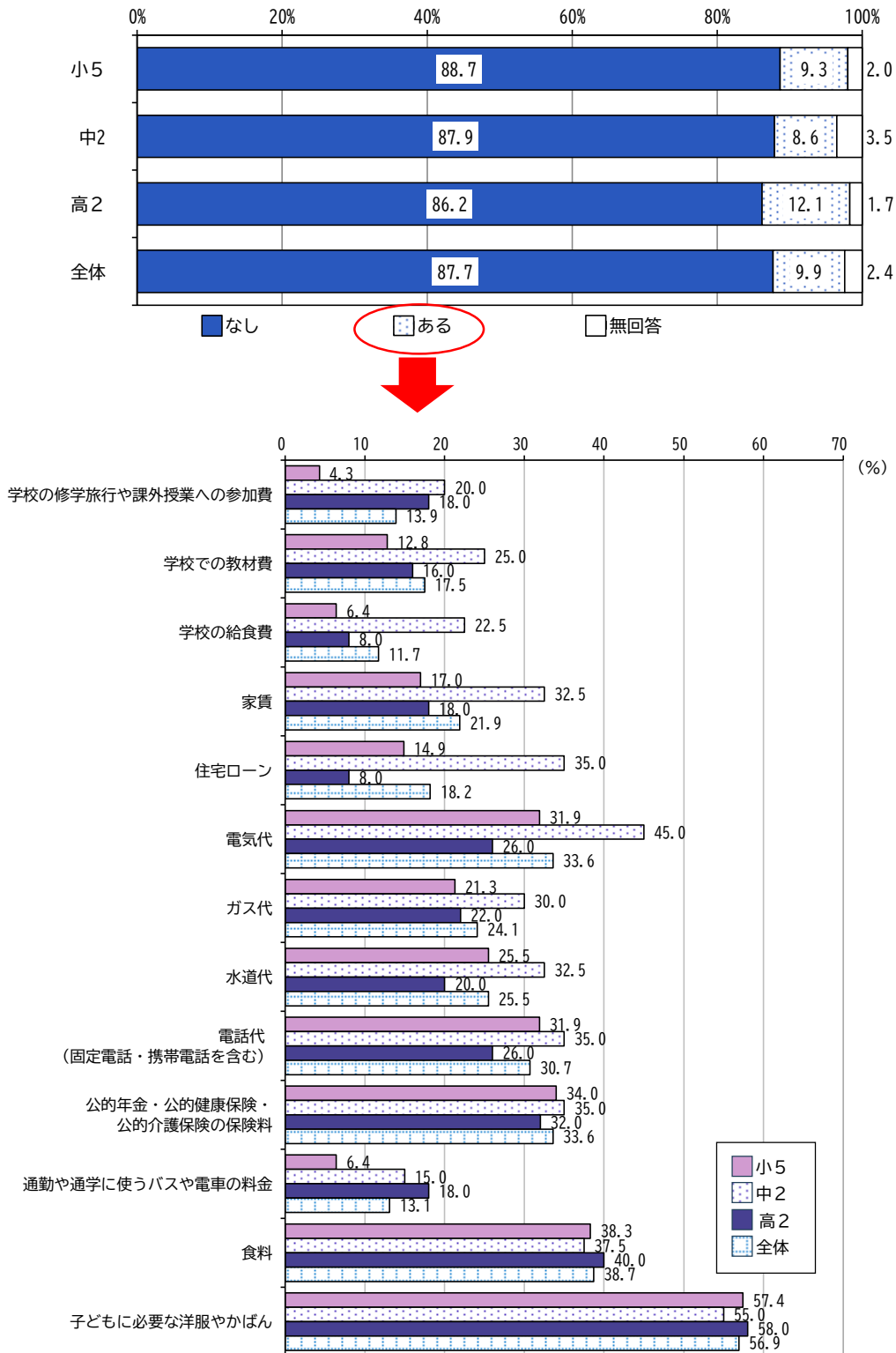
図 生活必需品の所有状況



(3)以下の項目で、過去1年間に経済的理由のために支払いができなかった、または買えなかったことはありますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

経済的な理由によって支払い困難となった経験が「ある」と回答した割合は、全体で9.9%となっています。また、支払いが難しかった項目は「子どもの必要な洋服やかばん」が全体で56.9%、小学5年生で57.4%、中学2年生で55.0%、高校2年生で58.0%となっています。

図 支払い困難の経験



(4)あなたのご家庭では、お子さんのために就学援助費(高校生等奨学給付金)を受け取っていますか。  
(あてはまる番号1つに○)

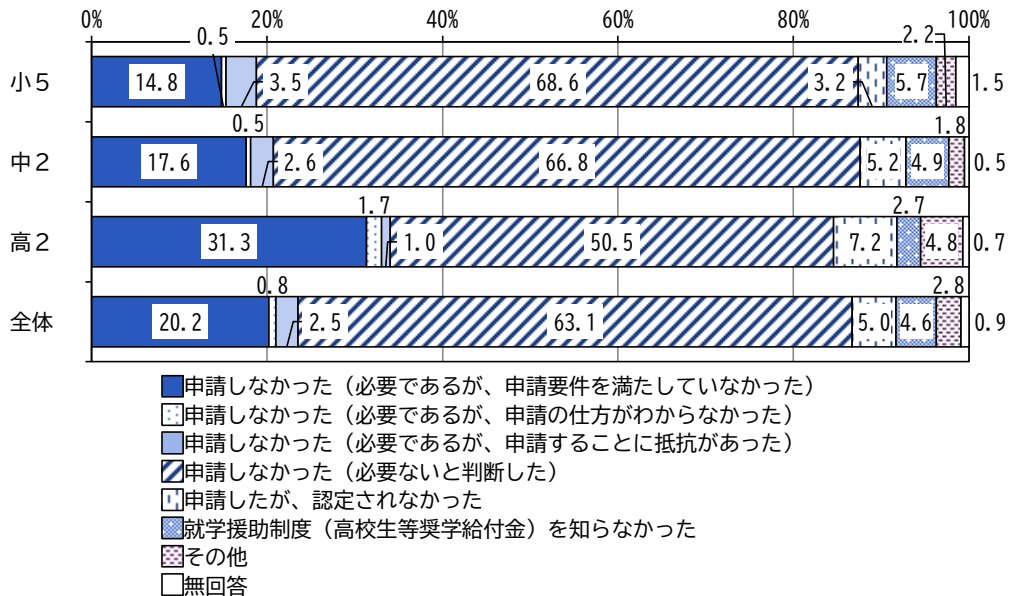
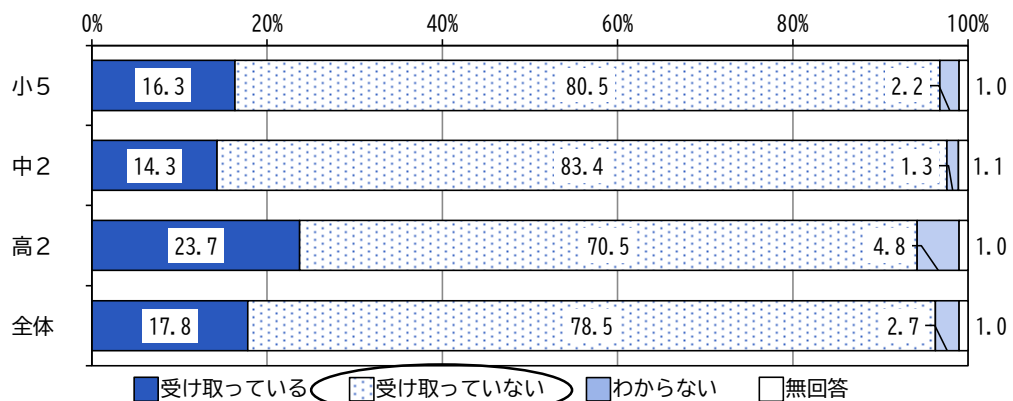
(5)(4)で『2.受け取っていない』を選んだ方におたずねします。受け取っていない理由は何ですか。  
次のうち、最も近いものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)

就学援助費(高校生等奨学給付金)の受給について、「受け取っている」と回答した割合は、全体で17.8%となっています。「受け取っていない」と回答した割合は約8割となっています。

受け取っていない理由について、「申請しなかった(必要ないと判断した)」と回答した割合は、全体で63.1%、小学5年生で68.6%、中学2年生で66.8%、高校2年生で50.5%となっています。

また、「申請しなかった(必要であるが、申請要件を満たしていなかった)」と回答した割合は、全体で20.2%、小学5年生で14.8%、中学2年生で17.6%、高校2年生で31.3%、「就学援助制度を知らなかった」と回答した割合は、全体で4.6%、小学5年生で5.7%、中学2年生で4.9%、高校2年生で2.7%となっています。

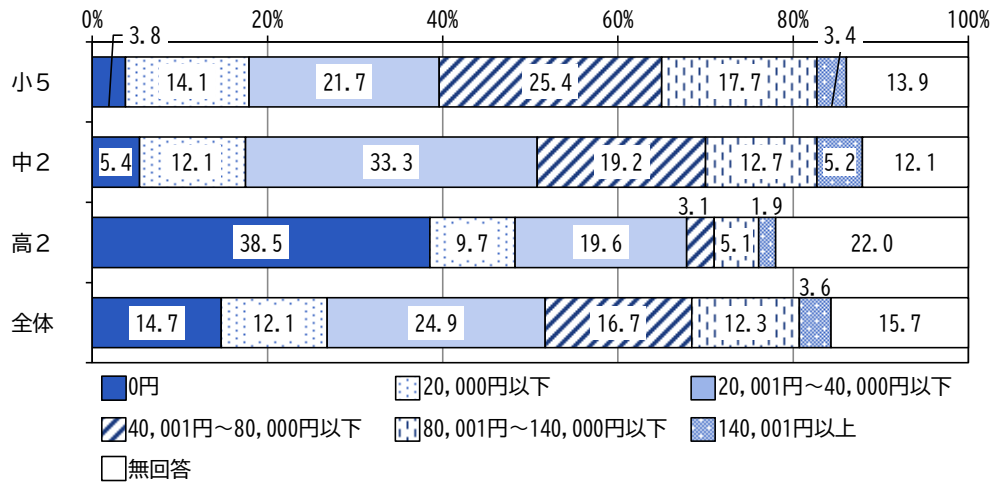
図 就学援助費(高校生等奨学給付金)の受給



(6)あなたの世帯が受給している、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの受給額はいくらですか。(カッコの中に数字で教えてください)

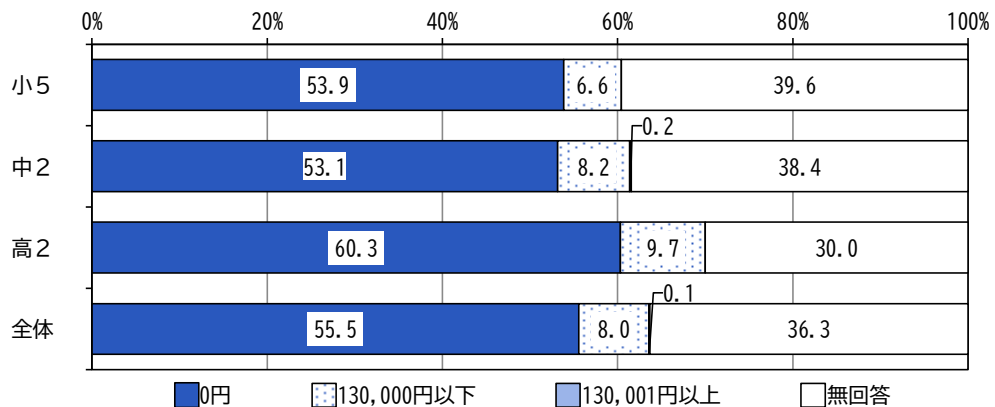
受給している児童手当の1回あたりの平均金額は、小学5年生で72,949円、中学2年生で68,357円、高校2年生で50,368円となっています。

図 公的年金、社会保障給付金等の受給額【児童手当】



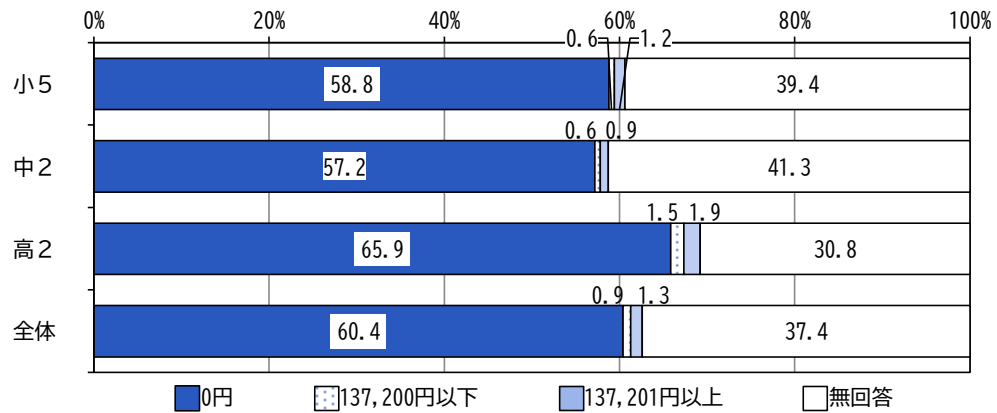
受給している児童扶養手当の1回あたりの平均金額は、小学5年生で65,907円、中学2年生で66,458円、高校2年生で63,203円となっています。

図 公的年金、社会保障給付金等の受給額【児童扶養手当】



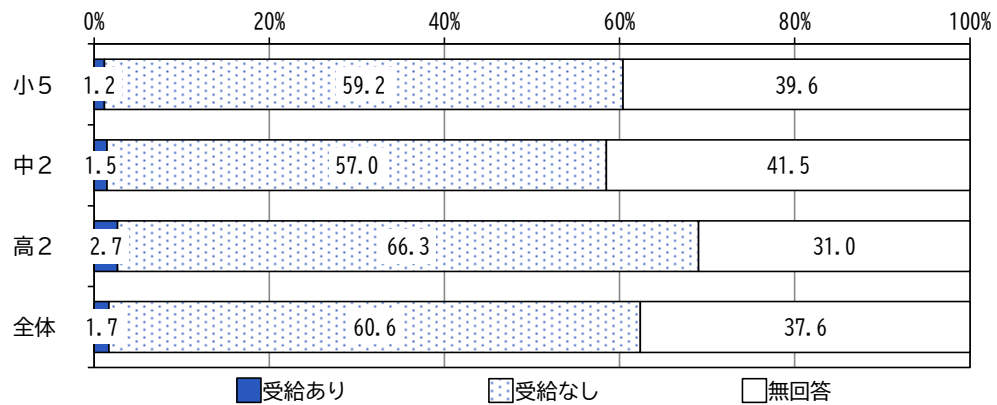
受給している特別児童扶養手当の1回あたりの平均金額は、小学5年生で112,613円、中学2年生で142,857円、高校2年生で135,390円となっています。

図 公的年金、社会保障給付金等の受給額【特別児童扶養手当】



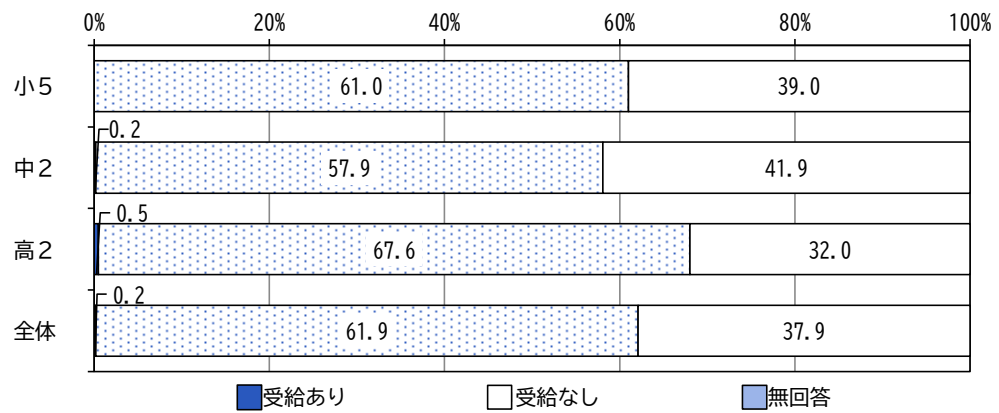
年金（遺族年金、老齢年金等）の受給の有無について、「受給あり」と回答した割合は、小学5年生で1.2%、中学2年生で1.5%、高校2年生で2.7%となっています。

図 公的年金、社会保障給付金等の受給額【年金（遺族年金、老齢年金等）】



生活保護費の受給の有無について、「受給あり」と回答した割合は、中学2年生で0.2%、高校2年生で0.5%となっています。

図 公的年金、社会保障給付金等の受給額【生活保護費】

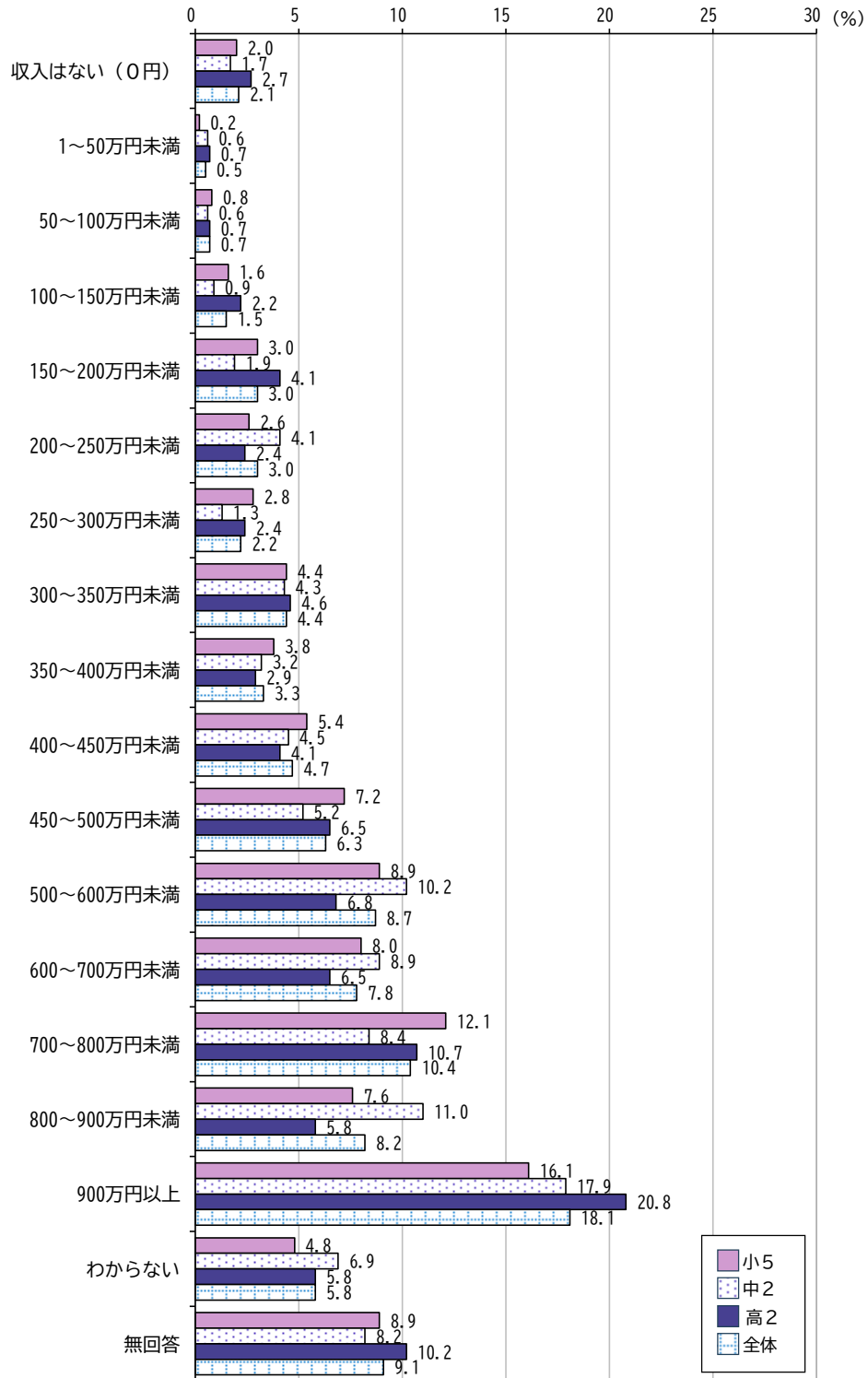


(7)お子さんと生計を同一にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入(税込)は合わせていくらですか。(あてはまる番号1つに○)

※(6)で回答いただいた公的年金と社会保障給付金以外の収入

生計を同一にしている世帯全員のおおよその年間収入(税込)について、いずれも「900万円以上」と回答した割合が最も多く、小学5年生で16.1%、中学2年生で17.9%、高校2年生で20.8%となっています。

図 世帯の年間収入(税込)



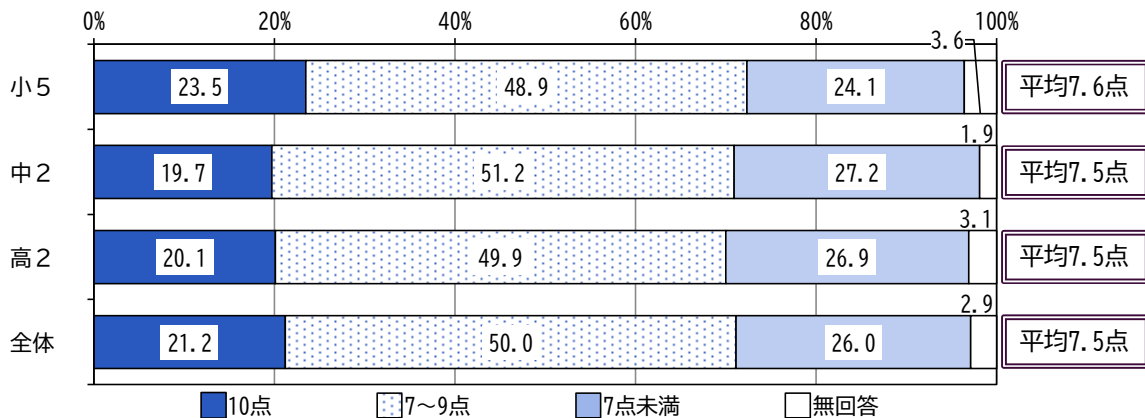
## ○幸福度

あなたは、自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(あてはまる点数1つに○)

幸福度について、全体の平均点は7.5点、小学5年生で7.6点、中学2年生で7.5点、高校2年生で7.5点となっています。

平均点を下回る「7点未満」と回答した割合は、全体で26.0%、小学5年生で24.1%、中学2年生で27.2%、高校2年生で26.9%となっています。

図 幸福度

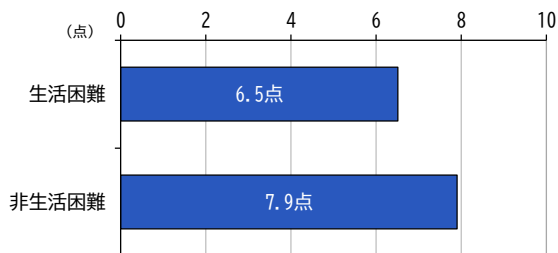


幸福度について、生活困難状況別の平均点は、生活困難で6.5点、非生活困難で7.9点となっています。学年別にみると、小学5年生では、『生活困難』が6.6点、『非生活困難』が8.0点、中学2年生では『生活困難』が6.5点、『非生活困難』7.8点、高校2年生では『生活困難』が6.5点、『非生活困難』が7.9点となっています。

図 幸福度【生活困難状況別】

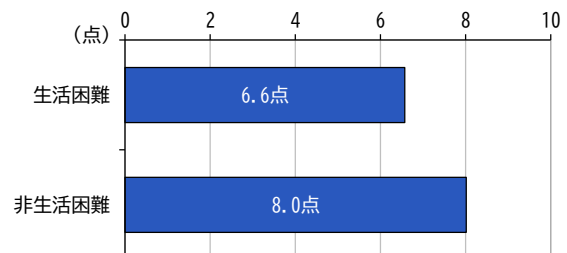
【全体 生活困難状況別】

平均点 7.5点



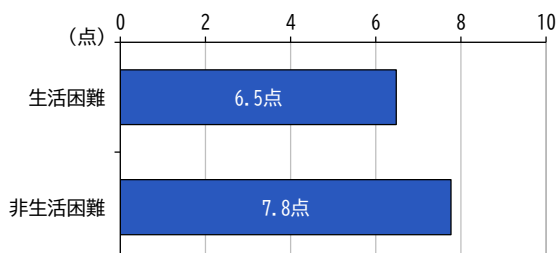
【小5 生活困難状況別】

平均点 7.6点



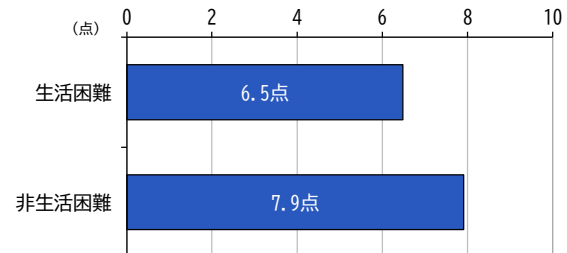
【中2 生活困難状況別】

平均点 7.5点



【高2 生活困難状況別】

平均点 7.5点



## ○子どもとのかかわり方（保護者が子どもとどのような時間を過ごしているか）

あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることはありますか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

子どもとのかかわり方について、全体では『子どもの勉強を週1回以上みる』と回答した割合は40.4%、『お子さんと学校生活の話をする』は「ほぼ毎日」の割合が60.4%となっています。

表 子どもとのかかわり方【全体】

	調査数	(1) ほぼ毎日	(2) 週に3～4回	(3) 週に1～2回	(4) 月に1～2回	(5) めったにない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位							
(ア) お子さんの勉強をみる	1,379	9.9	11.9	18.6	14.3	43.4	2.0
(イ) お子さんと一緒にスポーツをする	1,379	0.9	3.4	10.7	19.8	63.4	1.9
(ウ) お子さんとコンピューターゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲーム等）※1	996	0.7	2.7	8.3	15.8	41.3	31.3
(エ) お子さんとカードゲーム、ボードゲーム等で遊ぶ（トランプ・ブロック遊び・オセロ等）※2	996	0.2	0.8	5.1	21.3	41.3	31.3
(オ) お子さんと学校生活の話をする	1,379	60.4	18.9	12.0	4.5	2.1	2.0
(カ) お子さんと政治経済・社会問題等のニュースの話をする	1,379	13.5	17.7	25.5	17.0	24.4	1.9
(キ) お子さんとテレビ番組・SNS（Facebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア）・動画など（ニュースを除く）の話をする	1,379	35.0	25.9	21.5	10.2	5.9	1.5
(ク) お子さんといっしょに料理をする	1,379	1.7	4.6	16.8	31.3	43.7	1.9
(ケ) お子さんといっしょに外出をする	1,379	5.8	12.8	43.9	30.4	5.6	1.5

※1・※2 小5・中2のみ

子どもとのかかわり方について、小学5年生では『子どもの勉強を週1回以上みる』と回答した割合は74.4%、『お子さんと学校生活の話をする』は「ほぼ毎日」の割合が71.6%となっています。

表 子どもとのかかわり方【小学5年生】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1) ほぼ毎日	(2) 週に3～4回	(3) 週に1～2回	(4) 月に1～2回	(5) めったにない	無回答
1位							
2位							
(ア) お子さんの勉強をみる	503	21.3	23.5	29.6	10.7	12.5	2.4
(イ) お子さんと一緒にスポーツをする	503	1.8	5.2	19.9	25.2	45.5	2.4
(ウ) お子さんとコンピューターゲームで遊ぶ(テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲーム等)	503	0.6	5.4	14.3	26.8	50.3	2.6
(エ) お子さんとカードゲーム、ボードゲーム等で遊ぶ(トランプ・ブロック遊び・オセロ等)	503	0.2	1.8	9.7	39.6	46.3	2.4
(オ) お子さんで学校生活の話をする	503	71.6	15.9	7.2	1.6	1.4	2.4
(カ) お子さんと政治経済・社会問題等のニュースの話をする	503	11.9	19.9	24.3	17.1	24.3	2.6
(キ) お子さんとテレビ番組・SNS(Facebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア)・動画など(ニュースを除く)の話をする	503	34.4	27.8	21.9	8.3	5.2	2.4
(ク) お子さんといっしょに料理をする	503	1.8	6.6	24.7	35.2	29.0	2.8
(ケ) お子さんといっしょに外出をする	503	8.5	19.3	53.7	15.1	1.2	2.2

子どもとのかかわり方について、中学2年生では『お子さんと学校生活の話をする』と回答した割合は、「ほぼ毎日」の割合が57.0%となっています。

表 子どもとのかかわり方【中学2年生】

	調査数	(1) ほぼ毎日	(2) 週に3～4回	(3) 週に1～2回	(4) 月に1～2回	(5) めったにない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=							
		1位	2位				
(ア) お子さんの勉強をみる	463	4.5	7.8	17.5	22.7	46.0	1.5
(イ) お子さんと一緒にスポーツをする	463	0.2	3.5	7.6	20.1	67.0	1.7
(ウ) お子さんとコンピューターゲームで遊ぶ(テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲーム等)	463	1.3	2.2	9.3	17.9	68.3	1.1
(エ) お子さんとカードゲーム、ボードゲーム等で遊ぶ(トランプ・ブロック遊び・オセロ等)	463	0.4	0.4	4.5	20.5	72.6	1.5
(オ) お子さんと学校生活の話をする	463	57.0	20.3	14.0	5.2	1.7	1.7
(カ) お子さんと政治経済・社会問題等のニュースの話をする	463	13.0	17.1	26.3	18.8	23.1	1.7
(キ) お子さんとテレビ番組・SNS(Facebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア)・動画など(ニュースを除く)の話をする	463	32.6	25.3	24.0	11.4	5.4	1.3
(ク) お子さんといっしょに料理をする	463	1.1	2.2	14.9	33.5	47.1	1.3
(ケ) お子さんといっしょに外出をする	463	3.0	10.4	40.4	38.9	6.0	1.3

子どもとのかかわり方について、高校2年生では『お子さんと学校生活の話をする』と回答した割合は、「ほぼ毎日」の割合が50.6%となっています。

表 子どもとのかかわり方【高校2年生】

	調査数	(1) ほぼ毎日	(2) 週に3～4回	(3) 週に1～2回	(4) 月に1～2回	(5) めったにない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け=							
		1位	2位				
(ア) お子さんの勉強をみる	413	1.9	2.4	6.3	9.2	78.2	1.9
(イ) お子さんと一緒にスポーツをする	413	0.5	1.2	2.9	12.8	81.1	1.5
(ウ) お子さんと学校生活の話をする	413	50.6	21.1	15.7	7.3	3.4	1.9
(エ) お子さんと政治経済・社会問題等のニュースの話をする	413	16.0	15.7	25.9	15.0	26.2	1.2
(オ) お子さんとテレビ番組・SNS(Facebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア)・動画など(ニュースを除く)の話をする	413	38.5	24.2	18.2	10.9	7.5	0.7
(カ) お子さんといっしょに料理をする	413	2.2	5.1	9.4	24.0	57.9	1.5
(キ) お子さんといっしょに外出をする	413	5.6	7.7	35.8	39.5	10.4	1.0

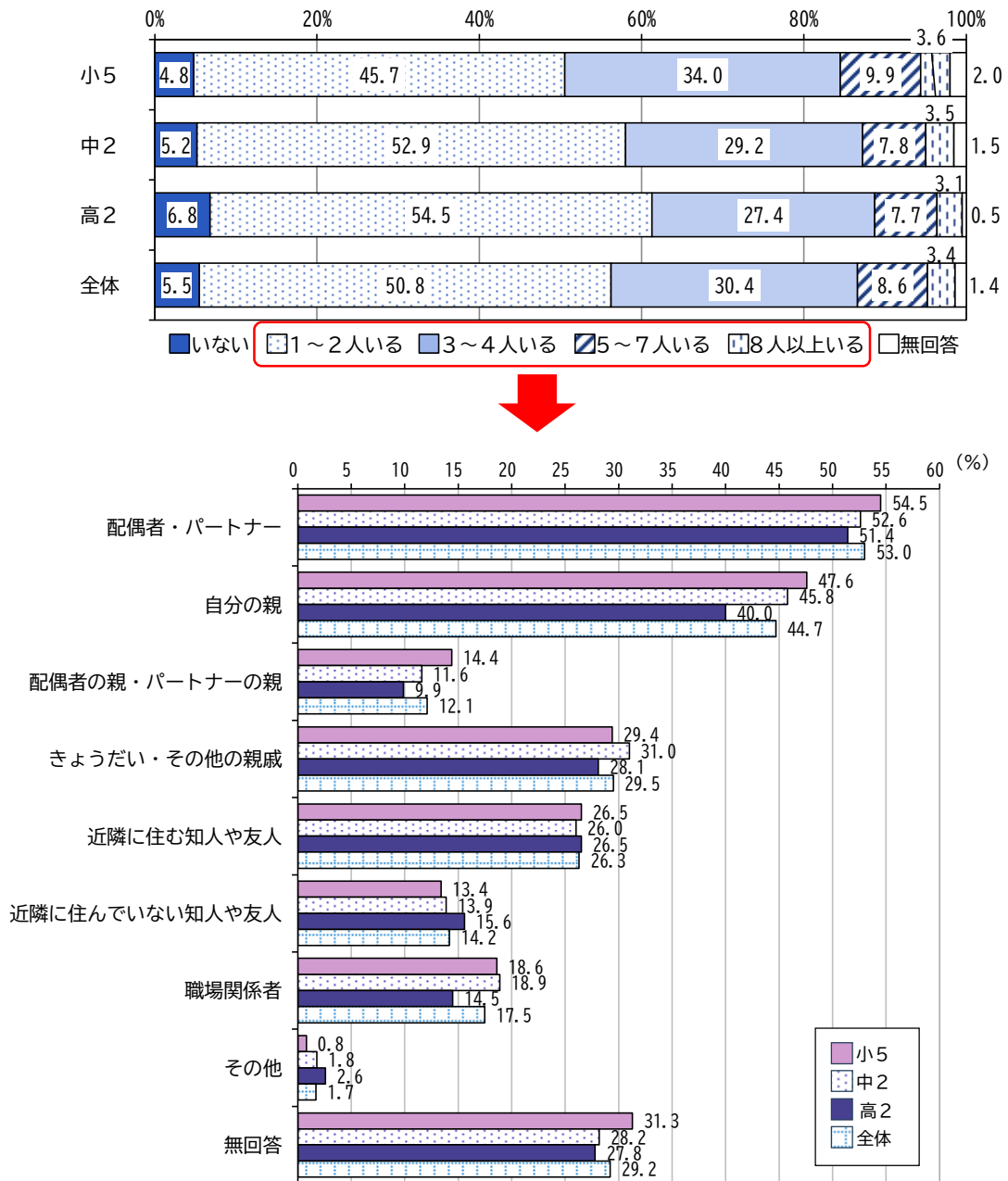
## ○相談相手・相談機関

- (1)あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。(あてはまる番号1つに○)
- (2)(1)で『1.いない』以外を選んだ方におたずねします。それは誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手について、「いない」と回答した割合は、全体で5.5%、小学5年生で4.8%、中学2年生で5.2%、高校2年生で6.8%となっています。

また、困ったときの具体的な相談相手（相談機関）について、「配偶者・パートナー」と回答した割合は、いずれも5割を超えており、全体で53.0%、小学5年生で54.5%、中学2年生で52.6%、高校2年生で51.4%となっています。

図 本当に困った時や悩みがあるときの相談相手



(3)あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

これまでに困ったときに公的機関に相談したことがあるかについて、全体では「相談したことがある」と回答した割合は、『学校・保育所・幼稚園の先生』が52.5%と多くなっています。

表 公的機関への相談状況【全体】

	調査数	(1) 相談したことがある	(2) 相談したことがない				無回答
			(2) な相談した かと思った ことが	(3) あ相談した かだったが、 抵抗感が	(4) 使相談時間 や場所など が	(5) わ相談する 窓口や方法 が	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			1位	2位			
1. 市町村の役所の窓口（福祉事務所・保健所・保健センター等を含む）	1,379	22.6	64.4	4.2	1.2	3.3	4.3
2. 子ども家庭支援センター	1,379	7.5	76.2	3.1	0.9	5.6	6.7
3. 学校・保育所・幼稚園の先生	1,379	52.5	36.6	3.0	0.7	1.9	5.2
4. スクールカウンセラー	1,379	14.5	68.5	5.1	2.2	3.5	6.2
5. スクールソーシャルワーカー	1,379	5.1	78.0	3.5	1.2	4.9	7.3
6. 民生委員・児童委員	1,379	1.9	84.3	1.5	0.6	4.5	7.3
7. 県の福祉保健所	1,379	1.8	84.0	1.7	0.7	4.6	7.3
8. 児童相談所	1,379	2.9	84.0	1.8	0.4	4.1	6.8
9. 警察	1,379	5.7	81.8	2.1	0.4	3.2	6.7
10. ハローワーク	1,379	13.8	74.5	0.9	0.7	3.1	6.9
11. インターネットの相談サイト	1,379	1.9	84.5	2.3	0.6	3.5	7.3
12. 上記以外の公的機関	1,379	4.2	81.9	0.9	0.5	4.3	8.2

これまでに困ったときに公的機関に相談したことがあるかについて、小学5年生では「相談したことがある」と回答した割合は、『学校・保育所・幼稚園の先生』が56.3%と多くなっています。

表 公的機関への相談状況【小学5年生】

	調査数	(1) 相談したことがある	相談したことがない				無回答
			(2) な相談した たいたと思 ったことが	(3) あ相談した かかったが、 抵抗感が	(4) 使相談時間 づらかった 場所などが	(5) わ相談する 窓口に方法 が	
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位							
1. 市町村の役所の窓口（福祉事務所・保健所・保健センター等を含む）	503	22.9	62.8	3.8	1.4	3.8	5.4
2. 子ども家庭支援センター	503	7.6	74.6	2.6	1.4	6.6	7.4
3. 学校・保育所・幼稚園の先生	503	56.3	32.6	2.6	0.8	2.2	5.6
4. スクールカウンセラー	503	10.9	69.6	5.8	3.0	4.0	6.8
5. スクールソーシャルワーカー	503	3.6	78.3	3.4	1.4	5.4	8.0
6. 民生委員・児童委員	503	2.6	83.1	1.0	0.8	5.0	7.6
7. 県の福祉保健所	503	1.4	83.7	1.6	1.0	4.8	7.6
8. 児童相談所	503	2.4	83.1	1.8	0.8	4.6	7.4
9. 警察	503	4.4	81.7	2.0	0.6	3.8	7.6
10. ハローワーク	503	13.1	74.8	0.4	1.0	3.4	7.4
11. インターネットの相談サイト	503	1.8	82.9	2.4	1.4	3.8	7.8
12. 上記以外の公的機関	503	2.6	81.5	0.4	0.8	5.4	9.3

これまでに困ったときに公的機関に相談したことがあるかについて、中学2年生では「相談したことがある」と回答した割合は、『学校・保育所・幼稚園の先生』が54.2%と多くなっています。

表 公的機関への相談状況【中学2年生】

	調査数	(1) 相談したことがある	相談したことがない				無回答
			(2) た相談したいと思ったことがなかった	(3) た相談したかったが、抵抗感があつた	(4) か相談時間や場所などが使いづらかつた	(5) か相談する窓口や方法がわからなかつた	
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位							
1. 市町村の役所の窓口（福祉事務所・保健所・保健センター等を含む）	463	21.6	65.4	4.8	1.5	3.0	3.7
2. 子ども家庭支援センター	463	8.0	77.1	3.2	0.9	5.4	5.4
3. 学校・保育所・幼稚園の先生	463	54.2	37.6	1.9	0.9	1.7	3.7
4. スクールカウンセラー	463	14.3	69.8	5.0	1.5	4.1	5.4
5. スクールソーシャルワーカー	463	5.0	78.4	4.3	0.9	5.4	6.0
6. 民生委員・児童委員	463	1.1	86.8	1.5	0.4	4.1	6.0
7. 県の福祉保健所	463	1.7	85.7	1.3	0.2	4.8	6.3
8. 児童相談所	463	3.0	84.9	2.4	－	4.5	5.2
9. 警察	463	6.3	83.2	1.9	－	3.7	5.0
10. ハローワーク	463	14.7	74.5	1.1	0.4	3.7	5.6
11. インターネットの相談サイト	463	1.7	86.0	3.2	－	3.5	5.6
12. 上記以外の公的機関	463	4.3	83.6	1.3	0.4	4.1	6.3

これまでに困ったときに公的機関に相談したことがあるかについて、高校2年生では「相談したことがある」と回答した割合は、『学校・保育所・幼稚園の先生』が46.0%と多くなっています。

表 公的機関への相談状況【高校2年生】

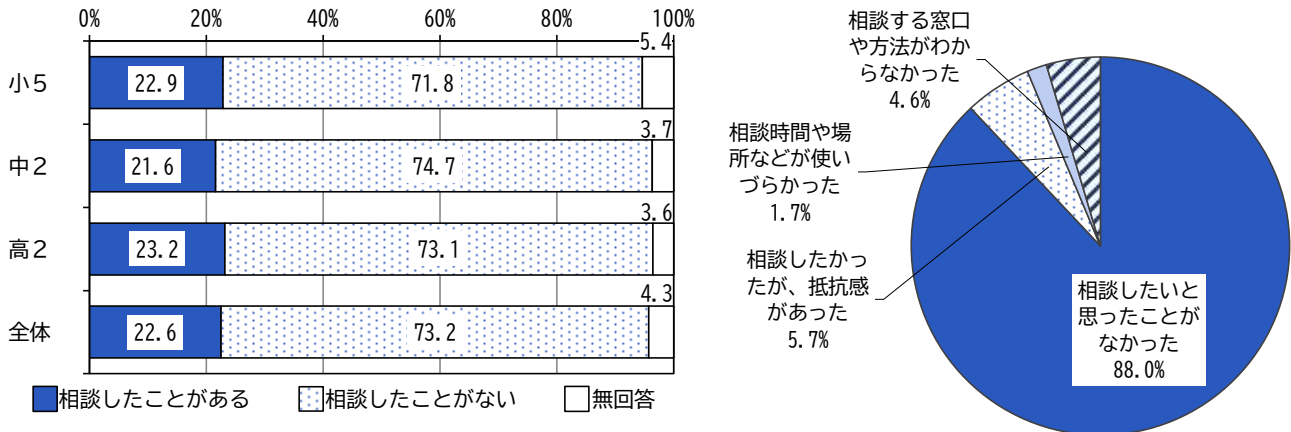
	調査数	(1) 相談したことがある	相談したことがない				無回答
			(2) た相談したいと思ったことがなかった	(3) た相談したかったが、抵抗感があつた	(4) か相談時間や場所などが使いづらかつた	(5) か相談する窓口や方法がわからなかつた	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=							
			1位				
			2位				
1. 市町村の役所の窓口（福祉事務所・保健所・保健センター等を含む）	413	23.2	65.1	4.1	0.7	3.1	3.6
2. 子ども家庭支援センター	413	6.8	77.2	3.6	0.5	4.6	7.3
3. 学校・保育所・幼稚園の先生	413	46.0	40.4	4.8	0.5	1.7	6.5
4. スクールカウンセラー	413	19.1	65.9	4.6	1.9	2.2	6.3
5. スクールソーシャルワーカー	413	7.0	77.2	2.7	1.5	3.6	8.0
6. 民生委員・児童委員	413	1.9	83.1	1.9	0.5	4.4	8.2
7. 県の福祉保健所	413	2.4	82.3	2.2	1.0	4.1	8.0
8. 児童相談所	413	3.4	84.0	1.2	0.5	2.9	8.0
9. 警察	413	6.8	80.4	2.4	0.7	1.9	7.7
10. ハローワーク	413	13.6	74.3	1.5	0.7	2.2	7.7
11. インターネットの相談サイト	413	2.2	84.7	1.2	0.2	3.1	8.5
12. 上記以外の公的機関	413	6.1	80.4	1.2	0.2	3.1	9.0

### (1)市町村の役所の窓口

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が22.6%、「相談したことがない」が73.2%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談したかったが、抵抗感があつた」の割合が5.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が4.6%となっています。

図 市町村の役所の窓口

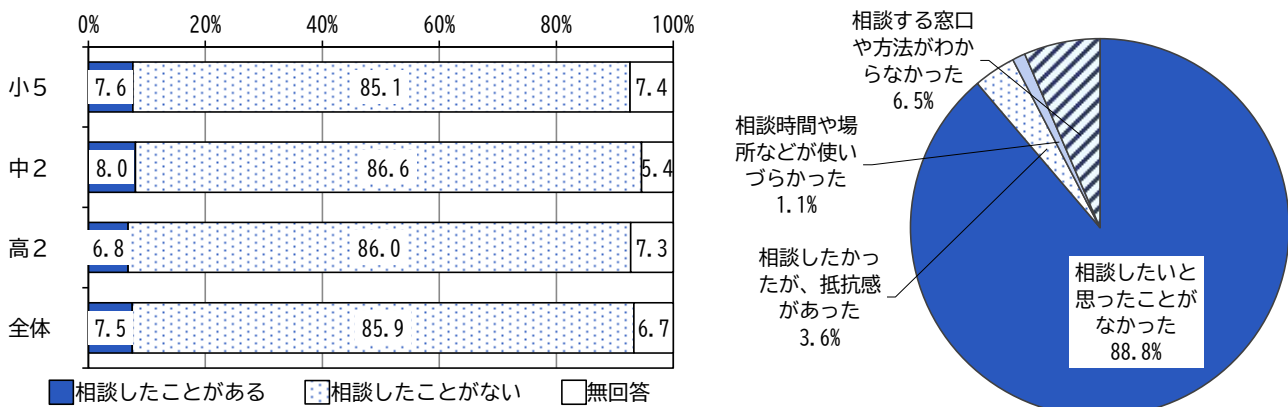


### (2)子ども家庭支援センター

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が7.5%、「相談したことがない」が85.9%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が6.5%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が3.6%となっています。

図 子ども家庭支援センター

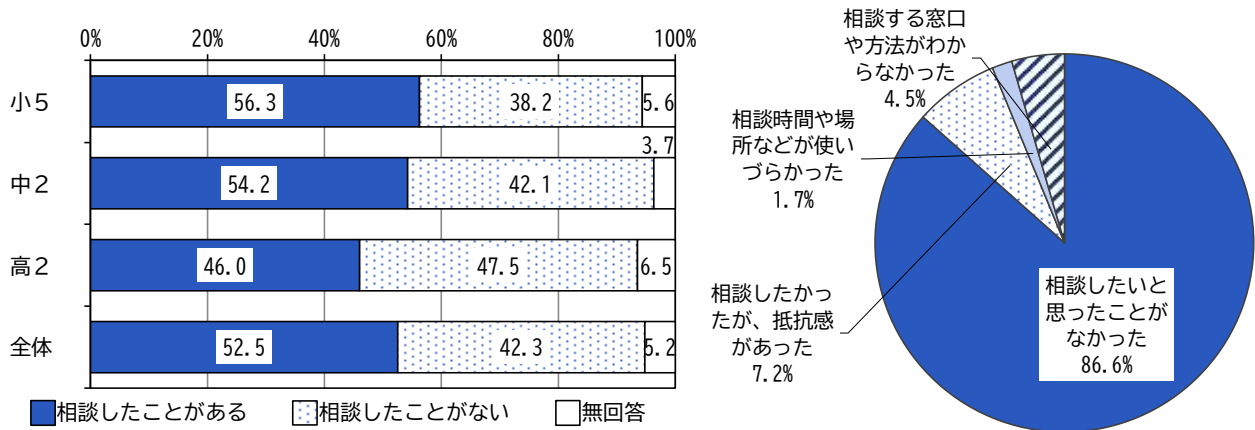


### (3)学校・保育所・幼稚園の先生

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が52.5%、「相談したことがない」が42.3%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が7.2%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が4.5%となっています。

図 学校・保育所・幼稚園の先生

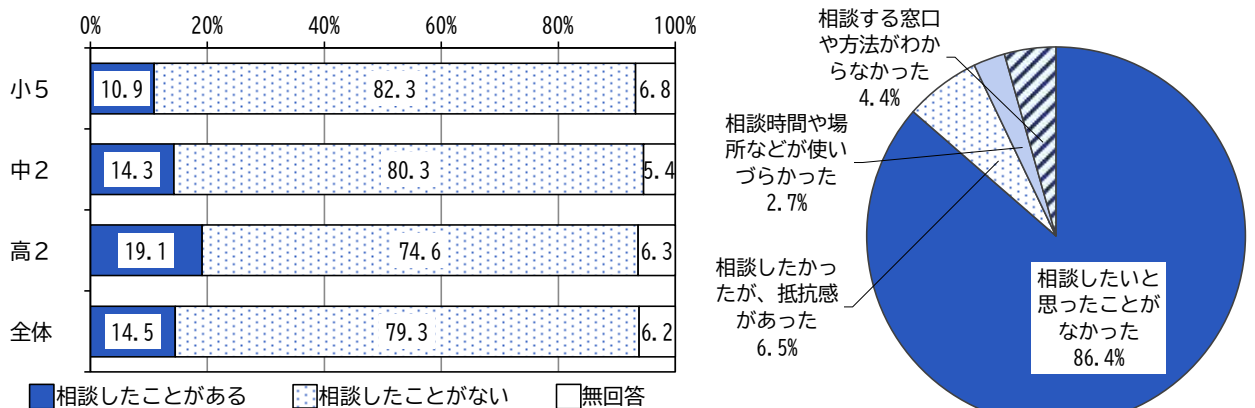


### (4)スクールカウンセラー

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が14.5%、「相談したことがない」が79.3%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が6.5%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が4.4%となっています。

図 スクールカウンセラー

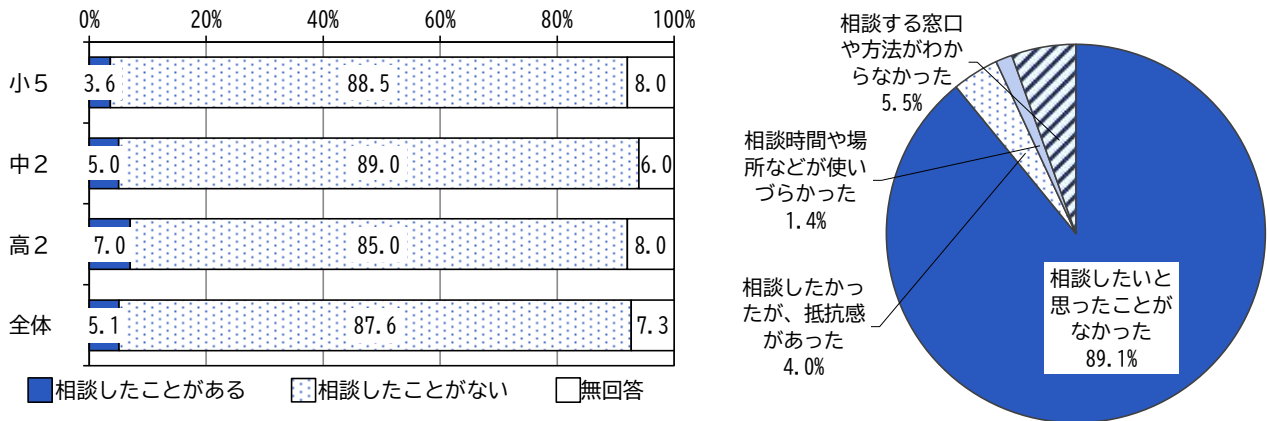


### (5) スクールソーシャルワーカー

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が5.1%、「相談したことがない」が87.6%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が5.5%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が4.0%となっています。

図 スクールソーシャルワーカー

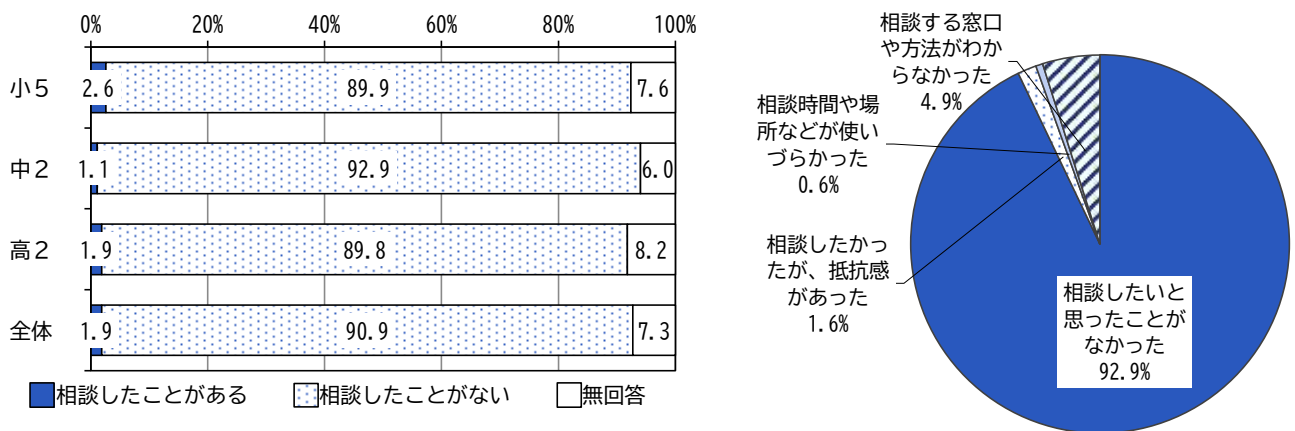


### (6) 民生委員・児童委員

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が1.9%、「相談したことがない」が90.9%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が1.6%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が4.9%となっています。

図 民生委員・児童委員

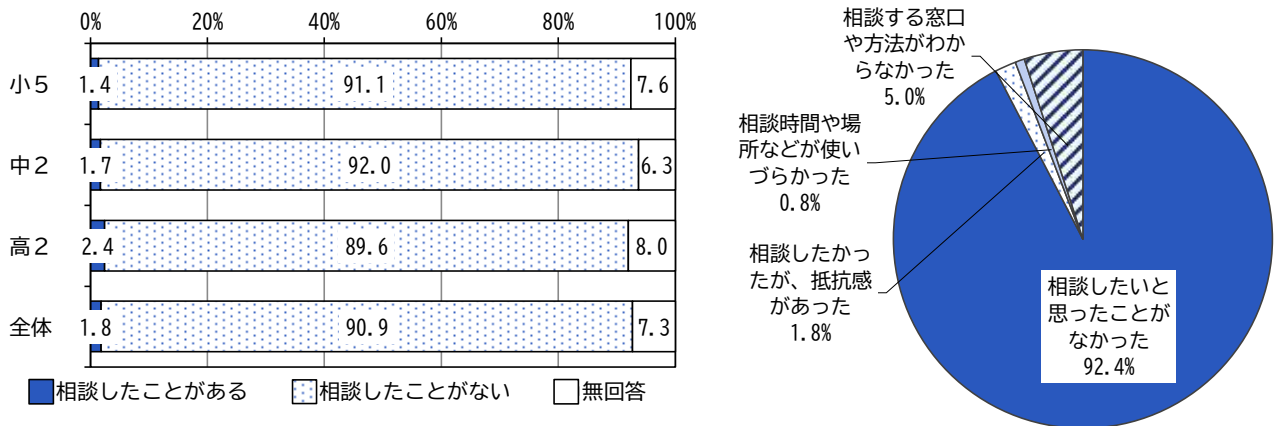


## (7)県の福祉事務所

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が1.8%、「相談したことがない」が90.9%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が5.0%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が1.8%となっています。

図 県の福祉事務所

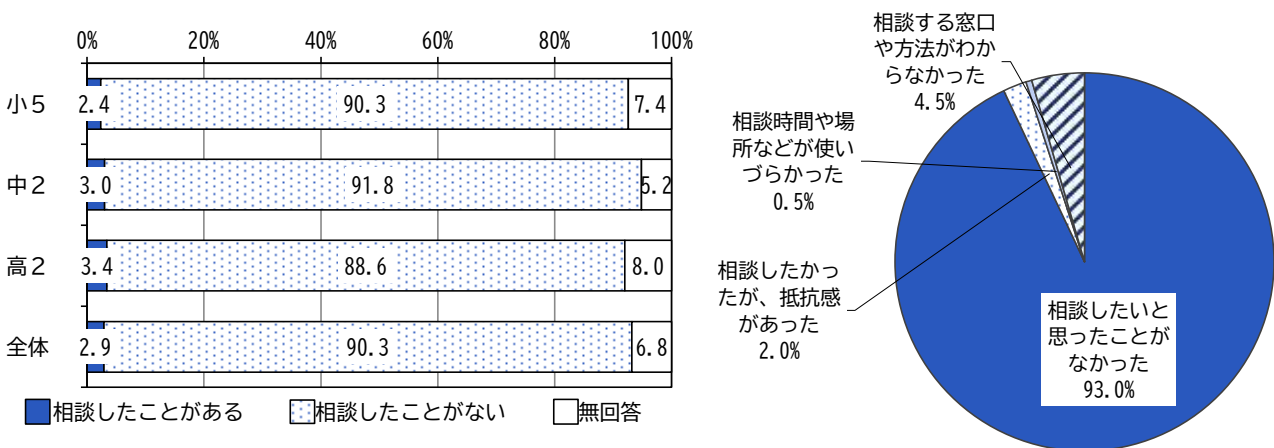


## (8)児童相談所

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が2.9%、「相談したことがない」が90.3%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が4.5%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が2.0%となっています。

図 児童相談所

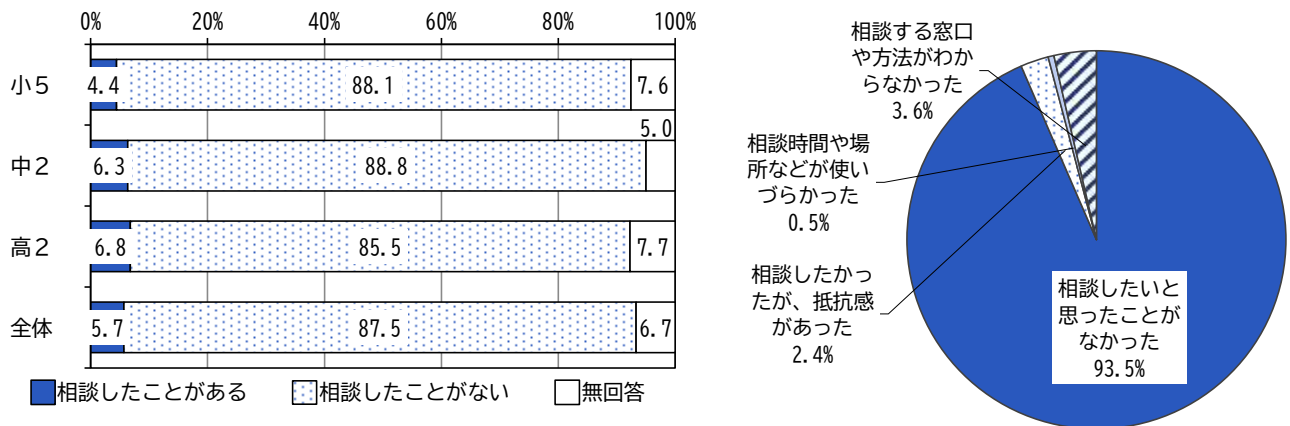


### (9)警察

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が5.7%、「相談したことがない」が87.5%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が3.6%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が2.4%となっています。

図 警察

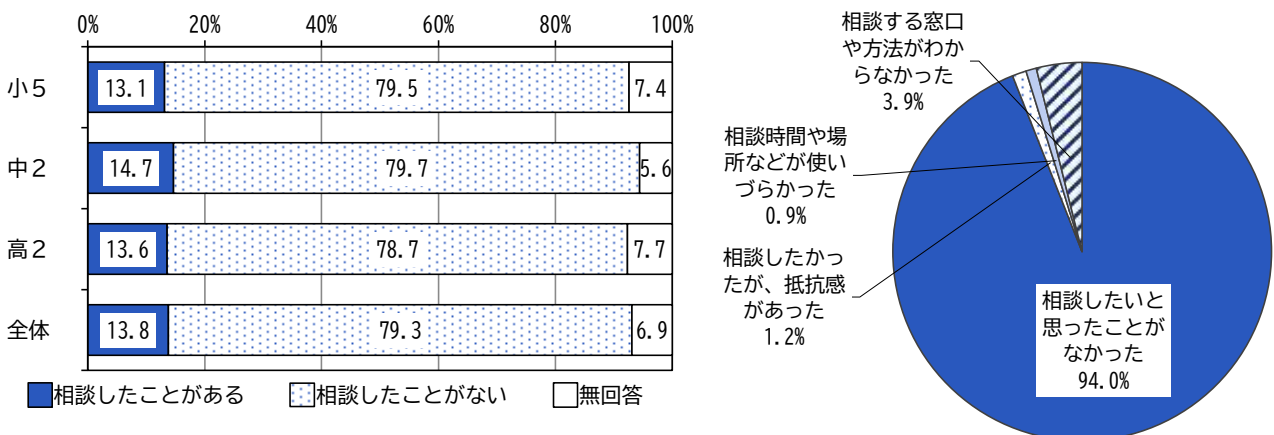


### (10)ハローワーク

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が13.8%、「相談したことがない」が79.3%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が3.9%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が1.2%となっています。

図 ハローワーク

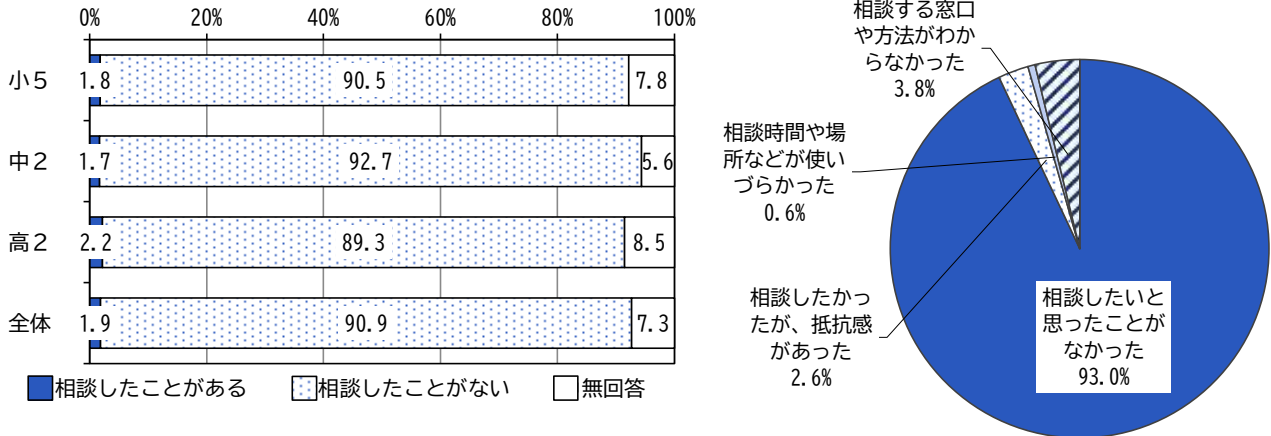


### (11)インターネットの相談サイト

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が1.9%、「相談したことがない」が90.9%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が3.8%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が2.6%となっています。

図 インターネットの相談サイト



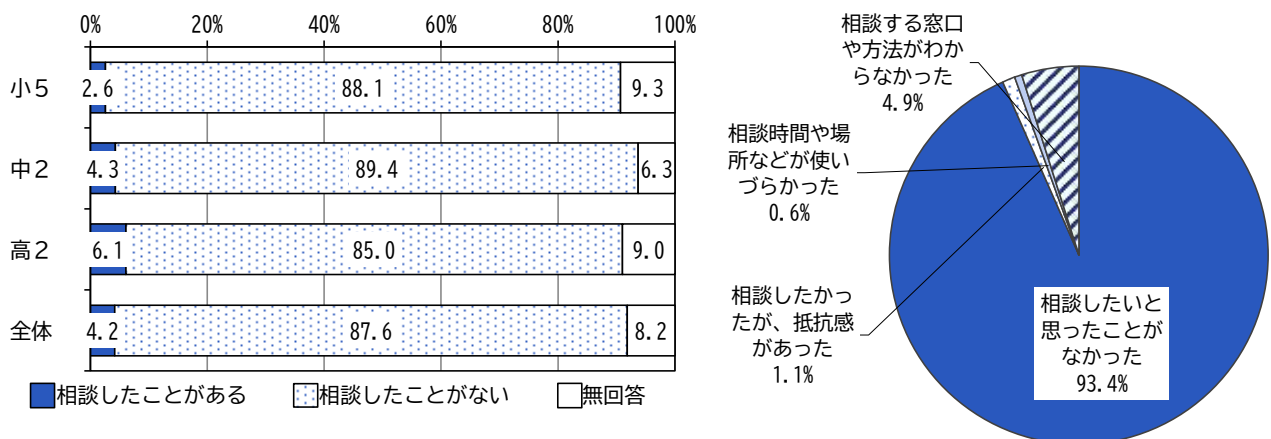
### (12)上記以外の公的機関

「相談したことがある」と回答した割合は、全体が4.2%、「相談したことがない」が87.6%となっています。

「相談したことがない」理由のうち、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合が4.9%、「相談したかったが、抵抗感があつた」が1.1%となっています。

また「上記以外の公的機関」のは「カウンセラー」、「精神科の先生」などがあげられています。

図 上記以外の公的機関

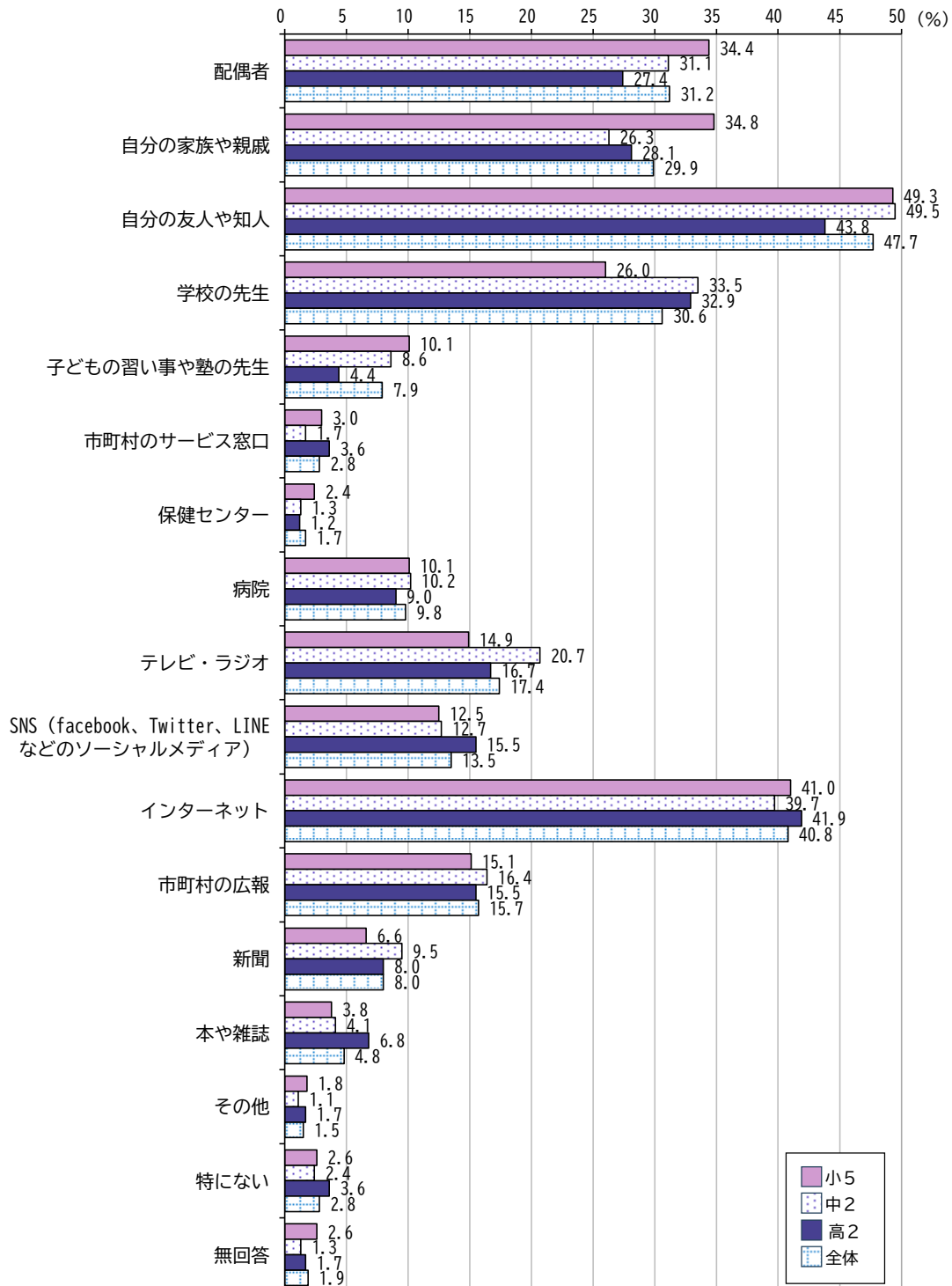


## ○情報源や支援の利用状況

(1) あなたはお子さんの教育や健康・医療についての情報を、どこから(誰から)得ていますか。主なものを3つ選んでください。(あてはまる番号3つに○)

教育や健康・医療についての情報をどこ(誰)から得ているかについて、「自分の友人や知人」と回答した割合は、全体で47.7%、小学5年生で49.3%、中学2年生で49.5%、高校2年生で43.8%とそれぞれ最も多くなっています。「その他」には、「職場の同僚」、「学校の配布物」などがあげられています。

図 教育や健康・医療の情報の入手先



(2)この調査票が配布されたお子さんについて、以下の(ア)～(ク)の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

公的支援制度等の利用状況について、全体では「利用したことがある」と回答した割合は、『子育てひろば（地域子育て支援センター）』が49.0%と多くなっています。

また、相談したことがないと回答した方の利用意向ではすべての公的機関で「利用したいと思ったことがなかった」と回答した割合が最も多くなっています。

表 公的支援制度等の利用状況【全体】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ <div><div>1位</div><div>2位</div></div>	調査数	(1) 利用したことがある	(2) (3) (4) (5) (6) (7) 利用したことがない						無回答
			な利用 かった たいと思 ったこと が	条件を満 たしてい なかつた	利用した 時間や制 度等が	利用の仕 方なかつ た	知らなかつ た	制度等につ いて全く	
(ア) 子育てひろば（地域子育て支援センター）	1,379	49.0	38.3	0.4	1.3	3.0	3.6	1.6	2.8
(イ)子育て短期支援事業（ショートステイ）	1,379	1.0	75.7	1.2	0.9	2.7	10.2	4.8	3.6
(ウ)ファミリー・サポート・センター	1,379	2.3	72.9	1.1	3.6	4.3	7.5	4.3	4.1
(エ)子ども食堂	1,379	15.3	63.7	0.9	2.7	6.5	2.2	5.3	3.4
(オ)フードバンクによる食料支援	1,379	1.2	74.3	0.6	0.8	5.6	6.9	5.9	4.9
(カ)小学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所	1,379	14.1	57.1	0.7	1.5	4.6	9.9	8.8	3.5
(キ)学校が実施する補充学習(学習支援)	1,379	26.3	52.9	1.3	2.1	4.1	5.7	4.4	3.2
(ク)学校以外が実施する補充学習(学習支援)	1,379	10.7	61.6	0.7	1.9	4.6	9.1	7.7	3.6





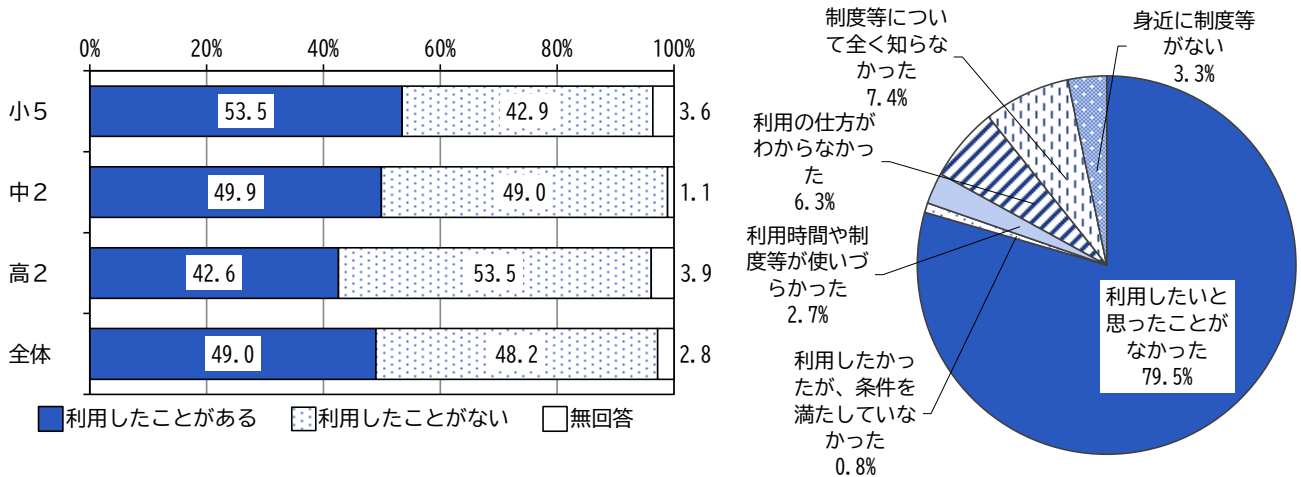


### (ア)子育てひろば（地域子育て支援センター）

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が49.0%、「利用したことがない」が48.2%となっています。

「利用したことがない」理由のうち、「制度等について全く知らなかった」の割合が7.4%、「利用の仕方がわからなかった」が6.3%となっています。

図 子育てひろば（地域子育て支援センター）

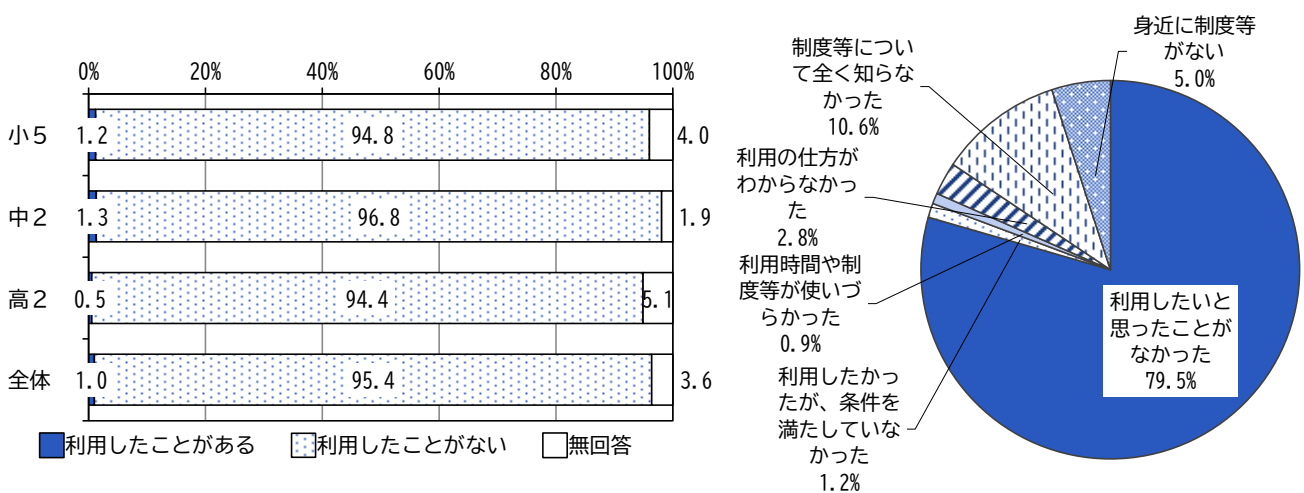


### (イ)子育て短期支援事業（ショートステイ）

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が1.0%、「利用したことがない」が95.4%となっています。

「利用したことがない」理由のうち、「制度等について全く知らなかった」の割合が10.6%、「身近に制度等がない」が5.0%となっています。

図 子育て短期支援事業（ショートステイ）

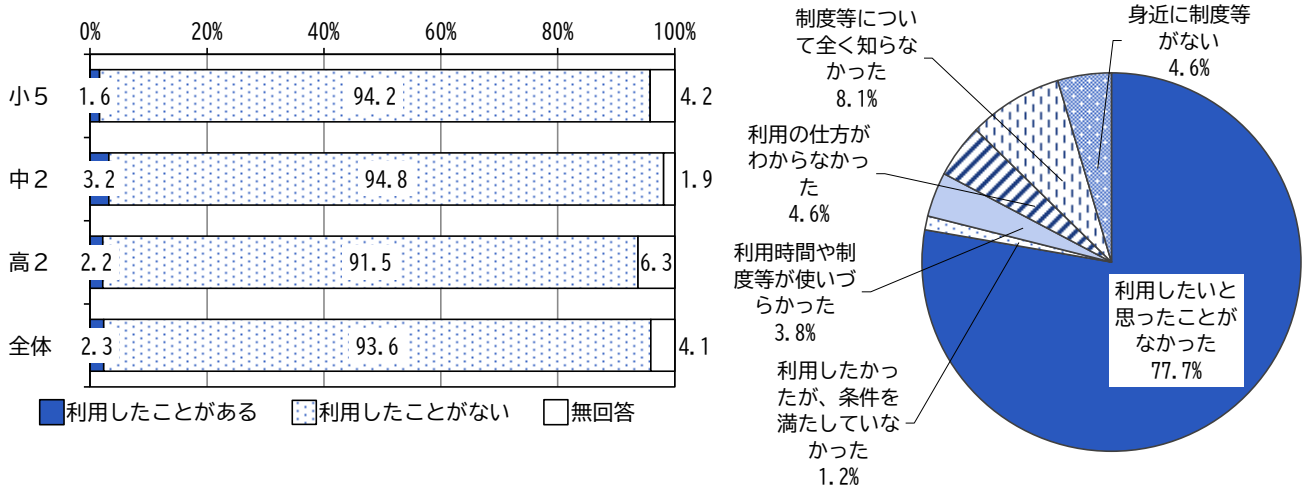


### (ウ)ファミリー・サポート・センター

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が2.3%、「利用したことがない」が93.6%となっています。

「利用したことがない」理由のうち、「制度等について全く知らなかった」の割合が8.1%、「利用の仕方がわからなかった」、「身近に制度等がない」が同率4.6%となっています。

図 ファミリー・サポート・センター

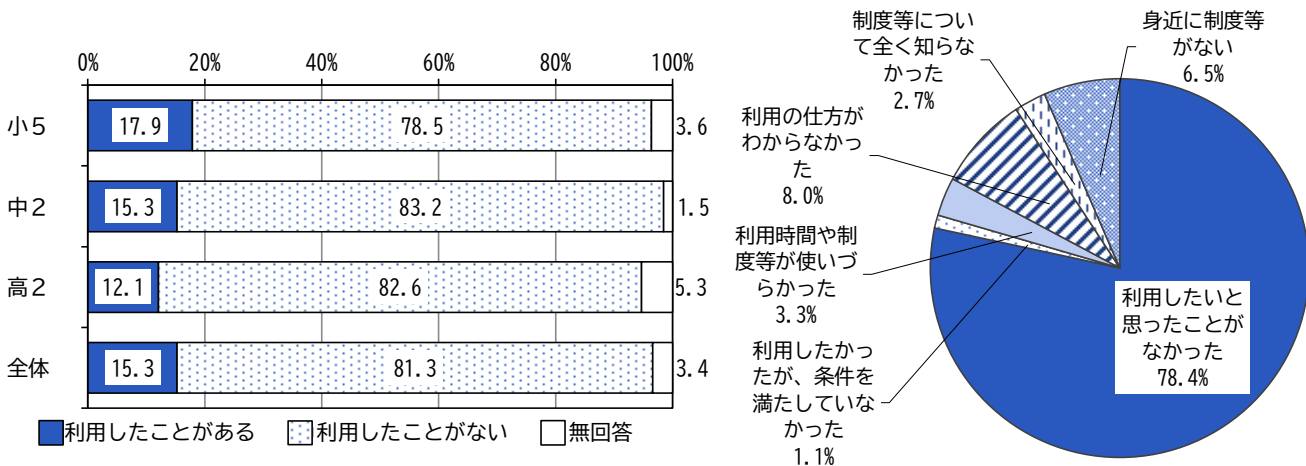


### (エ)子ども食堂

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が15.3%、「利用したことがない」が81.3%となっています。

「利用したことがない」理由のうち、「利用の仕方がわからなかった」の割合が8.0%、「身近に制度等がない」が6.5%となっています。

図 子ども食堂

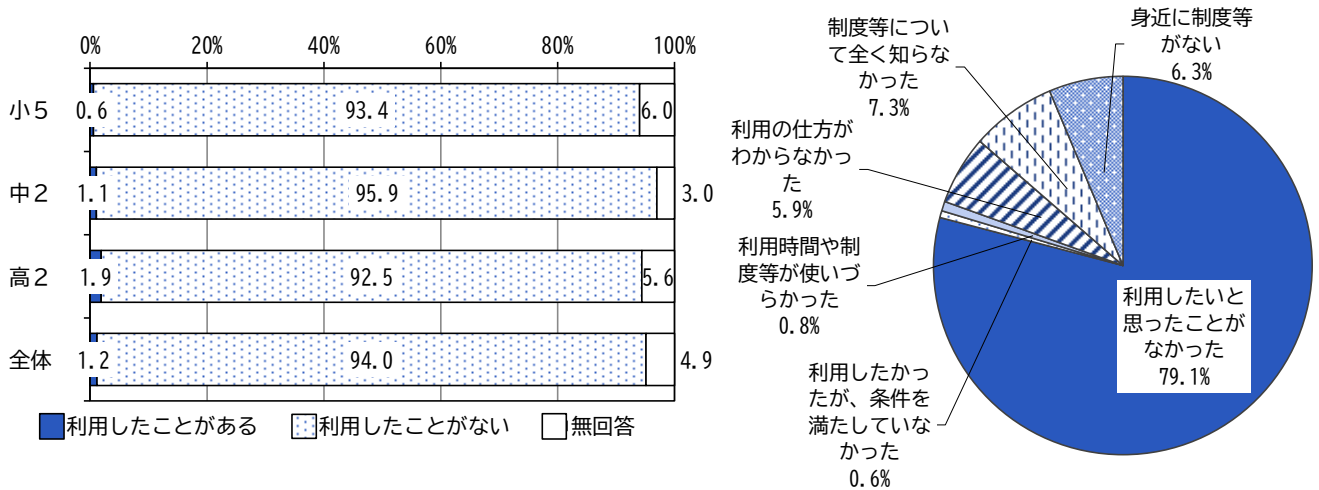


### (オ)フードバンクによる食料支援

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が1.2%、「利用したことがない」が94.0%となっています。

「利用したことがない」理由のうち、「制度等について全く知らなかった」の割合が7.3%、「身近に制度等がない」が6.3%となっています。

図 フードバンクによる食料支援

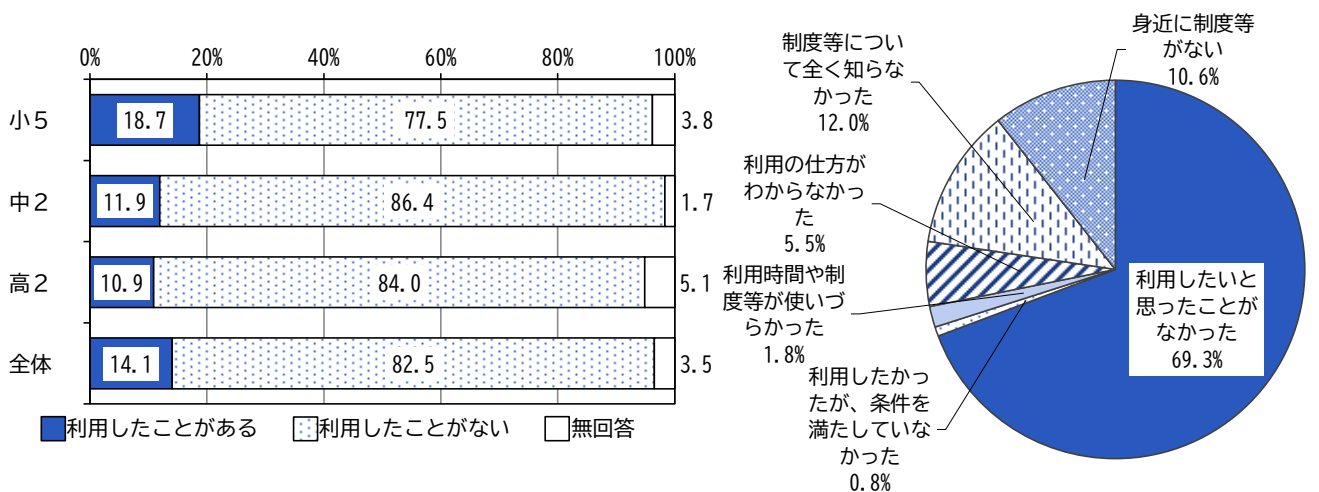


### (カ)小学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が14.1%、「利用したことがない」が82.5%となっています。

「利用したことがない」理由のうち、「制度等について全く知らなかった」の割合が12.0%、「身近に制度等がない」が10.6%となっています。

図 小学生以上の子どもが自由に時間を過ごせる場所

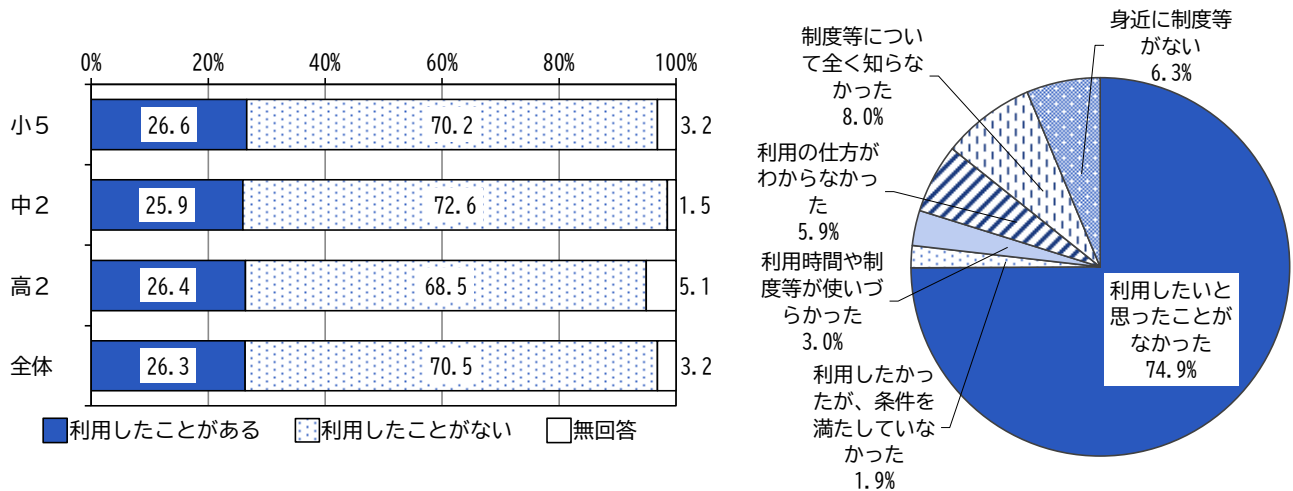


### (キ)学校が実施する補充学習（学習支援）

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が26.3%、「利用したことがない」が70.5%となっています。

「利用したことがない」理由のうち、「制度等について全く知らなかった」の割合が8.0%、「身近に制度等がない」が6.3%となっています。

図 学校が実施する補充学習（学習支援）

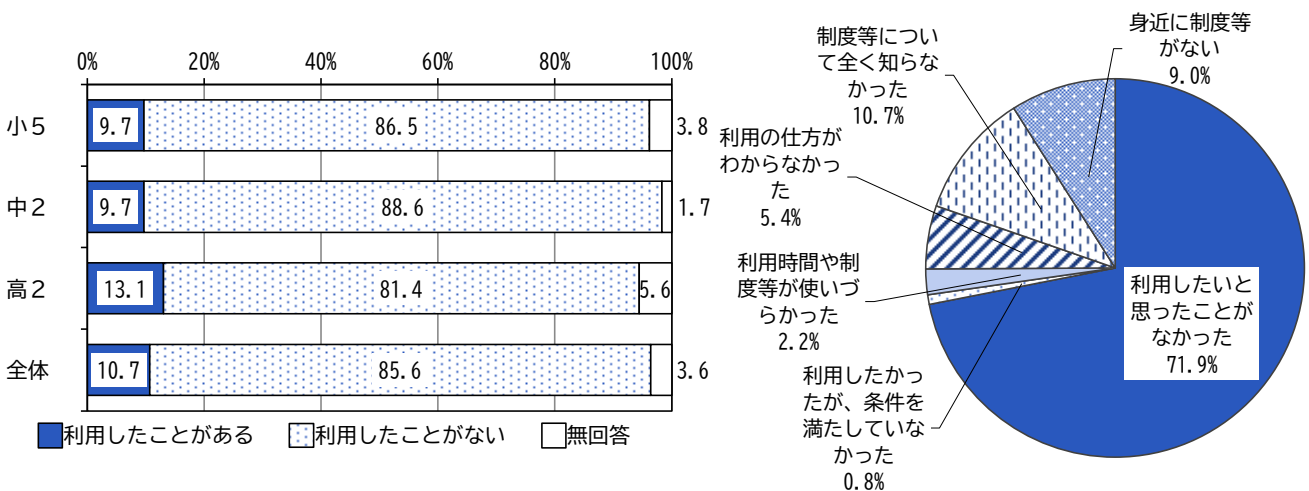


### (ク)学校以外が実施する補充学習（学習支援）

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が10.7%、「利用したことがない」が85.6%となっています。

「利用したことがない」理由のうち、「制度等について全く知らなかった」の割合が10.7%、「身近に制度等がない」が9.0%となっています。

図 学校以外が実施する補充学習（学習支援）

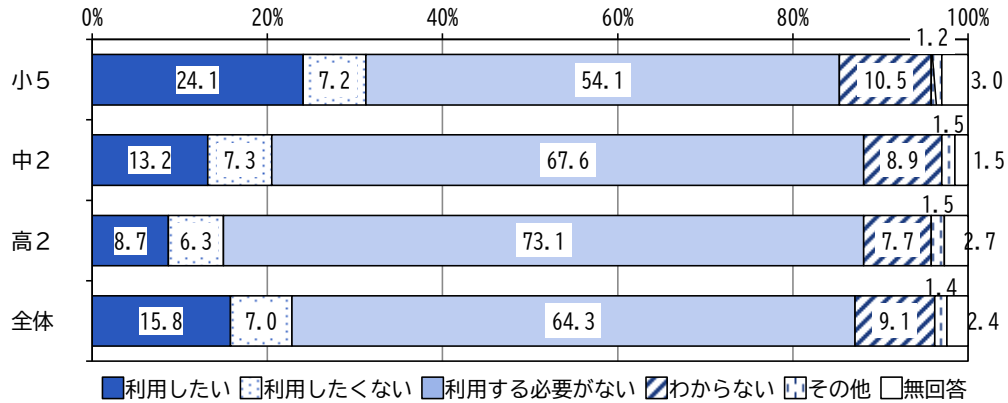


(3)お子さんのお母さんまたはお父さんが帰宅するまでの子どもの居場所や見守り(おおむね20時頃まで)の仕組みがあれば、利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

子どもの居場所や見守りの仕組みの利用意向について、「利用したい」と回答した割合は、全体で15.8%、小学5年生で24.1%、中学2年生で13.2%、高校2年生で8.7%となっています。

また、「利用する必要がない」と回答した割合は、全体で64.3%となっています。

図 子どもの居場所や見守りの仕組みの利用意向



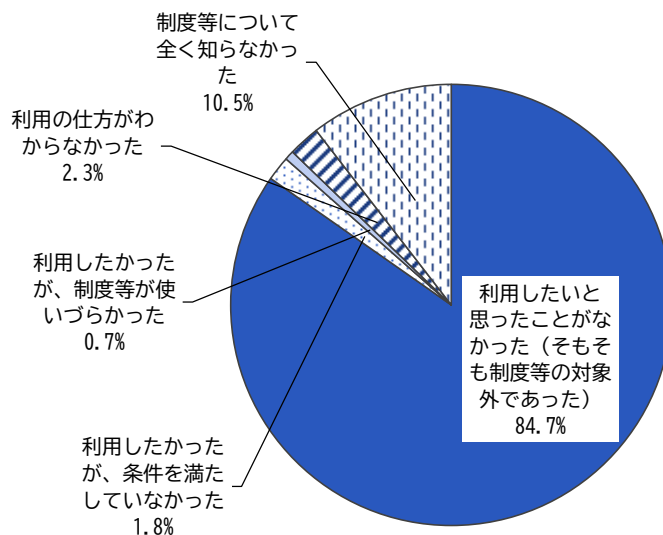
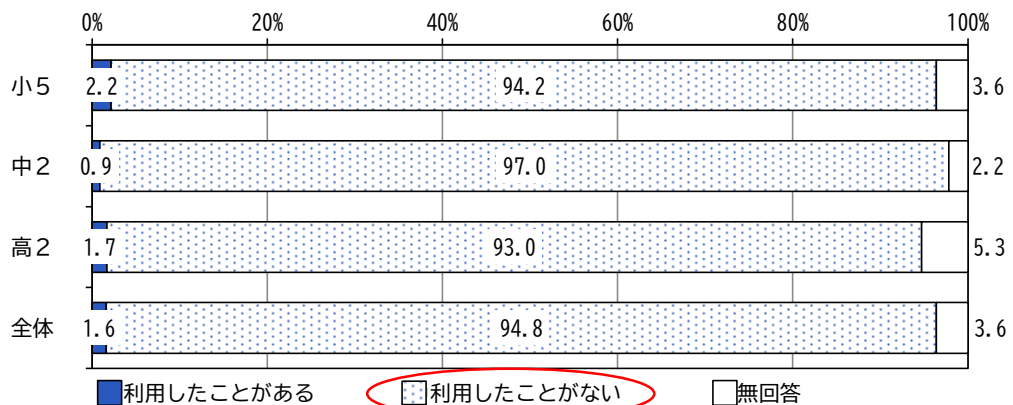
(4)あなたのご家庭では、以下の支援制度等は、これまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)

### (ア)生活福祉資金

生活福祉資金について、「利用したことがある」と回答した割合は、全体で1.6%、小学5年生で2.2%、中学2年生で0.9%、高校2年生で1.7%となっています。

また、利用したことがないと回答した方の理由として、「利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)」の割合が84.7%、「制度等について全く知らなかった」が10.5%となっています。

図 公的支援制度等の利用状況(生活福祉資金)【学年別】

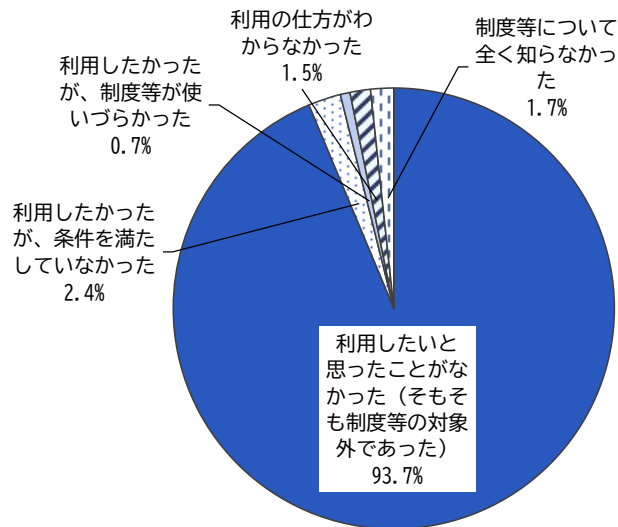
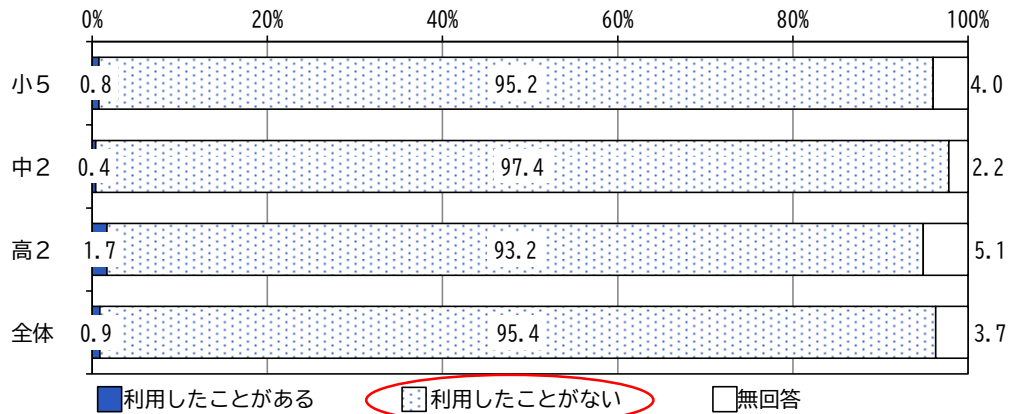


## (イ)生活保護

生活保護について、「利用したことがある」と回答した割合は、全体で0.9%、小学5年生で0.8%、中学2年生で0.4%、高校2年生で1.7%となっています。

また、利用したことがないと回答した方の理由として、「利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度等の対象外であった）」の割合が93.7%、「利用したかったが、条件を満たしていなかった」が2.4%となっています。

図 公的支援制度等の利用状況（生活保護）【学年別】

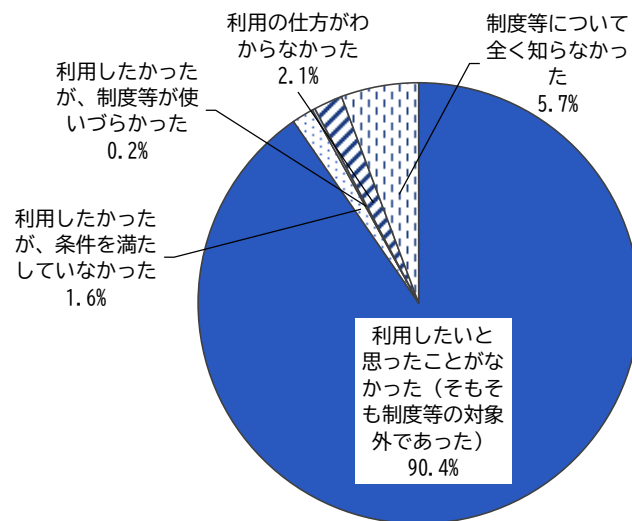
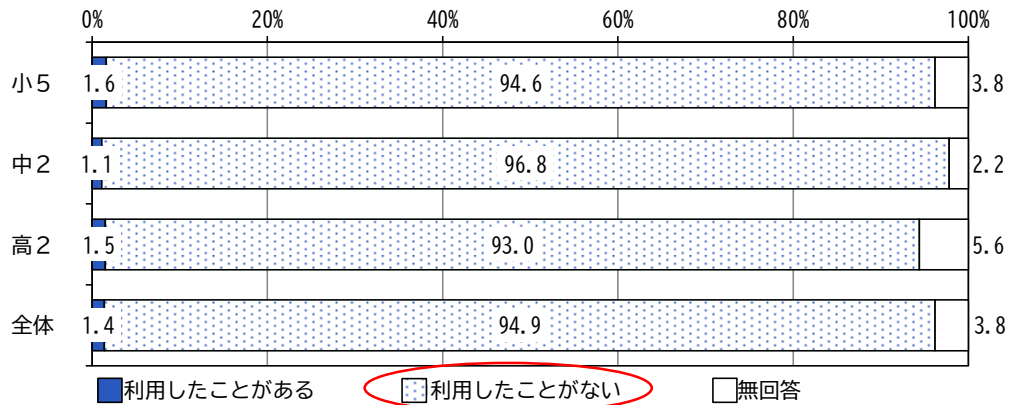


### (ウ)母子及び父子福祉資金

母子及び父子福祉資金について、「利用したことがある」と回答した割合は、全体で1.4%、小学5年生で1.6%、中学2年生で1.1%、高校2年生で1.5%となっています。

また、利用したことがないと回答した方の理由として、「利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度等の対象外であった）」の割合が90.4%、「制度等について全く知らなかった」が5.7%となっています。

図 公的支援制度等の利用状況（母子及び父子福祉資金）【学年別】

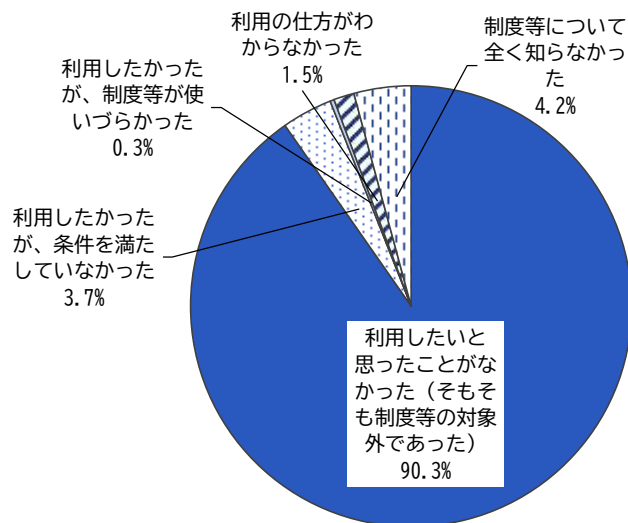
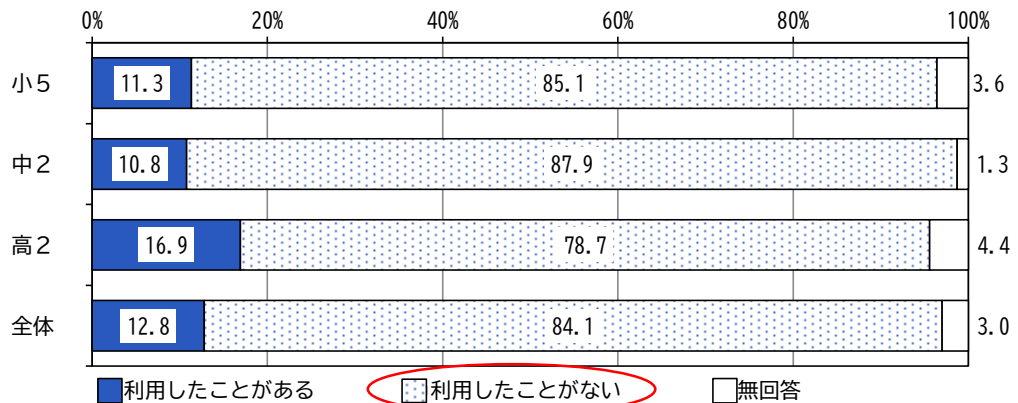


## (工)児童扶養手当

児童扶養手当について、「利用したことがある」と回答した割合は、全体で12.8%、小学5年生で11.3%、中学2年生で10.8%、高校2年生で16.9%となっています。

また、利用したことがないと回答した方の理由として、「利用したいと思ったことがなかった（そもそも制度等の対象外であった）」の割合が90.3%、「制度等について全く知らなかった」が4.2%となっています。

図 公的支援制度等の利用状況（児童扶養手当）【学年別】



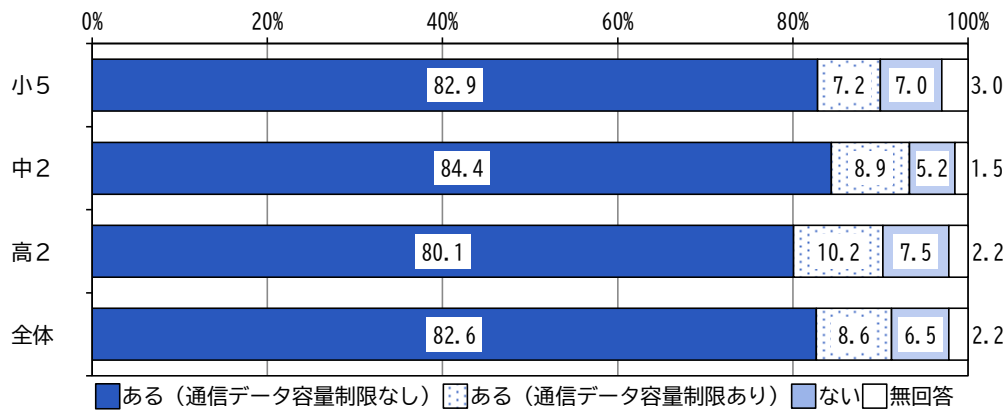
## ○家庭でのインターネット回線の有無

(1)お子さんの家庭にはインターネット回線がありますか。(あてはまる番号1つに○)

お子さんの家庭にはインターネット回線があるかどうかについて、「ある（通信データ容量制限なし）」と回答した割合は、全体で 82.6%となっています。

また、「ない」と回答した割合は、全体で 6.5%、小学5年生で 7.0%、中学2年生で 5.2%、高校2年生で 7.5%となっています。

図 家庭でのインターネット回線の有無

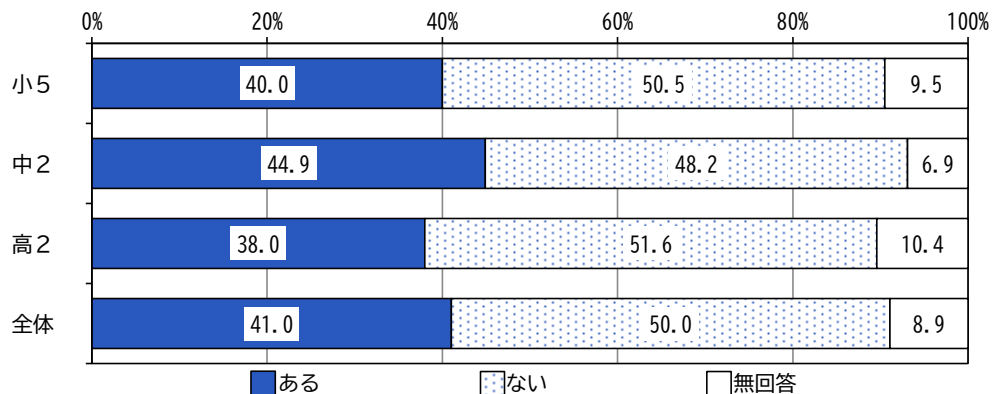


## ○行政への要望

(1)あなたが子育てをするうえで、あったらいいと思うサービスはありますか。

子育てをするうえで、あったらいいと思うサービスについて、「ある」と回答した割合は、全体で 41.0%、小学5年生で 40.0%、中学2年生で 44.9%、高校2年生で 38.0%となっています。

図 子育てをするうえで、あったらいいと思うサービス



## 2 子どもの状況

### ○住んでいる地域

住んでいる地域について○をつけてください。(いずれか1つに○)

住んでいる地域について、保健所圏域別の回答数は、次のとおりとなっています。

表 住んでいる地域

保健所圏域別回答数(人)

	全体	小5	中2	高2
安芸	67	24	24	19
中央東	211	78	76	57
高知市	671	231	222	218
中央西	128	43	46	39
須崎	92	35	30	27
幡多	123	51	41	31
無回答	20	13	5	2
計	1,312	475	444	393

## ○子どもの所有物の状況

あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。(あてはまる番号1つに○)

自身の所有物について、全体の回答をみると、『携帯音楽プレーヤー』を除くすべての項目で、「ある」と回答した割合が5割以上と最も多くなっており、『携帯音楽プレーヤー』では『ない（ほしくない）』の割合が38.0%と最も多くなっています。

表 子どもの所有物【全体】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ <div><div>1位</div><div>2位</div></div>	調査数	(1)	(2)		(3)	無回答
		ある	ない			
			ほしい	ほしくない		
(1)自分だけの本（学校の教科書やマンガは除く）	1,312	80.3	5.1	13.9	0.7	
(2)子ども部屋 （きょうだいと使っている場合も含みます）	1,312	77.7	16.4	5.3	0.6	
(3)（自宅で）インターネットにつながるパソコン	1,312	55.6	25.2	18.2	1.0	
(4)自宅で宿題をすることができる場所	1,312	94.4	3.4	1.8	0.5	
(5)自分専用の勉強机	1,312	82.9	9.3	7.2	0.6	
(6)スポーツ用品 （野球のグローブやサッカーボール等）	1,312	69.2	3.2	26.8	0.8	
(7)ゲーム機	1,312	82.9	7.0	10.0	0.2	
(8)自転車	1,312	94.6	2.5	2.7	0.2	
(9)おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい	1,312	87.0	9.3	3.0	0.7	
(10)携帯電話、スマートフォン	1,312	77.4	17.7	4.6	0.3	
(11)携帯音楽プレーヤー	1,312	36.7	23.7	38.0	1.5	

自身の所有物について、小学5年生の回答をみると、『携帯音楽プレーヤー』を除くすべての項目で、「ある」と回答した割合が5割以上と最も多くなっており、『携帯音楽プレーヤー』では『ない（ほしくない）』の割合が46.3%と最も多くなっています。

表 子どもの所有物【小学5年生】

	調査数	(1) ある	(2) ない		無回答
			ほしい	ほしくない	
【表の見方】 比率(%) 網掛け=					
			1位		
			2位		
(1)自分だけの本（学校の教科書やマンガは除く）	475	77.1	6.5	15.4	1.1
(2)子ども部屋 （きょうだいと使っている場合も含みます）	475	66.5	23.8	8.2	1.5
(3)（自宅で）インターネットにつながるパソコン	475	50.3	27.6	20.4	1.7
(4)自宅で宿題をすることができる場所	475	92.0	4.2	2.9	0.8
(5)自分専用の勉強机	475	72.6	14.7	11.4	1.3
(6)スポーツ用品 （野球のグローブやサッカーボール等）	475	67.2	4.6	26.3	1.9
(7)ゲーム機	475	84.0	9.9	5.9	0.2
(8)自転車	475	93.7	3.6	2.1	0.6
(9)おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい	475	81.7	12.4	4.8	1.1
(10)携帯電話、スマートフォン	475	51.8	38.7	9.3	0.2
(11)携帯音楽プレーヤー	475	16.6	36.2	46.3	0.8

自身の所有物について、中学2年生の回答をみると、すべての項目で「ある」と回答した割合が4割以上と最も多くなっています。

表 子どもの所有物【中学2年生】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ <div><div>1位</div><div>2位</div></div>	調査数	(1) ある	(2) ない		(3) 無回答
		ほしい	ほしくない		
(1)自分だけの本（学校の教科書やマンガは除く）	444	82.2	5.2	12.6	-
(2)子ども部屋 （きょうだいと使っている場合も含みます）	444	80.9	13.7	5.4	-
(3)（自宅で）インターネットにつながるパソコン	444	57.4	21.4	20.0	1.1
(4)自宅で宿題をすることができる場所	444	95.7	2.7	1.4	0.2
(5)自分専用の勉強机	444	86.3	6.8	6.8	0.2
(6)スポーツ用品 （野球のグローブやサッカーボール等）	444	72.5	2.5	24.8	0.2
(7)ゲーム機	444	86.3	4.7	9.0	-
(8)自転車	444	95.3	1.6	3.2	-
(9)おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい	444	89.2	7.7	2.7	0.5
(10)携帯電話、スマートフォン	444	86.0	9.9	3.4	0.7
(11)携帯音楽プレーヤー	444	44.4	19.6	34.7	1.4

自身の所有物について、高校2年生の回答をみると、すべての項目で「ある」と回答した割合が5割以上と最も多くなっています。

表 子どもの所有物【高校2年生】

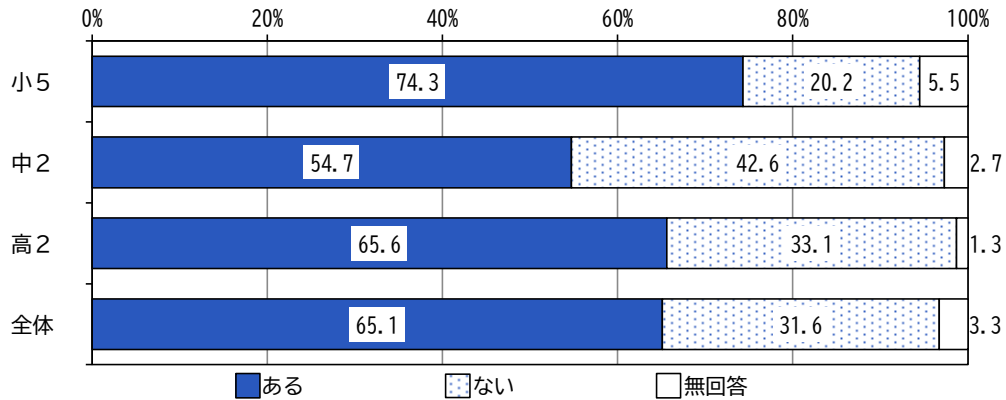
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ <div><div>1位</div><div>2位</div></div>	調査数	(1) ある	(2) ない		(3) 無回答
		ほしい	ほしくない		
(1)自分だけの本（学校の教科書やマンガは除く）	393	81.9	3.3	13.7	1.0
(2)子ども部屋 （きょうだいと使っている場合も含みます）	393	87.8	10.4	1.5	0.3
(3)（自宅で）インターネットにつながるパソコン	393	60.1	26.5	13.5	-
(4)自宅で宿題をすることができる場所	393	95.7	3.3	0.8	0.3
(5)自分専用の勉強机	393	91.6	5.6	2.5	0.3
(6)スポーツ用品 （野球のグローブやサッカーボール等）	393	67.9	2.3	29.5	0.3
(7)ゲーム機	393	77.6	6.1	16.0	0.3
(8)自転車	393	94.9	2.3	2.8	-
(9)おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい	393	90.8	7.4	1.3	0.5
(10)携帯電話、スマートフォン	393	98.7	1.0	0.3	-
(11)携帯音楽プレーヤー	393	52.4	13.2	31.8	2.5

## ○将来の夢

(1)あなたには、将来の夢がありますか。(いずれか1つに○)

将来の夢について、「ある」と回答した割合は、全体で 65.1%、小学 5 年生で 74.3%、中学 2 年生で 54.7%、高校 2 年生で 65.6%となっています。

図 将来の夢の有無



将来の夢について、学年別、放課後ほっとできる場所別にみると、「ある」と回答した割合は、『自分の家』では全体 65.9%、小学 5 年生 76.5%、中学 2 年生 55.8%、高校 2 年生 64.6%となっています。

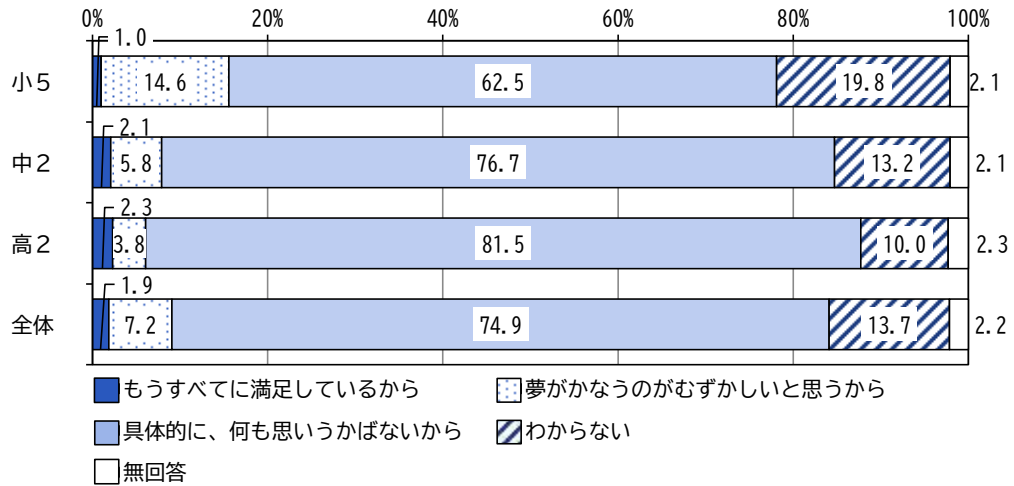
表 将来の夢の有無【学年別、放課後ほっとできる場所】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			調 査 数	(1) あ る	(2) な い	無 回 答
1位						
2位						
ほ っ と で き る 場 所	全 体	自分の家	1,079	65.9	31.3	2.8
		自分の家以外の場所	144	66.0	29.9	4.2
		ほっとできる場所はない	30	53.3	40.0	6.7
	小 5	自分の家	383	76.5	18.8	4.7
		自分の家以外の場所	65	63.1	29.2	7.7
		ほっとできる場所はない	7	57.1	28.6	14.3
	中 2	自分の家	360	55.8	41.9	2.2
		自分の家以外の場所	43	53.5	44.2	2.3
		ほっとできる場所はない	12	41.7	50.0	8.3
	高 2	自分の家	336	64.6	34.2	1.2
		自分の家以外の場所	36	86.1	13.9	-
		ほっとできる場所はない	11	63.6	36.4	-

(2)将来の夢が『2.ない』と答えた方におたずねします。夢がない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

将来の夢がない理由について、「具体的に、何も思い浮かばないから」と回答した割合は、全体で74.9%、小学5年生で62.5%、中学2年生で76.7%、高校2年生で81.5%となっています。

図 将来の夢がない理由

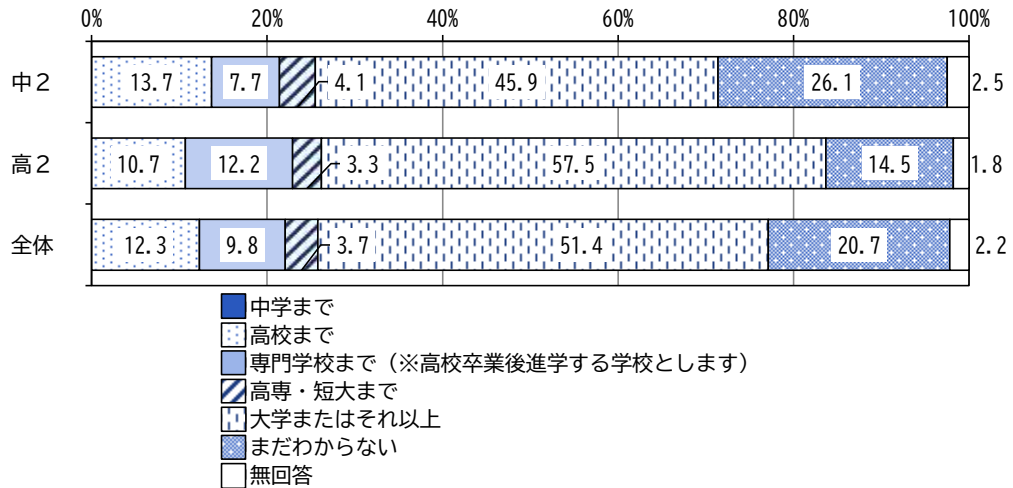


## ○進学のこと

(1)あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)※中学2年生、高校2年生のみ

進学希望段階について、中学2年生、高校2年生ともに「大学またはそれ以上」と回答した割合はそれぞれ45.9%、57.5%となっています。

図 進学希望段階



進学希望段階について、学年別、放課後ほっとできる場所別にみると、「大学またはそれ以上」と回答した割合は、『自分の家』では、全体 53.9%、中学2年生 49.2%、高校2年生 58.9%となっています。

表 進学希望段階【学年別、放課後ほっとできる場所別】

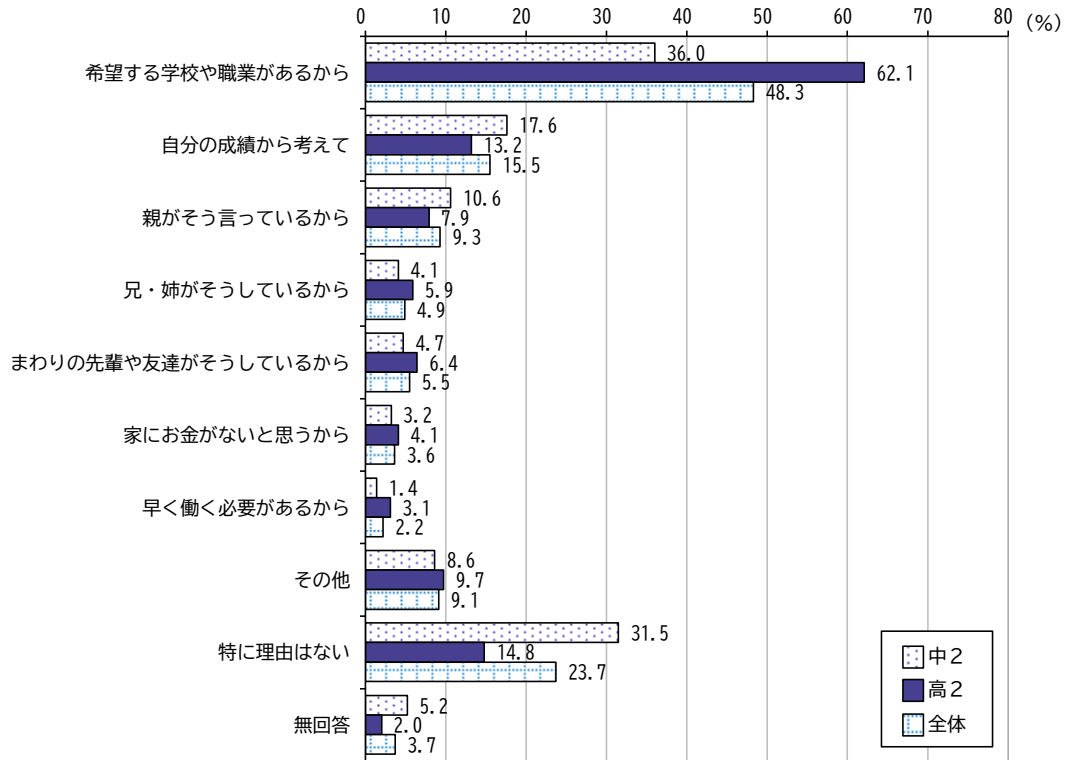
【表の見方】 比率(%) 網掛け=			調査数	(1) 中学 まで	(2) 高校 まで	(3) ま で 専 門 ※ 学 校	(4) で 高 専 ・ 短 大 ま	(5) そ れ 学 以 上 た は	(6) わ ま か だ ら な い	無 回 答
ほ っ と で き る 場 所	全 体	自分の家	696	-	11.4	9.8	3.9	53.9	18.8	2.3
		自分の家以外の場所	79	-	10.1	11.4	3.8	46.8	26.6	1.3
		ほっとできる場所はない	23	-	34.8	4.3	-	26.1	34.8	-
	中 2	自分の家	360	-	11.9	7.8	4.4	49.2	23.9	2.8
		自分の家以外の場所	43	-	14.0	4.7	2.3	41.9	34.9	2.3
		ほっとできる場所はない	12	-	41.7	-	-	16.7	41.7	-
	高 2	自分の家	336	-	10.7	11.9	3.3	58.9	13.4	1.8
		自分の家以外の場所	36	-	5.6	19.4	5.6	52.8	16.7	-
		ほっとできる場所はない	11	-	27.3	9.1	-	36.4	27.3	-

※高校卒業後進学する学校とします

(2)(1)で答えたように考える理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)  
※中学2年生、高校2年生のみ

進学を希望する理由について、中学2年生、高校2年生ともに「希望する学校や職業があるから」と回答した割合が最も多く、それぞれ36.0%、62.1%となっています。

図 進学を希望する理由



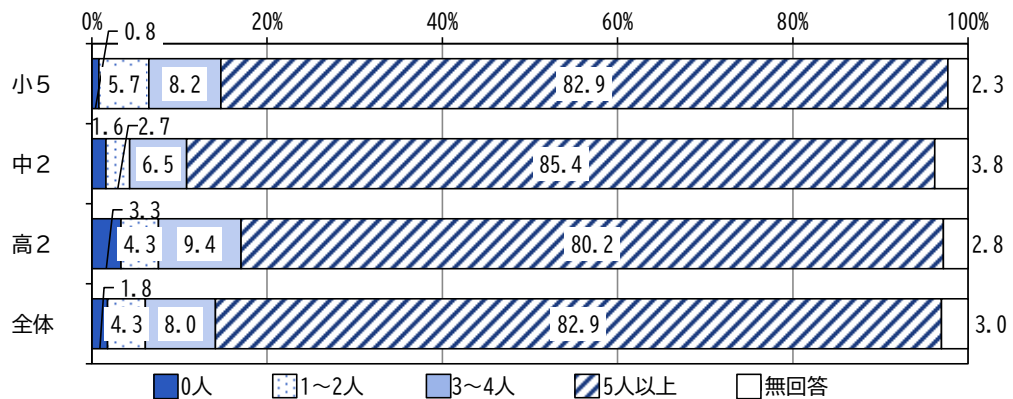
## ○友だちのこと

次のような友だちは、全部で何人くらいいますか。いなければ0と書いてください。

### (ア)同じ学校の、仲のよい友だちの人数

同じ学校の、仲のよい友だちの人数について、「5人以上」と回答した割合は、全体で82.9%、小学5年生で82.9%、中学2年生で85.4%、高校2年生で80.2%となっています。

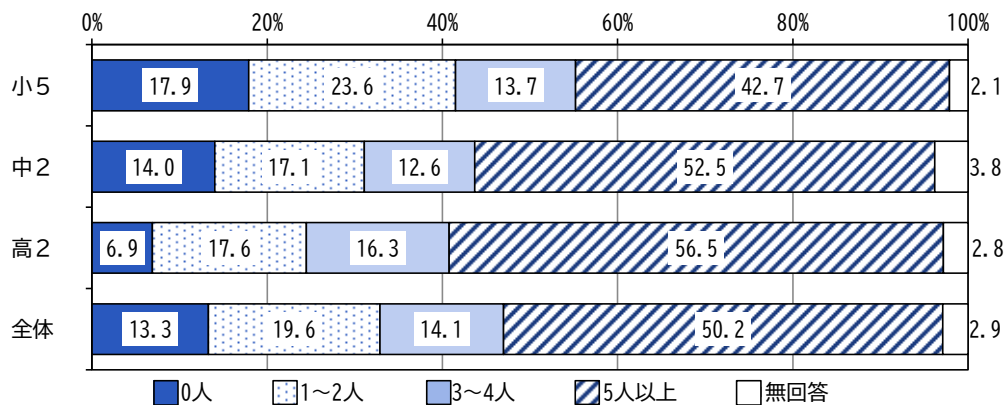
図 同じ学校の、仲のよい友だちの人数



### (イ)同じ学校以外の、仲のよい友だちの人数

同じ学校以外の、仲のよい友だちの人数について、「5人以上」と回答した割合は、全体で50.2%、小学5年生で42.7%、中学2年生で52.5%、高校2年生で56.5%となっています。

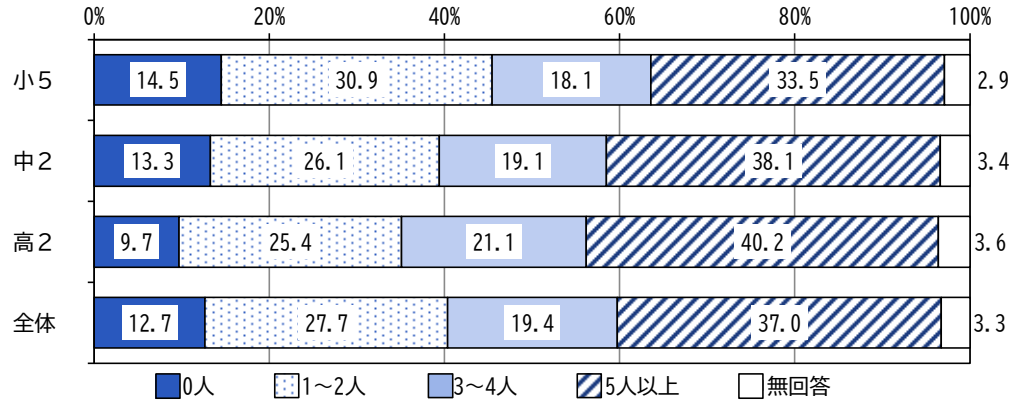
図 同じ学校以外の、仲のよい友だちの人数



### (ウ)悩みごとを相談できる友だちの人数

悩み事を相談できる友だちの人数について、「5人以上」と回答した割合は、全体で37.0%、小学5年生で33.5%、中学2年生で38.1%、高校2年生で40.2%となっています。

図 (ウ)悩みごとを相談できる友だちの人数

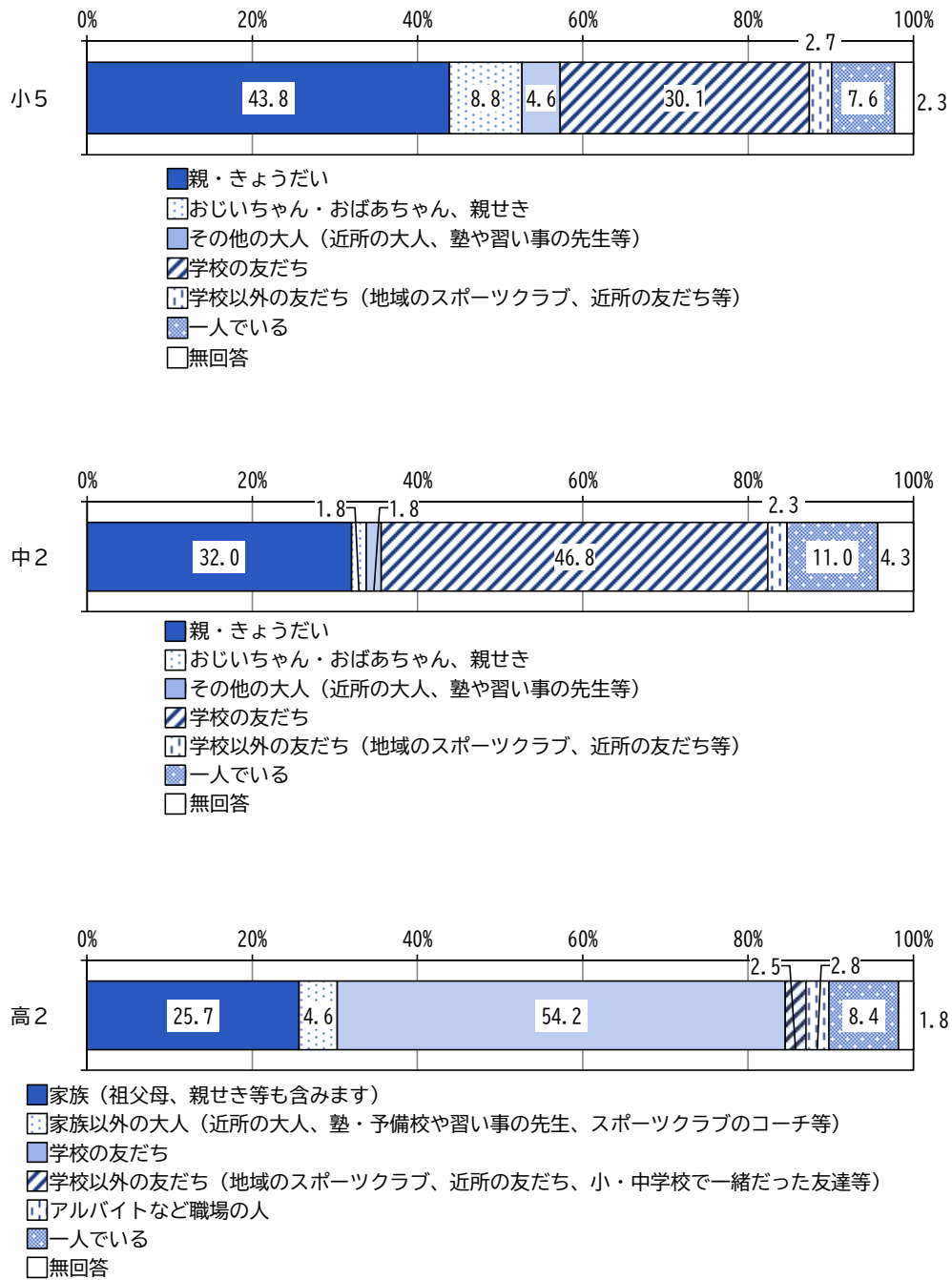


## ○ふだんの学校生活のこと

(1)平日(学校に行く日)の放課後はだれと一緒に過ごすことが一番多いですか。(あてはまる番号1つに○)

平日(学校に行く日)の放課後に一緒に過ごす人について、小学5年生は「親・きょうだい」43.8%、中学2年生及び高校2年生は「学校の友だち」と回答した割合がそれぞれ46.8%、54.2%と最も多くなっています。

図 平日(学校に行く日)の放課後に一緒に過ごす人



(2)あなたには、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)を過ごす居場所がありますか。1週間のうち、それぞれで過ごすおおよその日数を答えてください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

平日(学校に行く日)の放課後を過ごす居場所と頻度について、全体の割合をみると、『自分の家』、『学校』では「毎日」と回答した割合が最も多くなっています。

表 平日(学校に行く日)の放課後を過ごす居場所と頻度【全体】

	調査数	(1) 毎日	(2) 週に3～4日	(3) 週に1～2日	(4) 全く過ごさない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け= 1位 2位						
(ア)自分の家	1,312	73.4	7.8	11.3	3.1	4.4
(イ)祖父母の家	1,312	7.2	3.0	14.2	61.3	14.3
(ウ)友だちの家	1,312	0.8	2.4	18.0	64.3	14.5
(エ)塾や習い事	1,312	3.7	14.3	21.3	47.9	12.8
(オ)学校※1	1,312	30.7	17.5	14.3	27.8	9.7
(カ)アルバイト等の職場※2	393	1.5	6.9	4.1	70.2	17.3
(キ)公民館・コミュニティセンター・児童館※3	919	0.5	1.1	4.4	81.9	12.1
(ク)スポーツクラブの活動の場 (野球場、サッカー場等)	1,312	5.7	7.3	8.4	65.4	13.2
(ケ)公園	1,312	0.9	2.4	13.7	69.1	13.9
(コ)図書館	1,312	1.0	1.2	8.2	75.2	14.3
(サ)商店街やスーパーマーケット、ショッピングモール	1,312	0.8	3.6	21.6	59.7	14.3
(シ)ゲームセンター	1,312	0.4	0.2	6.6	78.3	14.6
(ス)オンライン空間 (SNS、オンラインゲームなど)	1,312	20.8	7.6	7.5	50.2	13.9
(セ)その他	1,312	1.8	0.9	1.1	59.9	36.3

※1小5：学校(クラブ活動、放課後校庭開放、放課後子ども教室、児童クラブ等)

中2・高2：学校(部活動、放課後等補充学習※4等)

※2高2のみ

※3小5・中2のみ

※4学校で放課後や長期休業期間等を行う補充学習

平日（学校に行く日）の放課後を過ごす居場所と頻度について、小学5年生の割合をみると、『自分の家』では「毎日」と回答した割合が最も多くなっています。

表 平日（学校に行く日）の放課後を過ごす居場所と頻度【小学5年生】

	調査数	(1) 毎日	(2) 週に3～4日	(3) 週に1～2日	(4) 全く過ごさない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ <div>1位</div> <div>2位</div>						
(ア)自分の家	475	64.6	13.5	12.2	4.2	5.5
(イ)祖父母の家	475	10.7	3.8	18.5	52.4	14.5
(ウ)友だちの家	475	1.3	4.6	27.6	51.4	15.2
(エ)塾や習い事	475	4.8	24.6	24.6	33.5	12.4
(オ)学校（クラブ活動、放課後校庭開放、放課後子ども教室、児童クラブ等）	475	12.8	6.5	20.8	47.4	12.4
(カ)公民館・コミュニティセンター・児童館	475	0.2	1.3	5.1	79.2	14.3
(キ)スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場等）	475	1.7	11.4	12.2	60.4	14.3
(ク)公園	475	1.5	5.5	21.9	56.6	14.5
(ケ)図書館	475	1.1	1.1	8.4	74.3	15.2
(コ)商店街やスーパーマーケット、ショッピングモール	475	0.2	3.2	17.9	63.8	14.9
(カ)ゲームセンター	475	－	－	6.7	77.9	15.4
(キ)オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど）	475	9.9	8.2	8.2	58.1	15.6
(ク)その他	475	2.5	1.3	1.5	55.2	39.6

平日（学校に行く日）の放課後を過ごす居場所と頻度について、中学2年生の割合をみると、『自分の家』、『学校』では「毎日」と回答した割合が最も多くなっています。

表 平日（学校に行く日）の放課後を過ごす居場所と頻度【中学2年生】

	調査数	(1) 毎日	(2) 週に3～4日	(3) 週に1～2日	(4) 全く過ごさない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け= 1位 2位						
(ア)自分の家	444	81.1	4.3	10.4	2.3	2.0
(イ)祖父母の家	444	5.9	2.3	11.9	69.1	10.8
(ウ)友だちの家	444	0.9	1.6	17.3	69.8	10.4
(エ)塾や習い事	444	2.3	9.9	27.3	51.6	9.0
(オ)学校（部活動、放課後等補充学習※等）	444	39.9	28.6	9.7	15.1	6.8
(カ)公民館・コミュニティセンター・児童館	444	0.9	0.9	3.6	84.9	9.7
(キ)スポーツクラブの活動の場 （野球場、サッカー場等）	444	5.9	4.5	7.2	73.0	9.5
(ク)公園	444	0.9	0.9	12.4	75.9	9.9
(ケ)図書館	444	1.1	0.7	8.1	80.0	10.1
(コ)商店街やスーパーマーケット、ショッピングモール	444	1.6	3.8	20.9	64.2	9.5
(サ)ゲームセンター	444	0.9	0.2	5.9	82.9	10.1
(シ)オンライン空間 （SNS、オンラインゲームなど）	444	26.6	6.8	6.5	51.4	8.8
(ス)その他	444	1.1	0.9	0.9	64.9	32.2

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補習学習

平日（学校に行く日）の放課後を過ごす居場所と頻度について、高校2年生の割合をみると、『自分の家』、『学校』では「毎日」と回答した割合が最も多くなっています。

表 平日の放課後「どこ」で過ごすか【高校2年生】

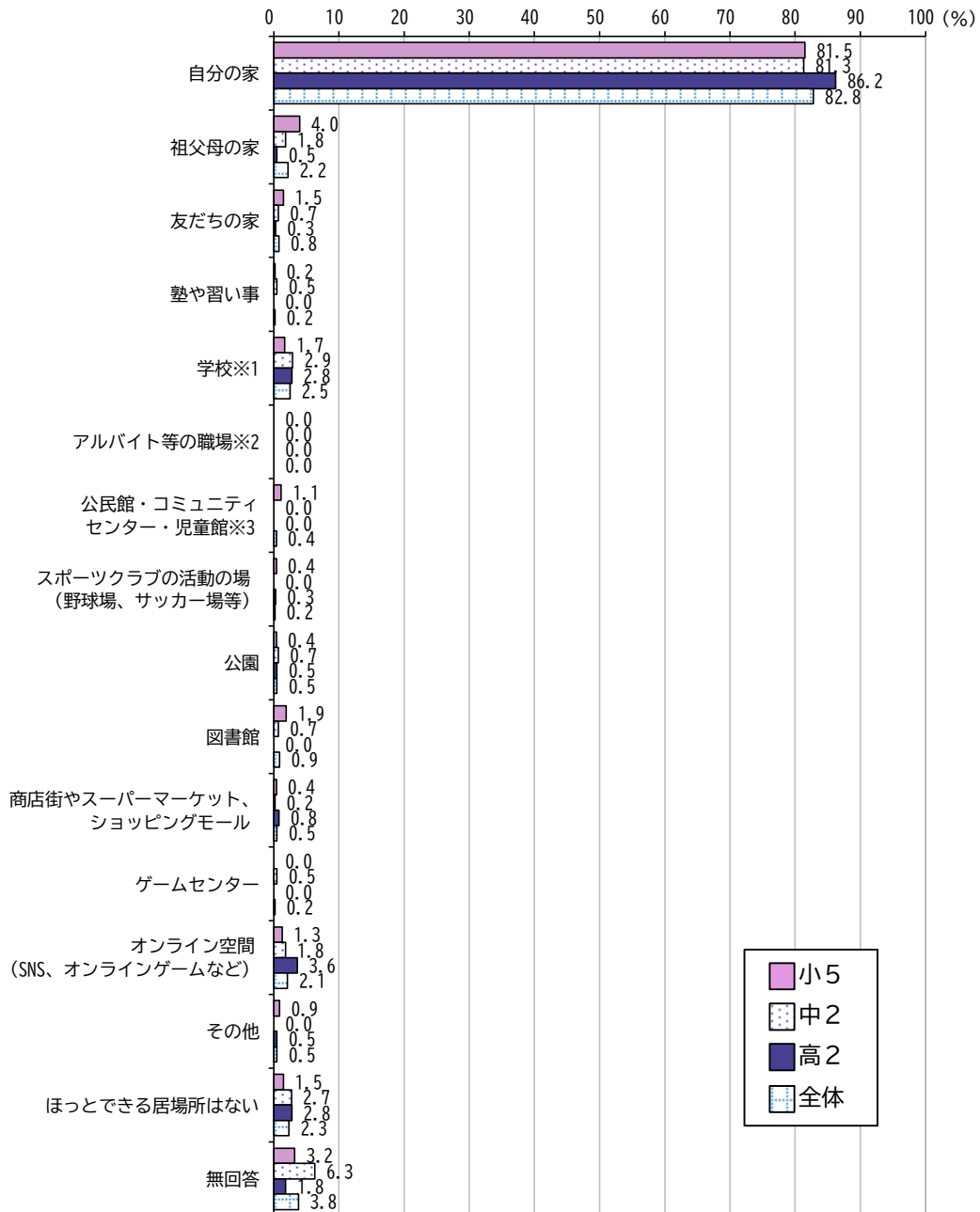
	調査数	(1) 毎日	(2) 週に3～4日	(3) 週に1～2日	(4) 全く過ごさない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位						
(ア)自分の家	393	75.3	4.8	11.2	2.8	5.9
(イ)祖父母の家	393	4.6	2.8	11.5	63.1	18.1
(ウ)友だちの家	393	-	0.8	7.1	73.8	18.3
(エ)塾や習い事	393	3.8	6.9	10.4	61.3	17.6
(オ)学校（部活動、放課後等補充学習※等）	393	42.0	18.3	11.5	18.6	9.7
(カ)スポーツクラブの活動の場 （野球場、サッカー場等）	393	10.4	5.6	5.1	62.8	16.0
(キ)アルバイト等の職場	393	1.5	6.9	4.1	70.2	17.3
(ク)公園	393	0.3	0.3	5.3	76.3	17.8
(ケ)図書館	393	0.8	2.0	8.1	71.0	18.1
(コ)商店街やスーパーマーケット、ショッピングモール	393	0.8	3.8	26.7	49.6	19.1
(サ)ゲームセンター	393	0.3	0.3	7.4	73.5	18.6
(シ)オンライン空間 （SNS、オンラインゲームなど）	393	27.5	7.9	7.6	39.2	17.8
(ス)その他	393	1.5	0.5	1.0	60.1	36.9

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補習学習

(3)(2)の項目の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。1つだけ選んで、その記号を書いてください。ほっとできる居場所がない場合は、「× ほっとできる居場所はない」に○を付けてください。

自身が一番ほっとできる居場所について、「自宅」と回答した割合は、全体が82.8%、小学5年生が81.5%、中学2年生が81.3%、高校2年生が86.2%となっており、「ほっとできる場所がない」と回答した割合は、全体で2.3%、小学5年生で1.5%、中学2年生で2.7%、高校2年生で2.8%となっています。

図 一番ほっとできる居場所



※1小5：学校（クラブ活動、放課後校庭開放、放課後子ども教室、児童クラブ等）

中2・高2：学校（部活動、放課後等補充学習※4等）

※2高2のみ

※3小5・中2のみ

※4学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

(4)あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

居場所の利用有無と意向について、全体の割合をみると、「利用したことがある」と回答した割合が、『a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所』は26.7%、『b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)』は11.5%、『c)勉強を無料で見てくれる場所』は9.1%、『d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)]は3.7%となっています。

表 居場所の利用有無と意向【全体】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1) 利用したことがある	(2) (3) (4) 利用したことはない			無回答
			思あれば利用したいと	思今後ない利用したいと	う今後分利用しないかど	
1位 2位						
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所	1,312	26.7	17.1	28.5	25.9	1.8
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)	1,312	11.5	29.3	30.8	26.1	2.3
c)勉強を無料でみてくれる場所	1,312	9.1	36.8	27.1	23.8	3.3
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	1,312	3.7	18.6	37.0	38.1	2.6

居場所の利用有無と意向について、小学5年生の割合をみると、「利用したことがある」と回答した割合が、『a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所』は33.9%、『b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)』は10.3%、『c)勉強を無料で見てくれる場所』は11.4%、『d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)]は3.2%となっています。

表 居場所の利用有無と意向【小学5年生】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1) 利用したことがある	(2) (3) (4) 利用したことはない			無回答
			思あれば利用したいと	思今後ない利用したいと	う今後分利用しないかど	
1位 2位						
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所(放課後子ども教室、児童クラブ、地域の交流スペースなど)	475	33.9	10.5	30.9	22.3	2.3
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)	475	10.3	30.1	32.4	24.6	2.5
c)勉強を無料でみてくれる場所	475	11.4	32.0	27.8	25.3	3.6
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	475	3.2	20.8	34.5	38.5	2.9

居場所の利用有無と意向について、中学2年生の割合をみると、「利用したことがある」と回答した割合が、『a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所』は23.9%、『b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)』は11.3%、『c) 勉強を無料で見てくれる場所』は9.7%、『d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)]は4.5%となっています。

表 居場所の利用有無と意向【中学2年生】

【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1) 利用したことがある	(2) (3) (4) 利用したことはない			無回答
			思あ うれ ば 利 用 し た い と	思今 わ後 なも い利 用 し た い と	う今 か後 分利 用 し な い か ど	
1位 2位						
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所	444	23.9	18.5	27.5	27.7	2.5
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	444	11.3	26.8	31.8	27.3	2.9
c) 勉強を無料でみてくれる場所	444	9.7	35.1	28.6	23.0	3.6
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	444	4.5	13.1	42.1	36.7	3.6

居場所の利用有無と意向について、高校2年生の割合をみると、「利用したことがある」と回答した割合が、『a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所』は21.1%、『b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)』は13.2%、『c) 勉強を無料で見てくれる場所』は5.6%、『d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)]は3.6%となっています。

表 居場所の利用有無と意向【高校2年生】

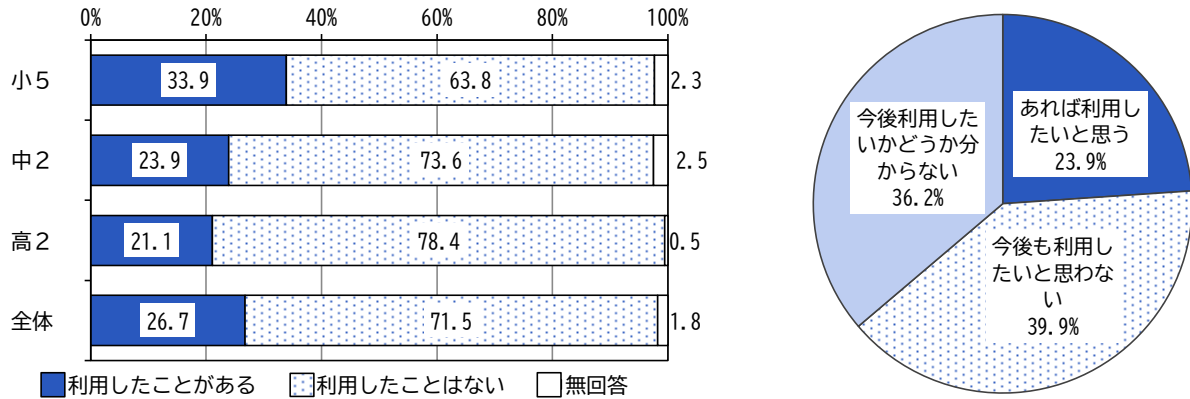
【表の見方】 比率(%) 網掛け=	調査数	(1) 利用したことがある	(2) (3) (4) 利用したことはない			無回答
			思あ うれ ば 利 用 し た い と	思今 わ後 なも い利 用 し た い と	う今 か後 分利 用 し な い か ど	
1位 2位						
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所	393	21.1	23.4	26.7	28.2	0.5
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	393	13.2	31.3	27.7	26.5	1.3
c) 勉強を無料でみてくれる場所	393	5.6	44.5	24.4	22.9	2.5
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	393	3.6	22.1	34.1	39.2	1.0

(a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が26.7%、「利用したことはない」が71.5%となっています。

「利用したことはない」理由のうち、「今後も利用したいと思わない」の割合が39.9%、「今後利用したいかどうか分からない」が36.2%、「あれば利用したいと思う」が23.9%となっています。

図 (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所

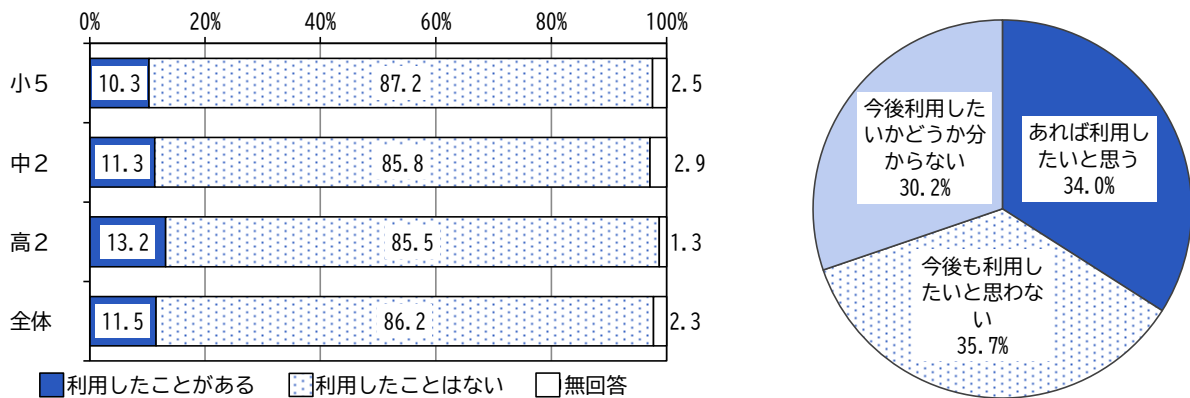


(b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が11.5%、「利用したことはない」が86.2%となっています。

「利用したことはない」理由のうち、「今後も利用したいと思わない」の割合が35.7%、「あれば利用したいと思う」が34.0%、「今後利用したいかどうか分からない」が30.2%となっています。

図 (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所

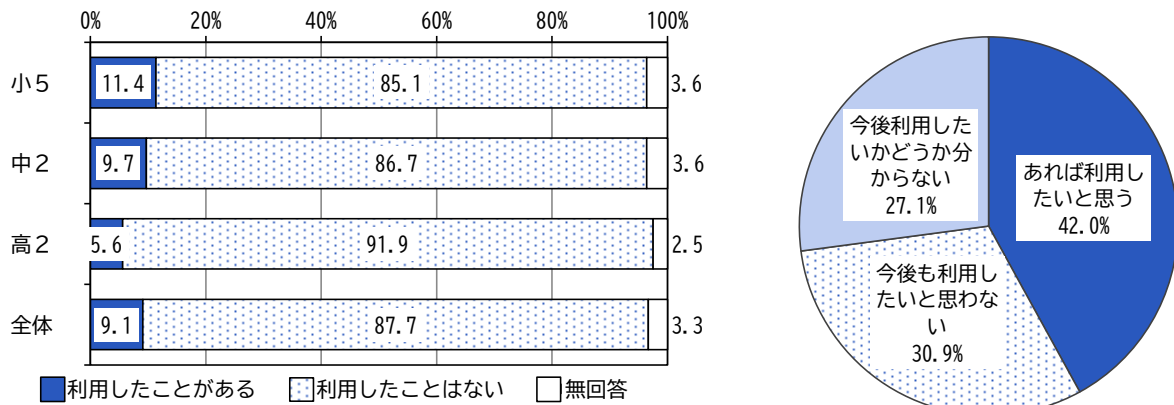


### (c)勉強を無料でみてる場所

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が9.1%、「利用したことはない」が87.7%となっています。

「利用したことはない」理由のうち、「あれば利用したいと思う」の割合が42.0%、「今後も利用したいと思わない」が30.9%、「今後利用したいかどうか分からない」が27.1%となっています。

図 勉強を無料でみてる場所

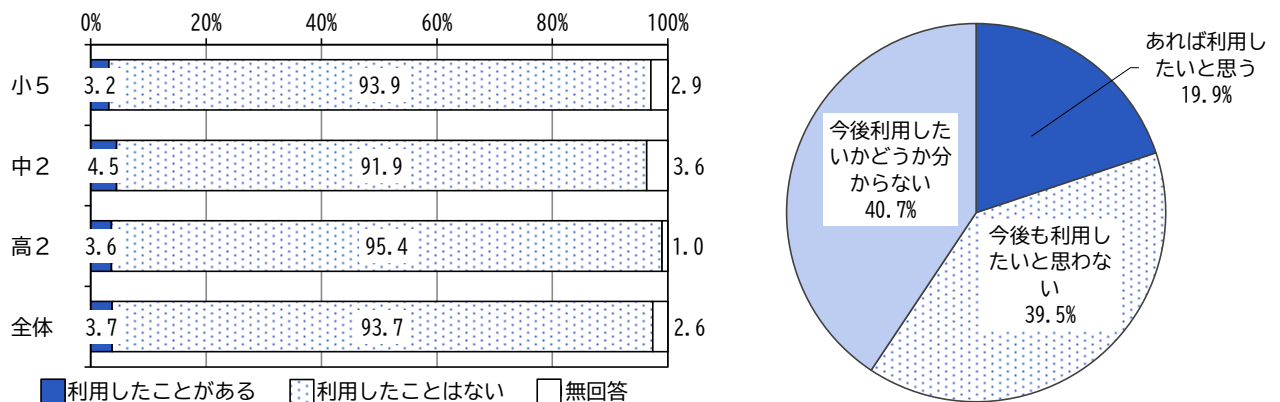


### (d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)

「利用したことがある」と回答した割合は、全体が3.7%、「利用したことはない」が93.7%となっています。

「利用したことはない」理由のうち、「今後利用したいかどうか分からない」の割合が40.7%、「今後も利用したいと思わない」が39.5%、「あれば利用したいと思う」が19.9%となっています。

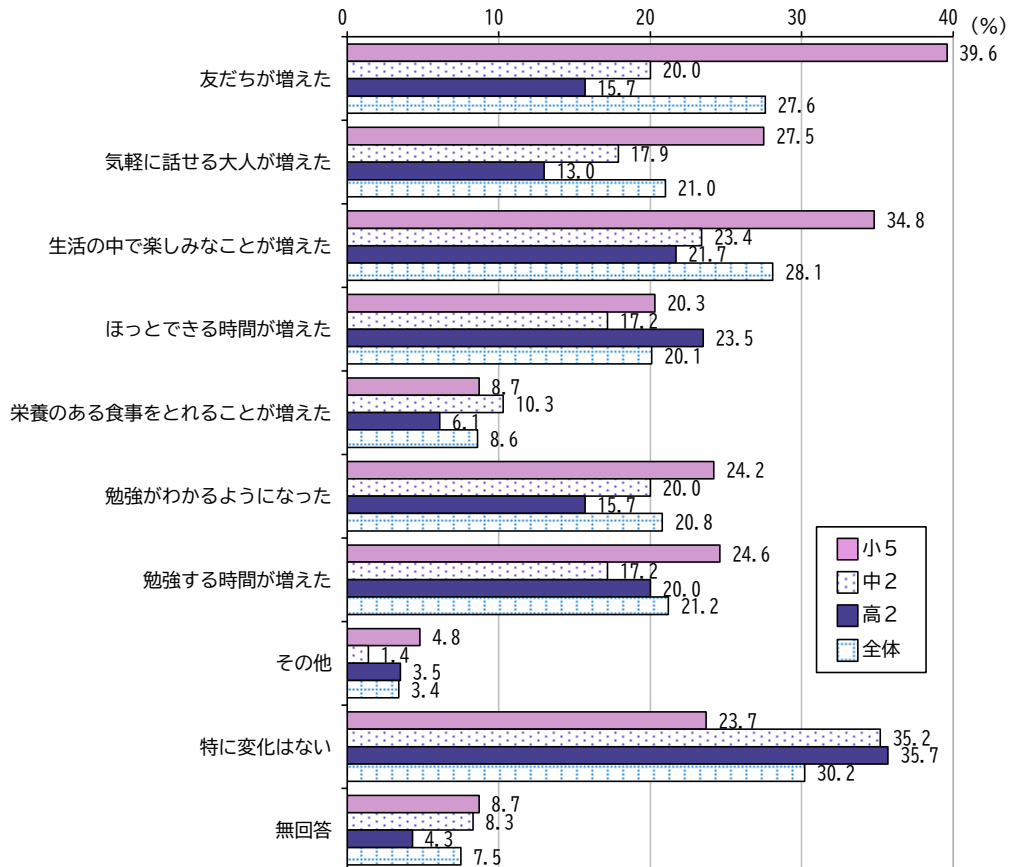
図 (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)



(5)前の質問で、1つでも「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまる番号1つに○)

そこを利用したことでどのような変化があったかについて、全体、中学2年生、高校2年生では「特に変化はない」の割合が最も多く、小学5年生では「友だちが増えた」が最も多くなっています。

図 居場所の利用と効果



(6)あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

(1週間での)室内・屋外での活動状況について、全体の割合をみると、「毎日2時間以上」と回答した割合は、『(ア)ゲーム機で遊ぶ』では20.3%、『(ウ)携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う』では49.6%、『(ク)運動や体を動かす部活動・習い事※2』では26.0%となっています。

表 (1週間での)室内・屋外での活動状況【全体】

	調査数	(1) 毎日2時間以上	(2) 毎日1～2時間	(3) 毎日1時間以下	(4) 1週間に4～5日	(5) 1週間に2～3日	(6) 1週間に1日	(7) ぜんぜんしない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝		1位	2位						
(ア) ゲーム機で遊ぶ	1,312	20.3	17.1	7.4	4.3	9.6	6.5	32.7	2.1
(イ) テレビやDVDを見る	1,312	24.2	27.5	20.4	4.3	5.9	5.4	9.7	2.5
(ウ) 携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う	1,312	49.6	22.2	11.4	2.8	3.7	1.3	6.9	2.1
(エ) 読書	1,312	3.2	5.4	20.0	10.8	10.4	11.9	35.5	2.7
(オ) 室内での(ア)～(エ)以外の活動(室内遊び等)	1,312	8.7	7.2	10.1	6.3	11.0	12.2	41.3	3.3
(カ) 公園等外で遊ぶ※1	919	3.5	3.3	3.4	4.0	14.8	18.4	49.7	2.9
(キ) 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)やきょうだい等の世話	1,312	3.7	3.5	17.2	10.7	19.4	19.6	23.2	2.5
(ク) 運動や体を動かす部活動・習い事※2	1,312	26.0	7.4	4.0	12.1	13.4	9.1	25.8	2.1
(ケ) アルバイト※3	393	2.3	0.5	0.5	3.3	10.2	1.3	80.9	1.0

※1 小5・中2のみ

※2 小5：学校の授業以外で体を動かす運動(習い事を含む)

※3 高2のみ

（1週間での）室内・屋外での活動状況について、小学5年生の割合をみると、「毎日2時間以上」と回答した割合は、『(ウ)携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う』では23.6%となっています。また、「毎日1～2時間」と回答した割合は、『(ア)ゲーム機で遊ぶ』では24.6%、『テレビやDVDを見る』では32.2%となっています。

表 （1週間での）室内・屋外での活動状況【小学5年生】

	調査数	(1) 毎日2時間以上	(2) 毎日1～2時間	(3) 毎日1時間以下	(4) 1週間に4～5日	(5) 1週間に2～3日	(6) 1週間に1日	(7) ぜんぜんしない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け= <span style="background-color: #0070C0; color: white;">1位</span> <span style="background-color: #AEC6E0; color: black;">2位</span>									
(ア) ゲーム機で遊ぶ	475	21.9	24.6	9.7	6.7	12.8	4.6	17.5	2.1
(イ) テレビやDVDを見る	475	30.7	32.2	16.2	4.2	4.0	4.4	5.5	2.7
(ウ) 携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う	475	23.6	19.8	20.0	6.9	8.0	3.4	15.8	2.5
(エ) 読書	475	5.1	7.6	20.2	11.8	14.5	10.7	26.7	3.4
(オ) 室内での(ア)～(エ)以外の活動(室内遊び等)	475	8.0	10.1	14.1	9.9	15.8	14.5	23.6	4.0
(カ) 公園等外で遊ぶ	475	3.6	5.1	4.6	6.5	19.2	22.5	36.0	2.5
(キ) 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)やきょうだい等の世話	475	4.0	3.6	17.1	13.3	20.2	18.7	20.2	2.9
(ク) 学校の授業以外で体を動かす運動(習い事を含む)	475	11.4	6.5	7.4	12.0	25.7	17.1	17.9	2.1

（1週間での）室内・屋外での活動状況について、中学2年生の割合をみると、「毎日2時間以上」と回答した割合は、『(ア)ゲーム機で遊ぶ』では22.7%、『(ウ)携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う』では59.0%、『(ク)運動や体を動かす部活動・習い事』では32.9%となっています。

表 （1週間での）室内・屋外での活動状況【中学2年生】

	調査数	(1) 毎日2時間以上	(2) 毎日1～2時間	(3) 毎日1時間以下	(4) 1週間に4～5日	(5) 1週間に2～3日	(6) 1週間に1日	(7) ぜんぜんしない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位									
(ア) ゲーム機で遊ぶ	444	22.7	14.6	7.0	3.2	8.1	9.0	32.4	2.9
(イ) テレビやDVDを見る	444	25.5	26.4	20.7	4.3	7.2	4.5	8.3	3.2
(ウ) 携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う	444	59.0	23.2	9.0	0.9	1.8	0.2	2.9	2.9
(エ) 読書	444	2.7	5.2	23.9	13.1	8.3	10.8	32.4	3.6
(オ) 室内での(ア)～(エ)以外の活動(室内遊び等)	444	8.8	7.7	9.5	5.2	9.7	11.0	44.4	3.8
(カ) 公園等外で遊ぶ	444	3.4	1.4	2.0	1.4	10.1	14.0	64.4	3.4
(キ) 家事(洗濯、掃除、料理、片付けなど)やきょうだい等の世話	444	3.8	2.5	12.6	10.6	21.4	18.5	27.7	2.9
(ク) 運動や体を動かす部活動・習い事	444	32.9	8.8	3.2	15.1	6.5	5.0	25.5	3.2

（1週間での）室内・屋外での活動状況について、高校2年生の割合をみると、「毎日2時間以上」と回答した割合は、『(ア)ゲーム機で遊ぶ』では15.5%、『(ウ)携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う』では70.5%、『(オ)室内での（ア）～（エ）以外の活動（室内遊び等）』では9.4%、『(ク)運動や体を動かす部活動・習い事』では35.9%となっています。

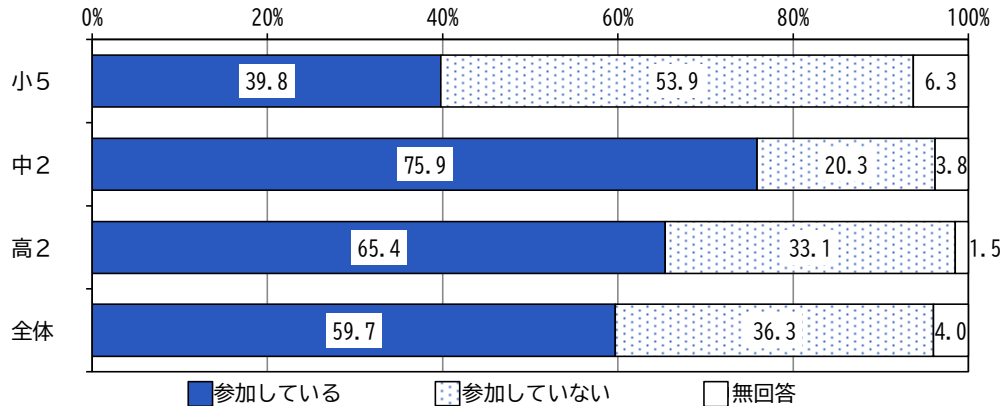
表 （1週間での）室内・屋外での活動状況【高校2年生】

	調査数	(1) 毎日2時間以上	(2) 毎日1～2時間	(3) 毎日1時間以下	(4) 1週間に4～5日	(5) 1週間に2～3日	(6) 1週間に1日	(7) ぜんぜんしない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位									
(ア) ゲーム機で遊ぶ	393	15.5	10.9	5.1	2.5	7.4	5.9	51.4	1.3
(イ) テレビやDVDを見る	393	15.0	23.2	24.9	4.6	6.9	7.6	16.3	1.5
(ウ) 携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う	393	70.5	23.9	3.8	－	0.8	－	0.5	0.5
(エ) 読書	393	1.5	3.1	15.3	7.1	7.9	14.5	49.6	1.0
(オ) 室内での（ア）～（エ）以外の活動（室内遊び等）	393	9.4	3.1	5.9	3.3	6.6	10.7	59.3	1.8
(カ) 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）やきょうだい等の世話	393	3.3	4.6	22.6	7.9	16.3	21.9	21.9	1.5
(キ) 運動や体を動かす部活動・習い事	393	35.9	6.9	1.0	8.9	6.4	4.1	35.9	1.0
(ク) アルバイト	393	2.3	0.5	0.5	3.3	10.2	1.3	80.9	1.0

(7)あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動(中2・高2のみ)に参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動(中2・高2のみ)に参加しているかについて、「参加している」と回答した割合は、全体で59.7%、小学5年生で39.8%、中学2年生で75.9%、高校2年生で65.4%となっています。

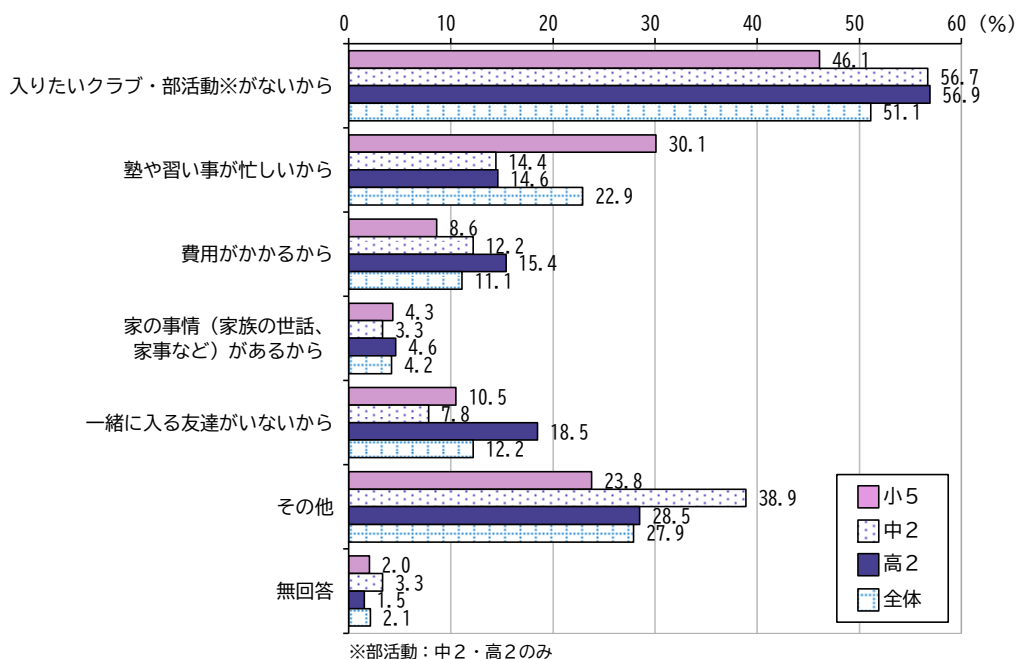
図 地域のスポーツクラブや文化クラブに参加しているか



(8)前の質問で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きます。参加していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

参加していない理由について、すべての学年で「入りたいクラブ・部活動※がないから」と回答した割合が最も多くなっており、全体は51.1%、小学5年生は46.1%、中学2年生は56.7%、高校2年生は56.9%となっています。

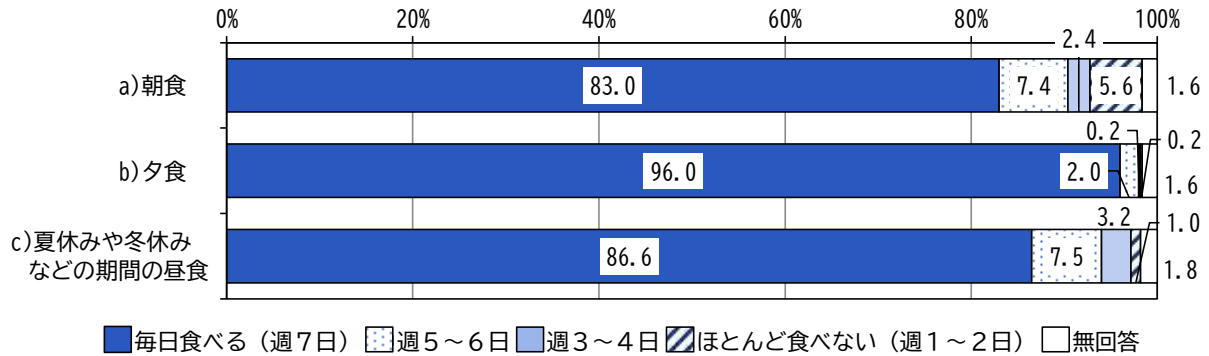
図 参加していない理由



(9)あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(それぞれについてあてはまる番号1つに○)

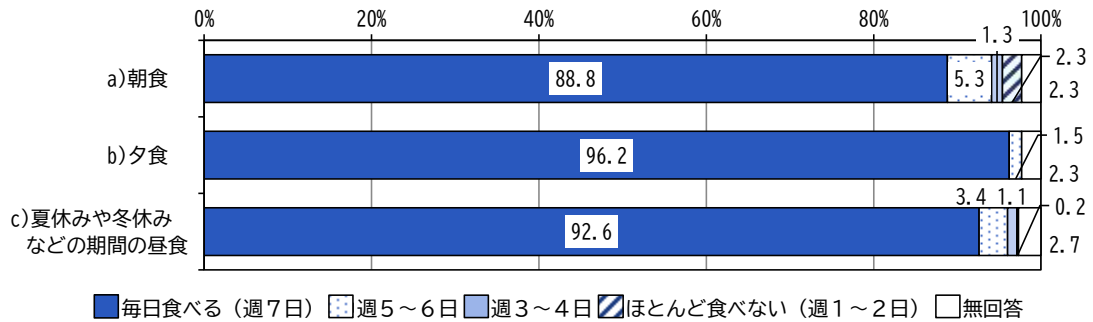
食事の頻度について、全体の割合をみると、「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、『a)朝食』では83.0%、『b)夕食』では96.0%、『c)夏休みや冬休みなどの期間の昼食』では86.6%となっています。

図 食事の頻度【全体】



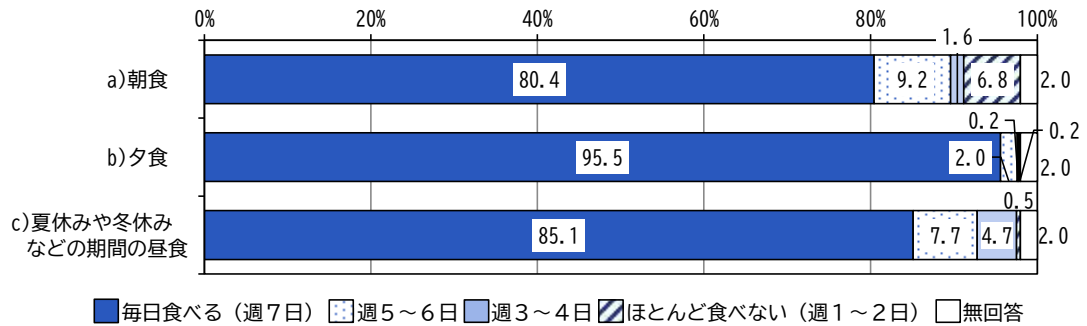
食事の頻度について、小学5年生の割合をみると、「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、『a)朝食』では88.8%、『b)夕食』では96.2%、『c)夏休みや冬休みなどの期間の昼食』では92.6%となっています。

図 食事の頻度【小学5年生】



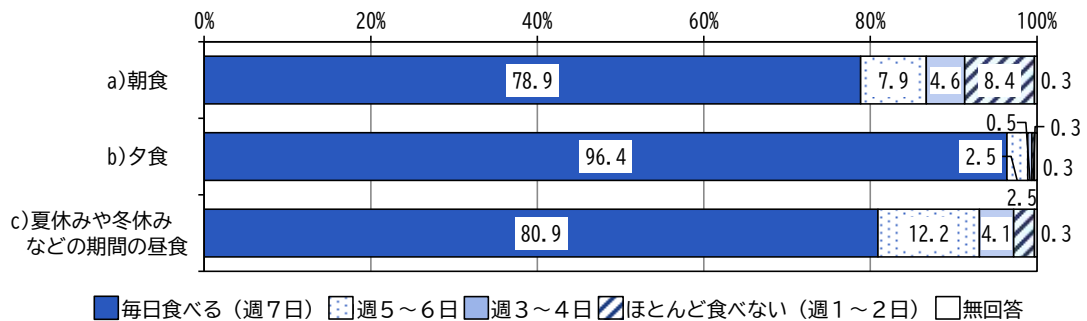
食事の頻度について、中学2年生の割合をみると、「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、『a)朝食』では80.4%、『b)夕食』では95.5%、『c)夏休みや冬休みなどの期間の昼食』では85.1%となっています。

図 食事の頻度【中学2年生】



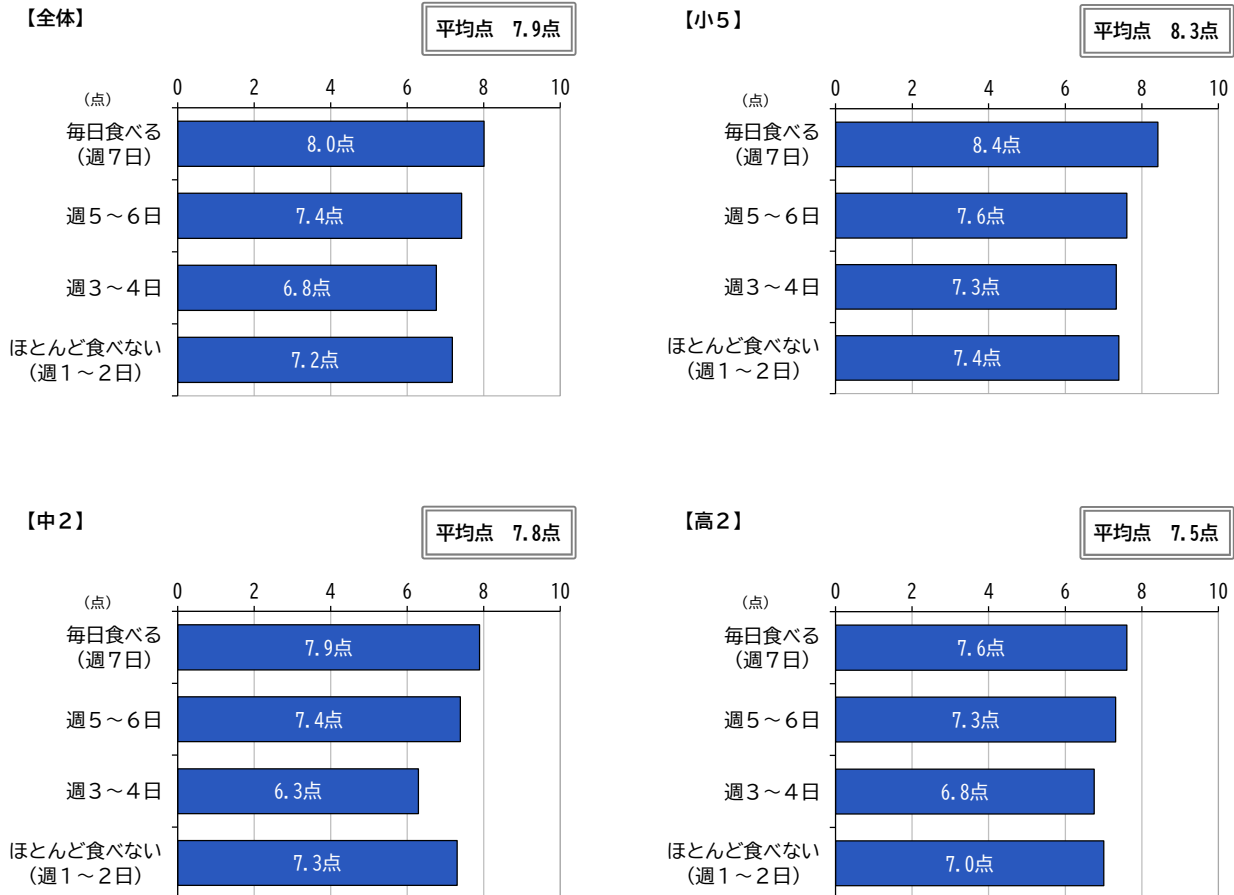
食事の頻度について、高校2年生の割合をみると、「毎日食べる（週7日）」と回答した割合は、『a)朝食』では78.9%、『b)夕食』では96.4%、『c)夏休みや冬休みなどの期間の昼食』では80.9%となっています。

図 食事の頻度【高校2年生】



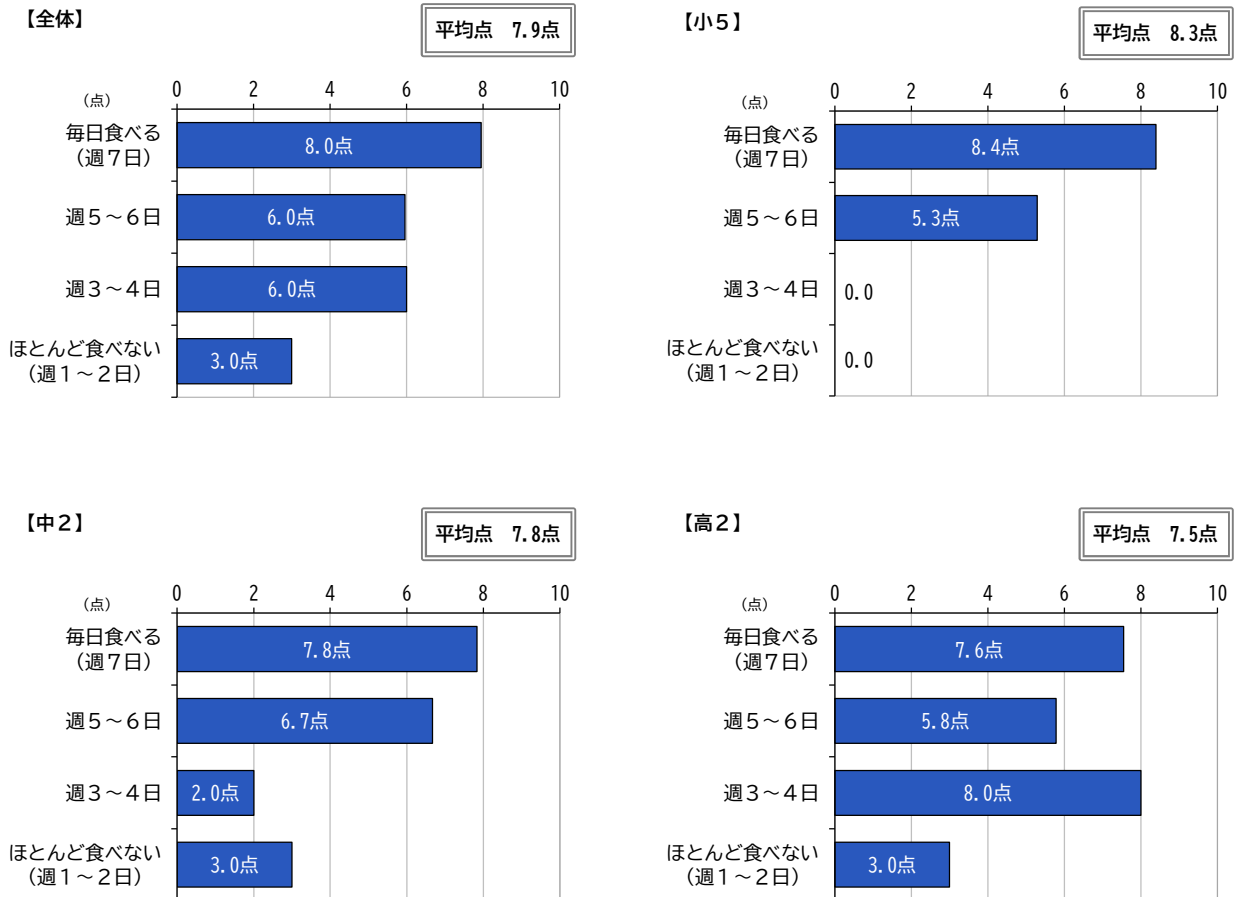
朝食を食べる頻度と幸福度について、「毎日食べる（週7日）」と回答した方の平均点は、全体で8.0点、小学5年生で8.4点、中学2年生で7.9点、高校2年生で7.6点となっています。

図 食事の頻度【a. 朝食】



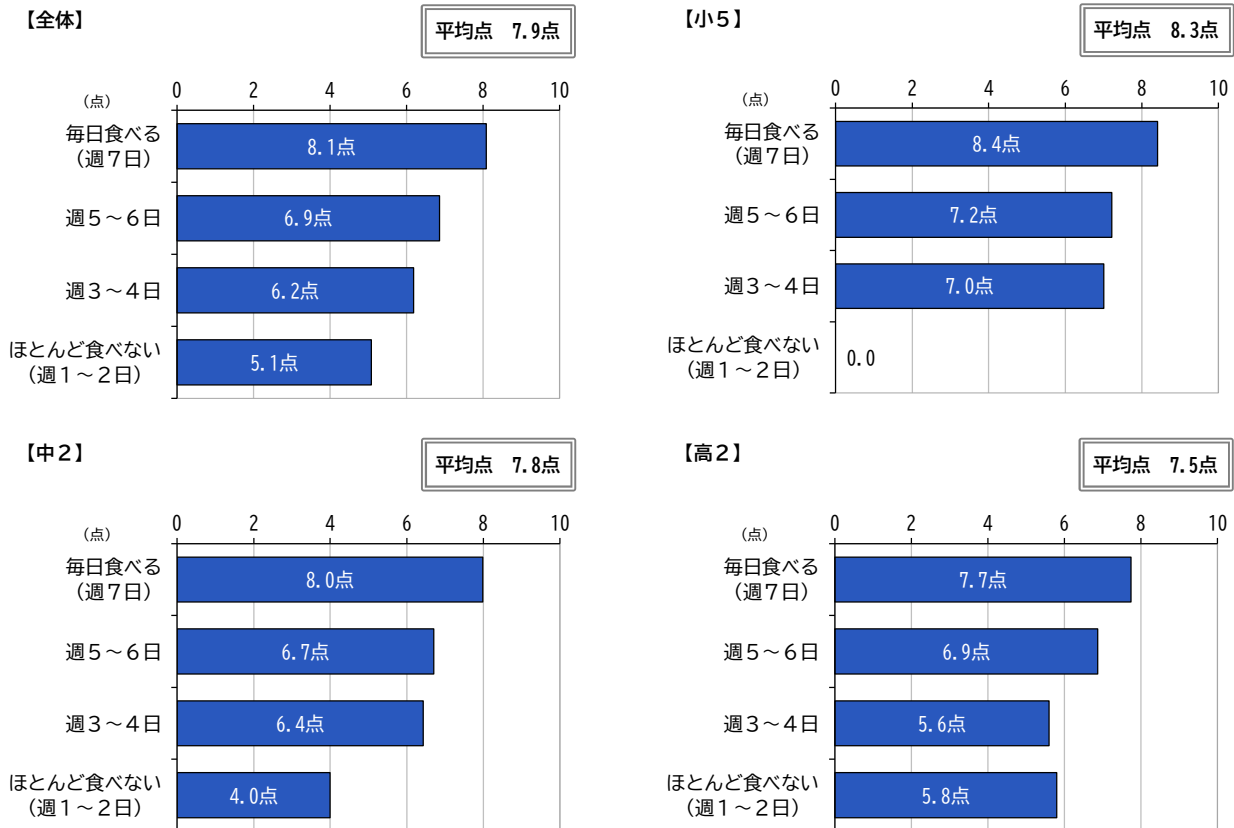
夕食を食べる頻度と幸福度について、「毎日食べる（週7日）」と回答した方の平均点は、全体で8.0点、小学5年生で8.4点、中学2年生で7.8点、高校2年生で7.6点となっています。

図 食事の頻度【b. 夕食】



夏休みや冬休みなどの期間の昼食を食べる頻度と幸福度について、「毎日食べる（週7日）」と回答した方の平均点は、全体で8.1点、小学5年生で8.4点、中学2年生で8.0点、高校2年生で7.7点となっています。

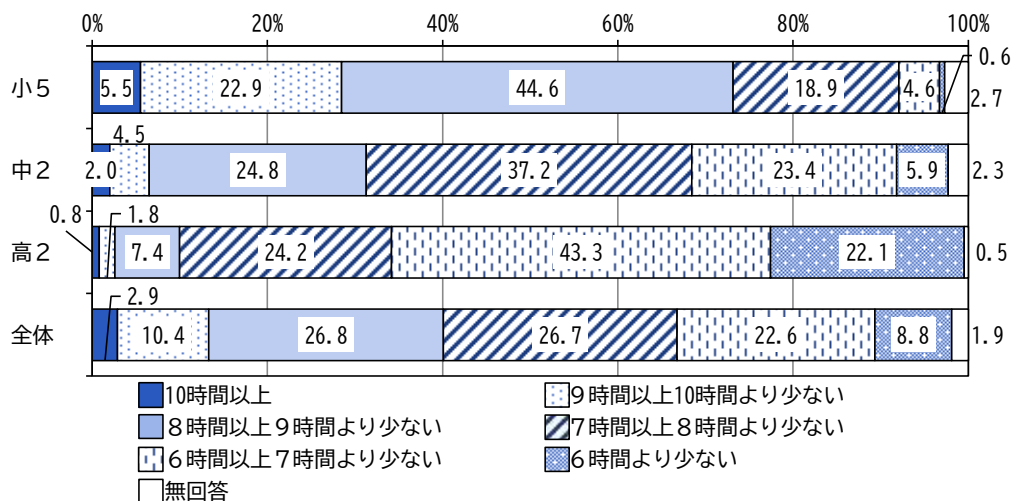
図 食事の頻度【c. 夏休みや冬休みなどの期間の昼食】



(10)あなたは平日(学校に行く日)、どのくらい睡眠時間をとりますか。(あてはまる番号1つに○)

平日の睡眠時間について、全体、小学5年生では「8時間以上9時間より少ない」がそれぞれ26.8%、44.6%、中学2年生では「7時間以上8時間より少ない」37.2%、高校2年生では「6時間以上7時間より少ない」43.3%が最も多くなっています。

図 平日の睡眠時間



## ○学校や勉強のこと

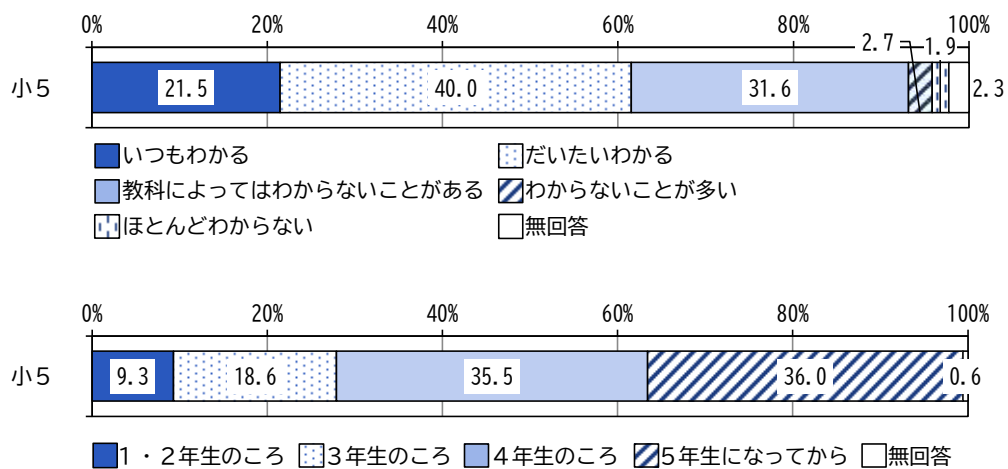
(1) あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

(2) 前の質問で「3. 教科によってはわからないことがある」、「4. わからないことが多い」、「5. ほとんどわからない」と答えた方にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまる番号1つに○)

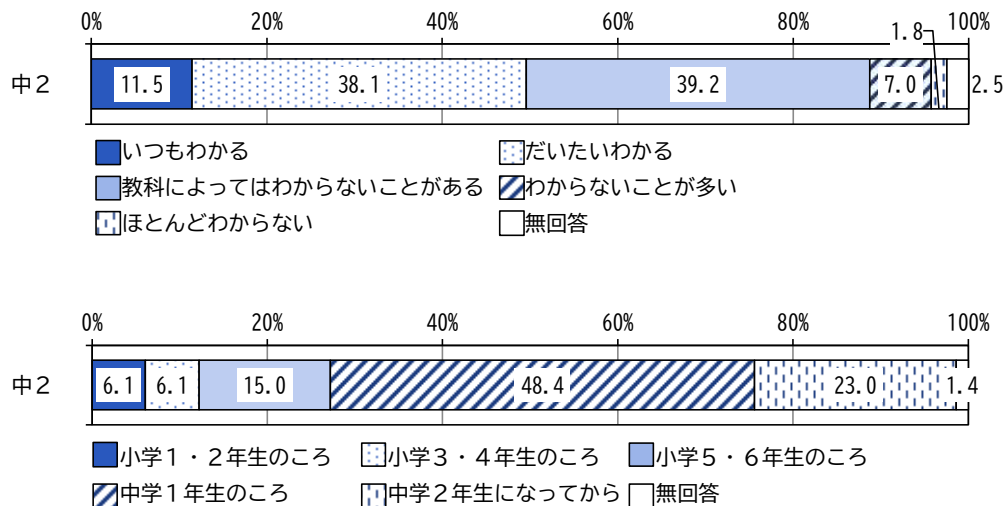
授業がわからないことがあるかについて、小学5年生の割合をみると、「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」と回答した割合は36.2%となっており、わからなくなった時期についてたずねると、「5年生になってから」と回答した割合が36.0%となっています。

図 授業がわからないことがあるか／授業がわからなくなった時期【小学5年生】



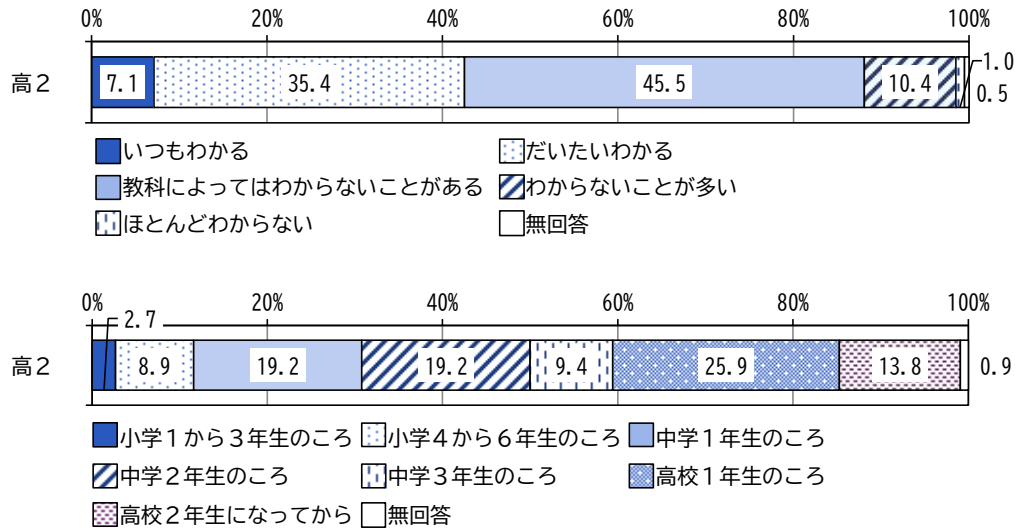
授業がわからないことがあるかについて、中学2年生の割合をみると、「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」と回答した割合は48.0%となっており、わからなくなった時期についてたずねると、「中学1年生のころ」と回答した割合が48.4%となっています。

図 授業がわからないことがあるか／授業がわからなくなった時期【中学2年生】



授業がわからないことがあるかについて、高校2年生の割合をみると、「教科によってはわからないことがある」、「わからないことが多い」、「ほとんどわからない」と回答した割合は56.9%となっており、わからなくなった時期についてたずねると、「高校1年生のころ」と回答した割合が25.9%となっています。

図 授業がわからないことがあるか／授業がわからなくなった時期【高校2年生】



授業がわからないことがあるかについて、学年別、放課後ほっとできる場所別にみると、『ほっとできる場所はない』では、すべての学年で「教科によってはわからないことがある」の割合が最も多くなっています。

表 授業がわからないことがあるか【学年別、放課後ほっとできる場所別】

			調査数	(1) いつもわかる	(2) だいたいわかる	(3) 教科によってはわからないことがある	(4) わからないことが多い	(5) ほとんどわからない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝									
ほ っ と で き る 場 所	全 体	自分の家	1,079	14.7	38.8	37.8	6.6	1.3	0.7
		自分の家以外の場所	144	11.1	39.6	39.6	5.6	2.8	1.4
		ほっとできる場所はない	30	6.7	30.0	50.0	6.7	6.7	-
	小 5	自分の家	383	23.0	41.5	29.8	2.9	1.0	1.8
		自分の家以外の場所	65	13.8	38.5	38.5	1.5	6.2	1.5
		ほっとできる場所はない	7	28.6	14.3	42.9	-	14.3	-
	中 2	自分の家	360	13.1	39.7	38.3	6.7	1.9	0.3
		自分の家以外の場所	43	9.3	37.2	44.2	7.0	-	2.3
		ほっとできる場所はない	12	-	41.7	50.0	8.3	-	-
	高 2	自分の家	336	7.1	34.8	46.4	10.7	0.9	-
		自分の家以外の場所	36	8.3	44.4	36.1	11.1	-	-
		ほっとできる場所はない	11	-	27.3	54.5	9.1	9.1	-

朝食を毎日食べると回答した方の授業の理解度について、「いつもわかる」、「だいたいわかる」の割合は、小学5年生で65.4%、中学2年生で55.5%、高校2年生で43.9%となっています。

表 授業がわからないことがあるか【朝食を毎日食べる】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			調 査 数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無 回 答
				い つ も わ か る	だ い た い わ か る	わ か ら な い こ と は あ る	わ か ら な い こ と が 多 い	ほ と ん ど わ か ら な い	
朝 食 の 摂 取	全体	朝食を毎日(週7日)食べる	1,089	15.2	40.8	37.6	5.0	0.8	0.6
	小5	朝食を毎日(週7日)食べる	422	23.2	42.2	31.8	0.9	1.2	0.7
	中2	朝食を毎日(週7日)食べる	357	13.2	42.3	37.8	5.3	0.8	0.6
	高2	朝食を毎日(週7日)食べる	310	6.8	37.1	45.2	10.0	0.3	0.6

地域の人などが行う無料の勉強会に参加している方の授業の理解度について、全体、小学5年生、中学2年生、高校2年生すべてで「教科によってはわからないことがある」の割合が多くなっています。

表 授業がわからないことがあるか【無料の勉強会に参加している】

【表の見方】 比率(%) 網掛け＝			調 査 数	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無 回 答	
				い つ も わ か る	だ い た い わ か る	わ 教 科 に よ っ て は わ か ら な い こ と が あ る	わ か ら な い こ と が 多 い	ほ と ん ど わ か ら な い		
会 へ 参 加	無 料 の 勉 強	全 体	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	10	10.0	-	70.0	10.0	10.0	-
		小5	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	4	25.0	-	75.0	-	-	-
		中2	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	4	-	-	50.0	25.0	25.0	-
		高2	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	2	-	-	100.0	-	-	-

普段の勉強時間別の授業の理解度については、普段の勉強時間が多いほど、授業の理解度が高い傾向にあります。

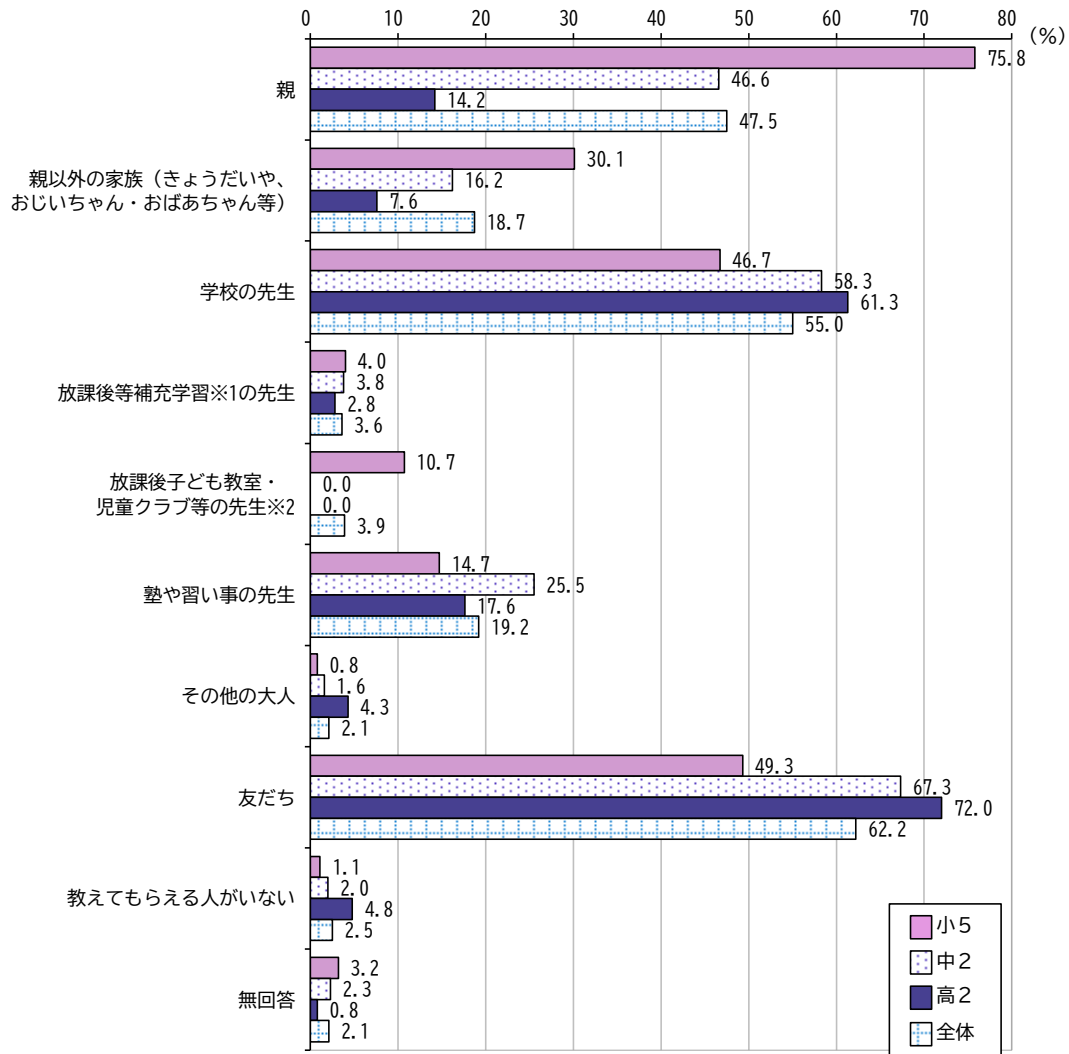
表 授業がわからないことがあるか【普段の勉強時間別】

			調査数	(1) いつもわかる	(2) だいたいわかる	(3) 教科によつてはわからないことがある	(4) わからないことが多い	(5) ほとんどわからない	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝									
1日の勉強時間（全体）	学校がある日	まったくしない	164	7.3	29.9	41.5	15.9	3.7	1.8
		30分より少ない	230	8.3	36.1	44.3	7.4	2.2	1.7
		30分以上、1時間より少ない	388	12.4	40.5	39.9	5.4	1.3	0.5
		1時間以上、2時間より少ない	326	15.0	43.3	35.3	4.0	0.6	1.8
		2時間以上、3時間より少ない	117	27.4	35.9	34.2	2.6	-	-
		3時間以上	65	27.7	36.9	27.7	4.6	1.5	1.5
	学校がない日	まったくしない	286	10.1	31.1	40.9	12.2	3.5	2.1
		30分より少ない	281	10.0	36.7	45.2	6.0	1.8	0.4
		30分以上、1時間より少ない	288	13.5	43.4	37.2	4.5	-	1.4
		1時間以上、2時間より少ない	224	17.4	42.4	32.6	6.3	0.4	0.9
		2時間以上、3時間より少ない	126	18.3	41.3	35.7	4.0	0.8	-
		3時間以上	74	25.7	33.8	35.1	-	2.7	2.7
1日の勉強時間（小5）	学校がある日	まったくしない	19	15.8	42.1	26.3	-	10.5	5.3
		30分より少ない	66	9.1	45.5	36.4	3.0	3.0	3.0
		30分以上、1時間より少ない	163	17.2	40.5	37.4	3.1	1.8	-
		1時間以上、2時間より少ない	131	20.6	44.3	30.5	2.3	0.8	1.5
		2時間以上、3時間より少ない	49	49.0	20.4	26.5	4.1	-	-
		3時間以上	36	36.1	44.4	13.9	2.8	-	2.8
	学校がない日	まったくしない	83	18.1	33.7	33.7	4.8	6.0	3.6
		30分より少ない	116	12.1	40.5	41.4	3.4	2.6	-
		30分以上、1時間より少ない	128	18.0	46.9	32.8	1.6	-	0.8
		1時間以上、2時間より少ない	81	34.6	38.3	22.2	3.7	-	1.2
		2時間以上、3時間より少ない	26	42.3	38.5	19.2	-	-	-
		3時間以上	23	39.1	34.8	21.7	-	-	4.3
1日の勉強時間（中2）	学校がある日	まったくしない	37	5.4	18.9	40.5	24.3	5.4	5.4
		30分より少ない	92	9.8	31.5	44.6	8.7	3.3	2.2
		30分以上、1時間より少ない	141	10.6	44.7	38.3	4.3	0.7	1.4
		1時間以上、2時間より少ない	115	13.0	44.3	33.9	4.3	0.9	3.5
		2時間以上、3時間より少ない	37	16.2	43.2	40.5	-	-	-
		3時間以上	14	14.3	21.4	57.1	7.1	-	-
	学校がない日	まったくしない	76	9.2	25.0	42.1	15.8	3.9	3.9
		30分より少ない	103	9.7	35.0	47.6	5.8	1.0	1.0
		30分以上、1時間より少ない	105	12.4	39.0	40.0	5.7	-	2.9
		1時間以上、2時間より少ない	79	11.4	51.9	27.8	6.3	1.3	1.3
		2時間以上、3時間より少ない	52	15.4	44.2	36.5	1.9	1.9	-
		3時間以上	17	11.8	35.3	41.2	-	5.9	5.9
1日の勉強時間（高2）	学校がある日	まったくしない	108	6.5	31.5	44.4	15.7	1.9	-
		30分より少ない	72	5.6	33.3	51.4	9.7	-	-
		30分以上、1時間より少ない	84	6.0	33.3	47.6	11.9	1.2	-
		1時間以上、2時間より少ない	80	8.8	40.0	45.0	6.3	-	-
		2時間以上、3時間より少ない	31	6.5	51.6	38.7	3.2	-	-
		3時間以上	15	20.0	33.3	33.3	6.7	6.7	-
	学校がない日	まったくしない	127	5.5	33.1	44.9	15.0	1.6	-
		30分より少ない	62	6.5	32.3	48.4	11.3	1.6	-
		30分以上、1時間より少ない	55	5.5	43.6	41.8	9.1	-	-
		1時間以上、2時間より少ない	64	3.1	35.9	51.6	9.4	-	-
		2時間以上、3時間より少ない	48	8.3	39.6	43.8	8.3	-	-
		3時間以上	34	23.5	32.4	41.2	-	2.9	-

(3)勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。(あてはまる番号すべてに○)

勉強がわからないときに教えてもらう相手について、小学5年生では「親」の割合が75.8%と最も多く、中学2年生、高校2年生では「友だち」の割合がそれぞれ67.3%、72.0%と最も多くなっています。

図 勉強を教えてもらう相手



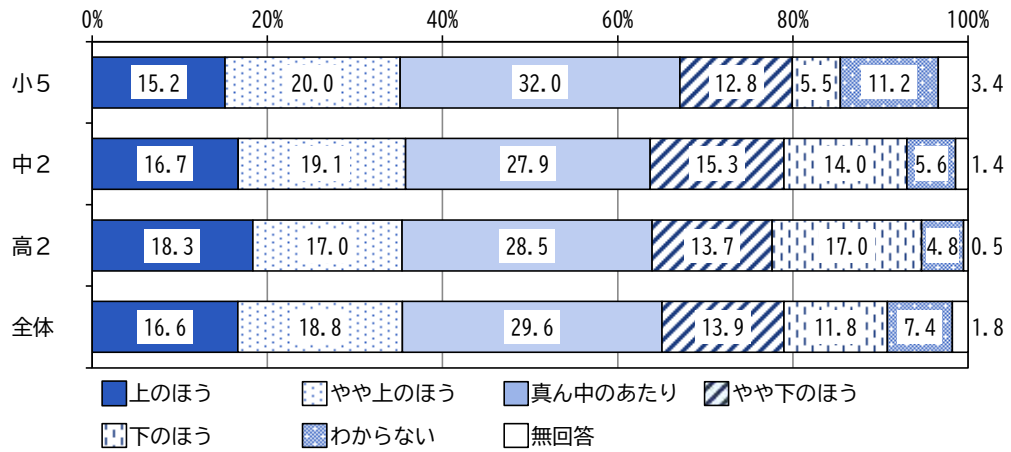
※1学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

※2小5のみ

(4)あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

自身の成績について、すべての学年で「真ん中あたり」と回答した割合が最も多くなっています。

図 自分の成績

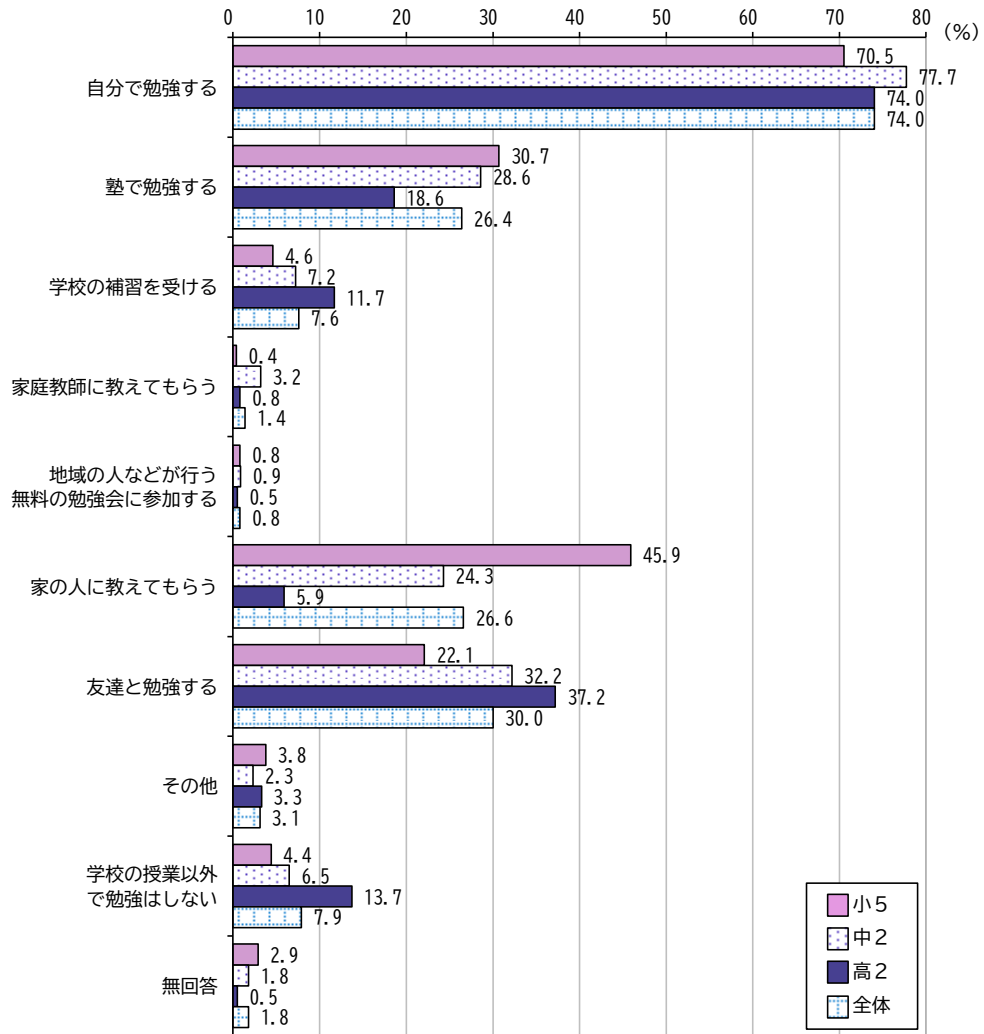


(5)あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題も含みます。(あてはまる番号すべてに○)

学校の授業以外での勉強方法について、すべての学年で「自分で勉強する」と回答した割合が最も多くなっており、小学5年生は70.5%、中学2年生は77.7%、高校2年生は74.0%となっています。

図 学校の授業以外での勉強方法



(6)あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含みます。(あてはまる番号1つに○)

学校の授業以外にどのくらい勉強するかについて、『a)学校がある日』では「30分以上、1時間より少ない」と回答した割合が全体で29.6%、小学5年生で34.3%、中学2年生で31.8%、高校2年生で21.4%となっています。

また、『b)学校がない日』では、「30分以上、1時間より少ない」と回答した割合が全体で22.0%、小学5年生で26.9%、中学2年生で23.6%、高校2年生で14.0%となっています。

表 学校の授業以外の1日当たりの勉強時間

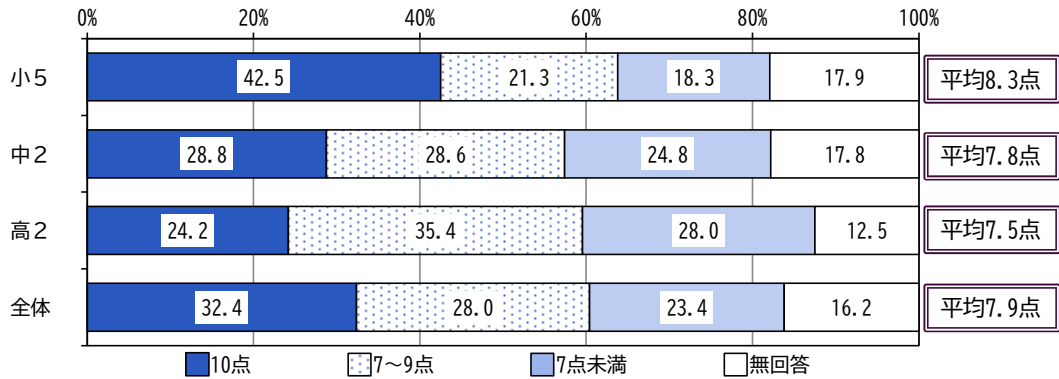
		調査数	(1) まったくしない	(2) 30分より少ない	(3) 30分以上、1時間より少ない	(4) 1時間以上、2時間より少ない	(5) 2時間以上、3時間より少ない	(6) 3時間以上	無回答
【表の見方】 比率(%) 網掛け＝ 1位 2位									
a)学校がある日(月～金曜日)	全体	1,312	12.5	17.5	29.6	24.8	8.9	5.0	1.7
	小5	475	4.0	13.9	34.3	27.6	10.3	7.6	2.3
	中2	444	8.3	20.7	31.8	25.9	8.3	3.2	1.8
	高2	393	27.5	18.3	21.4	20.4	7.9	3.8	0.8
b)学校がない日(土・日曜日・祝日)	全体	1,312	21.8	21.4	22.0	17.1	9.6	5.6	2.5
	小5	475	17.5	24.4	26.9	17.1	5.5	4.8	3.8
	中2	444	17.1	23.2	23.6	17.8	11.7	3.8	2.7
	高2	393	32.3	15.8	14.0	16.3	12.2	8.7	0.8

## ○幸福度

(1)あなたは、自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(あてはまる点数1つに○)

幸福度の平均点について、全体で7.9点、小学5年生で8.3点、中学2年生で7.8点、高校2年生で7.5点となっています。平均点を下回る「7点未満」と回答した割合は、小学5年生で18.3%、中学2年生で24.8%、高校2年生で28.0%となっており、学年が上がるにつれ、割合が多くなっています。

図 幸福度

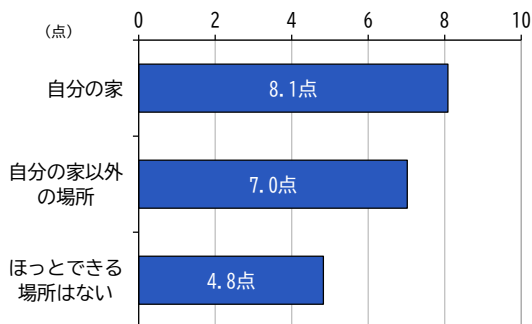


幸福度の平均点について、放課後ほっとできる場所別にみると、すべての学年で『自分の家』が最も高くなっています。

図 幸福度【学年別、放課後ほっとできる場所別】

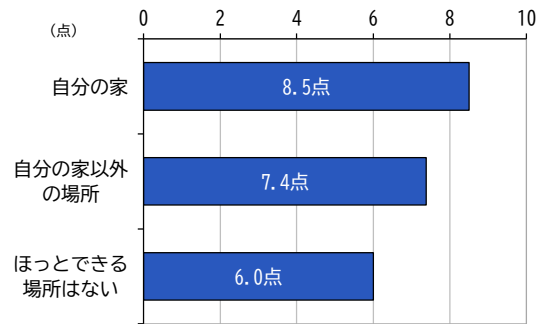
【全体】

平均点 7.9点



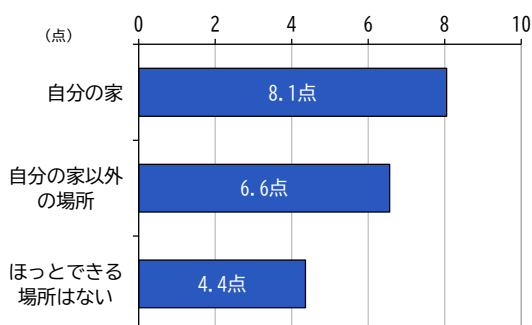
【小5】

平均点 8.3点



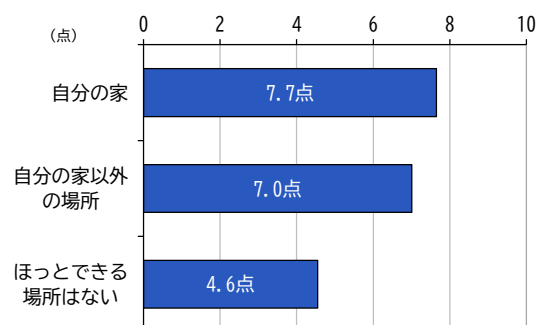
【中2】

平均点 7.8点



【高2】

平均点 7.5点

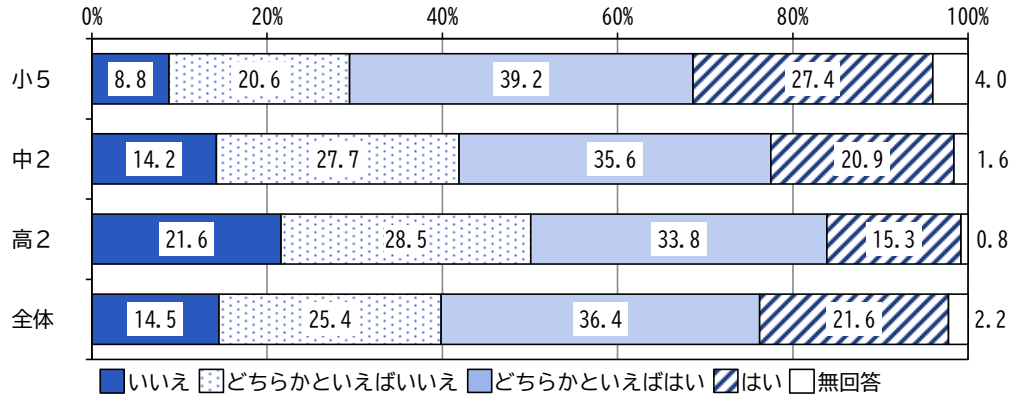


(2)いつもの自分にいちばんよく合う答えをそれぞれ1つだけ選んでください。

(ア)自分に、自信がありますか。

自分に、自信があるかについて、「どちらかといえばはい」、「はい」と回答した割合は、全体で58.0%、小学5年生で66.6%、中学2年生で56.5%、高校2年生で49.1%となっています。

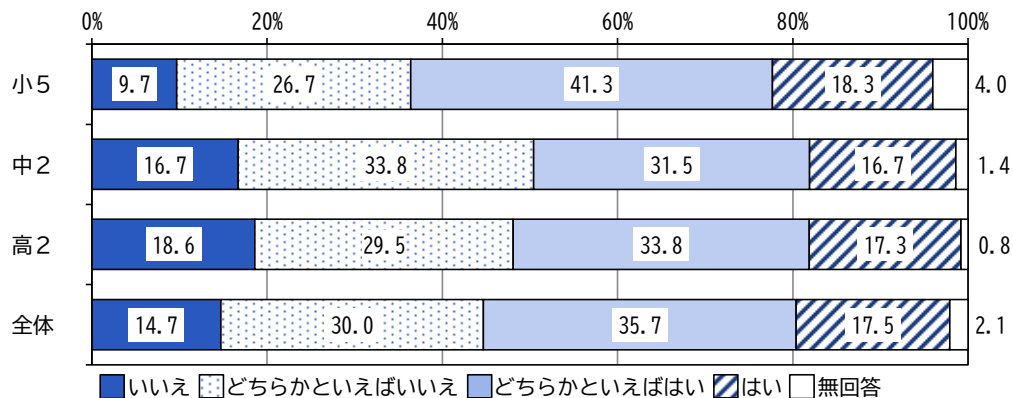
図 自分に、自信がありますか



(イ)たいていのことは、人よりうまくできると思いますか。

たいていのことは、人よりうまくできると思うかについて、「どちらかといえばはい」、「はい」と回答した割合は、全体で53.2%、小学5年生で59.6%、中学2年生で48.2%、高校2年生で51.1%となっています。

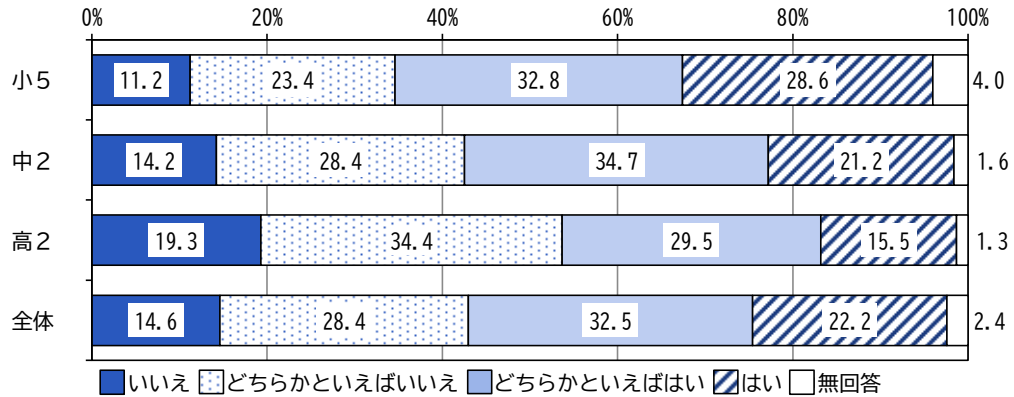
図 たいていのことは、人よりうまくできると思いますか



(ウ)自分には、人に自慢できるところがたくさんあると思いますか。

自分には、人に自慢できるところがたくさんあると思うかについて、「どちらかといえばはい」、「はい」と回答した割合は、全体で 54.7%、小学5年生で 61.4%、中学2年生で 55.9%、高校2年生で 45.0%となっています。

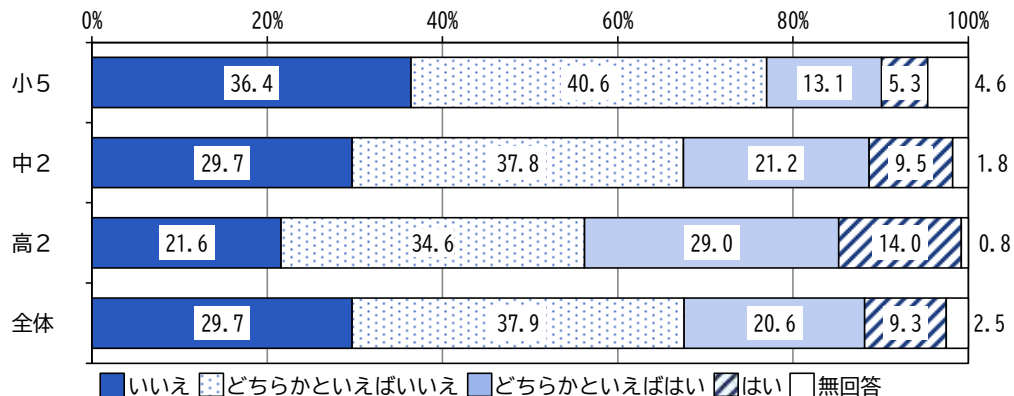
図 自分には、人に自慢できるところがたくさんあると思いますか



(エ)何をやってもうまくいかないような気がしますか。

何をやってもうまくいかないような気がしますかについて、「いいえ」、「どちらかといえばいいえ」と回答した割合は、全体で 67.6%、小学5年生で 77.0%、中学2年生で 67.5%、高校2年生で 56.2%となっています。

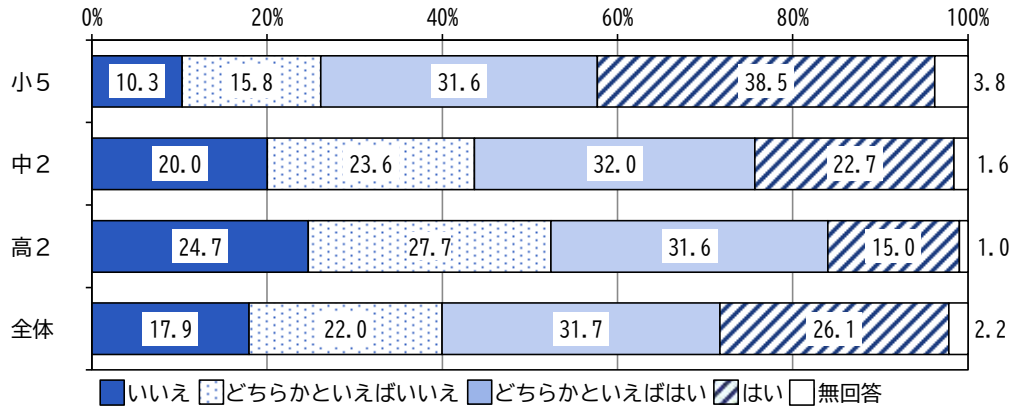
図 何をやってもうまくいかないような気がしますか



(オ)今の自分に、満足していますか。

今の自分に、満足しているかについて、「どちらかといえばはい」、「はい」と回答した割合は、全体で57.8%、小学5年生で70.1%、中学2年生で54.7%、高校2年生で46.6%となっています。

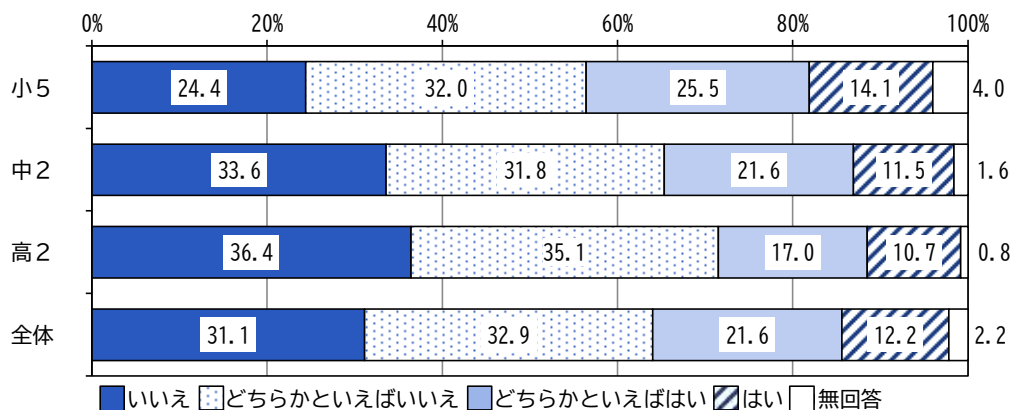
図 自分に、自信がありますか



(カ)自分はきっと、偉い人になれると思いますか。

自分はきっと、偉い人になれると思うかについて、「どちらかといえばはい」、「はい」と回答した割合は、全体で33.8%、小学5年生で39.6%、中学2年生で33.1%、高校2年生で27.7%となっています。

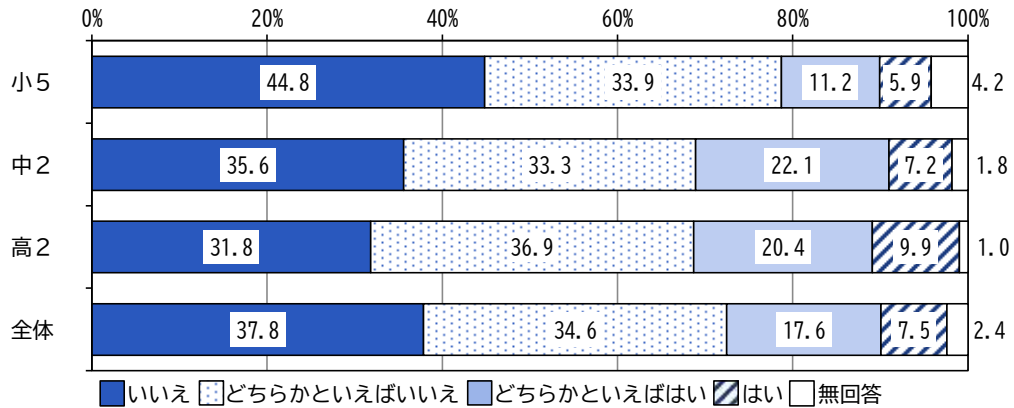
図 自分はきっと、偉い人になれると思いますか



(キ)自分は、あまり役に立たない人間だと思いますか。

自分は、あまり役に立たない人間だと思うかについて、「いいえ」、「どちらかといえばいいえ」と回答した割合は、全体で72.4%、小学5年生で78.7%、中学2年生で68.9%、高校2年生で68.7%となっています。

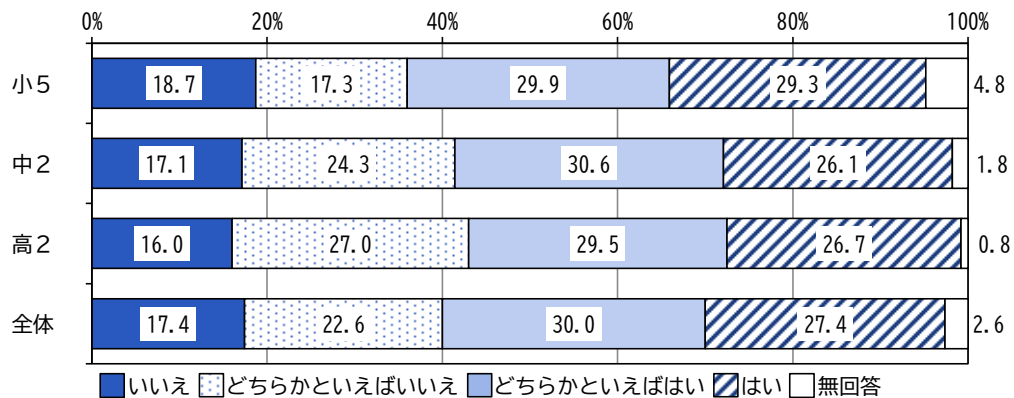
図 自分は、あまり役に立たない人間だと思いますか



(ク)自分の意見は、自信をもって言えますか。

自分の意見は、自信をもって言えるかについて、「どちらかといえばはい」、「はい」と回答した割合は、全体で57.4%、小学5年生で59.2%、中学2年生で56.7%、高校2年生で56.2%となっています。

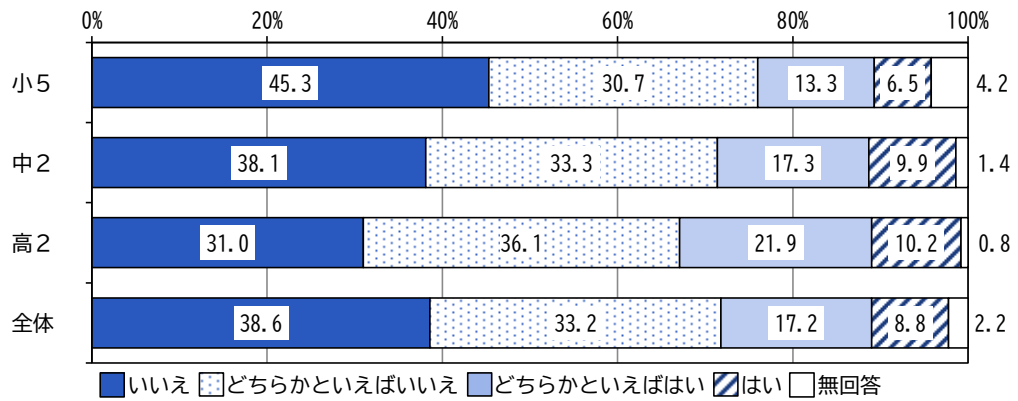
図 自分の意見は、自信をもって言えますか



(ケ)自分にはあまりいいところがないと思いますか。

自分にはあまりいいところがないと思うかについて、「いいえ」、「どちらかといえばいいえ」と回答した割合は、全体で71.8%、小学5年生で76.0%、中学2年生で71.4%、高校2年生で67.1%となっています。

図 自分にはあまりいいところがないと思いますか



## ◆自己肯定感

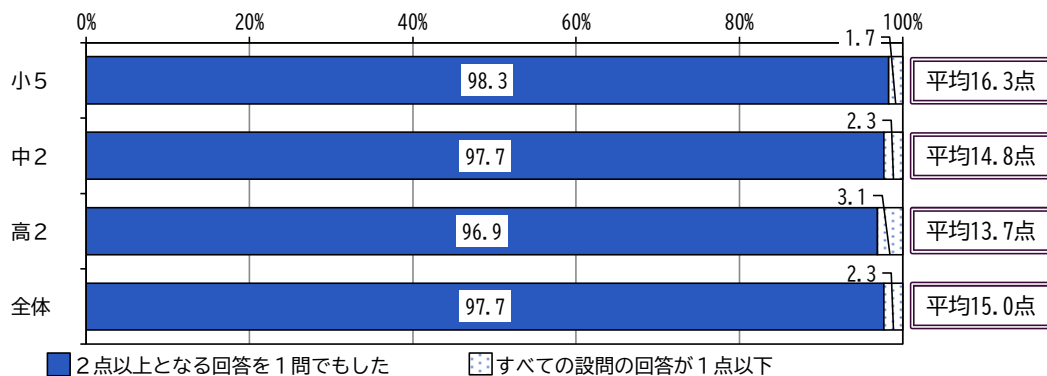
※小学5年生、中学2年生、高校2年生の子どもを対象に、「児童用コンピテンス尺度」(桜井、1992)から自己評価に関する上記9項目を抜粋して、各項目の回答を0～3点(「いいえ」0点、「どちらかといえばいいえ」1点、「どちらかといえばはい」2点、「はい」3点とする。27点満点)。高得点ほど自己肯定感が高い。

### 【項目】

- ・自分に、自信がある
- ・たいていのことは、人よりうまくできると思う
- ・自分には、人に自慢できるところがたくさんあると思う
- ・何をやってもうまくいかないような気がする
- ・今の自分に、満足している
- ・自分はきっと、偉い人になれると思う
- ・自分は、あまり役に立たない人間だと思う
- ・自分の意見は、自信を持って言える
- ・自分に、あまりいいところがないと思う

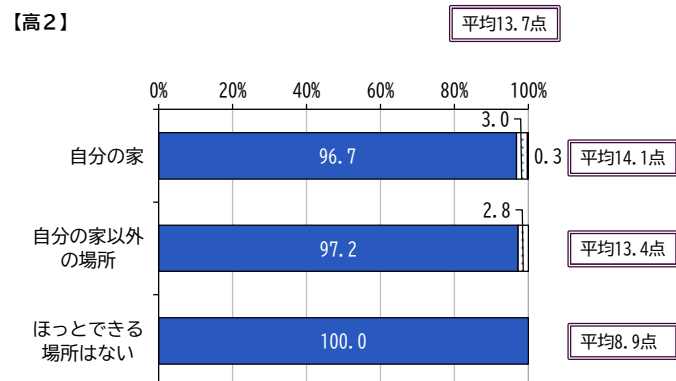
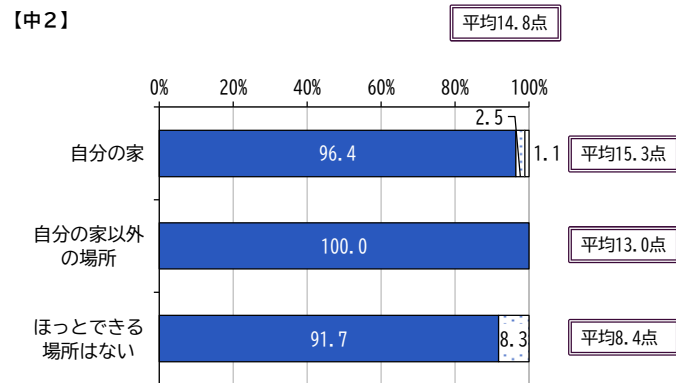
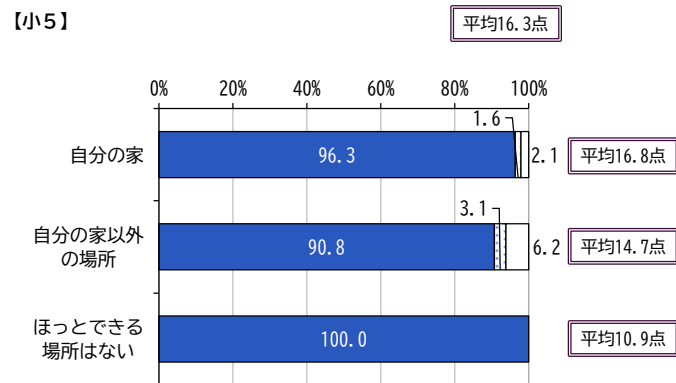
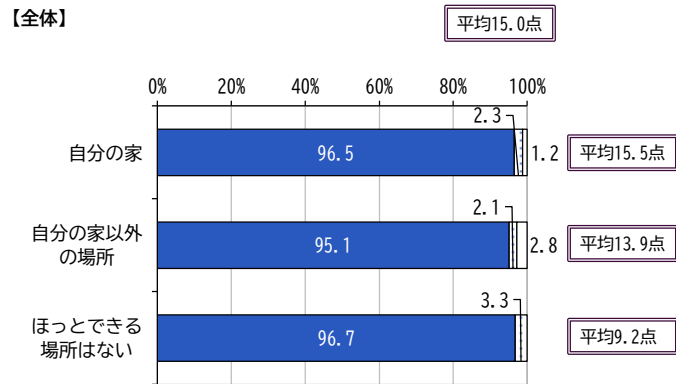
### 【学年別】

学年別の平均点は、小学5年生が16.3点、中学2年生が14.8点、高校2年生が13.7点となっており、小学5年生の自己肯定感の平均点が最も高くなっています。



自己肯定感に関する項目について、放課後ほっとできる場所別にみると、「2点以上となる回答を1問でもした」割合は、『自分の家』と回答した方が全体で96.5%、小学5年生で96.3%、中学2年生で96.4%、高校2年生で96.7%となっています。

図 自己肯定感【学年別、放課後ほっとできる場所別】

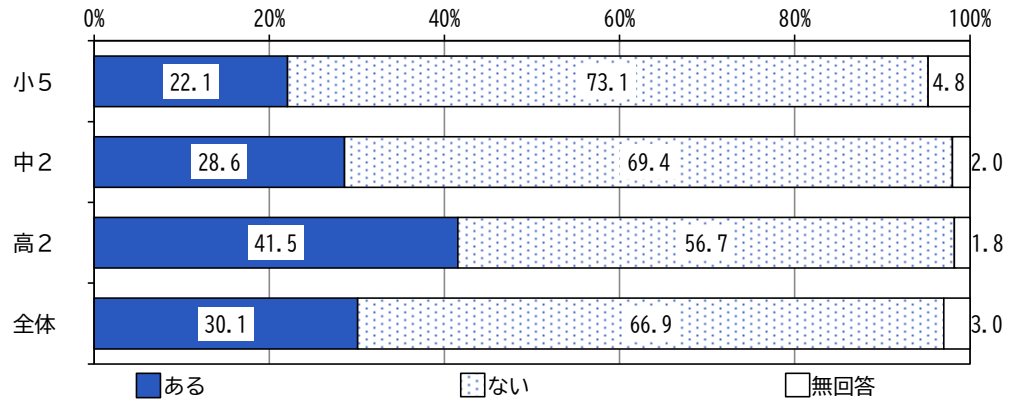


## ○悩みごとや困っていること

(1)現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(いずれか1つに○)

現在の悩みや困ったことについて、「ある」と回答した割合は、全体で 30.1%、小学5年生で 22.1%、中学2年生で 28.6%、高校2年生で 41.5%となっています。

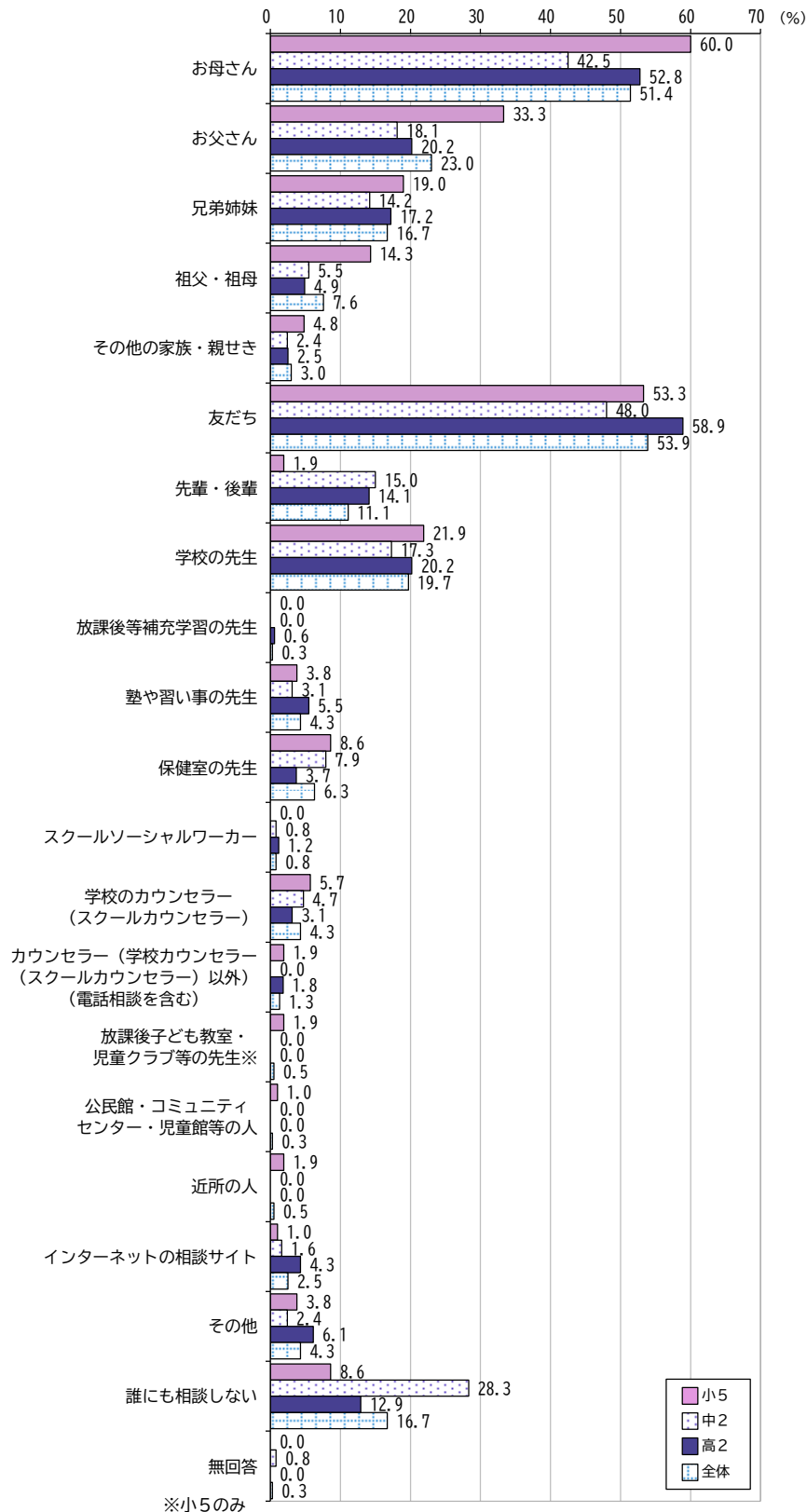
図 悩みごとの有無



(2) 前の質問で現在、悩んだり困ったりしていることが『1. ある』と答えた方にお聞きます。  
あなたが、悩んでいることについて相談するのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

悩みごとの相談相手について、小学5年生では「お母さん」60.0%が最も多く、中学2年生、高校2年生では「友だち」の割合がそれぞれ48.0%、58.9%と最も多くなっています。「その他」には、「ゲームのチャット内」、「リハビリの先生」、「病院の先生」などの意見が上がっています。

図 悩みごとの相談相手

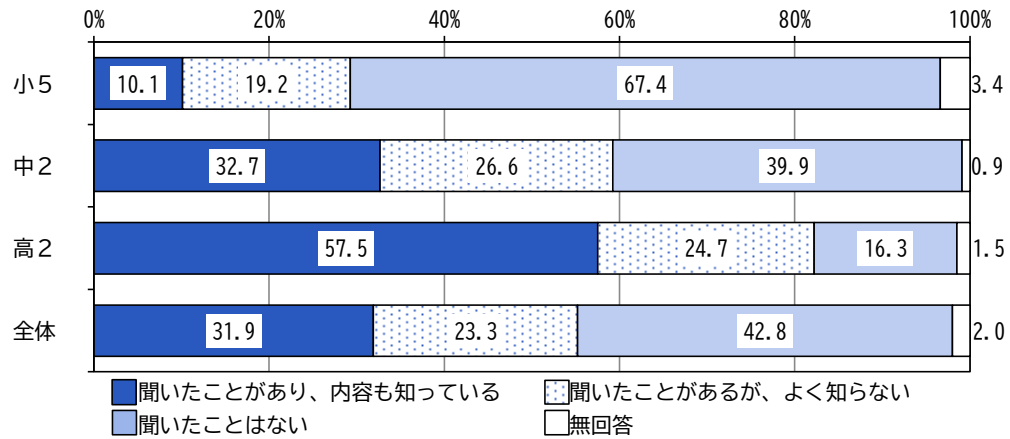


## ○ヤングケアラーの認知度

あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

「ヤングケアラー」という言葉の認知度について、「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した割合は、全体で31.9%、小学5年生で10.1%、中学2年生で32.7%、高校2年生で57.5%と学年が上がるにつれ、認知度も高くなっています。

図 ヤングケアラーの認知度



## 第3章 参考資料

### ○調査票

(小5保護者、小5子ども、中2保護者、中2子ども、高2保護者、高2子ども)

ちょうさひょう  
調査票

## 高知県 子どもの生活実態調査

しょうがく ねんせいほごしゃよう  
(小学5年生保護者用)

◎このアンケートは調査票が配布されたお子さんの保護者の方がお答えください。

◎調査は無記名で、個人を特定する情報を書いていただく必要はありません。回答の内容は、すべて統計的に処理しますので、誰が何を書いたのかが他の人に知られることはありません。

◎回答は、調査票へ直接記入するか、インターネットで回答してください。  
「紙の調査票」又は「インターネット」のどちらか一方で回答してください。



＜QRコード＞

◎インターネットで回答する場合は、下のURLにアクセスするか、二次元コードを読み取り、回答してください。

＜調査画面URL＞<https://src2.webcas.net/form/pub/src4/h1>

◎記入が終わった調査票は、お子さんの封筒と一緒に、茶色の封筒に入れて封をして、郵便ポストに投函してください。

◎封筒の開封は、高知県子ども家庭課が委託した調査会社のみが行います。

◎あなたご自身やご家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。答えにくい質問や答えたくない質問には、答える必要はありませんが、プライバシーは守られますので、ぜひありのままをお答えいただきますようお願いいたします。

◎この調査票の質問の「お子さん」とは、この調査票が配布されたお子さんのことを指します。そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「お子さん」とは調査票が配布されたお子さんのみのことです。

—この調査に関するお問い合わせ—

高知県子ども・福祉政策部子ども家庭課

電話：088-823-9637（電話受付 月～金：8:30～17:15）

問1 はじめに、あなたの住んでいる地域について、おたずねします。

住んでいる地域に○をつけてください。（いずれか番号1つに○）

1. 高知市	10. 香南市	19. 本山町	28. 梶原町
2. 室戸市	11. 香美市	20. 大豊町	29. 日高村
3. 安芸市	12. 東洋町	21. 土佐町	30. 津野町
4. 南国市	13. 奈半利町	22. 大川村	31. 四万十町
5. 土佐市	14. 田野町	23. いの町	32. 大月町
6. 須崎市	15. 安田町	24. 仁淀川町	33. 三原村
7. 宿毛市	16. 北川村	25. 中土佐町	34. 黒潮町
8. 土佐清水市	17. 馬路村	26. 佐川町	
9. 四万十市	18. 芸西村	27. 越知町	

問2 お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。

お子さんからみた続き柄で、お答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. お母さん	3. お母さんの母親	5. お父さんの母親	7. 兄弟姉妹
2. お父さん	4. お母さんの父親	6. お父さんの父親	8. その他

問3 お子さんと生計を同一にしているご家族の方は、どなたですか。

それぞれの人数と合計の人数をお教えてください。単身赴任しているご家族も含めてください。

（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で答えてください）

1. お母さん	5. お父さんの母親	9. 弟（人）
2. お父さん	6. お父さんの父親	10. 妹（人）
3. お母さんの母親	7. 兄（人）	11. その他（人）
4. お母さんの父親	8. 姉（人）	

一計（ ）人 ※あなたとお子さんも含んだ人数をご記入ください。

問4 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

問5 お子さんが小学校入学前に通ったことのある保育・教育機関等をすべてお答えください。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 幼稚園・認可保育所・認定こども園	3. 親・親族以外の個人
2. その他の教育・保育等の施設	4. もっぱら親・親族が面倒を見ていた

問6 お子さんの今後の教育について、おたずねします。

(1) お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)

1. 中学まで	3. 専門学校※まで	5. 大学またはそれ以上
2. 高校まで	4. 高専・短大まで	6. まだわからない

※高校卒業後進学する学校とします。

(2) (1)で答えたように考えるのはなぜですか。(1～5については、あてはまる番号すべてに○)

1. お子さんがそう希望しているから	4. 家庭の経済的な状況から考えて
2. 一般的な進路だと思うから	5. その他
3. お子さんの学力から考えて	6. 特に理由はない

問7 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a,b それぞれについて、あてはまるもの番号1つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問8 過去1か月の間のお子さんの様子について、それぞれの項目で最も近いと思うものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	まったくこのとおり	だいたいこのとおり	少し合っている	ほとんど合っていない	まったくちがう
(1) 将来について、明るい面を言うことができる	1	2	3	4	5
(2) 自分のベストを尽くそうとする	1	2	3	4	5
(3) 馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる	1	2	3	4	5
(4) 他人にきちんと挨拶することができる	1	2	3	4	5
(5) 大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	1	2	3	4	5
(6) 必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	1	2	3	4	5
(7) 将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	1	2	3	4	5
(8) 自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる	1	2	3	4	5

問9 あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について、それぞれの項目で最も近いと思うものを選んでください。（それぞれあてはまる番号1つに○）  
 答えに自信がなくても、すべての質問に答えてください。

	あてはまる	まああてはまる	あてはまらない
(1) 他人の気持ちをよく気づかう	1	2	3
(2) おちつきがなく、長い間じっとしていられない	1	2	3
(3) 頭が痛い、おなかが悪い、きもちが悪いなどと、よく訴える	1	2	3
(4) 他の子どもたちと、よく分け合う（お菓子等）	1	2	3
(5) カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1	2	3
(6) 一人でのんびりが好きで、一人で遊ぶことが多い	1	2	3
(7) 素直で、だいたい大人のいうことをよく聞く	1	2	3
(8) 心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1	2	3
(9) 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1	2	3
(10) いつもそわそわしたり、もじもじしている	1	2	3
(11) 仲のよい友だちが少なくとも一人はいる	1	2	3
(12) よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	1	2	3
(13) おちこんでしゅんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	1	2	3
(14) 他の子どもたちから、だいたい好かれているようだ	1	2	3
(15) すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	1	2	3
(16) 目新しい場面に直面すると不安ですがりがついたり、すぐに自信をなくす	1	2	3
(17) 年下の子どもたちに対してやさしい	1	2	3
(18) よく嘘をついたり、ごまかしたりする	1	2	3
(19) 他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	1	2	3
(20) 自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたち等）	1	2	3
(21) よく考えてから行動することができる	1	2	3
(22) 家や学校、その他から物を盗んだりする	1	2	3
(23) 他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	1	2	3
(24) こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3
(25) ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	1	2	3

問10 お子さんのお母さん、お父さんの現在の婚姻状況をおたずねします。（あてはまる番号1つに○）

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む）	3. 死別	5. わからない
2. 離婚	4. 未婚・非婚	6. いない

問11 問10で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。  
また、養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3. 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問12 お子さんのお母さん、お父さんの就業状況やこれまでの経験について、おたずねします。

(1) お子さんのお母さん、お父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。

（a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	a) お母さん	b) お父さん
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業員、内職、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
いない、わからない	6	6

5に○をつけた場合のみ

(2) 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

（a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	a) お母さん	b) お父さん
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したいため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

(3) お子さんのお母さん、お父さんは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。

(カッコの中に数字で答えてください) ※複数のお仕事をもっている場合は合算してください。

お母さん	週に平均( )時間程度	お父さん	週に平均( )時間程度
------	-------------	------	-------------

(4) お子さんのお母さん、お父さんが最後に通った(または在学中の)学校について、お答えください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

(例: 高校を卒業した場合は【3. 高校卒】、高校を退学した場合は【2. 高校中退】を選んでください。)

お母さん		お父さん	
1. 中学卒	6. 大学中退	1. 中学卒	6. 大学中退
2. 高校中退	7. 大学卒	2. 高校中退	7. 大学卒
3. 高校卒	8. 大学院卒	3. 高校卒	8. 大学院卒
4. 専門学校※卒	9. わからない	4. 専門学校※卒	9. わからない
5. 高専・短大卒	10. その他 ( )	5. 高専・短大卒	10. その他 ( )

※高校卒業後進学する学校とします。

問13 お子さんの家庭の経済的状況について、おたずねします。

(1) 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 大変ゆとりがある	3. 普通	5. 大変苦しい
2. ややゆとりがある	4. やや苦しい	

(2) 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(1～13については、あてはまる番号すべてに○)

1. 洗濯機	8. インターネットにつながるパソコン
2. 炊飯器	9. 世帯専用のお風呂
3. 掃除機	10. 世帯人数分のベッドまたは布団
4. 暖房機器	11. カーテン
5. 冷房機器	12. 自動車
6. 電子レンジ	13. 急な出費のための貯金(5万円以上)
7. 電話(固定電話・携帯電話を含む)	14. あてはまるものはない

(3) 以下の項目で、過去1年間に経済的理由のために支払いができなかった、または買えなかったことはありますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

	あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
1. 学校の修学旅行や課外授業への参加費	1	2	3
2. 学校での教材費	1	2	3
3. 学校の給食費	1	2	3
4. 家賃	1	2	3
5. 住宅ローン	1	2	3

6. 電気代	1	2	3
7. ガス代	1	2	3
8. 水道代	1	2	3
9. 電話代（固定電話・携帯電話を含む）	1	2	3
10. 公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料	1	2	3
11. 通勤や通学に使うバスや電車の料金	1	2	3
12. 食料	1	2	3
13. 子どもに必要な洋服やかばん	1	2	3

(4) あなたのご家庭では、お子さんのために就学援助費を受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○）

※就学援助制度は、経済的な理由により就学が困難な子どもたちの保護者に対して、援助を行い、子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにするための制度です。

1. 受け取っている	2. 受け取っていない	3. わからない
------------	-------------	----------

(5) (4)で【2. 受け取っていない】を選んだ方におたずねします。

受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものを選んでください。（あてはまる番号1つに○）

1. 申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）
2. 申請しなかった（必要であるが、申請の仕方がわからなかった）
3. 申請しなかった（必要であるが、申請することに抵抗があった）
4. 申請しなかった（必要ないと判断した）
5. 申請したが、認定されなかった
6. 就学援助制度を知らなかった
7. その他（具体的に： _____）

(6) あなたの世帯が受給している、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの受給額はいくらかですか。

（カッコの中に数字で答えてください）

※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。

※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。

※「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための手当です。

	1回あたり金額	
(ア) 児童手当	( ) 円	（4か月に1回支払われます）
(イ) 児童扶養手当	( ) 円	（2か月に1回支払われます）
(ウ) 特別児童扶養手当	( ) 円	（4か月に1回支払われます）
(エ) 年金（遺族年金、老齢年金等）	( ) 円	（2か月に1回支払われます）
(オ) 生活保護費	( ) 円	

(7) (6)で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入について、おたずねします。

お子さんと生計を同一にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）は合わせていくらですか。

（あてはまる番号1つに○）

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記(6)で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合（お父さまが勤労収入、お母さまに事業収入など）は、おおよその合算値（合計額）を教えてください。

1. 収入はない（0円）	8. 300～350万円未満	13. 600～700万円未満
2. 1～50万円未満	9. 350～400万円未満	14. 700～800万円未満
3. 50～100万円未満	10. 400～450万円未満	15. 800～900万円未満
4. 100～150万円未満	11. 450～500万円未満	16. 900万円以上
5. 150～200万円未満	12. 500～600万円未満	17. わからない
6. 200～250万円未満		
7. 250～300万円未満		

問14 この調査票に回答されているあなた自身について、おたずねします。

あなたは、自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思えますか。（あてはまる点数1つに○）

とても不幸	とても幸せ									
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問15 この調査票に回答されているあなたを含めた、お子さんとご家族との関係について、おたずねします。

あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない
(ア) お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5
(イ) お子さんと一緒にスポーツをする	1	2	3	4	5
(ウ) お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ （テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲーム等）	1	2	3	4	5
(エ) お子さんとカードゲーム、ボードゲーム等で遊ぶ （トランプ・ブロック遊び・オセロ等）	1	2	3	4	5
(オ) お子さんと学校生活の話をする	1	2	3	4	5
(カ) お子さんと政治経済・社会問題等のニュースの話をする	1	2	3	4	5
(キ) お子さんとテレビ番組・SNS（facebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア）・動画など（ニュースを除く）の話をする	1	2	3	4	5
(ク) お子さんといっしょに料理をする	1	2	3	4	5
(ケ) お子さんといっしょに外出をする	1	2	3	4	5

問16 この調査票に回答されている方について、おたずねします。

(1) あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いない	2. 1～2人いる	3. 3～4人いる	4. 5～7人いる	5. 8人以上いる
--------	-----------	-----------	-----------	-----------

(2) (1)で【1. いない】以外を選んだ方におたずねします。

それは誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 配偶者・パートナー	5. 近隣に住む知人や友人
2. 自分の親	6. 近隣に住んでいない知人や友人
3. 配偶者の親・パートナーの親	7. 職場関係者
4. きょうだい・その他の親戚	8. その他(具体的に: )

(3) あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	相談した ことがある	相談したことがない			
		相談したいと 思ったことが なかった	相談したかつ たが、抵抗感 があった	相談時間や 場所などが 使いづかった	相談する窓口 や方法がわか らなかった
1. 市町村の役所の窓口(福祉事務所・保健所・保健センター等を含む)	1	2	3	4	5
2. 子ども家庭支援センター	1	2	3	4	5
3. 学校・保育所・幼稚園の先生	1	2	3	4	5
4. スクールカウンセラー	1	2	3	4	5
5. スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5
6. 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
7. 県の福祉保健所	1	2	3	4	5
8. 児童相談所	1	2	3	4	5
9. 警察	1	2	3	4	5
10. ハローワーク	1	2	3	4	5
11. インターネットの相談サイト	1	2	3	4	5
12. 上記以外の公的機関	1	2	3	4	5

問17 この調査票に回答されている方の情報源や支援の利用状況について、おたずねします。

(1) あなたはお子さんの教育や健康・医療についての情報を、どこから(誰から)得ていますか。

主なものを3つ選んでください。(あてはまる番号3つに○)

1. 配偶者	9. テレビ・ラジオ
2. 自分の家族や親戚	10. SNS (facebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア)
3. 自分の友人や知人	11. インターネット
4. 学校の先生	12. 市町村の広報
5. 子どもの習いごとや塾の先生	13. 新聞
6. 市町村のサービス窓口	14. 本や雑誌
7. 保健センター	15. その他(具体的に: )
8. 病院	16. 特になし

- (2) この調査票が配布されたお子さんについて、以下の(ア)～(ク)の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。  
(それぞれあてはまる番号1つに○)

	利用したことがある	利用したことがない					
		利用したいと思ったことがなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用時間や制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった	身近に制度等がない
(ア) 子育てひろば (地域子育て支援センター)	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 子ども食堂	1	2	3	4	5	6	7
(オ) フードバンクによる食料支援	1	2	3	4	5	6	7
(カ) 小学生以上の子どもの自由な時間を過ごせる場所	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 学校が実施する補充学習 (学習支援)	1	2	3	4	5	6	7
(ク) 学校以外が実施する補充学習 (学習支援)	1	2	3	4	5	6	7

＜参考＞

(ア) 子育てひろば (地域子育て支援センター)	主に0歳から3歳のお子さんと保護者の方が、親子でゆったり過ごしながら、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場所
(イ) 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	入院、出産、介護、仕事などで、一時的にお子さんの養育にお困りのとき、児童福祉施設で子どもを預かる制度
(ウ) ファミリー・サポート・センター	育児のお手伝いをしてほしい方(利用会員)と育児のお手伝いをしたい方(提供会員)の両者を登録して、援助活動により仕事と育児の両立や、子育てする家庭にゆとりを持ていただけるよう支援する制度
(エ) 子ども食堂	子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、民間団体等が無料または格安で食事を提供している場所
(オ) フードバンク	まだ食べられるにもかかわらず処分されてしまう食品を、NPOなどが食品メーカー等から引き取って、福祉施設や支援を必要とする人へ無料で提供する活動

(3) お子さんのお母さんまたはお父さんが帰宅するまでの子どもの居場所や見守り（おおむね20時頃まで）の仕組みがあれば、利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 利用したい	3. 利用する必要がない	5. その他（具体的に： ）
2. 利用したくない	4. わからない	

(4) あなたのご家庭では、以下の支援制度等は、これまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	利用したことがある	利用したことがない				
		利用したいと思ったことがなかった (そもそも制度等の対象外であった)	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった
(ア) 生活福祉資金	1	2	3	4	5	6
(イ) 生活保護	1	2	3	4	5	6
(ウ) 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6
(エ) 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6

＜参考＞

(ア) 生活福祉資金	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村の社会福祉協議会
(イ) 生活保護	病気や失業等のため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときに一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。窓口は市町村役場
(ウ) 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村役場
(エ) 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯の支援のための手当。窓口は市町村役場

問18 お子さんの家庭にはインターネット回線がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ある (通信データ容量制限なし)
2. ある (通信データ容量制限あり)
3. ない

※携帯電話、スマートフォンは除く。

問19 <sup>とい</sup>行政への<sup>ぎょうせい</sup>要望<sup>ようぼう</sup>について、おたずねします。

- (1) あなたが子育てをするうえで、あったらいいと思うサービスはありますか。

1. ある                      2. ない

(2) それは、どのようなサービスですか。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ちょうさひょう  
調査票

こうちけん こ せいかつじったいちようさ  
高知県 子どもの生活実態調査  
しょうがく ねんせい みな  
小学5年生の皆さんへ

ちょうさ もくてき  
調査の目的

◎これは、高知県の子どもの夢や悩み、生活状況などを調べるためのアンケートです。

あなたへのお願い

◎この調査は、小学5年生のあなたが自分で書いてください。回答をご家族に見せる必要はありません。

◎名前は書かないでください。

◎回答は、調査票へ直接記入するか、インターネットで回答してください。「紙の調査票」又は「インターネット」のどちらか一方で回答してください。

◎インターネットで回答する場合は、下の URL にアクセスするか、二次元コードを読み取り、回答してください。



＜QRコード＞

ちょうさがめん  
＜調査画面URL＞<https://src2.webcas.net/form/pub/src4/k1>

◎答えたくない質問には、答える必要はありません。また、まちがった答えや正しい答えはありませんので、自分の思う答えを書いてください。

◎質問のなかで、親と書かれているところについては、親または親以外の保護者として答えてください。

ていしゆつ  
提出のしかた

◎全部書き終わったら、自分で水色の封筒に三つ折りにして入れ、のりかテープで閉じてください。

◎封筒を保護者に渡してください。

—質問があったら、こちらに電話をしてください。—

高知県子ども・福祉政策部子ども家庭課

電話：088-823-9637（電話受付 月～金：8：30～17：15）

問1 はじめに、あなたの住んでいる地域について、おたずねします。

住んでいる地域に○をつけてください。(いずれか1つに○)

1. 高知市	10. 香南市	19. 本山町	28. 梶原町
2. 室戸市	11. 香美市	20. 大豊町	29. 日高村
3. 安芸市	12. 東洋町	21. 土佐町	30. 津野町
4. 南国市	13. 奈半利町	22. 大川村	31. 四万十町
5. 土佐市	14. 田野町	23. いの町	32. 大月町
6. 須崎市	15. 安田町	24. 仁淀川町	33. 三原村
7. 宿毛市	16. 北川村	25. 中土佐町	34. 黒潮町
8. 土佐清水市	17. 馬路村	26. 佐川町	
9. 四万十市	18. 芸西村	27. 越知町	

問2 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。

ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、  
いらないと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
(1) 自分だけの本(学校の教科書やマンガは除く)	1	2	3
(2) 子ども部屋(きょうだいと使っている場合も含みます)	1	2	3
(3) (自宅で)インターネットにつながるパソコン	1	2	3
(4) 自宅で宿題をすることができる場所	1	2	3
(5) 自分専用の勉強机	1	2	3
(6) スポーツ用品(野球のグローブやサッカーボール等)	1	2	3
(7) ゲーム機	1	2	3
(8) 自転車	1	2	3
(9) おやつや、ちょっとしたおもちゃをかうおこづかい	1	2	3
(10) 携帯電話、スマートフォン	1	2	3
(11) 携帯音楽プレーヤー等	1	2	3

問3 将来の夢について、おたずねします。

(1) あなたには、将来の夢がありますか。(いずれか1つに○)

1. ある → 問4へ	2. ない
-------------	-------

(2) 将来の夢が「2 ない」と答えた方におたずねします。

夢がない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. もうすべてに満足しているから	3. 具体的に、何も思いうかばないから
2. 夢がかなうのがむずかしいと思うから	4. わからない

問4 友だちについて、おたずねします。

次のような友だちは、全部で何人くらいいますか。いなければ〇と書いてください。

- (ア) 同じ学校の、仲のよい友だち ( ) 人  
 (イ) 同じ学校以外の、仲のよい友だち ( ) 人  
 (ウ) 悩みごとを相談できる友だち ( ) 人

問5 あなたのふだんの生活について、おたずねします。

(1) 平日（学校に行く日）の放課後はだれと一緒に過ごすことが一番多いですか。（あてはまる番号1つに〇）

1. 親、きょうだい
2. おじいちゃん・おばあちゃん、親せき
3. その他の大人（近所の大人、塾や習い事の先生等）
4. 学校の友だち
5. 学校以外の友だち（地域のスポーツクラブ、近所の友だち等）
6. 一人にいる

(2) あなたには、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）を過ごす居場所がありますか。1週間のうち、(ア)～(ス)のそれぞれで過ごすおおよその日数を教えてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに〇）

	毎日 まいにち	週に しゅうに 3～4日	週に しゅうに 1～2日	全く まったく 過ごさない
(ア) 自分の家	1	2	3	4
(イ) 祖父母の家	1	2	3	4
(ウ) 友だちの家	1	2	3	4
(エ) 塾や習い事	1	2	3	4
(オ) 学校（クラブ活動、放課後校庭開放、放課後子ども教室・児童クラブ等）	1	2	3	4
(カ) 公民館・コミュニティセンター・児童館	1	2	3	4
(キ) スポーツクラブの活動の場（野球場、サッカー場等）	1	2	3	4
(ク) 公園	1	2	3	4
(ケ) 図書館	1	2	3	4
(コ) 商店街やスーパーマーケット、ショッピングモール	1	2	3	4
(サ) ゲームセンター	1	2	3	4
(シ) オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど）	1	2	3	4
(ス) その他（具体的に： )	1	2	3	4

(3) (2)の(ア)～(ス)の場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。1つだけ選んで、その記号（ア～スのいずれか）をカッコの中に書いてください。ほっとできる居場所がない場合は、「X ほっとできる居場所はない」に〇をつけてください。

記号 ( ) X ほっとできる居場所はない
-----------------------

- (4) あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		あれば利用したいと思う	今後もしも利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (放課後子ども教室、児童クラブ、地域の交流スペースなど)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) タコはんと無料で安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

- (5) 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。

そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 友だちが増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しいことが増えた	8. その他
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

- (6) あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	毎日 2時間以上	毎日 1～2時間	毎日 1時間以下	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	ぜんぜん しない
(ア) ゲーム機で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7
(イ) テレビやDVDを見る	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) 携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 読書	1	2	3	4	5	6	7
(オ) 室内での(ア)～(エ)以外の活動 (室内遊び等)	1	2	3	4	5	6	7
(カ) 公園等外で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 家事(洗濯、掃除、料理、片付け など) やきようだい等の世話	1	2	3	4	5	6	7
(ク) 学校の授業以外で体を動かす 運動(習い事含む)	1	2	3	4	5	6	7

(7) あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブに参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 参加している → (9) へ	2. 参加していない
-------------------	------------

(8) 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。

参加していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 入りたいクラブがないから	4. 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
2. 塾や習い事が忙しいから	5. 一緒に入る友達がいないから
3. 費用がかかるから	6. その他

(9) あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(a～c それぞれについてあてはまる番号1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	ほとんど 食べない (週1～2日)
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

(10) あなたは平日(学校に行く日)、どのくらい睡眠時間をとりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 10時間以上	3. 8時間以上9時間より少ない	5. 6時間以上7時間より少ない
2. 9時間以上10時間より少ない	4. 7時間以上8時間より少ない	6. 6時間より少ない

問6 学校や勉強のことに、おたずねします。

(1) あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いつもわかる	3. 教科によってはわからないことがある
2. だいたいわかる	4. わからないことが多い
	5. ほとんどわからない

(2) 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1・2年生のころ	3. 4年生のころ
2. 3年生のころ	4. 5年生になってから

(3) 勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 親	5. 放課後子ども教室・児童クラブ等の先生
2. 親以外の家族 (きょうだいや、おじいちゃん・おばあちゃん等)	6. 塾や習い事の先生
3. 学校の先生	7. その他の大人
4. 放課後等補充学習※の先生	8. 友だち
	9. 教えてもらえる人がいない

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

(4) あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 上のほう	3. 真ん中のあたり	5. 下のほう
2. やや上のほう	4. やや下のほう	6. わからない

(5) あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 自分で勉強する	6. 家の人に教えてもらう
2. 塾で勉強する	7. 友達と勉強する
3. 学校の補習を受ける	8. その他
4. 家庭教師に教えてもらう	9. 学校の授業以外で勉強はしない
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

(6) あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a,b それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	まったくしない	30分より少ない 30分 <small>ふん</small>	1時間より少ない 1時間 <small>じかん</small>	30分以上、 1時間以上、 2時間より少ない 2時間 <small>じかん</small>	3時間より少ない 3時間 <small>じかん</small>	2時間以上、 3時間より少ない 2時間 <small>じかん</small>	3時間以上 3時間 <small>じかん</small>
a) 学校 <small>がっこう</small> がある日 <small>ひ</small> (月 <small>げつ</small> ～金曜日 <small>きんようび</small> )	1	2	3	4	5	6	
b) 学校 <small>がっこう</small> がない日 <small>ひ</small> (土 <small>ど</small> ・日曜日 <small>にちようび</small> ・祝 <small>しゅく</small> 日 <small>じつ</small> )	1	2	3	4	5	6	

問7 あなた自身について、おたずねします。

- (1) あなたは、自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(あてはまる点数1つに○)

とても不幸	とても幸せ									
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

- (2) いつもの自分にいちばんよく合う答えをそれぞれ1つだけ選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	いいえ	どちらか といえ いいえ	どちらか といえ はい	はい
(ア) 自分に、自信がありますか	1	2	3	4
(イ) たいていのことは、人よりうまくできると思いますか	1	2	3	4
(ウ) 自分には、人に自慢できるところがたくさんあると思いますか	1	2	3	4
(エ) 何をやってもうまくいかないような気がしますか	1	2	3	4
(オ) 今の自分に、満足していますか	1	2	3	4
(カ) 自分はきっと、偉い人になれると思いますか	1	2	3	4
(キ) 自分は、あまり役に立たない人間だと思いますか	1	2	3	4
(ク) 自分の意見は、自信をもって言えますか	1	2	3	4
(ケ) 自分にはあまりいいところがないと思いますか	1	2	3	4

問8 あなたの悩みや困っていることについて、おたずねします。

- (1) 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(いずれか1つに○)

1. ある	2. ない → 問9へ
-------	-------------

- (2) 前の質問で現在、悩んだり困ったりしていることが【1. ある】と答えた方におたずねします。

あなたが、悩んでいることについて相談するのは誰ですか。(1～19 については、あてはまる番号すべてに○)

1. お母さん	11. 保健室の先生
2. お父さん	12. スクールソーシャルワーカー
3. 兄弟姉妹	13. 学校カウンセラー（スクールカウンセラー）
4. 祖父・祖母	14. カウンセラー（13以外）（電話相談を含む）
5. その他の家族・親せき	15. 放課後子ども教室・児童クラブ等の先生
6. 友だち	16. 公民館・コミュニティセンター・児童館等の人
7. 先輩・後輩	17. 近所の人
8. 学校の先生	18. インターネットの相談サイト
9. 放課後等補充学習※の先生	19. その他（具体的に：_____）
10. 塾や習い事の先生	20. 誰にも相談しない

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

問9 「ヤングケアラー」について、おたずねします。

あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1 つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことがあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

ヤングケアラーとは、「本来、大人が行うと考えられている食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話を日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーのイメージ例

【こども家庭庁 HP より引用】



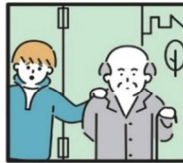
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ちょうさひょう  
調査票

こうちけん こ せいかつじったいちようさ  
高知県 子どもの生活実態調査  
ちゅうがく ねんせいほごしやよう  
(中学2年生保護者用)

◎このアンケートは調査票が配布されたお子さんの保護者の方がお答えください。

◎調査は無記名で、個人を特定する情報を書いていただく必要はありません。回答の内容は、すべて統計的に処理しますので、誰が何を書いたのかが他の人に知られることはありません。

◎回答は、調査票へ直接記入するか、インターネットで回答してください。  
「紙の調査票」又は「インターネット」のどちらか一方で回答してください。

◎インターネットで回答する場合は、下の URL にアクセスするか、二次元コードを読み取り、回答してください。



<QR コード>

<調査画面URL><https://src2.webcas.net/form/pub/src4/h1>

◎記入が終わった調査票は、お子さんの封筒と一緒に、茶色の封筒に入れて封をして、郵便ポストに投函してください。

◎封筒の開封は、高知県子ども家庭課が委託した調査会社のみが行います。

◎あなたご自身やご家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。答えにくい質問や答えたくない質問には、答える必要はありませんが、プライバシーは守られますので、ぜひありのままをお答えいただきますようお願いいたします。

◎この調査票の質問の「お子さん」とは、この調査票が配布されたお子さんのことを指します。そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「お子さん」とは調査票が配布されたお子さんのみのことです。

—この調査に関するお問い合わせ—

高知県子ども・福祉政策部子ども家庭課

電話：088-823-9637（電話受付 月～金：8：30～17：15）

問1 はじめに、あなたの住んでいる地域について、おたずねします。

住んでいる地域に○をつけてください。（いずれか番号1つに○）

1. 高知市	10. 香南市	19. 本山町	28. 梶原町
2. 室戸市	11. 香美市	20. 大豊町	29. 日高村
3. 安芸市	12. 東洋町	21. 土佐町	30. 津野町
4. 南国市	13. 奈半利町	22. 大川村	31. 四万十町
5. 土佐市	14. 田野町	23. いの町	32. 大月町
6. 須崎市	15. 安田町	24. 仁淀川町	33. 三原村
7. 宿毛市	16. 北川村	25. 中土佐町	34. 黒潮町
8. 土佐清水市	17. 馬路村	26. 佐川町	
9. 四万十市	18. 芸西村	27. 越知町	

問2 お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。

お子さんからみた続き柄で、お答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. お母さん	3. お母さんの母親	5. お父さんの母親	7. 兄弟姉妹
2. お父さん	4. お母さんの父親	6. お父さんの父親	8. その他

問3 お子さんと生計を同一にしているご家族の方は、どなたですか。

それぞれの人数と合計の人数をお教えてください。単身赴任しているご家族も含めてください。

（あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で答えてください）

1. お母さん	5. お父さんの母親	9. 弟（人）
2. お父さん	6. お父さんの父親	10. 妹（人）
3. お母さんの母親	7. 兄（人）	11. その他（人）
4. お母さんの父親	8. 姉（人）	

一計（ ）人 ※あなたとお子さんも含んだ人数をご記入ください。

問4 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

問5 お子さんが小学校入学前に通ったことのある保育・教育機関等をすべてお答えください。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 幼稚園・認可保育所・認定こども園	3. 親・親族以外の個人
2. その他の教育・保育等の施設	4. もっぱら親・親族が面倒を見ていた

問6 お子さんの今後の教育について、おたずねします。

(1) お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)

1. 中学まで	3. 専門学校※まで	5. 大学またはそれ以上
2. 高校まで	4. 高専・短大まで	6. まだわからない

※高校卒業後進学する学校とします。

(2) (1)で答えたように考えるのはなぜですか。(1～5については、あてはまる番号すべてに○)

1. お子さんがそう希望しているから	4. 家庭の経済的な状況から考えて
2. 一般的な進路だと思うから	5. その他
3. お子さんの学力から考えて	6. 特に理由はない

問7 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問8 過去1か月の間のお子さんの様子について、それぞれの項目で最も近いと思うものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	まったくこのとおり	だいたいこのとおり	少し合っている	ほとんど合っていない	まったくちがう
(1) 将来について、明るい面を言うことができる	1	2	3	4	5
(2) 自分のベストを尽くそうとする	1	2	3	4	5
(3) 馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる	1	2	3	4	5
(4) 他人にきちんと挨拶することができる	1	2	3	4	5
(5) 大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	1	2	3	4	5
(6) 必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	1	2	3	4	5
(7) 将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	1	2	3	4	5
(8) 自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる	1	2	3	4	5

問9 あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について、それぞれの項目で最も近いと思うものを選んでください。（それぞれあてはまる番号1つに○）  
 答えに自信がなくても、すべての質問に答えてください。

	あてはまる	まああてはまる	あてはまらない
(1) 他人の気持ちをよく気づかう	1	2	3
(2) おちつきがなく、長い間じっとしていられない	1	2	3
(3) 頭が痛い、おなかが悪い、きもちが悪いなどと、よく訴える	1	2	3
(4) 他の子どもたちと、よく分け合う（お菓子等）	1	2	3
(5) カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1	2	3
(6) 一人でのんびりが好きで、一人で遊ぶことが多い	1	2	3
(7) 素直で、だいたい大人のいうことをよく聞く	1	2	3
(8) 心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1	2	3
(9) 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1	2	3
(10) いつもそわそわしたり、もじもじしている	1	2	3
(11) 仲のよい友だちが少なくとも一人はいる	1	2	3
(12) よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	1	2	3
(13) おちこんでしゅんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	1	2	3
(14) 他の子どもたちから、だいたいはおかれていますようだ	1	2	3
(15) すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	1	2	3
(16) 目新しい場面に直面すると不安ですがりがついたり、すぐに自信をなくす	1	2	3
(17) 年下の子どもたちに対してやさしい	1	2	3
(18) よく嘘をついたり、ごまかしたりする	1	2	3
(19) 他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	1	2	3
(20) 自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたち等）	1	2	3
(21) よく考えてから行動することができる	1	2	3
(22) 家や学校、その他から物を盗んだりする	1	2	3
(23) 他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	1	2	3
(24) こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3
(25) ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	1	2	3

問10 お子さんのお母さん、お父さんの現在の婚姻状況をおたずねします。（あてはまる番号1つに○）

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む）	3. 死別	5. わからない
2. 離婚	4. 未婚・非婚	6. いない

問11 問10で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。  
また、養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3. 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問12 お子さんのお母さん、お父さんの就業状況やこれまでの経験について、おたずねします。

(1) お子さんのお母さん、お父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。

(a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	a) お母さん	b) お父さん
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
いない、わからない	6	6

(2) 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

(a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	a) お母さん	b) お父さん
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したいため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

5に○をつけた場合のみ

(3) お子さんのお母さん、お父さんは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。

(カッコの中に数字で答えてください) ※複数のお仕事をもっている場合は合算してください。

お母さん	週に平均( )時間程度	お父さん	週に平均( )時間程度
------	-------------	------	-------------

(4) お子さんのお母さん、お父さんが最後に通った(または在学中の)学校について、お答えください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

(例: 高校を卒業した場合は【3. 高校卒】、高校を退学した場合は【2. 高校中退】を選んでください。)

お母さん		お父さん	
1. 中学卒	6. 大学中退	1. 中学卒	6. 大学中退
2. 高校中退	7. 大学卒	2. 高校中退	7. 大学卒
3. 高校卒	8. 大学院卒	3. 高校卒	8. 大学院卒
4. 専門学校※卒	9. わからない	4. 専門学校※卒	9. わからない
5. 高専・短大卒	10. その他 ( )	5. 高専・短大卒	10. その他 ( )

※高校卒業後進学する学校とします。

問13 お子さんの家庭の経済的状況について、おたずねします。

(1) 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 大変ゆとりがある	3. 普通	5. 大変苦しい
2. ややゆとりがある	4. やや苦しい	

(2) 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(1～13については、あてはまる番号すべてに○)

1. 洗濯機	8. インターネットにつながるパソコン
2. 炊飯器	9. 世帯専用のお風呂
3. 掃除機	10. 世帯人数分のベッドまたは布団
4. 暖房機器	11. カーテン
5. 冷房機器	12. 自動車
6. 電子レンジ	13. 急な出費のための貯金(5万円以上)
7. 電話(固定電話・携帯電話を含む)	14. あてはまるものはない

(3) 以下の項目で、過去1年間に経済的理由のために支払いができなかった、または買えなかったことはありますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

	あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
1. 学校の修学旅行や課外授業への参加費	1	2	3
2. 学校での教材費	1	2	3
3. 学校の給食費	1	2	3
4. 家賃	1	2	3
5. 住宅ローン	1	2	3

6. 電気代	1	2	3
7. ガス代	1	2	3
8. 水道代	1	2	3
9. 電話代（固定電話・携帯電話を含む）	1	2	3
10. 公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料	1	2	3
11. 通勤や通学に使うバスや電車の料金	1	2	3
12. 食料	1	2	3
13. 子どもに必要な洋服やかばん	1	2	3

- (4) あなたの<sup>かてい</sup>ご家庭では、お子さんのために<sup>しゅうがくえんじょひ</sup>就学援助費を受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○）  
 ※就学援助制度は、経済的な理由により就学が困難な子どもたちの保護者に対して、援助を行い、子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにするための制度です。

1. 受け取っている	2. 受け取っていない	3. わからない
------------	-------------	----------

- (5) (4)で【2. 受け取っていない】を選んだ方におたずねします。  
 受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものを選んでください。（あてはまる番号1つに○）

1. 申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）
2. 申請しなかった（必要であるが、申請の仕方がわからなかった）
3. 申請しなかった（必要であるが、申請することに抵抗があった）
4. 申請しなかった（必要ないと判断した）
5. 申請したが、認定されなかった
6. 就学援助制度を知らなかった
7. その他（具体的に：_____）

- (6) あなたの世帯が受給している、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの受給額はいくらですか。  
 （カッコの中に数字で答えてください）

※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。

※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。

※「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための手当です。

	1回あたり金額	
(ア) 児童手当	( ) 円	（4か月に1回支払われます）
(イ) 児童扶養手当	( ) 円	（2か月に1回支払われます）
(ウ) 特別児童扶養手当	( ) 円	（4か月に1回支払われます）
(エ) 年金（遺族年金、老齢年金等）	( ) 円	（2か月に1回支払われます）
(オ) 生活保護費	( ) 円	

(7) (6)で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入について、おたずねします。

お子さんと生計を同一にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）は合わせていくらですか。

（あてはまる番号1つに○）

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、  
利子・配当金、個人年金を含みますが、上記(6)で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考え  
ください。

※複数の収入源がある場合（お父さまが勤労収入、お母さまに事業収入など）は、おおよその合算値（合計額）を教えてください。

1. 収入はない（0円）	8. 300～350万円未満	13. 600～700万円未満
2. 1～50万円未満	9. 350～400万円未満	14. 700～800万円未満
3. 50～100万円未満	10. 400～450万円未満	15. 800～900万円未満
4. 100～150万円未満	11. 450～500万円未満	16. 900万円以上
5. 150～200万円未満	12. 500～600万円未満	17. わからない
6. 200～250万円未満		
7. 250～300万円未満		

問14 この調査票に回答されているあなた自身について、おたずねします。

あなたは、自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思えますか。（あてはまる点数1つに○）

とても不幸	とても幸せ									
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問15 この調査票に回答されているあなたを含めた、お子さんとご家族との関係について、おたずねします。

あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない
(ア) お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5
(イ) お子さんと一緒にスポーツをする	1	2	3	4	5
(ウ) お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ （テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲーム等）	1	2	3	4	5
(エ) お子さんとカードゲーム、ボードゲーム等で遊ぶ （トランプ・ブロック遊び・オセロ等）	1	2	3	4	5
(オ) お子さんと学校生活の話をする	1	2	3	4	5
(カ) お子さんと政治経済・社会問題等のニュースの話をする	1	2	3	4	5
(キ) お子さんとテレビ番組・SNS（facebook、Twitter、LINE などのソーシャルメディア）・動画など（ニュースを除く） の話をする	1	2	3	4	5
(ク) お子さんといっしょに料理をする	1	2	3	4	5
(ケ) お子さんといっしょに外出をする	1	2	3	4	5

問16 この調査票に回答されている方について、おたずねします。

(1) あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いない	2. 1～2人いる	3. 3～4人いる	4. 5～7人いる	5. 8人以上いる
--------	-----------	-----------	-----------	-----------

(2) (1)で【1. いない】以外を選んだ方におたずねします。

それは誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 配偶者・パートナー	5. 近隣に住む知人や友人
2. 自分の親	6. 近隣に住んでいない知人や友人
3. 配偶者の親・パートナーの親	7. 職場関係者
4. きょうだい・その他の親戚	8. その他(具体的に: )

(3) あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	相談した ことがある	相談したことがない			
		相談したいと 思ったことが なかった	相談したかっ たが、抵抗感 があった	相談時間や 場所などが 使いづかった	相談する窓口 や方法がわか らなかった
1. 市町村の役所の窓口(福祉事務所・保健所・保健センター等を含む)	1	2	3	4	5
2. 子ども家庭支援センター	1	2	3	4	5
3. 学校・保育所・幼稚園の先生	1	2	3	4	5
4. スクールカウンセラー	1	2	3	4	5
5. スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5
6. 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
7. 県の福祉保健所	1	2	3	4	5
8. 児童相談所	1	2	3	4	5
9. 警察	1	2	3	4	5
10. ハローワーク	1	2	3	4	5
11. インターネットの相談サイト	1	2	3	4	5
12. 上記以外の公的機関	1	2	3	4	5

問17 この調査票に回答されている方の情報源や支援の利用状況について、おたずねします。

(1) あなたはお子さんの教育や健康・医療についての情報を、どこから(誰から)得ていますか。

主なものを3つ選んでください。(あてはまる番号3つに○)

1. 配偶者	9. テレビ・ラジオ
2. 自分の家族や親戚	10. SNS (facebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア)
3. 自分の友人や知人	11. インターネット
4. 学校の先生	12. 市町村の広報
5. 子どもの習い事や塾の先生	13. 新聞
6. 市町村のサービス窓口	14. 本や雑誌
7. 保健センター	15. その他(具体的に: )
8. 病院	16. 特になし

- (2) この調査票が配布されたお子さんについて、以下の(ア)～(ク)の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。  
(それぞれあてはまる番号1つに○)

	利用したことがある	利用したことがない					
		利用したいと思ったことがなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用時間や制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった	身近に制度等がない
(ア) 子育てひろば (地域子育て支援センター)	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 子ども食堂	1	2	3	4	5	6	7
(オ) フードバンクによる食料支援	1	2	3	4	5	6	7
(カ) 小学生以上の子どもの自由な時間を過ごせる場所	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 学校が実施する補充学習 (学習支援)	1	2	3	4	5	6	7
(ク) 学校以外が実施する補充学習 (学習支援)	1	2	3	4	5	6	7

＜参考＞

(ア) 子育てひろば (地域子育て支援センター)	主に0歳から3歳のお子さんと保護者の方が、親子でゆったり過ごしながら、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場所
(イ) 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	入院、出産、介護、仕事などで、一時的にお子さんの養育にお困りのとき、児童福祉施設で子どもを預かる制度
(ウ) ファミリー・サポート・センター	育児のお手伝いをしてほしい方(利用会員)と育児のお手伝いをしたい方(提供会員)の両者を登録して、援助活動により仕事と育児の両立や、子育てする家庭にゆとりを持ていただけるよう支援する制度
(エ) 子ども食堂	子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、民間団体等が無料または格安で食事を提供している場所
(オ) フードバンク	まだ食べられるにもかかわらず処分されてしまう食品を、NPOなどが食品メーカー等から引き取って、福祉施設や支援を必要とする人へ無料で提供する活動

＜第3章 参考資料＞

(3) お子さんのお母さんまたはお父さんが帰宅するまでの子どもの居場所や見守り（おおむね20時頃まで）の仕組みがあれば、利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 利用したい	3. 利用する必要がない	5. その他（具体的に： ）
2. 利用したくない	4. わからない	

(4) あなたのご家庭では、以下の支援制度等は、これまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	利用したことがある	利用したことがない				
		利用したいと思ったことがなかった (そもそも制度等の対象外であった)	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった
(ア) 生活福祉資金	1	2	3	4	5	6
(イ) 生活保護	1	2	3	4	5	6
(ウ) 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6
(エ) 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6

＜参考＞

(ア) 生活福祉資金	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村の社会福祉協議会
(イ) 生活保護	病気や失業等のため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときに一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。窓口は市町村役場
(ウ) 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村役場
(エ) 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯の支援のための手当。窓口は市町村役場

問18 お子さんの家庭にはインターネット回線がありますか。（あてはまる番号1つに○）

- 1. ある（通信データ容量制限なし）
- 2. ある（通信データ容量制限あり）
- 3. ない

※携帯電話、スマートフォンは除く。

問19 行政への要望について、おたずねします。

(1) あなたが子育てをするうえで、あったらいいと思うサービスはありますか。

- 1. ある
- 2. ない

(2) それは、どのようなサービスですか。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ちょうさひょう  
調査票

こうちけん こ せいかつじったいちようさ  
高知県 子どもの生活実態調査  
ちゅうがく ねんせい みな  
中学2年生の皆さんへ

ちょうさ もくてき  
調査の目的

◎これは、高知県の子どもの夢や悩み、生活状況などを調べるためのアンケートです。

あなたへのお願い

◎この調査は、中学2年生のあなたが自分で書いてください。回答をご家族に見せる必要はありません。

◎名前は書かないでください。

◎回答は、調査票へ直接記入するか、インターネットで回答してください。「紙の調査票」又は「インターネット」のどちらか一方で回答してください。

◎インターネットで回答する場合は、下の URL にアクセスするか、二次元コードを読み取り、回答してください。



＜QR コード＞

＜調査画面URL＞<https://src2.webcas.net/form/pub/src4/k1>

◎答えたくない質問には、答える必要はありません。また、まちがった答えや正しい答えはありませんので、自分の思う答えを書いてください。

◎質問のなかで、親と書かれているところについては、親または親以外の保護者として答えてください。

ていしゅつ  
提出のしかた

◎全部書き終わったら、自分で水色の封筒に三つ折りにして入れ、のりかテープで閉じてください。

◎封筒を保護者に渡してください。

—質問があったら、こちらに電話をしてください。—

高知県子ども・福祉政策部子ども家庭課

電話：088-823-9637（電話受付 月～金：8：30～17：15）

問1 はじめに、あなたの住んでいる地域について、おたずねします。

住んでいる地域に○をつけてください。(いずれか1つに○)

1. 高知市	10. 香南市	19. 本山町	28. 梶原町
2. 室戸市	11. 香美市	20. 大豊町	29. 日高村
3. 安芸市	12. 東洋町	21. 土佐町	30. 津野町
4. 南国市	13. 奈半利町	22. 大川村	31. 四万十町
5. 土佐市	14. 田野町	23. いの町	32. 大月町
6. 須崎市	15. 安田町	24. 仁淀川町	33. 三原村
7. 宿毛市	16. 北川村	25. 中土佐町	34. 黒潮町
8. 土佐清水市	17. 馬路村	26. 佐川町	
9. 四万十市	18. 芸西村	27. 越知町	

問2 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。

ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、  
いらなと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
(1) 自分だけの本(学校の教科書やマンガは除く)	1	2	3
(2) 子ども部屋(きょうだいと使っている場合も含みます)	1	2	3
(3) (自宅で)インターネットにつながるパソコン	1	2	3
(4) 自宅で宿題をすることができる場所	1	2	3
(5) 自分専用の勉強机	1	2	3
(6) スポーツ用品(野球のグローブやサッカーボール等)	1	2	3
(7) ゲーム機	1	2	3
(8) 自転車	1	2	3
(9) おやつや、ちょっとしたおもちゃをかうおこづかい	1	2	3
(10) 携帯電話、スマートフォン	1	2	3
(11) 携帯音楽プレーヤー等	1	2	3

問3 将来の夢について、おたずねします。

(1) あなたには、将来の夢がありますか。(いずれか1つに○)

1. ある → 問4へ	2. ない
-------------	-------

(2) 将来の夢が「2 ない」と答えた方におたずねします。

夢がない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. もうすべてに満足しているから	3. 具体的に、何も思いうかばないから
2. 夢がかなうのがむずかしいと思うから	4. わからない

問4 進学について、おたすねします。

- (1) あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。  
(あてはまる番号1つに○)

1. 中学まで	3. 専門学校※まで	5. 大学またはそれ以上
2. 高校まで	4. 高等・短大まで	6. まだわからない

※高校卒業後進学する学校とします。

- (2) (1)で答えたように考える理由はなぜですか。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 希望する学校や職業があるから	6. 家にお金がないと思うから
2. 自分の成績から考えて	7. 早く働く必要があるから
3. 親がそう言っているから	8. その他
4. 兄・姉がそうしているから	9. 特に理由はない
5. まわりの先輩や友達にそうしているから	

問5 友だちについて、おたすねします。

次のような友だちは、全部で何人くらいいますか。いなければ○と書いてください。

- (ア) 同じ学校の、仲のよい友だち ( ) 人  
(イ) 同じ学校以外の、仲のよい友だち ( ) 人  
(ウ) 悩みごとを相談できる友だち ( ) 人

問6 あなたのふだんの生活について、おたすねします。

- (1) 平日(学校に行く日)の放課後はだれと一緒に過ごすことが一番多いですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 親、きょうだい	4. 学校の友だち
2. おじいちゃん・おばあちゃん、親せき	5. 学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だち等)
3. その他の大人(近所の大人、塾や習い事の先生等)	6. 一人である

- (2) あなたには、平日(学校に行く日)の放課後を過ごす居場所がありますか。1週間のうち、(ア)～(ス)のそれぞれで過ごすおおよその日数を答えてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	まいにち 毎日	週に 3～4日	週に 1～2日	まったく 過ごさない
(ア) 自分の家	1	2	3	4
(イ) 祖父母の家	1	2	3	4
(ウ) 友だちの家	1	2	3	4
(エ) 塾や習い事	1	2	3	4
(オ) 学校(部活動、放課後等補充学習※等)	1	2	3	4
(カ) 公民館・コミュニティセンター・児童館	1	2	3	4
(キ) スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場等)	1	2	3	4
(ク) 公園	1	2	3	4
(ケ) 図書館	1	2	3	4
(コ) 商店街やスーパーマーケット、ショッピングモール	1	2	3	4
(サ) ゲームセンター	1	2	3	4
(シ) オンライン空間(SNS、オンラインゲームなど)	1	2	3	4
(ス) その他(具体的に: )	1	2	3	4

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

- (3) (2)の(ア)～(ス)の場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。1つだけ選んで、その記号(ア～スのいずれか)をカッコの中に書いてください。ほっとできる居場所がない場合は、「X ほっとできる居場所はない」に○をつけてください。

記号 ( )	X ほっとできる居場所はない
--------	----------------

- (4) あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いませんか。(a～dそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	利用したことがある	利用したことはない			
		あは利用したいと思う	あは利用したいと思わない	どうか分らない	今後利用したいか
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日 を過ごすことができる場所	1	2	3	4	
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4	
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4	
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4	

- ↓  
(5) 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。  
そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 友だちが増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しいことが増えた	8. その他
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

- (6) あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	毎日 2時間以上	毎日 1～2時間	毎日 1時間以下	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	ぜんぜん しない
(ア) ゲーム機で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7
(イ) テレビやDVDを見る	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) 携帯電話・スマートフォン・タブレットを使う	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 読書	1	2	3	4	5	6	7
(オ) 室内での(ア)～(エ)以外の活動 (室内遊び等)	1	2	3	4	5	6	7

(カ) 公園等外で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）やきょうだい等の世話	1	2	3	4	5	6	7
(ク) 運動や体を動かす部活動・習い事	1	2	3	4	5	6	7

(7) あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 参加している → (9)へ	2. 参加していない
------------------	------------

(8) 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。

参加していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 入りたいクラブ・部活動がないから	4. 家の事情（家族の世話、家事など）があるから
2. 塾や習い事が忙しいから	5. 一緒に入る友達がいないから
3. 費用がかかるから	6. その他

(9) あなたは週にどのくらい食事をしていますか。（a～c それぞれについてあてはまる番号1つに○）

	毎日食べる （週7日）	週5～6日	週3～4日	ほとんど 食べない （週1～2日）
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

(10) あなたは平日（学校に行く日）、どのくらい睡眠時間をとりますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 10時間以上	3. 8時間以上9時間より少ない	5. 6時間以上7時間より少ない
2. 9時間以上10時間より少ない	4. 7時間以上8時間より少ない	6. 6時間より少ない

問7 学校や勉強のことに、おたずねします。

(1) あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

1. いつもわかる	3. 教科によってはわからないことがある
2. だいたいわかる	4. わからないことが多い
	5. ほとんどわからない

(2) 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（あてはまる番号1つに○）

1. 小学1・2年生のころ	3. 中学1年生のころ
2. 小学3・4年生のころ	4. 中学2年生になってから
3. 小学5・6年生のころ	

(3) 勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。(1～7については、あてはまる番号すべてに○)

1. 親 おや おやいがい かぞく	5. 塾や習い事の先生 じゅく なら ごと せんせい
2. 親以外の家族 (きょうだいや、おじいちゃん・おばあちゃん等)	6. その他の大人 た おとな
3. 学校の先生 がっこう せんせい	7. 友だち とも
4. 放課後等補充学習※の先生 ほう か ご ちようききゅうがくしゅう せんせい	8. 教えてもらえる人がいない おし ひと

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

(4) あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 上のほう うへ	(3) 真ん中のあたり ま なか	(5) 下のほう した
(2) やや上のほう うへ	(4) やや下のほう した	(6) わからない

(5) あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 自分で勉強する じぶん べんきょう	6. 家の人に教えてもらう いえ ひと おし
2. 塾で勉強する じゅく べんきょう	7. 友達と勉強する ともだち べんきょう
3. 学校の補習を受ける がっこう ほしゅう う	8. その他 た
4. 家庭教師に教えてもらう かて いきょうし おし	9. 学校の授業以外で勉強はしない がっこう じゅぎょういがい べんきょう
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する ちいき ひと おこな むりよう べんきょうかい さんか	

(6) あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	まったくしない	30分より少ない ふん すく	1時間より少ない じかん すく	30分以上 ふんいじょう	2時間より少ない じかん すく	1時間以上、 3時間より少ない じかん いじょう	2時間以上、 3時間より少ない じかん いじょう	3時間以上 じかん いじょう
a) 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6		
b) 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6		

問8 あなた自身について、おたずねします。

- (1) あなたは、自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(あてはまる点数1つに○)

とても不幸	とても幸せ
0点---1点---2点---3点---4点---5点---6点---7点---8点---9点---10点	

- (2) いつもの自分にいちばんよく合う答えをそれぞれ1つだけ選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	いいえ	どちらか といえは いいえ	どちらか といえは はい	はい
(ア) 自分に、自信がありますか	1	2	3	4
(イ) たいていのことは、人よりうまくできると思いますか	1	2	3	4
(ウ) 自分には、人に自慢できるところがたくさんあると思いますか	1	2	3	4
(エ) 何をやってもうまくいかないような気がしますか	1	2	3	4
(オ) 今の自分に、満足していますか	1	2	3	4
(カ) 自分はきっと、偉い人になれると思いますか	1	2	3	4
(キ) 自分は、あまり役に立たない人間だと思いますか	1	2	3	4
(ク) 自分の意見は、自信をもって言えますか	1	2	3	4
(ケ) 自分にはあまりいいところがないと思いますか	1	2	3	4

問9 あなたの悩みや困っていることについて、おたずねします。

- (1) 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(いずれか1つに○)

1. ある	2. ない → 問10へ
-------	--------------

- (2) 前の質問で現在、悩んだり困ったりしていることが【1. ある】と答えた方におたずねします。

あなたが、悩んでいることについて相談するのは誰ですか。(1～18については、あてはまる番号すべてに○)

1. お母さん 2. お父さん 3. 兄弟姉妹 4. 祖父・祖母 5. その他の家族・親せき 6. 友だち 7. 先輩・後輩 8. 学校の先生 9. 放課後等補充学習※の先生 10. 塾や習い事の先生	11. 保健室の先生 12. スクールソーシャルワーカー 13. 学校カウンセラー（スクールカウンセラー） 14. カウンセラー（13以外）（電話相談を含む） 15. 公民館・コミュニティセンター・児童館等の人 16. 近所の人 17. インターネットの相談サイト 18. その他（具体的に： ） 19. 誰にも相談しない
---	---

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

問10 「ヤングケアラー」について、おたずねします。

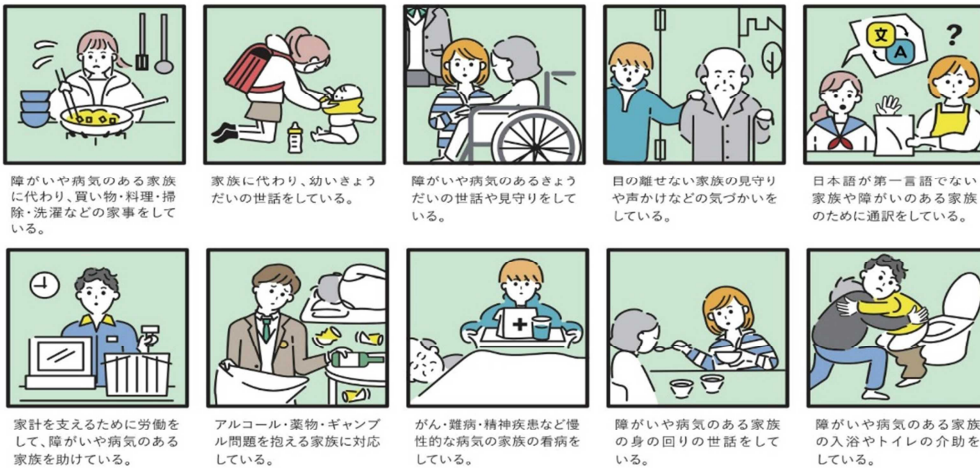
あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1 つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことがあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

ヤングケアラーとは、「本来、大人が行うと考えられている食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーのイメージ例

【こども家庭庁 HP より引用】



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ちょうさひょう  
調査票

こうちけん こ せいかつじったいちょうさ  
高知県 子どもの生活実態調査  
こうこう ねんせいほごしやよう  
(高校2年生保護者用)

◎このアンケートは調査票が配布されたお子さんの保護者の方がお答えください。

◎調査は無記名で、個人を特定する情報を書いていただく必要はありません。回答の内容は、すべて統計的に処理しますので、誰が何を書いたのかが他の人に知られることはありません。

◎回答は、調査票へ直接記入するか、インターネットで回答してください。  
「紙の調査票」又は「インターネット」のどちらか一方で回答してください。

◎インターネットで回答する場合は、下の URL にアクセスするか、二次元コードを読み取り、回答してください。



<QRコード>

<調査画面URL><https://src2.webcas.net/form/pub/src4/h1>

◎記入が終わった調査票は、お子さんの封筒と一緒に、茶色の封筒に入れて封をして、郵便ポストに投函してください。

◎封筒の開封は、高知県子ども家庭課が委託した調査会社のみが行います。

◎あなたご自身やご家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。答えにくい質問や答えたくない質問には、答える必要はありませんが、プライバシーは守られますので、ぜひありのままをお答えいただきますようお願いいたします。

◎この調査票の質問の「お子さん」とは、この調査票が配布されたお子さんのことを指します。そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「お子さん」とは調査票が配布されたお子さんのみのことです。

—この調査に関するお問い合わせ—

高知県子ども・福祉政策部子ども家庭課

電話：088-823-9637（電話受付 月～金：8：30～17：15）

問1 はじめに、あなたの住んでいる地域について、おたずねします。

住んでいる地域に○をつけてください。(いずれか番号1つに○)

1. 高知市	10. 香南市	19. 本山町	28. 梶原町
2. 室戸市	11. 香美市	20. 大豊町	29. 日高村
3. 安芸市	12. 東洋町	21. 土佐町	30. 津野町
4. 南国市	13. 奈半利町	22. 大川村	31. 四万十町
5. 土佐市	14. 田野町	23. いの町	32. 大月町
6. 須崎市	15. 安田町	24. 仁淀川町	33. 三原村
7. 宿毛市	16. 北川村	25. 中土佐町	34. 黒潮町
8. 土佐清水市	17. 馬路村	26. 佐川町	
9. 四万十市	18. 芸西村	27. 越知町	

問2 お子さんとあなた(回答者)との関係は、以下のどれになりますか。

お子さんからみた続き柄で、お答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. お母さん	3. お母さんの母親	5. お父さんの母親	7. 兄弟姉妹
2. お父さん	4. お母さんの父親	6. お父さんの父親	8. その他

問3 お子さんと生計を同一にしているご家族の方は、どなたですか。

それぞれの人数と合計の人数をお教えください。単身赴任しているご家族も含めてください。

(あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で答えてください)

1. お母さん	5. お父さんの母親	9. 弟 ( 人)
2. お父さん	6. お父さんの父親	10. 妹 ( 人)
3. お母さんの母親	7. 兄 ( 人)	11. その他 ( 人)
4. お母さんの父親	8. 姉 ( 人)	

→計 ( ) 人 ※あなたとお子さんも含んだ人数をご記入ください。

問4 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

問5 お子さんが小学校入学前に通ったことのある保育・教育機関等をすべてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園・認可保育所・認定こども園	3. 親・親族以外の個人
2. その他の教育・保育等の施設	4. もっぱら親・親族が面倒を見ていた

問6 お子さんの今後の教育について、おたずねします。

(1) お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)

1. 中学まで	3. 専門学校※まで	5. 大学またはそれ以上
2. 高校まで	4. 高専・短大まで	6. まだわからない

※高校卒業後進学する学校とします。

(2) (1)で答えたように考えるのはなぜですか。(1～5については、あてはまる番号すべてに○)

1. お子さんがそう希望しているから	4. 家庭の経済的な状況から考えて
2. 一般的な進路だと思うから	5. その他
3. お子さんの学力から考えて	6. 特に理由はない

問7 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a,b それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問8 過去1か月の間のお子さんの様子について、それぞれの項目で最も近いと思うものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	まったくこのとおり	だいたいこのとおり	少し合っている	ほとんど合っていない	まったくちがう
(1) 将来について、明るい面を言うことができる	1	2	3	4	5
(2) 自分のベストを尽くそうとする	1	2	3	4	5
(3) 馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる	1	2	3	4	5
(4) 他人にきちんと挨拶することができる	1	2	3	4	5
(5) 大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる	1	2	3	4	5
(6) 必要な時には適切にアドバイスを求めることができる	1	2	3	4	5
(7) 将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる	1	2	3	4	5
(8) 自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる	1	2	3	4	5

問9 あなたの<sup>こ</sup>お子さんの<sup>はんとし</sup>ここ半年<sup>こうどう</sup>くらいの行動について、それぞれの項目で最も近いと思うものを選んでください。（それぞれあてはまる番号1つに○）  
 答えに自信がなくても、すべての質問に答えてください。

	あてはまる	まああてはまる	あてはまらない
(1) 他人の気持ちをよく気づかう	1	2	3
(2) おちつきがなく、長い間じっとしてられない	1	2	3
(3) 頭が痛い、おなかが悪い、きもちが悪いなどと、よく訴える	1	2	3
(4) 他の子どもたちと、よく分け合う（お菓子等）	1	2	3
(5) カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1	2	3
(6) 一人にいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	1	2	3
(7) 素直で、だいたい大人のいうことをよく聞く	1	2	3
(8) 心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1	2	3
(9) 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1	2	3
(10) いつもそわそわしたり、もじもじしている	1	2	3
(11) 仲のよい友だちが少なくとも一人はいる	1	2	3
(12) よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	1	2	3
(13) おちこんでしずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	1	2	3
(14) 他の子どもたちから、だいたい好かれていよう	1	2	3
(15) すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	1	2	3
(16) 目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	1	2	3
(17) 年下の子どもたちに対してやさしい	1	2	3
(18) よく嘘をついたり、ごまかしたりする	1	2	3
(19) 他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	1	2	3
(20) 自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたち等）	1	2	3
(21) よく考えてから行動することができる	1	2	3
(22) 家や学校、その他から物を盗んだりする	1	2	3
(23) 他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	1	2	3
(24) こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3
(25) ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	1	2	3

問10 お子さんのお母さん、お父さんの現在の婚姻状況をおたずねします。（あてはまる番号1つに○）

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む）	3. 死別	5. わからない
2. 離婚	4. 未婚・非婚	6. いない

問11 問10で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。  
また、養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3. 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問12 お子さんのお母さん、お父さんの就業状況やこれまでの経験について、おたずねします。

(1) お子さんのお母さん、お父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。  
(a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	a) お母さん	b) お父さん
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
いない、わからない	6	6

(2) 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。  
(a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	a) お母さん	b) お父さん
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したいため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

5に○をつけた場合のみ

- (3) お子さんのお母さん、お父さんは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。  
(カッコの中に数字で答えてください) ※複数のお仕事をもっている場合は合算してください。

お母さん	週に平均( )時間程度	お父さん	週に平均( )時間程度
------	-------------	------	-------------

- (4) お子さんのお母さん、お父さんが最後に通った(または在学中の)学校について、お答えください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

(例: 高校を卒業した場合は【3. 高校卒】、高校を退学した場合は【2. 高校中退】を選んでください。)

お母さん		お父さん	
1. 中学卒	6. 大学中退	1. 中学卒	6. 大学中退
2. 高校中退	7. 大学卒	2. 高校中退	7. 大学卒
3. 高校卒	8. 大学院卒	3. 高校卒	8. 大学院卒
4. 専門学校※卒	9. わからない	4. 専門学校※卒	9. わからない
5. 高専・短大卒	10. その他 ( )	5. 高専・短大卒	10. その他 ( )

※高校卒業後進学する学校とします。

- 問13 お子さんの家庭の経済的状況について、おたずねします。

- (1) 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 大変ゆとりがある	3. 普通	5. 大変苦しい
2. ややゆとりがある	4. やや苦しい	

- (2) 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(1～13については、あてはまる番号すべてに○)

1. 洗濯機	8. インターネットにつながるパソコン
2. 炊飯器	9. 世帯専用のお風呂
3. 掃除機	10. 世帯人数分のベッドまたは布団
4. 暖房機器	11. カーテン
5. 冷房機器	12. 自動車
6. 電子レンジ	13. 急な出費のための貯金(5万円以上)
7. 電話(固定電話・携帯電話を含む)	14. あてはまるものはない

- (3) 以下の項目で、過去1年間に経済的理由のために支払いができなかった、または買えなかったことはありますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

	あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
1. 学校の修学旅行や課外授業への参加費	1	2	3
2. 学校での教材費	1	2	3
3. 学校の給食費	1	2	3
4. 家賃	1	2	3
5. 住宅ローン	1	2	3

6. 電気代	1	2	3
7. ガス代	1	2	3
8. 水道代	1	2	3
9. 電話代（固定電話・携帯電話を含む）	1	2	3
10. 公的年金・公的健康保険・公的介護保険の保険料	1	2	3
11. 通勤や通学に使うバスや電車の料金	1	2	3
12. 食料	1	2	3
13. 子どもに必要な洋服やかばん	1	2	3

(4) あなたの家庭では、お子さんのために高校生等奨学給付金を受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○）

※高校生等奨学給付金は市町村民税所得割が非課税である世帯を対象に、授業料以外の教育費を支援するための返済不要の制度です。

1. 受け取っている	2. 受け取っていない	3. わからない
------------	-------------	----------

(5) (4)で【2. 受け取っていない】を選んだ方におたずねします。

受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものを選んでください。（あてはまる番号1つに○）

1. 申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）
2. 申請しなかった（必要であるが、申請の仕方がわからなかった）
3. 申請しなかった（必要であるが、申請することに抵抗があった）
4. 申請しなかった（必要ないと判断した）
5. 申請したが、認定されなかった
6. 高校生等奨学給付金を知らなかった
7. その他（具体的に： ）

(6) あなたの世帯が受給している、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの受給額はいくらですか。

（カッコの中に数字で教えてください）

※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。

※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含みます。

※「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための手当です。

	1回あたり金額
(ア) 児童手当	( ) 円 （4か月に1回支払われます）
(イ) 児童扶養手当	( ) 円 （2か月に1回支払われます）
(ウ) 特別児童扶養手当	( ) 円 （4か月に1回支払われます）
(エ) 年金（遺族年金、老齢年金等）	( ) 円 （2か月に1回支払われます）
(オ) 生活保護費	( ) 円

(7) (6)で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入について、おたずねします。

お子さんと生計を同一にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）は合わせていくらですか。

（あてはまる番号1つに○）

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、  
利子・配当金、個人年金を含みますが、上記(6)で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考え  
ください。

※複数の収入源がある場合（お父さまが勤労収入、お母さまに事業収入など）は、おおよその合算値（合計額）を教えてください。

1. 収入はない（0円）	8. 300～350万円未満	13. 600～700万円未満
2. 1～50万円未満	9. 350～400万円未満	14. 700～800万円未満
3. 50～100万円未満	10. 400～450万円未満	15. 800～900万円未満
4. 100～150万円未満	11. 450～500万円未満	16. 900万円以上
5. 150～200万円未満	12. 500～600万円未満	17. わからない
6. 200～250万円未満		
7. 250～300万円未満		

問14 この調査票に回答されているあなた自身について、おたずねします。

あなたは、自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとと思いますか。（あてはまる点数1つに○）

とても不幸	とても幸せ									
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問15 この調査票に回答されているあなたを含めた、お子さんとご家族との関係について、おたずねします。

あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがあります。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない
(ア) お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5
(イ) お子さんと一緒にスポーツをする	1	2	3	4	5
(ウ) お子さんと学校生活の話をする	1	2	3	4	5
(エ) お子さんと政治経済・社会問題等のニュースの話をする	1	2	3	4	5
(オ) お子さんとテレビ番組・SNS（facebook、Twitter、LINEなどのソーシャルメディア）・動画など（ニュースを除く）の話をする	1	2	3	4	5
(カ) お子さんといっしょに料理をする	1	2	3	4	5
(キ) お子さんといっしょに外出をする	1	2	3	4	5

問16 この調査票に回答されている方について、おたずねします。

(1) あなたには、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いない	2. 1～2人いる	3. 3～4人いる	4. 5～7人いる	5. 8人以上いる
--------	-----------	-----------	-----------	-----------

(2) (1)で【1. いない】以外を選んだ方におたずねします。

それは誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 配偶者・パートナー	5. 近隣に住む知人や友人
2. 自分の親	6. 近隣に住んでいない知人や友人
3. 配偶者の親・パートナーの親	7. 職場関係者
4. きょうだい・その他の親戚	8. その他(具体的に: )

(3) あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	相談したことがある	相談したことがない			
		相談したいとおもったことがなかった	相談したかったが、抵抗感があった	相談時間や場所などが使いづかった	相談する窓口や方法がわからなかった
1. 市町村の役所の窓口(福祉事務所・保健所・保健センター等を含む)	1	2	3	4	5
2. 子ども家庭支援センター	1	2	3	4	5
3. 学校・保育所・幼稚園の先生	1	2	3	4	5
4. スクールカウンセラー	1	2	3	4	5
5. スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5
6. 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
7. 県の福祉保健所	1	2	3	4	5
8. 児童相談所	1	2	3	4	5
9. 警察	1	2	3	4	5
10. ハローワーク	1	2	3	4	5
11. インターネットの相談サイト	1	2	3	4	5
12. 上記以外の公的機関	1	2	3	4	5

問17 この調査票に回答されている方の情報源や支援の利用状況について、おたずねします。

(1) あなたはお子さんの教育や健康・医療についての情報を、どこから(誰から)得ていますか。

主なものを3つ選んでください。(あてはまる番号3つに○)

1. 配偶者	9. テレビ・ラジオ
2. 自分の家族や親戚	10. SNS (facebook, Twitter, LINEなどのソーシャルメディア)
3. 自分の友人や知人	11. インターネット
4. 学校の先生	12. 市町村の広報
5. 子どもの習い事や塾の先生	13. 新聞
6. 市町村のサービス窓口	14. 本や雑誌
7. 保健センター	15. その他(具体的に: )
8. 病院	16. 特になし

- (2) この調査票が配布されたお子さんについて、以下の(ア)～(ク)の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。  
(それぞれあてはまる番号1つに○)

	利用したことがある	利用したことがない					
		利用したいと思ったことがなかった	利用しなかったが、条件を満たしていなかった	利用時間や制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった	身近に制度等がない
(ア) 子育てひろば (地域子育て支援センター)	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 子ども食堂	1	2	3	4	5	6	7
(オ) フードバンクによる食料支援	1	2	3	4	5	6	7
(カ) 小学生以上の子どもの自由な時間を過ごせる場所	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 学校が実施する補充学習 (学習支援)	1	2	3	4	5	6	7
(ク) 学校以外が実施する補充学習 (学習支援)	1	2	3	4	5	6	7

＜参考＞

(ア) 子育てひろば (地域子育て支援センター)	主に0歳から3歳のお子さんと保護者の方が、親子でゆったり過ごしながら、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場所
(イ) 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	入院、出産、介護、仕事などで、一時的にお子さんの養育にお困りのとき、児童福祉施設で子どもを預かる制度
(ウ) ファミリー・サポート・センター	育児のお手伝いをしてほしい方(利用会員)と育児のお手伝いをしたい方(提供会員)の両者を登録して、援助活動により仕事と育児の両立や、子育てする家庭にゆとりを持っていただけるよう支援する制度
(エ) 子ども食堂	子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、民間団体等が無料または格安で食事を提供している場所
(オ) フードバンク	まだ食べられるにもかかわらず処分されてしまう食品を、NPOなどが食品メーカー等から引き取って、福祉施設や支援を必要とする人へ無料で提供する活動

(3) お子さんのお母さんまたはお父さんが帰宅するまでの子どもの居場所や見守り（おおむね20時頃まで）の仕組みがあれば、利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 利用したい	3. 利用する必要がない	5. その他（具体的に： ）
2. 利用したくない	4. わからない	

(4) あなたのご家庭では、以下の支援制度等は、これまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。（それぞれあてはまる番号1つに○）

	利用したことがある	利用したことがない				
		利用したいと思ったことがなかった (そもそも制度等の対象外であった)	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、制度等が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	制度等について全く知らなかった
(ア) 生活福祉資金	1	2	3	4	5	6
(イ) 生活保護	1	2	3	4	5	6
(ウ) 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6
(エ) 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6

＜参考＞

(ア) 生活福祉資金	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村の社会福祉協議会
(イ) 生活保護	病気や失業等のため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときに一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。窓口は市町村役場
(ウ) 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は市町村役場
(エ) 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯の支援のための手当。窓口は市町村役場

問18 お子さんの家庭にはインターネット回線がありますか。（あてはまる番号1つに○）

- 1. ある（通信データ容量制限なし）
- 2. ある（通信データ容量制限あり）
- 3. ない

※携帯電話、スマートフォンは除く。

問19 行政への要望について、おたずねします。

(1) あなたが子育てをするうえで、あったらいいと思うサービスはありますか。

- |      |      |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

(2) それは、どのようなサービスですか。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ちょうさひょう  
調査票

こうちけん こ せいかつじったいちょうさ  
高知県 子どもの生活実態調査  
こうこう ねんせい みな  
高校2年生の皆さんへ

ちょうさ もくてき  
調査の目的

◎これは、高知県の子どもの夢や悩み、生活状況などを調べるためのアンケートです。

あなたへのお願い

◎この調査は、高校2年生のあなたが自分で書いてください。回答をご家族に見せる必要はありません。

◎名前は書かないでください。

◎回答は、調査票へ直接記入するか、インターネットで回答してください。「紙の調査票」又は「インターネット」のどちらか一方で回答してください。

◎インターネットで回答する場合は、下のURLにアクセスするか、二次元コードを読み取り、回答してください。



＜QRコード＞

＜調査画面URL＞<https://src2.webcas.net/form/pub/src4/k1>

◎答えたくない質問には、答える必要はありません。また、まちがった答えや正しい答えはありませんので、自分の思う答えを書いてください。

◎質問のなかで、親と書かれているところについては、親または親以外の保護者として答えてください。

ていしゅつ  
提出のしかた

◎全部書き終わったら、自分で水色の封筒に三つ折りにして入れ、のりかテープで閉じてください。

◎封筒を保護者に渡してください。

—質問があったら、こちらに電話をしてください。—

高知県子ども・福祉政策部子ども家庭課

電話：088-823-9637（電話受付 月～金：8：30～17：15）

問1 はじめに、あなたの住んでいる地域について、おたずねします。

住んでいる地域に○をつけてください。(いずれか1つに○)

1. 高知市	10. 香南市	19. 本山町	28. 梶原町
2. 室戸市	11. 香美市	20. 大豊町	29. 日高村
3. 安芸市	12. 東洋町	21. 土佐町	30. 津野町
4. 南国市	13. 奈半利町	22. 大川村	31. 四万十町
5. 土佐市	14. 田野町	23. いの町	32. 大月町
6. 須崎市	15. 安田町	24. 仁淀川町	33. 三原村
7. 宿毛市	16. 北川村	25. 中土佐町	34. 黒潮町
8. 土佐清水市	17. 馬路村	26. 佐川町	
9. 四万十市	18. 芸西村	27. 越知町	

問2 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。

ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、  
いらないと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
(1) 自分だけの本(学校の教科書やマンガは除く)	1	2	3
(2) 子ども部屋(きょうだいと使っている場合も含みます)	1	2	3
(3) (自宅で)インターネットにつながるパソコン	1	2	3
(4) 自宅で宿題をすることができる場所	1	2	3
(5) 自分専用の勉強机	1	2	3
(6) スポーツ用品(野球のグローブやサッカーボール等)	1	2	3
(7) ゲーム機	1	2	3
(8) 自転車	1	2	3
(9) おやつや、ちょっとしたおもちゃをかうおこづかい	1	2	3
(10) 携帯電話、スマートフォン	1	2	3
(11) 携帯音楽プレーヤー等	1	2	3

問3 将来の夢について、おたずねします。

(1)あなたには、将来の夢がありますか。(いずれか1つに○)

1. ある → 問4へ	2. ない
-------------	-------

(2) 将来の夢が「2 ない」と答えた方におたずねします。

夢がない理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. もうすべてに満足しているから	3. 具体的に、何も思いうかばないから
2. 夢がかなうのがむずかしいと思うから	4. わからない

問4 進学について、おたずねします。

- (1) あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものを選んでください。  
(あてはまる番号1つに○)

1. 中学まで	3. 専門学校※まで	5. 大学またはそれ以上
2. 高校まで	4. 高専・短大まで	6. まだわからない

※高校卒業後進学する学校とします。

- (2) (1)で答えたように考える理由はなぜですか。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 希望する学校や職業があるから	6. 家にお金がないと思うから
2. 自分の成績から考えて	7. 早く働く必要があるから
3. 親がそう言っているから	8. その他
4. 兄・姉がそうしているから	9. 特に理由はない
5. まわりの先輩や友達がそうしているから	

問5 友だちについて、おたずねします。

次のような友だちは、全部で何人くらいいますか。いなければ0と書いてください。

- (ア) 同じ学校の、仲のよい友だち ( ) 人  
(イ) 同じ学校以外の、仲のよい友だち ( ) 人  
(ウ) 悩みごとを相談できる友だち ( ) 人

問6 あなたのふだんの生活について、おたずねします。

- (1) 平日(学校に行く日)の放課後はだれと一緒に過ごすことが一番多いですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 家族(祖父母、親せき等も含みます)
2. 家族以外の大人(近所の大人、塾・予備校や習い事の先生、スポーツクラブのコーチ等)
3. 学校の友だち
4. 学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だち、小・中学校で一緒だった友達等)
5. アルバイトなど職場の人
6. 一人である

- (2) あなたには、平日(学校に行く日)の放課後を過ごす居場所はありますか。1週間のうち、(ア)～(ス)のそれぞれで過ごすおおよその日数を教えてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	毎日 まいにち	週に 3～4日 しゅうにか	週に 1～2日 しゅうにか	全く 過ごさない まったく
(ア) 自分の家	1	2	3	4
(イ) 祖父母の家	1	2	3	4
(ウ) 友だちの家	1	2	3	4
(エ) 塾や習い事	1	2	3	4
(オ) 学校(部活動、放課後等補充学習※等)	1	2	3	4
(カ) スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場等)	1	2	3	4
(キ) アルバイト等の職場	1	2	3	4
(ク) 公園	1	2	3	4
(ケ) 図書館	1	2	3	4

(コ) 商店街やスーパーマーケット、ショッピングモール	1	2	3	4
(サ) ゲームセンター	1	2	3	4
(シ) オンライン空間 (SNS、オンラインゲームなど)	1	2	3	4
(ス) その他 (具体的に: )	1	2	3	4

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

- (3) (2)の(ア)～(ス)の場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。1つだけ選んで、その記号(ア～スのいずれか)をカッコの中に書いてください。ほっとできる居場所がない場合は、「X ほっとできる居場所はない」に○をつけてください。

記号 ( )	X ほっとできる居場所はない
--------	----------------

- (4) あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		あは利用したい と思う	今後利用したい と思わない	今後利用したい かどうか分らない
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日過ごすことができる場所	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

- (5) 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。

そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 友だちが増えた	6. 勉強がわかるようになった
2. 気軽に話せる大人が増えた	7. 勉強する時間が増えた
3. 生活の中で楽しいことが増えた	8. その他
4. ほっとできる時間が増えた	9. 特に変化はない
5. 栄養のある食事をとれることが増えた	

(6) あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	毎日 2時間以上	毎日 1～2時間	毎日 1時間以下	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	ぜんぜん しない
(ア) ゲーム機で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7
(イ) テレビやDVDを見る	1	2	3	4	5	6	7
(ウ) 携帯電話・スマートフォン・ タブレットを使う	1	2	3	4	5	6	7
(エ) 読書	1	2	3	4	5	6	7
(オ) 室内での(ア)～(エ)以外の活動 (室内遊び等)	1	2	3	4	5	6	7
(カ) 家事(洗濯、掃除、料理、片付け など) やきょうだい等の世話	1	2	3	4	5	6	7
(キ) 運動や体を動かす部活動・習い ごと事	1	2	3	4	5	6	7
(ク) アルバイト	1	2	3	4	5	6	7

(7) あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 参加している → (9)へ      2. 参加していない

(8) 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。

参加していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 入りたいクラブ・部活動がないから	4. 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
2. 塾や習い事が忙しいから	5. 一緒に入る友達がいないから
3. 費用がかかるから	6. その他

(9) あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(a～c それぞれについてあてはまる番号1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	ほとんど 食べない (週1～2日)
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

(10) あなたは平日(学校に行く日)、どのくらい睡眠時間をとりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 10時間以上	3. 8時間以上9時間より少ない	5. 6時間以上7時間より少ない
2. 9時間以上10時間より少ない	4. 7時間以上8時間より少ない	6. 6時間より少ない

問7 学校や勉強のことに、おたずねします。

(1) あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いつもわかる	3. 教科によってはわからないことがある
2. だいたいわかる	4. わからないことが多い
	5. ほとんどわからない

(2) 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 小学1年から3年生のころ	5. 中学3年生のころ
2. 小学4から6年生のころ	6. 高校1年生のころ
3. 中学1年生のころ	7. 高校2年生になってから
4. 中学2年生のころ	

(3) 勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。(1～7については、あてはまる番号すべてに○)

1. 親	5. 塾や習い事の先生
2. 親以外の家族 (きょうだいや、おじいちゃん・おばあちゃん等)	6. その他の大人
3. 学校の先生	7. 友だち
4. 放課後等補充学習※の先生	8. 教えてもらえる人がいない

※学校で放課後や長期休業期間等に行う補充学習

(4) あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 上のほう	3. 真ん中のあたり	5. 下のほう
2. やや上のほう	4. やや下のほう	6. わからない

(5) あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまる番号すべてに○)

1. 自分で勉強する	6. 家の人に教えてもらう
2. 塾で勉強する	7. 友達と勉強する
3. 学校の補習を受ける	8. その他
4. 家庭教師に教えてもらう	9. 学校の授業以外で勉強はしない
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

(6) あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a,bそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	

問8 あなた自身について、おたずねします。

(1) あなたは、自分が幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(あてはまる点数1つに○)

とても不幸	とても幸せ
0点	10点

(2) いつもの自分にいちばんよく合う答えをそれぞれ1つだけ選んでください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

	いいえ	どちらかといえばいいえ	どちらかといえばはい	はい
(ア) 自分に、自信がありますか	1	2	3	4
(イ) たいていのことは、人よりうまくできると思いますか	1	2	3	4
(ウ) 自分には、人に自慢できるところがたくさんあると思いますか	1	2	3	4
(エ) 何をやってももうまいかないような気がしますか	1	2	3	4
(オ) 今の自分に、満足していますか	1	2	3	4
(カ) 自分はきっと、偉い人になれると思いますか	1	2	3	4
(キ) 自分は、あまり役に立たない人間だと思いますか	1	2	3	4
(ク) 自分の意見は、自信をもって言えますか	1	2	3	4
(ケ) 自分にはあまりいいところがないと思いますか	1	2	3	4

問9 あなたの<sup>なや</sup>悩みや<sup>こま</sup>困っていることについて、おたずねします。

(1) 現在、<sup>げんざい</sup>悩<sup>なや</sup>んだり困<sup>こま</sup>ったりしていることはありますか。(いずれか1つに○)

1. ある	2. ない → 問 10へ
-------	---------------

(2) 前の質問で現在、悩んだり困ったりしていることが【1. ある】と答えた方におたずねします。

あなたが、悩んでいることについて相談するのは誰ですか。(1～18 については、あてはまる番号すべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. お母さん <small>おはは</small></li> <li>2. お父さん <small>おとう</small></li> <li>3. 兄弟姉妹 <small>きょうだいしまい</small></li> <li>4. 祖父・祖母 <small>そふ そぼ</small></li> <li>5. その他の家族・親せき <small>た かぞく しんせき</small></li> <li>6. 友だち <small>とも</small></li> <li>7. 先輩・後輩 <small>せんぱい こうはい</small></li> <li>8. 学校の先生 <small>がっこう せんせい</small></li> <li>9. 放課後等補充学習※の先生 <small>ほうかごとうほくけがくしゅう せんせい</small></li> <li>10. 塾や習い事の先生 <small>じゅく なら こと せんせい</small></li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>11. 保健室の先生 <small>ほけんしつ せんせい</small></li> <li>12. スクールソーシャルワーカー</li> <li>13. 学校カウンセラー（スクールカウンセラー） <small>がっこう</small></li> <li>14. カウンセラー（13以外）（電話相談を含む） <small>いがい</small></li> <li>15. 公民館・コミュニティセンター・児童館等の人 <small>こうみんかん だんわ そうだん ぶんく</small></li> <li>16. 近所の人 <small>きんじょ ひと</small></li> <li>17. インターネットの相談サイト <small>そうだん</small></li> <li>18. その他（具体的に：<small>た ぐたいてき</small>）</li> <li>19. 誰にも相談しない <small>だれ とも 相談しない</small></li> </ol>
---	--

※学校で放課後や長期休業期間等を行う補充学習

問10 「ヤングケアラー」について、おたずねします。

あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことがあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

ヤングケアラーとは、「本来、大人が行うと考えられている食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーのイメージ例

【こども家庭庁 HP より引用】



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。